

社会福祉施設における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	10～11	2階トイレ掃除中便器の前、しゃがんだ状態で右側に移動しようとした時、上体だけが先に動き、右足をひねり捻挫した。	63	921	19	50～99
2017	1	8～9	出勤時、契約駐車場に車を止め事業所に行く途中で転倒する。駐車場内は、前夜に雪が降り、氷結路面に雪がある滑りやすい状況だった。	49	719	2	—
2017	1	16～17	施設内の介護室にて、介護用ベッド（縦2m、横1m、総重量70kg）を他スタッフ1名と私、計2名で移動作業中に、バランスを崩して介護用ベッドが倒れそうになったため、若干無理な姿勢で倒れる形となった時、腰部へ過度な負担がかかり、激痛と共に動けなくなる。	39	391	19	—
2017	1	9～10	物置内にて高所の物を取ろうと台に乗った際、バランスを崩して転倒した。	48	371	1	—
2017	1	21～22	アイスホッケー場の散水作業を終え、散水用のホースを畳み、いつも保管してある管理棟へしまいに行く途中、管理棟が少し下った所 にあり坂になっているため滑って転倒し、左足の踝を骨折した。	71	719	2	10～29
2017	1	19～20	入浴介護で利用者様を浴室の床からイスへ引き上げた時に痛めた。	46	719	19	10～29
2017	1	18～19	会社の敷地内にある倉庫へゴミを置きに移動中、地面が凍っていたため滑り転倒し、左腕を痛めた。	27	719	2	1～9
			歩道上において、送迎のため利用者の乗車準備をして迎えに行くた				

2017	1	9~ 10	め振り向き歩き出したところ、凍結した路面に足を滑らせて転倒し、右側面を地面に打ちつけて足等を負傷した。	52	417	2	1~9
2017	1	8~9	デイサービス利用者宅の玄関前スロープで、送迎時に地面の氷に足を滑らせ転倒した。転倒の際に左足が内股になり、足首の内側を氷にぶつけた瞬間にくるぶしに痛みが出現し、足をつくことが困難になった。	54	719	2	—
2017	1	7~8	通勤完了後、法人敷地内にマイカーを駐車し、施設内へ入ろうとして社用車駐車場所を通ったところ路面が凍結しており、足を滑らせて転倒し、右足首を捻り、頭部を社用車にぶつけた。	30	719	2	100 ~ 299
2017	1	16~ 17	体育館にて、利用児童とバトミントンで療育中に右足を捻り、アキレス腱を断裂する。	43	921	19	1~9
2017	1	9~ 10	当法人事業所のパン包装作業場で配送準備中、床面が濡れていてバランスを崩し、背中から転倒した。	57	417	2	30~ 49
2017	1	14~ 15	事業所内2階から1階へ階段を下りたところ、階段のすぐ前に一時的に置いてあった使用済みタオル袋をよけて通る際、袋に右足を引っかけてしまい、右足を捻って転倒した。そのとき右足からボキッと音がして、膝から床についた。立つ時に右足が痛みでつけない状態になり、右足首の剥離骨折を負った。	48	611	2	10~ 29
2017	1	18~ 19	当施設、利用者居室内で介護業務をしていた。一人体制で利用者（体重約48kg）を車イスからベットへ移乗するため、前屈みになり、利用者の脇の下に両手をかけ身体を持ち上げた際、腰を痛めた。夜勤勤務を終え帰宅し、自宅で様子を見ていたが、次第に痛みが激しくなった。	22	921	19	50~ 99
2017	1	14~ 15	訪問介護サービス利用客宅にて入浴介助の作業中、浴室内のイスに座った利用者の右側に立ち、前のめりに屈んで利用者の右足を両手で持ち上げた際、腰が突然痛み負傷した。	45	921	19	10~ 29
		14~	入居者の部屋にて清掃作業中、洗濯かごを持ち上げた際に首を痛め				10~

2017	1	15	た。	48	921	19	29
2017	1	18～ 19	帰宅のため職場の玄関を出て敷地内の駐車場へ行く途中、凍結した路面で滑って転び、左膝を路面に強く打った。	66	719	2	50～ 99
2017	1	8～9	上司の指示により簡単な雪片付けをしたあと、別の雪はねの道具を取りに事務所向かい、その後、事務所職員用として借りている駐車場まで歩行し、その駐車場わきで、路面が凍っていることに気がつかず、不注意で滑り、背部より転倒し負傷した。	57	719	2	—
2017	1	9～ 10	訪問先に向かうため社用車を運転中、店舗駐車場から突然車線上に車両が進んできた。確認と同時にブレーキをかけたが、スリップして回避できず、自車の右前部と相手車の左前部が衝突し、その反動で左側のゴミステーションへ衝突した。	39	231	17	50～ 99
2017	1	8～9	朝食をすませた利用者に薬を飲ませた直後、腕をきつく掴まれ引っぱられたあと我慢しながら仕事をしていたが、仕事をする上でも思い通りに腕が動かさず辛くなった。	63	921	19	10～ 29
2017	1	12～ 13	訪問看護の仕事を終えて、営業車で向かっている途中、トンネル内で急にめまいがし、対向車線にはみ出し、対向車と衝突をした。	46	231	17	1～9
2017	1	9～ 10	利用者の自宅にて、入浴介助中に取り外して脇に置いてあったベッドの柵に左足小指をぶつけてしまい負傷した。	42	379	3	30～ 49
2017	1	10～ 11	保育中にふり向いた瞬間に男児が勢いよく頭突きし、左顔面がぶつかった。	54	921	90	—
2017	1	17～ 18	集会室で、児童用のテーブルを片づけようと持ちあげ移動した際に、手元が狂いテーブルが右側に倒れ、床とテーブル側面に左足親指付近が挟まれ、左足親指骨折などを負った。	38	379	4	—
2017	1	15～ 16	一般浴場において、入浴前の利用者の足を洗う際、利用者の横側から中腰の体勢で足の裏を洗い、腰をひねり痛めてしまった。その後、足に痺れがあって仕事が困難となり、休業となった。	40	921	19	50～ 99
			グループの利用者食事スペースで、利用者の見守りと昼食の準備を				

2017	1	11～ 12	行っていた際、足がもつれ前方に転倒し、左膝を強く打ってしまった（スニーカー履き）。	57	417	2	—
2017	1	9～ 10	施設内利用者居室にて、おむつ交換のため利用者の体位交換をした際、右足を床についた瞬間に足に激痛がはしり、歩行困難となる。	60	416	3	10～ 29
2017	1	17～ 18	廊下にて落下したカードを拾っていたところ、後方から走って来た男子児童（3年）が腰にぶつかりケガをした。	49	921	6	1～9
2017	1	17～ 18	添乗職員が降り、本人も洗車ホースを取りに車から降りて車庫の中に入った。本人が振り向くと車が動いていたため、慌てて車を手で押して止めようとし、車と建物に挟まれ怪我をした。	67	231	7	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	道路上にて停車し、車両左側のスライドドアを閉め、車両の前を通って運転席に戻ろうとしたが、その途中の助手席辺りのカドを曲がろうとしたところで凍結しており、足を滑らせて転倒した。	60	719	2	50～ 99
2017	1	7～8	施設近くのバス停でタクシーを降り施設玄関まで歩いている途中駐車場にて、滑って膝を捻って、転倒した。	29	417	2	30～ 49
2017	1	12～ 13	利用者ベッド前で、杖歩行の利用者の付き添いをしていたときに、利用者が転倒しそうになったため、体を支えたところ腰を痛めた。	49	911	19	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	調理室内のシンクと作業台の通路（人一人が通れる幅）で清掃作業をしている際に、水を撒こうと、直径37cm・深さ15cm程度のボウルに水をいっぱいに汲み、通路に撒こうとしたところ、濡れて滑りやすくなったレンガタイルの床で足を滑らせ、背面から転倒し、右の肩甲骨を骨折した。	61	416	2	—
2017	1	9～ 10	デイサービス利用者の朝の迎え時に利用者本人が自宅の庭にて、ゴミを焼却しており、火の勢いがおさまるのを待ってから利用者を車に乗せようと待機をしていたところ、焼却ゴミ内から爆発音と共にスプレー缶が右手親指に直撃し負傷した。	71	519	4	30～ 49
			グループホーム施設内にて、利用者の見守の際、車椅子に乗った利				

2017	1	9~ 10	<p>用者の倒した椅子が、他の利用者に当たりそうになった為、かばった際、右足ひざの下側にいすの背が当たった。</p>	48	379	6	30~ 49
2017	1	15~ 16	<p>当施設内リハビリ室にて、入所者のリハビリテーション終了後の移動中、歩行器を使用し移動中の入所者がバランスを崩し転倒しそうになったため、慌てて入所者の体を支えた際に、腰を捻り負傷した。</p>	50	921	19	100~ 299
2017	1	14~ 15	<p>当施設の系列病院である、病院の北側駐車場東端の桜の木の枝のテングス病部を切る為、3.6mの脚立に昇って作業をしようとしたが、枝に届かず脚立から下りようとしたところ、地盤が緩んでいたのか、脚立の右端が土に埋まり脚立が傾いてしまった為、被災者が落下し、背部~腰部及び左大腿部を強打する。</p>	73	371	1	30~ 49
2017	1	8~9	<p>デイサービス利用者宅の庭において、車イスの利用者の移動介助をしていた際、予想以上に重かったため耐えきれず、右膝をひねり負傷した。</p>	48	719	19	—
2017	1	13~ 14	<p>利用者用トイレで利用者のトイレ介助中、オムツパットを取りに行くため歩きだしたところ、バランスを崩してしまい、トイレを隔てている板壁の下方につまずき、左手で支えるように転倒してしまう。</p>	56	417	2	10~ 29
2017	1	16~ 17	<p>放課後児童クラブの裏庭で、最初は縄の回し手をしてしたが、子ども達に「先生も跳んで」と言われたので、回し手を交替し、跳んだ時に転倒してしまった。</p>	55	921	2	—
2017	1	16~ 17	<p>当社教室内にて、お預かりしている子供をおんぶして遊んでいた時、誤ってバランスを崩し転倒した際、おぶっていた子供に右足を踏まれ負傷した。</p>	64	611	2	—
2017	1	12~ 13	<p>施設内居室にて、利用者様をベッドに移動させる際にバランスを崩し、利用者様の体が右足の上に乗る、強い痛みを感じた。</p>	62	921	19	30~ 49
			<p>花束を2Fから1Fに運ぶ為、階段を下りている時に、階段に花の水</p>				

2017	1	12～ 13	がこぼれていた。その階段を下りた際、すべて階段4段目で転倒し、腰と尾?骨を強く打った。	62	371	1	1～9
2017	1	17～ 18	ご利用様の居室にて、臥床時体を起こした後、ベッドから車イスのトランス介助をした際、ご利用者が左手で左手すりを強く掴んだまま離さず、介助者の体だけが動いてしまい、左足を左側に捻り、負傷した。	41	921	19	30～ 49
2017	1	17～ 18	トイレ内にて、入居者が車イスから便座に移るため、手すりに掴まり立位をとってもらう際、両手で入居者のズボンの腰あたりを持って持ちあげた時に、右腰から右足先にかけて電気がはしるような痛みが発生した。	36	921	19	50～ 99
2017	1	14～ 15	ベッドに臥床している入居者の介護中に腰部への強い痛みを感じ、入居者を支えるのが困難となり、介助者を変更後、立位も困難となり、一步も動けなくなった。	26	921	19	50～ 99
2017	1	19～ 20	夕食に使用した介護用エプロンを洗濯・乾燥した後、畳むために、リネン室から室外の作業テーブルに運び出していた。積み上げたエプロンのうち、床に落ちた分を拾おうとしたところ、誤って右足で踏んだはずみで、そのまま前方に滑ってしまい、左膝を床に強打ち転倒した。	68	417	2	100 ～ 299
2017	1	16～ 17	脱衣所にて入浴介助中、ご利用様を入浴用椅子から車椅子に移乗の際、全介助にて抱えた時左側の腰に激痛を生じた。	48	911	19	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	訪問入浴業務終了後に帰社するため、お客様宅の駐車場に停めてあった入浴車に乗ろうとして、半開きのスライドドアの淵に右手をかけたところ、強風でドアが閉まって右手の第二指を挟み負傷した。	35	231	7	—
2017	1	8～9	利用者をお迎えの際、利用者を進行方向に向かって左側から送迎車に搭乗させ、介護職員が立ったまま後ろ向き状態でスライドドア	61	231	7	30～ 49

			を閉め、右足の小指を挟んで骨折した。				
2017	1	20～ 21	利用者の就寝準備を終え、利用者を居室に誘導しているときに、廊下で足を滑らせ転倒し、右肩をぶつけた。痛みが出てきて、右腕が上がりなくなり、その後、右上腕骨骨頭骨折との診断を受けた。	25	417	2	—
2017	1	11～ 12	給食室シンク横でまな板をタワシで磨いている時、腕を動かしたとき、筋肉分裂を起こした。	74	379	19	—
2017	1	9～ 10	利用者送迎に使用した車のカギを返却するため、所属事業場2階の事務所へ行き、カギを返却した。帰宅のため1階へ下りる際、階段で足を滑らせ階段を踏み外し、右足に体重がかかり、右足をひねり骨折した。	67	413	2	10～ 29
2017	1	20～ 21	訪問介護利用者宅へ公用車で移動途中、進行方向である交差点の信号が青であることを確認した上で直進していたが、交差する道の左側から相手方の車が出てきて、ブレーキを踏む間もなく衝突し、エアバッグもしくはハンドルに腹部を強打した。	29	231	17	30～ 49
2017	1	8～9	朝のお迎えで、利用者宅に着き乗っていたハイエースのスライド式ドアを開け、補助席の椅子を上げている際、坂道だったため、スライド式ドアが勢いよく閉まり、左足にぶつかった。	54	231	3	10～ 29
2017	1	18～ 19	利用者宅にて訪問入浴サービスを提供し、退出する際に玄関の段差を踏み外して転倒した。	34	419	2	10～ 29
2017	1	17～ 18	校庭にて、子どもと鬼ごっこをしている時に、校庭とコンクリート通路の境の窪み（側溝）に足を取られてしまい転倒し、右手首をコンクリート面につき強打した。	59	417	2	1～9
2017	1	11～ 12	介護老人保健施設内入所フロアにて、入浴の誘導中、利用者を探すため受付付近から、居室へと向きを変えたところ、床で滑り転倒した際、右側面の臀部を強打し負傷した。	58	417	2	10～ 29
		9～	デイサービスセンター浴室にて、お客様の洗髪を終え、浴槽に誘導した後の洗い場床をシャワーで清掃中、履いていたスリッパが洗				

2017	1	10	<p>剤で滑り、後ろ側に滑りそうになった。この時に洗面台前に置いてあった椅子の脚部分に左足小指を蹴り上げるようにぶつけ負傷した。</p>	39	417	3	—
2017	1	7~8	<p>夜勤業務中、利用者の居室にて、ベットから車イスに移動する際、ベットの端に腰かけさせた時、浅すぎたため、利用者の体が前のめりになったため腰を深く座らせようとした。その際に力を入れて介助し、背中に激痛がはしった。すぐに痛みが治まるかと思っただが、痛みがひどくなった。</p>	22	921	19	100 ~ 299
2017	1	15~ 16	<p>介護サービス利用者宅から次の利用者宅へ徒歩で移動中、横断歩道へ足を踏み出そうとした際、付近の工事により路面が濡れていたため、足を滑らせ躓き、両膝を路面に強打し負傷した。</p>	69	417	2	50~ 99
2017	1	15~ 16	<p>お茶を飲んでもらおうとして、ベッドに臥床されていたご入居者様の体のずれを直そうと、ご入居者様の左上の方向へ肩甲骨から脇に手をあてずらそうとした時、足を踏み込んだため、右ふくらはぎに痛みがでた。</p>	52	921	19	30~ 49
2017	1	11~ 12	<p>訪問介護サービス提供中の利用者宅の台所で、調理の援助作業中に火にかけたフライパンに誤って接触してしまい、右手第1・第2指に火傷を負った。</p>	61	379	11	10~ 29
2017	1	10~ 11	<p>和室で児童の療育に従事中、畳の上に置かれたすべり台を児童とともに被災職員が滑り降りていたが、着地の直前、別の児童が急に近寄ってきたため、一緒にすべっていた児童をかばいながら足を踏ん張り、急停止した。このとき勢いがついたため、被災職員の右足の親指が下方に巻き込まれるような状態になり、骨折した。</p>	50	419	19	—
2017	1	11~ 12	<p>施設内のゴミ箱のそばにて、事務所で不用になったプラスチック製の棚の解体作業中に、のこぎりを使い、狭い場所で縁石を台がわりにして解体していた。縁石にのせていたプラスチック製の棚を足で押さえた状態で作業をし、棚の方向転換しようとして状態を変えたところ、押させていた足が滑り、後ろに転倒しそうになり、手を</p>	39	416	2	50~ 99

			ついて支えようとしたときに右手にのこぎりを持っていたので左手をつき、肘を骨折した。				
2017	1	10～ 11	事務所近くの歩道にて自転車走行中に歩道中央に設置してあるポールに気付かず衝突し左膝を負傷した。	60	362	17	1～9
2017	1	9～ 10	デイルーム外にある洗濯干場にて、利用者様の作品展の準備中、不足した洗濯物を取りに出た際、物干しの下に氷が張っておりバランスを崩して転倒し左足を骨折した。	65	419	2	30～ 49
2017	1	5～6	本社研修へ行く途中、自宅からバス停に行く団地内の道路で、落し物を拾って立ち上がる時に転んで左足を痛めてしまった。	59	417	2	—
2017	1	11～ 12	障害者施設の業務の一環として利用者と近所の公園を散歩中、興奮した利用者に歩み寄ろうとし、公園内の段差につまずき転倒し、左肩を強打した。	45	416	2	30～ 49
2017	1	10～ 11	保育園のテラスで散歩に出掛ける準備をしていた時、外部のサッカー教室の用具等が置いてある所を避けようと歩いていたところ、テラスの縁から足を踏みはずして園庭側に転倒した。	62	419	2	10～ 29
2017	1	18～ 19	児童発達支援室のサービスを終了した児童を送迎中に運転手が左折しようとしたところ、児童から「違うよ」と指摘を受け、慌てて車をバックした際に後ろの車の前方部にぶつかってしまった。なお、被災労働者は後部座席にいて、当たった衝撃のため、右首と右肩に強い痛みを生じた。	29	231	17	30～ 49
2017	1	10～ 11	施設内の脱衣場で、ご入居者に対してドライヤー使用後動こうとした時、ドライヤーのコードに足が引っかかり、右を下側にして転倒し、右膝を受傷した。	72	391	2	10～ 29
2017	1	1～2	介護施設にて業務中、深夜に、事務所で事務処理していたところ、緊急コールが鳴ったため、座席の後ろに置いてあったPHSを急いで取ろうと勢いよく振り向いた際、椅子の肘掛けに肋骨を強打した。業務終了後も痛みが引かず、肋骨にヒビが入っていると判明した。	44	391	3	—

2017	1	13~ 14	デイサービスセンターにおいて、利用者（男性、69歳、認知症）が、1人で外に出ようとし、1回目は止めたが、2回目の時も止めに入ったところ、入口付近でいきなり利用者に左頬を思い切り3回叩かれ、そのあと首と頬に痛みを感じ、状態が良くなることもなく、目もかすむようになり悪化した。	59	719	90	—
2017	1	8~9	2Fホールにて、車イスに座っていた入所者の姿勢を直そうとした所、急に動き出した為、入所者の足が当人左膝正面にぶつかり強打した。	55	911	6	50~ 99
2017	1	13~ 14	運転席後部に乗り訪問介護に車で向かう途中、前方に停車中の車に追突し、運転席にぶつかり、首・左脇・右腕・左足を負傷した。	64	231	17	10~ 29
2017	1	8~9	最初の利用者宅での仕事を終え、次の利用者宅の介護サービスに向かっている途中、前方の自動車が路肩に停めてあったトラックを避けて走行した所、前方から車が進入してきて、急ブレーキをかけ、自分が運転していたバイクのブレーキが間に合わず、ぶつかってしまい負傷した。	50	231	17	10~ 29
2017	1	16~ 17	入浴時の着脱介助中、もう一人の生活支援員抱き足のタイミングが合わなかった。そのため、当該者が利用者を一人で抱えるようになり、そのときに腰に痛みが生じた。	33	719	19	100 ~ 299
2017	1	9~ 10	園内の厨房にて、給食用のほうれん草を包丁で切っている際に、左手の親指先を誤って切ってしまった。	41	364	8	10~ 29
2017	1	16~ 17	障がい児支援施設である当施設内生活棟において、利用者Aが他の利用者とじゃんけんで入浴の順番を決めていたところ、Aが、納得のいく結果とならなかったことに激怒し殴る蹴るの行為に及んだため左腕を打撲した。	24	921	6	30~ 49
2017	1	9~ 10	入居者様居室にて、ベット上で端座位にて傾眠されていた入居者様を入床を促し介助しようとした所、中腰姿勢で利用者様の足を上げようとした際、予想以上の浮腫による重みで、突然腰に激しい痛みがおこり動けなくなった。	52	921	19	30~ 49

2017	1	8~9	駐車場から施設へ歩行中、足を滑らせ右後方へ転倒し、右手から転倒した。最初はあまり痛みを感じなかったが、右手首の見た目の状態が異常だった為、すぐに骨折だと分かった。	59	417	2	50~ 99
2017	1	19~ 20	水が入ったバケツを床から右手で持ち上げ左手を添えて洗濯機に水を入れた際に腰を捻り痛めた。しばらく様子を見たが、腰部の痛みが強くなってきた。	51	921	19	30~ 49
2017	1	5~6	職場敷地内駐車場を通り、他ユニットへ移動する際、暗く凍結している路面に気付かず、足を滑らせ転倒し、後頭部を打ち、腫れた。	41	419	2	1~9
2017	1	18~ 19	入居様様が居室内にて夕食を召し上がる為準備を行い、入居様様をイスに移乗したところ、座り方が浅かったため深く座っていただくよう、後方より入居様様を引いたところ腰に痛みが出た。	44	921	19	—
2017	1	9~ 10	男性利用者が朝から不穏な状態で他職員・利用者に対して掴みかかろうとしたり、髪を引っ張る等の行為がみられていた。一度は他職員が止めたが、直後に再び向かって行き、髪を両手でわし掴みにし、足をかけてそのまま後ろに倒す。その際に後ろにあったダイニングテーブルの角に背中（右下あたり）を強打した。	60	921	90	30~ 49
2017	1	7~8	職員玄関より出て、送迎に使用する車を駐車場までとりに向かう途中路面が凍結しており、滑って転倒した。	42	719	2	100 ~ 299
2017	1	20~ 21	遅番業務を終えて帰宅するため、グループホームの玄関階段を下りて、敷地内駐車場のマイカーのある方向へ歩いたところ、凍結した路面で滑り転倒した。これまでの積雪がある中で冷え込んで凍結し、大変滑りやすくなっていた。	57	417	2	1~9
2017	1	14~ 15	髭剃り道具を立て片付けていたところ、利用者Aさんが自分で動き、別の利用者の方に立ったまま身体をひねるように回りながら向かってきた。そのため、自分の身体でぶつかるように受けとめ、さらに手で押さえようとした。両者とも転倒はしなかったが、そ	55	921	19	30~ 49

			の際に腰を痛めた。				
2017	1	14～ 15	昼食を終え、食器を2Fのひまわり組から1Fの調理室へ下げるため、食器を重ねて入れた番重を両手に持って階段を下りていた際、前方の視界がさえぎられていたため、最後に階段がもう一段あるものと勘違いをして下りたため番重を持ったままバランスを崩し、右足を捻挫し、負傷したもの。（番重：45cm×65cmプラスチック製）	41	921	19	10～ 29
2017	1	11～ 12	老健施設内の駐車場を小型除雪機で除雪中、雪の状態が水分を含んでいた為、除雪機の雪排出口が詰まり、排雪ロータリーのスイッチを切り、ロータリーが惰性がついて回っていることを失念し、シャーベット状の円錐形の雪を右手で取り除いた時に右手がロータリーの羽根に当たり、グサと感じ、右手の指が折れたような感じが有り、軍手の上から血が滲むような負傷をしてしまった。	73	169	8	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	浴室の脱衣場で、お風呂上がりにストレッチャーに乗っている利用者の方を着替えのためにベッドへ移乗した後、濡れている床に足を滑らせ、左手を床につき左手首を痛めた。	51	419	2	10～ 29
2017	1	10～ 11	利用者宅へ訪問するため、近くの駐車場に車を停めて歩いていた際、凍結した道路で滑って転倒した。右足首を痛め立ち上がることが出来なくなり、右足関節三果骨折を負った（全治2ヶ月）。	61	417	2	50～ 99
2017	1	15～ 16	利用者宅前で、車イスの利用者を自宅の前まで送る際、道路と家の間に除雪後の固い雪の塊が残っていたので、もう一人の職員が車イスのグリップ部、当該者が前側に位置し、当該者が後ろ向きで車イスを持ち上げ雪の塊を越えて行こうとしたときに、長靴が車イスに引っかかり、そのまま後ろに倒れ尻もちをつき、腰に強い痛みを感じた。	50	417	2	10～ 29
2017	1	8～9	老人保健施設前の駐車場で送迎車輛を出す準備をしている時に一台目にキーをつけ、二台目にキーをつけるため、車の後ろを通った際に地面が凍結しており、左足が前に滑り、右足を内側に捻るような	59	719	2	100 ～

			感じで右膝を地面についた。						299
2017	1	8~9	敷地内駐車場から施設への移動時、凍結した地面で滑って転倒し、第一腰椎椎体骨折を負った。	36	719	2			—
2017	1	8~9	朝出勤し、駐車場に車をとめ仕事場まで歩いている時、玄関前が凍っていて足元が滑り転倒し、右手を地面について負傷した。	55	719	2			—
2017	1	7~8	朝、出勤し事業所敷地駐車場を歩行している際に、凍結した路面で滑り転倒した際に右手首を受傷した。	49	719	2			—
2017	1	8~9	利用者が臥床し、枕の定位置まで微調整が必要であったので介助する。利用者が腰の捻挫のため「そっとして」と希望あり敷毛布もあり滑りにくかったが、定位置までの微調整のため、スライド移動介助の瞬間に、左ふくらはぎより「ブチッ」と音が聞こえ、痛みも伴い、歩行困難となる。	41	921	19			50~ 99
2017	1	15~ 16	駐車場で、児童と職員で雪合戦をしていた。当該人が後ろを向いたとき、すぐ後ろにいた児童の投げた雪玉が左目に当たった。	48	921	90			1~9
2017	1	8~9	駐車場にて歩いていたところ、地面が凍っていたためバランスを崩し前のめりになり転倒し、左足に痛みが生じた。	47	417	2			1~9
2017	1	7~8	駐車場においてバックで車を止め、事業場に入ろうと車から出て3・4歩歩行した所で転倒した。当日の朝は路面凍結しており、転倒時に右手を路面についたため受傷した。	52	417	2			—
2017	1	21~ 22	事業所の職員玄関を出た所で、すべって転倒、左手をついて転倒の為、その場で腫れを確認した。なお、玄関を出た所は凍っていた。	60	417	2			50~ 99
2017	1	8~9	デイサービス利用者宅へ迎えに行き玄関に向かう際、凍結していたコンクリートの庭先にて転倒し、咄嗟に左手をついたが体を支えきれず、横向きに転倒し、顔面左側を強打した。	66	719	2			—
		10~	重度棟女子トイレで、女性ご利用者のトイレ誘導、介助を行っていたところ、だんだん腰に強い痛みを感じ、腰を伸ばそうと畳スペー						30~

2017	1	11	スで横になったところ、一人で起き上がれない状態になり、他職員に手伝って起こしてもらったあと、ゆっくりと歩くことはできた。	38	911	19	49
2017	1	16～ 17	被災者が雪を軽トラで捨てに行く作業中、交差点の信号機前で前の車の後ろに停車中、後方より、車両に追突された。その衝突により前方の停車車両に玉突きとなり、負傷した。	69	231	17	30～ 49
2017	1	15～ 16	当施設敷地内にて、ご利用者宅へ訪問リハビリへ行く為公用車を取りに向かっていた所、路面凍結箇所があり、そこで足を滑らせ転倒し骨折した。	41	719	2	50～ 99
2017	1	16～ 17	グループホームのキッチン口から出て洗濯物、郵便物の確認をしたあと戻る際、水やりホースが広がっているところに足をとられ、バランスを崩し二段の階段を後向きによろめき、ブロック塀の辺りで倒れ尻もちをついた。その際にブロックで頭を打ち、ブロックの角で裂傷し、身体を支えた左手首を骨折した。	68	416	2	10～ 29
2017	1	16～ 17	訪問先居宅にて介護中、入浴介助を済ませ脱衣場で床に伏したところから、イスに抱えて座らせようとし持ち上げた時、腰骨がポキンと音がして痛みがはしった。	75	921	19	30～ 49
2017	1	13～ 14	介護者をベッドから車椅子に2人で移動時（本人が介護者の頭を、もう一人（職員）が足をもって持ち上げての動作）、腰に負担がかかり、腰部捻挫と左大腿部挫傷を負った。	56	921	19	50～ 99
2017	1	17～ 18	休憩室（畳部屋、小上り）で書類記入作業時、必要書類を取る為に、畳部屋から降りようと踏み台に左足を乗せた時、足が滑って左足がギクッと音がしてお尻から床に落ちた。	27	419	2	100 ～ 299
2017	1	16～ 17	夕方の送迎で、利用者を1人乗せ自宅へ送る時、主要道路に出る所の下り坂になっている信号のない交差点で、右折待ちで停車していた。その時、後方から来た車が、左後方にぶつかってきて、首と背中を打った。相手の運転手は、西日がまぶしくて気付けなかったと言っている。なお、被災者以外の職員は同乗していない。	22	231	17	30～ 49

2017	1	16~ 17	公園において、障がい児に対する運動プログラムを実施中、走っている際に方向転換をしようとしたところ、右足首を捻って負傷した。	38	921	19	—
2017	1	4~5	ご入居者が居室にて、ポータブルトイレに向かって立っていた際にバランスを崩して倒れそうになった所を入口にて発見する。慌てて駆け寄りご入居者を後方より抱えたような状態で一緒に倒れ込み、ポータブルトイレの手すりに右肘を強打する。その際の衝撃により、手すりのプラスチック部分も破損する。	54	911	90	50~ 99
2017	1	15~ 16	フロアにて転倒している利用者を起こす際に、椅子を支えにして起こそうとした。しかし、椅子（脚部）が付近にあったオーバーテーブルに引っ掛かり、介助者（被災労働者）が体勢を崩し、左肩から倒れてしまった。	56	379	19	100 ~ 299
2017	1	9~ 10	利用者宅にて訪問看護でのケア中に、利用者がベッドサイド端座位から起立する際、ふらついて倒れそうになったのですぐに支えて転倒を防いだ。その際に、激痛がはしるほど腰を捻ってしまい、かろうじて歩行はできたが、痛みは軽減されなかったため業務を中断した。	47	921	19	—
2017	1	12~ 13	天井から吊り下げる遊具を脚立にのぼって、天井の金具に引っ掛けようとしたところ、バランスを崩して足を踏み外し、左腕から床に転倒（落下）した。	35	371	1	1~9
2017	1	21~ 22	当院施設内居室において、ベッドで横になっていた利用者をベッド上で水平移動しようとした際に、認知症による介護抵抗のある当該利用者に抵抗されたため、利用者を支えていた右手が移動させようとした方向に抜けて、木製のヘッドボードに強打し、右手薬指を骨折した。	35	391	3	50~ 99
2017	1	13~ 14	厨房の洗い場にて昼食後の食器洗いのため1人で作業中、食器の入ったカゴを持ち上げてシンクに入れようとした時、床が濡れていたため、足を滑らせてバランスを崩し、持っていたカゴで左胸部を	50	713	2	30~ 49

			強く打った。				
2017	1	9～ 10	調理室内で大鍋からやかんにお茶を移す作業において、満杯になったやかんを後ろの台へ乗せ、別のやかんを棚へ取りに行く際、横に移動しようとしてつんのめり、右足に体重がかかり、右膝を負傷した。	47	417	2	10～ 29
2017	1	14～ 15	施設内デイルームにて、椅子に座り下向きに屈んで、利用者の手足の爪切りを行っている時、利用者に突然げんこつで一撃され、防ぐ事が出来ず、胸を受傷した。	67	911	90	10～ 29
2017	1	9～ 10	給食室の電動型フードスライサーでキャベツを切っている時、フードスライサーの先端にキャベツが詰まってしまい、詰まったキャベツを取り除く為のレバー（一度破損した為、業者により修理してあった）を上げようとし、破損させてしまい、右手で押し込んだ際に中指先端を回転している刃で負傷した。	50	165	8	30～ 49
2017	1	16～ 17	施設機械浴の浴場で、入浴後の利用者に乗せるストレッチャーを取りに行こうとした際、濡れているタイル床面で滑ってしまい、後ろ向きに転倒そうになり、咄嗟に後頭部を守ろうとして手をついた。	52	416	2	50～ 99
2017	1	15～ 16	児童のお迎えの時、集合場所にて、子供たちを整列させようとしていた。整列しない児童を走りながらつかまえようとした時に後方に雪山があり、つまずいて後ろ向きに腰をひねりながら転んでしまい、左腰骨を骨折した。	66	719	2	—
2017	1	9～ 10	デイサービス利用者宅に送迎に行こうと運転中、利用者宅周辺の坂道の路面が凍結していた為、塩化カルシウムを探そうと車外に降りた際、路面の凍結のため足元が滑り転倒し、尻もちをついた後、右肘の内側を強打し、尺側側副靭帯を損傷した。	25	719	2	100 ～ 299
2017	1	7～8	自宅から訪問看護宅へ向かう途中、対向車道路は路面凍結したことによりスリップし、横滑りをしながら正面衝突となった。	31	231	17	—
			調理室において、蛍光灯の電球を交換するめため、高さ1.2Mの脚				

2017	1	14～ 15	立の上に立ち、電球の取り換え作業中に、脚立上部の留め金が外れて、脚立が足元から徐々に広がり、脚立の踏み台がくの字に折れ曲がった凹みに右足をはさまれ、右足の薬指を骨折し、右足の外側面に挫傷を負った。	31	371	7	10～ 29
2017	1	8～9	利用者の方をトイレに誘導中、同利用者に右足脛の横を蹴られ、右側腰部に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	68	719	19	—
2017	1	9～ 10	敷地内で送迎業務中、施設到着時に車両から玄関方向へ移動していたとき、地面が凍結しており、足を滑らせて転倒した。	48	419	2	10～ 29
2017	1	11～ 12	病棟内の廊下にて、座位姿勢の入所者に当該職員が両手首を捕まれた状態で入所者が後方へ寝転がったため、前方へ曲げる姿勢となった。そこへ別の入所者から、後方左腰部へ頭突きを受け、右前方へ倒れ込んだ。その時腰の痛みはあったが居室へ戻り、高所にある鍵を取るときに痛みを感じ、元の場所に戻す際には激痛がはしり動けなくなった。	50	921	90	300 ～ 499
2017	1	8～9	訪問介護サービスにて、事業所から現場へ電動自転車で移動中（小雨で路面は濡れていた）、坂道に入るため左へカーブした際、スリップして転倒しそうになり、左足で踏ん張ったが踏ん張りきれず転倒し、左足が自転車の下敷きになり負傷した（左足関節脱臼骨折）。	53	362	17	1～9
2017	1	8～9	施設厨房入口のスロープで、厨房で沸かしているお茶の確認をする為にスロープをくつ下で急ぎ踏んだところ、滑り右足をひねって骨折した。	53	417	2	30～ 49
2017	1	5～6	洗濯室の排水口が詰まり、フロアまで水浸しになっていたため、あふれた水を除去する作業中に足を滑らせ転倒し、足を骨折した。	78	417	2	30～ 49
2017	1	18～ 19	子どもの夕食の後片付けの時、雑布を洗う際、食堂外の洗い場に出る時、廊下とベランダの間の段差の所に置いてあったステンレス製の物干竿を踏み足を滑らせ転倒した。通常、物干竿は置いていないが、強風雪のため降ろして置いてあった。当初は軽い捻挫程度	65	417	2	10～ 29

			とっていたが、骨折であることが分かった。				
2017	1	10～ 11	洗面所にて利用者の髭そり介助中、中腰にて介助を行い、姿勢を正そうとした時、腰に激痛がはしり、そのまま動けなくなってしまった。	25	921	19	—
2017	1	10～ 11	利用者ご自宅駐車場から車までの移動介助中で、後ろ向きに車椅子介助をしていた時に溝があり、蓋がされていない事に気付かず右足を落とし、両手は車椅子を持ったままで臀と腰部を強打した。	34	418	2	10～ 29
2017	1	10～ 11	事業場内の利用者居室にて、被災労働者が、体幹保持できない利用者のベッドから車椅子へ移乗を介助していた際、この利用者の左足が滑ってずれたため落ちないように支えたが、この利用者のお尻の位置がベッドや車椅子の座面より低い位置となった。そこで被災労働者は、車椅子への移乗を介助するため力を込めて同利用者の身体を持ち上げたところ、腰部に違和感を感じ、酷い腰痛が生じた。	26	921	19	30～ 49
2017	1	15～ 16	利用者宅にて訪問介護支援終了の退室間際、玄関に向かう途中の廊下歩行中、自身の不注意でくねってしまった。（自宅内床材変更工事後でフローリングが非常に滑りやすい状態だった。）	49	921	19	1～9
2017	1	17～ 18	厨房のコンビオーブンに入居者様の食事を入れようといつも通りに開けた途端、高温で一瞬にしてやけどを負った（不注意によるもの）。	63	911	11	1～9
2017	1	11～ 12	前方より両手をつなぎ、認知症高齢者を誘導中、介護士の右腕、指などを強くつかみ捻る等され、右腕と指を負傷した。	41	911	90	—
2017	1	10～ 11	施設内の利用者様の居室内において、ベット上でオムツ交換しているとき、交換を終えて左側臥位の状態で肌着等をあげようとしたとき、ぎっくり腰となり負傷した。	32	911	19	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	お客様宅でのサービスが終了し、原付バイクで自宅へ戻ろうと走行中、対面通所可能だが、狭い道路と狭い道路の交差点で飛び出し確認のため道路の真中付近へ寄ったところ、対面から進んできた自動	72	231	17	10～ 29

			車と正面衝突して転倒し、右足と頬を打った。				
2017	1	0～1	利用者の自宅へ数カ月に亘り介護サービスを行う為に訪問していた。その利用者が結核を患っていたことが判明し、保健所より検査を依頼された。検査の結果、結核が発症しているとの診断を受けた。	67	911	90	—
2017	1	16～17	グラウンドで大縄跳びをしていた子どもたちと一緒に、かけ足で放課後児童クラブの施設玄関に向かう途中、手に持っていた大縄が足に引っかかったことにより転倒し、左手首を強打し骨折した。	58	379	2	—
2017	1	11～12	職員が、利用者宅へ業務の為に訪問し、庭先を歩いているときに、縁側にいる利用者の姿に気を取られ、足元の植木につまずき転倒し、庭石に左足を強打して骨折した。	53	712	2	500 ～ 999
2017	1	7～8	敷地内を徒歩で移動中に、地面が凍っていたため滑って転倒し、右足首を負傷する。	21	719	2	50～ 99
2017	1	16～17	院内プレイルームにて、リハビリテーション業務として担当児とトランポリンを跳んでいた。手をつないでトランポリンを跳んでいた際にバランスを崩し、トランポリン上で双方とも転倒し、同時に互いの頭部同士を強打した。	33	911	3	10～ 29
2017	1	8～9	利用者宅へバイクで向かう途中、踏み切りの手前でブレーキをかけたが、停まりきれず転倒した。	50	231	2	50～ 99
2017	1	13～14	入居者の居室内にて、車椅子からベッドへ移乗介助をしようとした際に抵抗があり、右手人差し指を強く握られひねられた。無理に離そうとすると入居者が内出血等のケガをしてしまう可能性があった為、手を離してくれるのを待っていた。	40	911	90	10～ 29
2017	1	9～10	車で利用者様の送迎時、右折しようとした際に前方から車が来たので、左の道にバックで入ろうとしたところ、左側の住宅の壁に衝突し、首の右側を痛めた。しばらく様子を見たが、首の右側の痛みが強くなっていった。	24	418	17	30～ 49

2017	1	8～9	当施設内台所において、食器を洗おうとシンクの前へ行く時、右足の甲へ左足がからまり転倒し、痛みが強くて動けなくなった。	62	921	2	10～ 29
2017	1	17～ 18	利用者宅より事務所へ帰ろうと自転車で移動していた所、道路の曲がり道でゆるやかな登り坂を上ろうとしペダルをこごうとした時にペダルを踏みはずし、右に倒れて両手をついて倒れ、左手首にひびが入った。	62	231	17	10～ 29
2017	1	8～9	保育室の掲示物がはずれていたのを直そうとして、据え付けの棚の2段目で足を滑らせて落ち、右肘を脱臼する。下に園児たちがいた為、その上に落ちないように無理な姿勢で右手で自分の体を支えたために怪我をした。	48	379	1	10～ 29
2017	1	16～ 17	デイサービスの介護職員である被災者は、外出レクリエーションでセンターのイベントに、利用者の方をお連れした際、4Fのイベント会場からエレベーターで下りるとき、エレベーターの開閉作業を行っていた。利用者の一人が、車いすに乗っている他の利用者の車いすを押してエレベーターに乗る手伝いをしてくれた際、右足を車いすで轢かれ負傷した。	55	362	7	1～9
2017	1	10～ 11	1件目利用者宅訪問後、2件目利用者宅に到着した。普段は車を駐車し利用者宅玄関へ通じる急な坂道へと続く私道を歩いて向かうが、この日は積雪により路面が凍結していた。いつも通り車を降りて移動しようと数歩歩いたところで右足が滑り、そのまま右上肢が下になる姿勢で転倒した。その際、右手にプラスチック製の硬く四角いファイルケースを持っており、転倒時にカバンが右身体の下になり、ちょうどカバンの角の上に肘から下が乗り、自分の体重が右肘とファイルケースにのりかかり、右肩は路面に打ちつけた為、右肘部分の骨折となった。	51	417	2	50～ 99
2017	1	10～ 11	介護老人保健施設食堂にて、利用者へお茶の配膳を行っていたところ、テーブルの足に引っ掛かり転倒し、右膝を床に強打する。	66	911	2	500 ～ 999

2017	1	18～ 19	夜まで勤務し、帰宅するため職員駐車場へ向かった。職員で雪かきはしていたが、圧雪と夕方の冷え込みで滑りやすくなっており転倒し、その際に右手をつき手首を痛めた。しばらくその場に座り込み、気分が悪くなってきたので園に戻り、救急搬送された。	56	719	2	10～ 29
2017	1	9～ 10	デイサービスご利用者様の補聴器の交換が必要となり、隣接しているサービス付き高齢者向け住宅へ歩いて行き、施設へ帰る途中で地面の圧雪に足を滑らせ転倒した。右足の足首に強い痛みと腫脹があり、右足足関節骨折と判明した。当日は大雪のため積雪があった。	61	719	2	10～ 29
2017	1	10～ 11	特別養護老人ホームの浴室にて、入所者がシャワーキャリーに浅く座っていたので、深く座ってもらうため、座り方を直そうとした際、2人介助で、入所者の背後から脇の下に手を入れて抱きかかえようとしたところ、腰が痛くなった。	22	921	19	50～ 99
2017	1	9～ 10	デイサービス利用者宅で利用者の迎え業務中、利用者を送迎車に乗車させた後発車しようとしたところ、積雪の影響で車輪が空回りをした。そこで、除雪のため降車し車両後部に積んでいたスコップを取りに歩いて移動した際、雪面に足を滑らせ転倒し負傷した。当時、雪面は凍結していた。	61	417	2	—
2017	1	10～ 11	特殊浴室にて、利用者の特殊入浴介助中、利用者をストレッチャーで特殊浴槽へ移動させた際に、左手を浴槽内に入れたまま昇降スイッチを押してしまい、左手が挟まれた様になって打撲してしまった。	47	391	7	100 ～ 299
2017	1	18～ 19	宿直勤務の為、病棟室に向かう廊下の扉から外にある霊安室の戸締りの確認に行こうとしたところ、スロープが凍結しており、足を滑らせて後ろに転倒した際に左手をつき、手首に圧がかかり激痛がはしり、骨折となった。	56	719	2	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	廊下で滑り、左手をついた。	44	417	2	10～ 29

2017	1	9～ 10	利用者Aを介助中、利用者Aが急に背中をのけぞった為、利用者Aが床に頭を打ちつけないよう、手を差し伸べたときに腰に痛みを感じた。時間の経過とともに、腰から右足にかけて、痛みと痺れがひどくなった。	52	921	19	50～ 99
2017	1	16～ 17	勤務中、入所者の体位変換を行っていたところ、突然バキッと音がして、激痛がはしった。	34	921	19	50～ 99
2017	1	6～7	当法人の認知症対応共同生活介護事業所内において、入居者のトイレ誘導作業中、ホールから「助けて」という悲鳴が聞こえたので駆けつけたところ、男性入居者（認知症、要介護2）が女性入居者を殴りつけようとしていたため、止めようと間に入った際、男性に顔を拳で殴られ左目を負傷した。	45	719	6	30～ 49
2017	1	14～ 15	小上がりの畳上で足をおろして横になっている利用者を起こそうとしている看護師を手伝おうと近づいたところ、利用者の身体の緊張が強く、看護師とともに倒れてしまった。その際、利用者が目の前にあったオーバーテーブルを掴んで倒れ、はずみで手を離れたオーバーテーブルが足の上に落ちた。	23	379	4	50～ 99
2017	1	15～ 16	託児所内保育室において園児を椅子に座らせる為に手洗い場からの移動中、園児を抱いたままで反転した際に体勢を崩し、右膝を捻挫した。	34	921	19	100 ～ 299
2017	1	17～ 18	被災労働者は、当保育園内の便所で用を足してドアをあけて出るとき、柱（木の柱）の角に左足があたり、小指を負傷した。そのとき靴下は履いていたが、スリッパを履いていなかった。	27	391	3	30～ 49
2017	1	9～ 10	介護老人保健施設3階の廊下を、職員用更衣室に向かおうと歩行中に、床面についた足を誤って踏み違え、ひねって転倒した際に右手をついてしまった。起き上がったときに外傷はなかったが、右の腕と手が動かない状態になった。	57	417	2	50～ 99
			デイサービス利用者様を迎えに行き、自宅前廊下で利用者様を車イ				

2017	1	8~9	スに乗せようとした際、利用者様にいきなり髪の毛を?まれ強く引っぱられてしまった。首が勢いよく後ろに反ったため強い痛みを生じて、首を動かすことができなくなった。	29	719	19	—
2017	1	13~14	利用者宅の浴室で入浴介助中、利用者を車椅子からシャワーチェアに移動させる際、利用者様を抱きかかえたとき、左腕にバキッという音とともに痛みがはしった。	66	611	19	1~9
2017	1	8~9	利用者様の送迎のために早朝出勤し、職場の駐輪場で自転車をひいて歩いていたが、凍結のため激しく転び、ひざを強打した。なかなか立ち上がれず、出勤して来た職員に抱きかかえられ、玄関内へ移動してもらった。	60	719	2	30~49
2017	1	16~17	放課後児童クラブの教室内で、ケガをしている子供の介助をしている時、外遊びを終えて帰って来た子供が使っていたテニスボールを教室入口から中に投げ入れ、それが右目に当たった。	56	379	4	—
2017	1	14~15	当施設において介護業務に勤務し、被介護者を車椅子などから抱え上げたり、ベッド上での体位変換等の行為が長期間継続的に続き、腰への負担となり発症した。当日、被介護者を抱え上げようとしたときに痛みがはしった。	36	921	19	50~99
2017	1	8~9	デイサービス施設にある花壇に散水するため、花壇横にある水道蛇口やホースを準備中、バランスを崩して転倒し、左橈骨頭を骨折した。	59	419	2	50~99
2017	1	13~14	勤務する寮の対話室前の居室にて、利用者の尿失敗の対応中に、畳を動かして処理をするため尿をよけて畳を動かしていたが、片足のバランスが取れず、転倒した際に膝をひねり、強い痛みを感じる。	46	417	2	—
2017	1	16~17	お客様を探しながらスーパーの駐車場に戻る途中、坂道の交差点を青信号で渡っている時に足が引っ掛かり、転倒して膝をつき、立ち上がろうとしたときに膝折れした。当初は打ち身で膝をすりむいた程度と思っていたが、痛みが増し、後日、打撲ではなく骨折と診	71	417	2	50~99

			断された。				
2017	1	9~ 10	グループホームの女子利用者の部屋に掃除に入ろうとしている時に、男子利用者が後ろから付いて来ていたので急いで玄関から入ろうとし、濡れた土間で足が滑って右手に折りたたみ椅子、左手にアイロンの入った袋を持っていたので受け身もとれず転び、左の膝と左腕を打撲した。	56	418	2	30~ 49
2017	1	18~ 19	弊所施設内の食堂において、利用者が食卓に座る為の椅子の介助作業を行っていたとき、椅子にかけた状態でテーブルに近づけるために前方へ移動させようとしたところ、椅子が滑りにくく、体重（55kg）もあり重いので左足を使って移動させようとした。その際に左足膝に負荷がかかり、同部に激痛が発生した。	60	921	19	1~9
2017	1	14~ 15	1階浴室にて高齢者の入浴介助中、浴槽からあがった高齢者を手引き歩行にて介助をした際に、高齢者が滑り止めマット上で突然歩行が不安定になったため、高齢者を保護しようとしたが間に合わず、一緒に転倒してしまった。転倒した際に体の左側を下にして高齢者の下敷きになり、浴室の床で腰を強打した。	58	999	6	50~ 99
2017	1	16~ 17	子供たちとだるまさんが転んだをしていたとき、小走りをして急に止まろうとした際に後ろに滑り、とっさについた右手と背中を強打した。	66	417	2	10~ 29
2017	1	13~ 14	人工透析を終えたお客様を病院から自宅へ同行援助をしていた時、お客様をタクシーから車イスへ移動介助する際に、お客様がめまいを起こし倒れそうになったので、とっさにお客様の全体重（60kg）を腕で受け止めてケガを防いだ。翌日、お客様を受け止めた右手に力が入らなくなり、腕も上がり腰にも痛みが出るようになった。	38	921	19	30~ 49
2017	1	16~ 17	利用者の介護をするため居室へ移動している途中の介護職員室前にて、介護士と並んで歩いていて二人とも同じ方向へ曲がろうとした際、左隣の介護士の右足に引っかかってしまい前に転倒した。	63	921	2	50~ 99

2017	1	14~ 15	洗濯室の畳の部屋で洗濯物をたたみ、両手で持って立ち上がり、室内の物干し竿にかかってある足マットを取るため、洗濯物を右手で抱きかかえるようにして持ち、左手でそのマットを取り、体勢を被服室側に変えたところ、畳の部屋の床の段差を踏みはずして転倒し骨折した。	46	417	2	30~ 49
2017	1	10~ 11	施設内の汚物室の中で、注射器に漂白剤を入れて尿道カテーテルを洗おうと管から注射器を差し込み、流し込んだが入らず、跳ねかえってきて目に入った。	21	514	12	100 ~ 299
2017	1	11~ 12	浴室内で掃除のために特殊浴槽横の洗剤を取った時、腰に痛みがはしった。我慢しながら掃除を続けていたところ、激痛に変わり動けなくなった。	33	921	19	10~ 29
2017	1	17~ 18	ヘルパーとして家事支援を行う為、訪問先アパート隣に車を駐車し、アパートへ向かう際、駐車場のチェーンを跨いだ時に後ろ足の右足をチェーンに引っ掛けてしまい、バランスを崩し左足首を負傷した。	69	417	2	10~ 29
2017	1	16~ 17	5階の居室トイレにて、ズボンの着脱介助中にバランスを崩し、右膝からボキッと音がし、右膝に痛みが出て力が入らなくなってしまった。	62	911	19	30~ 49
2017	1	10~ 11	避難訓練中に、園の上の畑の端にある石段で、石が少し湿っていたことにより滑って転倒し、右足の足首を骨折した。	52	413	2	1~9
2017	1	9~ 10	当ホーム事務室で出勤時のタイムカードを押し、同一敷地内のグループホームB棟へ向かう途中、ディサービスフロアーの入口で足をすべらせ転倒した際、右手首関節を骨折した。	64	418	2	10~ 29
2017	1	15~ 16	園庭で外遊びをしている際、走ってきた5歳男児とぶつかった。後ろからだったため体勢を崩し、鉄骨にぶつかり股関節を骨折した。	55	911	6	10~ 29
		19~	夜勤業務中、ホールで利用者を見守りしていたとき、強度行動障害の特性があらわれる利用者が急に不穏になり、右頬を殴られて襟元を				50~

2017	1	20	掴まれたため、離そうとすると左腕を反対方向に曲げ上げられ、右頬を打撲し、左肩を捻挫した。	33	911	6	99
2017	1	17～ 18	食堂にいる利用者を部屋に誘導する作業をしているとき、2名の利用者を誘導した後、小走りで食堂へ行く途中で急に左足ふくらはぎが痛くなり、歩けなくなった。食堂で全体会議があるため作業を急いでおり、小走りになってしまった。	41	921	19	50～ 99
2017	1	13～ 14	事務所へ書類を持って行き、自分の持ち場へ戻る際に小走りに走っていたところ、事務所と老人ホーム建物の間の通路にある雨水ますの段差でつまずき、右足首に捻挫・骨折を負った。	35	417	2	30～ 49
2017	1	7～8	朝、職員昇降口から入り、廊下を小走りで更衣室に向かっているとき、左足を捻った。咄嗟に廊下に設置している手摺を掴んだので転倒は免れたが、左足に若干の痛みがあったため、湿布を貼って仕事を続けたが、痛みが強くなり、その後、左第4中足骨基部骨折と診断された。	57	417	2	50～ 99
2017	1	13～ 14	保育園内の保育室外デッキ下の通路にて、保育室トイレ（子供のトイレ）のビニール（ゴム）製で重みのある大きめのトイレマットを棒ずりで水洗いし、側にあるフェンスに持ち上げてマットをフェンスに干す際、左側腰に激痛がはしった。動くのが困難であったが、保育室内では子供達が午睡中であったため大声で助けを呼ぶことが出来ず、やっとの思いで室内に入り、そのまま動けず、激痛で何もできなかった。	44	611	19	10～ 29
2017	1	8～9	デイサービス玄関で叫び声があり行ってみると、利用者を抱きかかえた状態で被災者が床に横たわっていた。本人は膝部に痛みがあり立ち上がれず、救急搬送となった。後で本人に確認すると、玄関を一段上がったところで利用者に手すりを持たせ、後ろに回って靴を脱がせようとしたところ、利用者がバランスを崩し、そのまま後方へ尻もちをつく形で倒れたとのことである。なお、利用者に	58	921	19	10～ 29

			怪我はなかった。				
2017	1	8~9	玄関前で御利用者を送迎車から降ろす為、運転席から車の後方を回った際、路面が凍結しており滑って転倒し負傷した。	42	417	2	100 ~ 299
2017	1	12~ 13	園の行事もちつき大会の片付け中、園児用テーブルをセッティングしようと組み立てようとした際に、手を滑らせてテーブルを左足親指の上に落としてしまう。	34	379	4	—
2017	1	18~ 19	入浴介助後、利用者（男性48kg・全介助・車いす）を洗い場から車いすに移動させる際、新人職員が上半身、私が下半身を抱え、「1、2、3」の声かけで利用者を持ち上げた。その際、不慣れな新人職員では力が入らず、利用者の体重のほとんどを私が支えたため、腰がギクッとなるのを感じた。当日は痛みを感じながら業務を継続し、様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	60	921	19	100 ~ 299
2017	2	23~24	当社施設内の3階居室内において、入居者からトイレの希望がありベッドから車椅子に移乗する際に、両手を使って持ち上げるために力を入れたところ左手親指から左手首にかけて痛みが走った。	55	921	19	30~ 49
2017	2	20~21	職員玄関で、自宅へ帰宅するため駐車場へ向かう時に、職員玄関を出てすぐ雪道で滑り転倒した。腓臓と腎臓の間にあった腫瘍が転倒の影響で内出血を起こした。	66	719	2	50~ 99
2017	2	9~10	出社して事業所に入ろうとしたところ、玄関前に落ちていた氷塊を踏んでしまい転倒した。地面に左手をついた際に骨折した。	64	719	2	10~ 29
2017	2	10~11	現場を見て、確認出来るものはないが、本人の証言によると、災害当日、利用者が、車両から降りる際、本人に抱きつき、対応しきれず、体に負担がかかったという事である。持病もあり、連鎖的に、弱かった部分に負担がかかってしまったことによるケガとなる。場所は、駐車場である。現場は、雪が積もり、足元は、滑りやすい状況であった。	56	719	19	—

2017	2	22~23	入所者が興奮し、イスを振り上げ、テーブルを壊し、更にイスを職員へ振り上げ、投げつけようとした為、施設長が、止めようと職員と入所者の間に入った際に、足を滑らせて、転倒し、本棚に頭をぶつけてしまった。知的障害の入所者からの攻撃をよけようとして転倒したとのことである。	63	911	2	10~ 29
2017	2	15~16	厨房で夕食の調理が終わり床モップ掛け清掃後に作業台の拭き取りをしようと布巾を持って歩行中に左足を滑らせ転倒した時に右膝を床に強打して負傷した。	68	417	2	30~ 49
2017	2	6~7	トイレで利用者の排泄介助をして車椅子に移乗し、正面にしゃがんで、フットレストの調整を行ってから、立ち上がろうとした時に右膝をねじったようになり鋭い痛みがあった。痛みがあったが、隣の利用者の居室まで、車椅子を押して移動し、他の職員に来てもらって状況を説明して介助を引き継いでもらった。その後は、介護職員から安静にして受診する様に指示があり、受診した。	34	921	19	—
2017	2	6~7	敷地内駐車場で車を停めた後、玄関まで歩いている時、路面凍結しており、滑って転倒した。	41	719	2	10~ 29
2017	2	18~19	夕方の送迎でデイサービス利用者を自宅に送り届けた後、次の利用者宅に向かうため送迎車を添乗者のバック誘導で駐車場から道路に出ようとして車両が後進していた時、窓を開放していたが車内の利用者の話声で誘導者の声は届かず、外灯のない状況で視認されず添乗者が強く車体を叩いたところで気づいて停車したがステンレスの柵と車両の間に挟まれ右大腿部と膝を負傷したものである。	49	231	7	50~ 99
2017	2	17~18	日頃から障害児の対応に苦慮しながら、足腰に負担が掛かりながらの勤務。その中で今回DS利用の障害児の送迎の際、他職員との行き違いがあり、出発時間を大幅に過ぎていた。焦って自分の車のカギを持ち車に向かおうと右脚を軸に振り返り、左足を地面についた際、左脚ふくらはぎに激痛が走った。雪面ということと時間がおしていたこともあり足に力が入った。痛みをこらえそのまま勤	47	921	19	—

			務したが、翌日病院受診、肉離れと診断される。				
2017	2	11~12	勤務地である介護老人保健施設の地下1階にて、デイケア利用者の入浴介助を終え、車椅子用の特別浴槽室から退室する際、水で濡れた床で左足を滑らせ転倒した。	58	417	2	50~ 99
2017	2	9~10	グループホーム1階において、車椅子から利用者に移乗する為に抱えたところ、腰に激痛がはしりしばらく動けなくなった。	38	921	19	10~ 29
2017	2	5~6	入居者をベッドから車いすへ移動させようと介助していた時、左膝に力が入り過ぎ痛めたものである。負傷当日は大したことがないと思ひ様子を見ていたが、翌日になって腫れてきたので受診したものである。その後、同じ病院で数日通院し、多少の痛みは有ったものの働いて様子を見ていたが、一向に良くならないため違う病院で治療を受けたものである。	39	719	19	10~ 29
2017	2	14~15	交差点において、本人が運転する車両が一時停止の標識の認識を怠り、同交差点に進入してしまった。当時、本人が運転していた車両の速度は30~40km/hと思われる。尚、本人は、衝突直後の記憶がなく、相手車両の運転手の方が救急車を手配し、そのまま病院へ緊急搬送された。	25	231	17	1~9
2017	2	8~9	出勤のため、介護施設の駐車場に到着し、自動車から降りて数メートル歩いたところで、アイスバーンになっていた路面で滑って転倒し右足を負傷した。	49	719	2	10~ 29
2017	2	7~8	利用者宅に向かう前に、事務所に薬を取りに来た時、事務所の玄関を出たところスロープで滑って転倒し負傷したものである。（スロープに雪が積もっており、下が凍結していた。）	59	719	2	50~ 99
2017	2	18~19	会議が始まる前に駐車場に停めてあった自分の車から物を取りに行く為、サンダルを履いて小走りに車へ向かっていた途中、サンダルが脱げ前のめりに転倒し頭をアスファルトの地面に強く打ちつけてしまった。	58	417	2	50~ 99

2017	2	18~19	老人介護施設にて介護員として就業中に、利用者の食事介助をしていたところ、隣に座っていた別の利用者に左腕を引っ張られ、左手が車椅子に激突してしまった。	54	911	3	30~ 49
2017	2	17~18	訪問介護利用者宅でケア終了後、退出時に玄関でドアを閉める際に、ドアノブをきちんと閉めたか確認のため振り返った時に玄関先の段差で躓き転倒し、肋骨を骨折した。	60	417	2	50~ 99
2017	2	9~10	利用者の居室内ベッドにおいて、利用者をベッドの頭側へ移動した際に腰部に痛みを感じた。	29	921	19	10~ 29
2017	2	8~9	自宅より徒歩5分程先の駐車場で縁石（車止め）に躓き転倒し、左足を骨折した。	65	417	2	1~9
2017	2	23~24	当事業所（居宅介護事業所）の利用者様宅で、当事業所ケアセンタースタッフ（ヘルパー）が、車椅子に乗っていた利用者様を車椅子からベッドに移乗させようとして、利用者様の身体の両脇を被災者の両腕で抱えようとしたところ、利用者様の足が滑ってしまい、その際に被災者の左腕に利用者様の体重がかかり、左腕の付け根と左肩を負傷してしまった。	45	921	19	50~ 99
2017	2	17~18	用車でお客様宅に訪問介護に向かう途中、信号のない交差点で停止中に、後方から相手方（第三者）車両に追突され体を強打して負傷した。	38	231	17	—
2017	2	12~13	居室において、利用者を車イスからベッドへ移動する際、ベッドに浅く移動したことにより、利用者がずり落ちそうになり、それを防ぐため自身の右足で落下を防ごうとしたが、支えきれず利用者と共に床に座った際、腰を打ちつけた。	53	911	2	10~ 29
2017	2	6~7	職場の周りの歩道を歩いている時、路面が凍結しているのに気付かず滑って転倒した。その際、右手から地面についたため、右手首を打撲した。	49	417	2	300 ~ 499
			ケアハウス厨房内で、ガス台に上がりダクトのフィルターを取り付				

2017	2	18~19	<p>けていたところ、床に転落し、被害者左側前頭部を打ちつけた。</p> <p>無意識のうちに両手で頭部をカバーしたため、診断名は左右両手首の骨折である。</p>	57	391	1	50~ 99
2017	2	5~6	<p>利用者の居室のベッドサイドで、被災労働者ともう一人の職員が、利用者をベッドからフラットにした車椅子に平行移乗する時に、車椅子のシートがベッドより少し高かったため、利用者の下に敷いていたバスタオルごと両手で利用者を持ち上げてスライドさせた際、「ブチッ」と右腕より音がして、強い痛みを感じた。</p>	46	921	19	50~ 99
2017	2	11~12	<p>介護老人保健施設にて入所者F様の痰吸引を手伝ってほしいと看護師に依頼され、F様の両手を支えていた。F様が痰吸引を嫌がり暴れてしまい、支えていた被災者の右手を強く掴む。その際右手に痛みが走った。業務を中断し、病院を受診。右母指靭帯損傷にて約1カ月の安静を要する見込みであるとの診断。</p>	29	921	19	100 ~ 299
2017	2	8~9	<p>利用者の送迎の為、車を運転し、交差点に差し掛かった時、右より交差点に進入してきた車が有り、急ブレーキを掛けたが間に合わず相手方車体の後輪付近に激突した。衝突のはずみで相手車両が、左手より交差点に進入しようとしていた車両Bに当たり止まる。</p> <p>(当時路面凍結有)</p>	36	231	17	50~ 99
2017	2	3~4	<p>仮眠室（床より約4cm高くなっている畳）夜勤中の休憩時にコールが鳴り、靴を履こうとした時、前傾姿勢で右方向へ転倒し、負傷した。</p>	57	921	2	10~ 29
2017	2	16~17	<p>駐車した車より利用宅に向かう時、庭先のとび石に足を滑らせた。サンダルを履いていて手にバインダーを持っていた為手がつけずに足、腕、胸を打ちつけた。コンクリートに体を打ちつけて立ち上がることが出来ない状態であった。</p>	58	417	2	30~ 49
			<p>調理室のシンクにおいて、食器の洗浄作業を行っていた際、洗浄の泡に紛れてシンクの中で割れた食器があったことに気付かず作業をしていたため、シンクの中で触れた際に右手小指の付け根を約2cm</p>				

2017	2	13~14	ほど切傷した。即時病院を受診し縫合処置を受けたのち帰園し、調理以外の雑務に就き、就業時間まで勤務した。しかし病院から1週間ほど調理業務に携わらないように言われたため、翌日より休業したものである。	41	379	8	30~ 49
2017	2	11~12	被災者は、当法人施設内の1階女性寮のトイレにて、しゃがんだ姿勢で利用者の着替えを手伝っていた際に、利用者が突然立って突進してきた為、被災者は転倒し、斜め背後にあった扉の角に頭部を打ち負傷した。	29	921	6	30~ 49
2017	2	20~21	当施設内特別養護老人ホームC棟2階トイレにて、利用者のオムツ交換作業準備のために棚の上部にある清拭用ボトルを取ろうとした際に、濡れていた床に足を滑らせ転倒した。転倒時に、体を支えようと左手を床につき負傷した。	50	417	2	100 ~ 299
2017	2	14~15	クリーニング工場の作業場において、製品を結束する結束機（バーが回転する）のすぐ横にゴミ袋をかける鉄のフレームが置いてあった。本人がその横で製品を積んでいたところ、別の職員が結束機を使用した際、バーが鉄のフレームにあたり、その勢いでフレームが本人の左脇腹に直撃した。	44	169	6	10~ 29
2017	2	15~16	当運営施設へ自動車で向かう途中、交差点において、安全確認を怠り、一時停止をしなかったため、左側から垂直に走行してきた車に、衝突され、車が横転し、首を負傷したものである。	63	231	17	—
2017	2	16~17	児童が遊ぶ公園で、児童の遊びや行動を見守っていたが、遊ぶ友達がいない1年生の女の子と「階段鬼ごっこ」をやることになった。1年生の女の子は、その1人であったため、支援員が、その子と2人で遊ぶことになった。その「階段鬼ごっこ」をやり、階段を掛け声とともに移動する際、階段の「杭」に右足の靴が引っ掛かり、右足の甲で着地してしまった。	54	413	1	—
			自社施設入居者宅室内において、就寝介助のため、認知症状のある				

2017	2	18~19	入居者を誘導していたところ、所持していたPHS（ナースコール）が鳴り、入居者がそれを取ろうと掴みかかり、突き飛ばした。その際、転倒しそうになり、右手を床についてしまった。また、立ち上がった後も右手を掴まれ捻られたため、負傷したものである。	66	719	90	10~ 29
2017	2	6~7	男性利用者様をベッドより車椅子へ移乗したことにより腰痛となった。	62	921	19	50~ 99
2017	2	15~16	デイサービスの利用者（要介護5）を送り、車椅子から2人でベッドに移乗する際に、敷いているバスタオルを持ち上げ、ベッド上に乗せた際に、足側を持っていた当該労働者の腰部に負担がかかり、“グキッ”と音を感じ、痛みを覚え、翌日になり痛みが悪化したため病院を受診した。原因として、持ち上げるタイミングやバランスが悪かった。持ち上げる姿勢が悪かった。背中中のバスタオルがずれていた。	69	921	19	10~ 29
2017	2	14~15	校外活動のため、児童を指導中インラインスケートを行っている際体勢を崩し、右手をついてしまった。右手をついた際、右手首を骨折してしまった。	44	417	2	1~9
2017	2	16~17	当社施設内において、帰宅しようとしていた時に、職員用出入口の段差（10cm程度）に左足つま先をぶつけてしまい負傷した。	67	418	3	1~9
2017	2	17~18	利用者のケアを終え自転車で移動中、歩道を右側からスピードを出した自転車に出会い頭衝突し、自車は右側に転倒し右肘と腰部を打撲する。	35	362	17	10~ 29
2017	2	11~12	デイサービスでの入浴介助中、利用者様を車椅子より機械浴用のチェアに移乗した際、腰から背中にかけて痛みと違和感を感じた。痛みが引かないので病院を受診した際、腰椎椎間板ヘルニアと診断される。	51	921	19	50~ 99
2017	2	11~12	訪問介護利用者宅に向かうため、自転車で走行中にトラックが猫か何かを避けようとして激突した。	26	362	17	—

2017	2	14~15	本館2階において嘔吐物を処理して次亜塩素酸を散布し清掃した後、湿っていた床で左足首を捻りながら転倒し負傷した。左足首捻挫1週間ほど休業予定	54	417	2	100 ~ 299
2017	2	13~14	当老人ホーム本館一階の食堂内に於いて電気が切れていることに気づき、交換作業をしようと脚立の一番上まで登ったところ、誤ってバランスを崩して後ろ側に転落し、頭に打撲、出血を負ったものである。	65	371	1	30~ 49
2017	2	5~6	利用者様の起床介助中、利用者様をベッドから車イスに移乗しようとして抱えて立った時に右手に痛みが出た。その後、激痛になり手が上らなくなった。	32	921	19	50~ 99
2017	2	18~19	保育園駐車場にて入り口ゲートを移動するため両手で持ち上げたところ、腰に強い痛みを感じ負傷したものである。	85	921	19	—
2017	2	10~11	一般浴槽に利用者様の脇を抱えて入れようとした時に入浴槽の内側の段で足を滑らせ、足が下に落ちる時に左側の親指が引っ掛かり、反り返って骨折した。	53	416	2	30~ 49
2017	2	14~15	入居者を車イスから肘掛椅子へ移設後、その場で落とした自分のネームプレートを拾おうと身を屈めたところ、突然右ひざが折れ曲がったようになり、その場で動けなくなったものである。	43	999	19	1~9
2017	2	13~14	介護施設内で被介護者（男、86才）を車椅子からベッドに補助しながら移動させる際に、バランスが崩れ被介護者が落下しかけた。とっさに抱え確保した時に被災者の腰に加重がかかり腰椎を圧迫骨折した。	71	921	19	1~9
2017	2	10~11	居室にて利用者の方へ市街地外出活動の出発を伝えている時に、利用者が手を振る動作で行かないことを訴えた。伝えている際に利用者が興奮状態となり、制止したところ右足に力がかかりパキンと音がして痺れを感じた。時間が経過し痛みが増したため後日受診した。その後も痛みが続いていたため再受診し右足第5指末節骨骨折と診断された。3週間の安静加療を要する。	43	921	19	50~ 99

2017	2	11~12	調理室においてキャベツの千切りをしていた。誤って包丁で左示指第2指骨と第3指骨の間を切ってしまった。	39	364	8	30~ 49
2017	2	14~15	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅から入浴車（お客様宅駐車場に駐車）へ排水モーターと排水ホースを運んでいた際、途中にあった階段で右足首を捻り踏み外し、両手がふさがっていたため左膝から落ちて地面に強打し、負傷した。	31	413	2	10~ 29
2017	2	11~12	排泄介助のため、ベッド横のポータブルトイレへ移乗介助を行ったが、体の小さい方だったが重心を低くせずに行ってしまったために、腰を痛めてしまった。	44	911	19	—
2017	2	6~7	キッチン前で作業していて、キッチン内にいた利用者様が怪我をしてはいけないと思いお声掛けしたところ、利用者様に右の耳から首にかけて数発殴られ顎の下が切れて出血した。通院が休診日だった為、翌日受診し頸椎捻挫と診断された。	48	911	7	50~ 99
2017	2	17~18	校庭で女兒2人と築山の周りでリレーをしていた。2回戦の走り始めの数歩で左足着地の際に膝がぐにゃとなり転倒し、左膝が激痛のため横になっていたものの息を整え座った。足の曲げ伸ばしが困難で足の付け根などにも違和感があり、歩行も困難な状態となった。転倒した際に砂利に両手をついたため擦り傷あり。	27	417	2	—
2017	2	13~14	施設内にて、入居者をベッドから車イスに移動する介護中に、入居者をベッドから立ち上がらせようと持ち上げた際に、腰に鋭い痛みが走った。	65	921	19	30~ 49
2017	2	22~23	特別養護老人ホームで夜勤介護業務従事中、電気ポットを倒し中に入っていた熱湯を足に浴び受傷した。	33	514	11	50~ 99
2017	2	15~16	入居者の入浴後、洗濯物を干すためにリビングのカーテンレールに掛ける際、身長が低いのでリビングにある椅子に乗って掛けようとした際に、左足に加重がかかり「グギッ」と音がし、膝折れして立てなくなった。	61	521	7	10~ 29

2017	2	5~6	夜勤中に、3F入居者の男性（約44kg、認知機能に障害がある方）がベッドの上で暴れていたため部屋に入ったところ、入居者が、右大腿部に湿布を貼ることを希望されたため、ズボンを下ろした時、再び暴れ出して被災者の左手首を掴み強い力で引っ張り振り回された。そのため、被災者の左腕に痛みがあり力が入らなくなった。	46	911	90	50~ 99
2017	2	18~19	保育園幼児保育室にて保育中、園児と一緒に玩具の片付けをする為、歩いている時に床に落ちていた玩具木製ドミノ倒し（基尺約4cm）のパーツの階段を誤って右足で踏み、そのまま右側に体が倒れ、右足をひねり骨折をした。	50	611	2	30~ 49
2017	2	14~15	3階の廊下にて、入所者の生け花教室の準備のために、新聞を両手で抱えて食堂まで急いでいたところ、ナースコールが鳴り慌ててしまい、足がもつれ転んでしまった。その際に手をつけずに倒れたため、体重が左足にかかり左足を骨折した。	66	921	2	—
2017	2	9~10	当施設ユニット内トイレで入居者様の、トイレ介助にて車イスから便座に移乗した際、座りが浅かったので奥深く座ってもらおうとして、力を入れた時入居者様の体重がかかり腰に痛みがはしり、全く動けなくなり受傷した。	52	719	19	50~ 99
2017	2	8~9	訪問介護サービスの提供のため利用者宅へ伺うと、居室で利用者様が椅子から滑落し床に長座位の状態でご居られた。声掛けをして椅子に座ることを介助しようと、利用者の正面に立ち、向き合っ肩を貸そうと前屈みになったところ、腰部にゴキッという音と共に激痛がしてその場に座り込み動けない状態となり負傷した。	48	911	19	—
2017	2	4~5	施設内3階共有スペースにて、入居者の歩行付き添い中、歩行中の入居者がよろめいたので、両肩に手を添え支えたが、咄嗟のことでバランスを崩し、入居者を抱えたまま後方へ尻餅をつき転倒した。転倒の際、右手を床につき2人分の身体を支えた拍子に手首を捻った。	39	921	2	10~ 29
			知的障害者の日中活動支援の昼休みの場面で利用者の好きなやりと				

2017	2	13~14	りの最中にバランスを崩して転倒しかけた利用者をフォローしようと両手を持って支えようとしたところ強く引っ張られ右手首を捻る。その後痛みが引かないため整形外科に通院し、靭帯損傷との診断を受ける。	38	921	19	—
2017	2	10~11	学童1組教室の照明器具蛍光灯の交換をする為、照明器具下にトイレで使用した脚立を移動させ登って作業しようとしたところ、留金が十分に固定出来ていなかった為、脚立が開きバランスを崩してしまい床面に落下した。手首と腰を強打した。	58	371	1	10~ 29
2017	2	7~8	コインパーキングで定期巡回の介護へ行っている際に同行者の介護士が会社の軽自動車でコインパーキングにバックで車を駐車しようとしていた。一番左端のコインパーキングの為、車から降りる際に壁とドアの間が狭い為、先に車から降りた。その後、車が壁にぶつかりそうなので、コインパークの中に入り「オーライ、オーライ」と誘導していた。その後、車が急な勢いで壁側に来て、私は壁側に立って誘導していたので、車と壁に挟まれ左足の太ももが肉離れした。	39	231	6	100 ~ 299
2017	2	6~7	夜間勤務中にお客様からの10回のコールがあり、その都度階段で3階から1階へ急ぎ駆け付けていたが勤務後に足の腫脹・疼痛あり。	46	413	19	—
2017	2	17~18	デイサービス利用者を自宅へ送り届ける際、車椅子に乗せたまま玄関前設置の段差解消スロープを上がる時に、車椅子のティッピングレバーに右脚をかけ、左足を後方に置いて、前輪を上げる動作の為、右足を踏み込んだ。その際、左足のふくらはぎに力が入り、「ブチッ」と音がし、急激な痛みが走った。	46	362	19	—
2017	2	12~13	食事介助終了後、下膳時に腰をかがめた時、腰に鈍い痛みが走った。その後、少し歩くうちに腰に強い痛みがはしり、介護を別の職員に代わってもらう。何とか車で自宅に帰宅したが歩行困難となり、身内に病院まで送迎してもらう。	57	921	19	100 ~ 299
			庭にある物置からゴミ出しの作業をしている際に、ゴミの重さでバ				10~

2017	2	7~8	ランスを崩し転倒した。右足首両果部を骨折した。	64	611	2	29
2017	2	16~17	入居者様のトイレ介助後に入居者様の体を支え車椅子に座って頂くため、車椅子の移乗介助をした際に左足の力が抜けてしまう。その後痛みが酷くなり左の膝が曲げられなくなってしまった。	40	921	19	—
2017	2	15~16	地下の廊下を清掃中、滑って転倒し、その際手をついてしまった。その後手に激しい痛みを感じたので整形外科に受診した。手首の骨折と診断を受けた。	68	417	2	100 ~ 299
2017	2	15~16	作業所前にて、木片を組み合わせた自主製品の材料切り出しの為、丸鋸を使って一人で角材を裁断する作業をしていたところ、右手が丸鋸に巻き込まれ右手人差し指切断、右手中指不完全切断・骨折、右手薬指不完全切断、右手親指裂傷したものである。	49	131	7	10~ 29
2017	2	4~5	入居者居室にて、排泄介助拒否があり、なかなか行えなかった。体を上の方へ持ち上げ、体位変換を行った。その後立ち上がる際に、腰がパキッと鳴った。ベッドが最低床で行っていた。	39	921	19	30~ 49
2017	2	23~24	事業所内移動中、階段を下りる際左足をひねってしまい、負傷した。	76	413	2	10~ 29
2017	2	16~17	保育中、遊んでいる児童（1~3年）の安全見守りをしていた際、2年生男子2人にそれぞれ腕を掴まれた。時間を確認するため、左腕を振り払おうとした際負傷した。	22	921	19	10~ 29
2017	2	15~16	自転車で走行中、バランスを崩し右方へ転倒し、左示指骨折と左前頭部打撲を負った。	32	362	2	1~9
2017	2	14~15	園児の散歩のため、勤務地より移動中、草木の茂ったところを歩いている時に蝉が飛来し、園児をかばおうとした際に右前腕を刺されてしまった。	23	719	90	10~ 29
2017	2	12~13	デイサービスの洗面台前に於いて利用者の口腔ケア後利用者がふらつき右へ転倒、急いで介助するも及ばずに共に転倒した事故である。右肋骨・腰部を負傷した。2日間は痛みを我慢して出勤したが	68	417	2	100 ~

			腰痛がひどくなりその後休業した。					299
2017	2	18~19	2階建て施設の屋内階段を下りてくる際に下から来たスタッフとすれ違う。狭かったため身体を寄せた際に足を滑らせて2~3段すべり落ち、最後の段で右腰を強打する。しばらく動けず立とうとすると激痛が走り、座ることができない状態になる。	62	413	1		10~ 29
2017	2	10~11	3F談話室にて急変した入居者様の蘇生処置を行った際に膝を床についた状態で作業をしていた為ひざが擦れ、その後、炎症を起こした。	47	911	19		10~ 29
2017	2	14~15	厨房内で料理の盛り込み後、伝票を取るために厨房内にあるデスクへと移動する際に、デスク前にて躓き、左下側へ転倒した。股関節辺りに痛みがあり、立てなくなった。	58	417	2		1~9
2017	2	12~13	自転車で送迎車を取りに行くため、事務所から事業所前の駐輪場に向かおうとしたところ、事務所前で足を滑らせ、手を地面に打ちつけて負傷した。	73	417	2		10~ 29
2017	2	14~15	剪定作業で出た枝をトラックの荷台に載せようとトラックに乗ろうとした時、蹴り上げた方の足（左膝）に痛みが走った。	61	221	3		50~ 99
2017	2	11~12	当社営業所デイサービス施設浴室内で、利用者の入浴介助のため腰をかがんで前屈の姿勢で機械浴用イスのフットレストを持ち上げる時に、腰に強い痛みが走り負傷した。	43	362	19		30~ 49
2017	2	11~12	調理室で冷凍里芋を包丁で切っている時、まだ里芋の解凍が少ししかされていない状態で、切ろうとしたため、里芋が滑ってしまい、バランスが崩れ、包丁で左手薬指腹部分を削ぎ落としてしまった。	41	364	8		30~ 49
2017	2	18~19	ホーム内の食堂で夕食が終了し、利用者を順番に就寝のため部屋へ誘導していた。窓側の利用者に声掛けに行こうとした時、床が濡れていて右足が後ろに滑り、そのまま右膝が床につくように転んだ。	39	417	2		100 ~ 299
			弊社敷地内にて送迎車両（1BOX車）の後部座席の清掃をし運転席					

2017	2	16~17	側後部のスライドドアから降りた後、ドアを閉めたが5cm程開いており、閉まらないだろうと思い運転席ドアの後ろに塵取りを持った状態で左手を置いていたらスライドドアのイージークローズ機能が動きドアが閉まり、ドアの間にあった左手小指が挟まり、左手第5指を裂傷と末節骨を骨折した。	62	231	7	10~ 29
2017	2	11~12	居室にてベッド脇にあるポータブルトイレに座っていた利用者をベッドに移乗しようとしたところ、腰から右足にかけて痛みが出る。	44	921	19	100 ~ 299
2017	2	14~15	入浴の介助をする準備のため、脱衣場で作業していたところ、床が濡れていたところに気付かず足を滑らせてバランスを崩し、咄嗟に手を床について転倒を防ごうとしたため、手首を捻挫した。	48	419	2	10~ 29
2017	2	11~12	園児と一緒に滑っていた。カーブを曲がったところで、バランスを崩し、両手をついて転倒した。右手のみ痛みが強く、リンクから降りて、休んでいた。しばらく経っても痛みがひかず整形外科を受診し、骨折と判明した。	60	418	2	30~ 49
2017	2	14~15	一階特浴室内でチェア浴槽を使用し利用者の入浴介助をしていた時、チェア浴槽から入浴用車いすに乗った利用者（総重量約72kg）を出浴させる作業中に、入浴用車いすの引手を引いて車いすを引き出そうとしたところ、足が滑り、浴槽タイル床に尻餅をつき、第11胸椎圧迫骨折したものである。	72	416	2	50~ 99
2017	2	8~9	デイサービス送迎のため利用者様宅前の敷地と歩道の間立って待機していた。敷地と歩道の間には段差があり、段差に気付かず上に立っていた。階段から下りられる利用者様を見上げつつ動きだしたため、足元を見ていなかった。右足に体重をかけたところ、体が傾き足を捻った。	49	417	19	50~ 99
2017	2	11~12	利用者様をベッドから車椅子に移乗する準備をした時、バランスを崩し後ろ側に倒れ込み負傷した。	20	921	2	30~ 49
			当施設、デイサービス内掲示板に本日の献立を記載するために、椅				100

2017	2	8~9	子の上に上り記入していたところバランスを崩し、30cm位の高さより左手首を捻った状態で転落し、受傷したものである。	64	371	1	~ 299
2017	2	0~1	居室にて、ベッド上で仰臥位になっている入居中のN氏のオムツ交換をするため、右腕をその方の脇に、左腕を両膝裏に入れ、体を動かそうとした時に、左腕に激痛が走った。	62	921	19	10~ 29
2017	2	9~10	利用者を迎えに行くため、施設の玄関方向に小走りで言った際、慌てていたため滑って転倒し右足首を痛めた。	27	417	2	1~9
2017	2	17~18	利用者様をご自宅に送り、車イスからベッドに移乗させる際、利用者様の頭が胸部に強くぶつかった。痛みが日に日に強くなったため受診したところ、胸部骨ヒビと診断される。	46	911	6	10~ 29
2017	2	17~18	商品管理センターにて使用済みの福祉用具（置き型手すり）のメンテナンス作業を行っていた。手すりの土台部分の鉄板（20kg程度）を作業台へ移動させる為、持ち上げようと力を入れた際、腰に痛みがはしった。	45	921	19	—
2017	2	10~11	利用者宅の玄関から出て3m程歩いた先で、高さ50cm程の木に足を引っ掛けてバランスを崩して転倒した。その際に右手薬指を地面に突いた。それに伴い指先が曲がり、出血した。	39	712	2	10~ 29
2017	2	13~14	施設2階利用者居室内の床清掃を水モップにて行い、濡れた場所をクロックスを履いて踏んだ際、足を滑らせ右足首を捻り体勢を崩し前向きに転倒した。その際手にモップを握っていたため手をつくことができず、顔面を強打した。	56	416	2	10~ 29
2017	2	13~14	ショートステイの洗濯室でバケツに入っていた消毒液を誤ってこぼしてしまい、床を全部拭き取り新しい消毒液を作ろうとしたところ、水が少し残っていたため滑って転倒し左手を床につき捻挫した。	65	416	2	30~ 49
2017	2	15~16	0才児保育室にて乳児をおんぶしていたが、おやつの時間となったため、下ろそうとした。その際、乳児が嫌がり、暴れたので落下	58	921	19	—

			を防ごうと無理な体勢となり、右肘を損傷する。				
2017	2	14~15	バイクで北に直進中、最初の交差点にて、右方向一旦停止で乗用車が停止したのを確認して直進したが乗用車が出て来て、避けきれずにバイク後輪付近に接触し、転倒する。	49	231	17	100 ~ 299
2017	2	14~15	ご利用者の入浴介助のために、浴室からご利用者居室へストレッチャー（約20kg）を運んでいたところ、自分の右足親指の上にストレッチャーの前タイヤが乗かってしまう。痛み、出血があったが、自分でガーゼで保護し業務を続けた。約3ヵ月後、右足親指から膿が出て、青紫色に変色していたため皮膚科を受診する。飲み薬で軟膏の処方があったが、1ヶ月経っても効果がなく、整形外科へ受診し、右母指挫創陥入爪と診断される。	22	362	7	100 ~ 299
2017	2	13~14	フロアに有るテーブルの前で椅子に座っている利用者と立膝をつき談笑をしていた。その際、テーブルの後方に有る洗面台を利用していた男性がふらつき転倒しそうになったので、とっさに立ち上がり男性の背後から抱え込むように抱き上げた際、左肩に激痛を感じた。	38	921	19	50~ 99
2017	2	6~7	前月より就業していた。当月、移乗介助中入居者とともに転倒した。その後腰痛が次第に悪化した。入浴介助・移乗介助という業務は避けられず、翌々月の起床時は特に腰の痛みがひどかった。何とか出勤していたが、その後も痛みが続くため病院を受診した。入浴介助業務は、1日6名、1人約20分程で、基本的には1人で行うが、腰痛があったため2人で行うよう対応した。中腰で抱きかかえるように風呂に入れていた。移乗介助業務は、約40~55kgの型をベッドから車椅子へ移乗していた。	49	921	19	100 ~ 299
2017	2	9~10	入居者の方の居室にて、シーツ交換を行っている際、ベッドの端からしわを伸ばすために、右腕を伸ばしたところ、肩をひねり右肩を脱臼した。	59	921	19	10~ 29
			非常階段を、2Fフロアから1Fのデイサービスへ行くため降りてい				

2017	2	15~16	る時に階段を踏み外した。その時に、左足首に負荷がかかり、ポキッと音がし床へ体の左側を下に落ちた。	51	413	1	10~ 29
2017	2	16~17	利用者が、デイサービスを行う場所から居室へ向かう時、ふらつき倒れそうになったため、駆け寄り利用者を受け止めた際右母指が利用者の左脇に当たり負傷した。	40	921	19	10~ 29
2017	2	16~17	児童クラブにて保育補助業務に従事中、屋内で児童とボール遊びをしていたところ転倒し左手首を複雑骨折した。	67	921	2	—
2017	2	17~18	施設室内で自閉症の利用者がパニック状態で落ち着かせる為、見守っていたところ急に利用者が立ち上がり30cm段差がある場所上から下に突き飛ばされた。	54	921	90	30~ 49
2017	2	10~11	障害者支援施設でトイレ介助をしていて、利用者が急いでいたため、本来リフターで移乗する利用者を一人で横抱きで移乗した際に腰に激痛がはしった。他に支援者がいなかったため一人で介助してしまった。その後も一人で他の利用者のトイレ介助を続けた。その後、布団のシーツを外して13室分をまとめて抱き上げた際、再び腰に激痛がはしった。	37	921	19	50~ 99
2017	2	18~19	訪問先にて利用者様の体位変換を行った際に右膝に痛みが発症し歩行が困難になった。	40	921	19	—
2017	2	9~10	特別養護老人ホーム共同洗面所において、清掃タオルを絞る際、強くしぼり過ぎ左手親指を捻り、被災したものである。	35	921	19	50~ 99
2017	2	8~9	野菜の納品後、検収室で白菜の芯を削ごうとした時手が滑りペティナイフで左示指末節を切った。	44	364	8	—
2017	2	8~9	朝、送迎時、利用者様自宅敷地内で、家人も自宅におられ、戸締りの必要がなかった為、先にカバンを積み込もうと歩きながら持ち物を確認中、スロープと駐車場の段差5cm程に気付かずバランスを崩した時に左足首をひねり転倒した。	43	418	2	10~ 29
			陶器用の土を製造するボールミルという機械を操作している時に、				

2017	2	14~15	ボールミルの直径0.8mの回転する円柱状の部品にある土の投入口を、上にくるように電源の入切により当該部品を回転させ調整するところうまく出来なかった為、手動にて当該部品を回転させたため、その重量により頸部等に負担が生じ受傷した。	33	162	19	10~ 29
2017	2	10~11	在宅介護の仕事を終えて、利用者様のガレージからバイクでエンジンをかけずに後ろ向きに出ようとした時に、後ろ向きに進行していた相手方の車と衝突し、転倒して負傷した。	61	231	17	30~ 49
2017	2	0~1	特養入所者定期検診にて、入所者が結核陽性判定後、約2ヶ月半、結核性疾病にて入院加療していた。それ以前の職員の定期検診では異常無しであった。入所者の結核罹患を受け、当月に特養職員血液検査が実施され、結核陽性反応が出た為、紹介状を貰い翌月精密検査を受け、その翌日、電話にて結核性疾病を通知され結核専門の病院を紹介により受診し、即日入院となった。	37	911	90	50~ 99
2017	2	15~16	特養施設へ書類を届ける為、進入口よりバイクで左折した。後方より車の音がしたので左側に寄ろうとしてバイク前輪が縁石に接触した。身体が歩行道路に飛ばされてしまった。左肩から激突し、左膝も裂傷した。近くにいた高校生が病院へ連絡してくれ、病院にて初期治療を受けた。左膝は、すぐに縫合を行い、左肩はレントゲン及びCTを撮り、骨折していることが判明した。入院と言われたので自宅に近い医療機関へ転院を希望した。	63	231	17	50~ 99
2017	2	11~12	事業所所有原付バイクで路地を北上中、東から来た小型スクーターと四つ角の中心辺りの出会い頭に衝突した。小型スクーターが原付バイクの前カゴ部に右側から当たった為ハンドルが取られ、右側に転倒し、右膝外側と左足首内側を打撲した。	45	231	17	100 ~ 299
2017	2	0~1	特養入所者定期検診にて、入所者が結核陽性判定後、約2ヶ月半、結核性疾病にて入院加療していた。それ以前の職員の定期検診では異常無しであった。入所者の結核罹患を受け、当月に特養職員血液検査が実施され、結核陽性反応が出た。翌月に精密検査を受	52	911	90	50~ 99

			け、3日間の検査入院の結果、結核菌の陽性反応が出たが排菌が無い為入院はせず、自宅にて投薬開始となる。				
2017	2	11~12	利用者宅訪問後、自転車で事務所へ帰所途中、車道の端を走行していたが、車が来たため歩道に上ろうと縁石に乗り上げる時にタイヤがスリップして転倒した。	59	921	2	—
2017	2	9~10	就業地であるサービス付高齢者向け住宅にて当月下旬から介護サービスを受けていた利用者が疥癬に感染していることに気付かず利用者に対して通常の介助をしていたため感染が拡がり、当月末頃には痒みの症状が数名のスタッフから出た。最初の利用者が受診した結果、疥癬と診断された。疥癬が疑われるためスタッフが当月末に病院を受診し検査したが認められず、翌月初めの再受診の際に疥癬に感染していることが判明したものである。	60	719	12	—
2017	2	13~14	園庭にて、子供達の外遊びを監督中に、後方から三輪車に乗った子供に激突され、そのまま後方に倒れた。その際に、膝の裏を打撲した。	50	362	6	30~ 49
2017	2	13~14	当施設2階利用者N様の介助中、別の利用者Y様の入浴時間になり、準備の為、1階浴室へ行く廊下を早足で歩いている途中転倒し、右膝を骨折する。	70	417	2	10~ 29
2017	2	9~10	当施設本館2階女性棟にて早出勤務で勤務中、A利用者に朝食を提供しその介助をしている時、右側より突然B利用者（他害行為が多い）に顔を殴られ、B利用者の手が右眼に当たり、眼を負傷する。	59	921	99	50~ 99
2017	2	9~10	利用者の首周辺の切創の処置のため、利用者の背後にまわり右足でふんばり、利用者が腰かけているソファに左膝をかけて処置作業をしようとした。ソファの位置を十分把握しないままに、処置の為上記の動作を行ったため、左膝がソファに掛からず、床に左膝が落ち、床に強打した。結果、左膝蓋骨を骨折した。	65	417	2	30~ 49
2017	2	0~1	休憩時間中に職員専用出入口から出ようとした時に出入口付近の段差で右足首を捻り、負傷した。	55	921	19	10~ 29

2017	2	20~21	利用者のトイレ誘導の際、フロアーからトイレへ付き添って歩行していたが利用者に「ふらつき」があったので右腕を持ちながら誘導していた。その際、利用者が手すりを持つとしたが「がくん」と足から崩れ倒れそうになったのを支えようとしたが支えきれず、一緒に床へ倒れ転び足を負傷した。	42	911	2	30~ 49
2017	2	16~17	勤務中、帰苑の送迎の際、送迎車のリフトの動作中に足元を挟んでしまった。（リフトと地面の間に挟まれた。）	28	231	7	—
2017	2	13~14	施設内デイルームで棚に登り壁の掲示物を取り外し、棚から降りるため、椅子の座面に足をかけたところ、椅子が傾きバランスを崩して背面から床に倒れ負傷した。	64	418	1	10~ 29
2017	2	15~16	運動場にて、2年生の男子児童がサッカーをしており、転がって来たボールを拾い上げたところ、ボールを取ろうとした児童に後から急に引っ張られたため、バランスを崩して転倒し、右手首等を負傷したものである。	68	999	2	—
2017	2	17~18	1歳児の保育室トイレにて、こどもの衣類を水洗いしていた。洗い終えた衣類を個人用容器に入れようとした。個人用容器を左手で取った際、並んでいた隣の別の個人用容器が落下した。受け止めようと左手に容器を持ったまま、落下した容器を左肘で押さえた。その際、トイレの壁と個人用容器で左肘を強打し、激痛が起こった。しばらくすると、患部が腫脹してきた。	56	611	3	10~ 29
2017	2	15~16	事務所の机で仕事をしていて、椅子から立ち上がった時に背中合わせで座っていた職員も急に立ち上がった為、ぶつかりそうになり、その時に、転倒しそうになり、左足に力を入れて踏んばった際、左足首に鋭い痛みが走り、動くことが出来なくなり、左足に力が入らなく、歩けなくなった。最初に受診した病院で筋膜炎と診断され、湿布と痛み止めを処方され、痛みがある中、仕事をしていましたが、3ヶ月経っても良くならないので、他の病院で受診したとこ	69	911	19	50~ 99

			ろ、アキレス腱断裂と診断され手術することになった。				
2017	2	11~12	ご入居様をベッドから車椅子にスライドボードを利用して移乗したが、慣れていないものもあり、うまくスライドボードに乗せられず抱えるのに無理な体勢で支えた為に腰部に激しい痛みが生じた。	34	921	19	—
2017	2	8~9	デイサービスの利用者（女性・91歳・38kg）を迎えに行き、廊下で転倒していた利用者を、座位させ、立位をとって頂こうとした時に、腰に痛みを感じた。	27	911	19	—
2017	2	13~14	背中伸ばしを行う目的で日課としてうつぶせ寝を取り入れており、利用者につぶせ寝をさせていた。立ち上がろうとする男性の利用者に左手を伸ばして立ち上がりをサポートしたが、その際に左手首をつかみ強い力でひねられながら立ち上がられ、左手首を負傷した。	41	921	19	10~ 29
2017	2	10~11	法人施設3階トイレで利用者（女性、78歳、介護度4、体重約50kg）をポータブル便器から職員2人で前後（本人が前）から抱きかかえた時に腰に鈍い音がし激痛がはしった。	40	911	19	100 ~ 299
2017	2	6~7	男性利用者居室で離床介助を行った際、右麻痺の方で、ベッドレールを持って立位をとって頂こうとした時、一度立位をとられたがふらつき右に大きく傾いたためとっさに右腕で支えた。その時右肩に強い痛みがはしった。ベッドの高さは立位のとり易いようにあらかじめ上げていた。	46	911	19	50~ 99
2017	2	9~10	グループホームの玄関で利用者を送り出す為、利用者の鞆を持った途端、左腰の後ろ辺りに激痛がはしり、痛みで動けなくなった。	62	921	19	10~ 29
2017	2	20~21	グループホームの台所にて、翌日の朝食の調理のために食材を切っていた際、体勢を変えようとした（右足に掛けていた重心を左足に変えようとした）時に、足を捻ってしまった。	61	921	19	10~ 29
			当保育園一歳児クラスの保育室において、給食中の園児の世話をしていた。園児がおかずをおかわりしたいと言ったので保育室の隣				

2017	2	11~12	<p>なりの調乳室でおかわりのおかずを皿に入れ、両手で持って園児の所へ運ぼうとしていた。給食の時は、持ち運びが出来るベンチ（縦約30cm×横約120cm×高さ約30cm、重さ約10kgウレタンフォーム・合板製、布製カバー有）を並べて保育室を半分に区切り、テーブルと椅子を並べてそこで食事をしている。ベンチとテーブルの間に幅約50cmの通路があり、そこを通ろうとしていた。足元を良く見ていなかった為そのベンチの角で右足つま先（素足）を強打し受傷した。</p>	31	419	3	10~ 29
2017	2	11~12	<p>浴室でご利用様の入浴介助をしていた。この日の入浴されていた方は要介護4~5の方で、2人介助でストレッチャーへの移乗を行い介助をしていた。あるご利用様を入浴用のストレッチャーへの移乗介助を、上半身側を持って行った。その際、左腰に電気のはしるような強い痛みを感じた。</p>	22	911	90	100 ~ 299
2017	2	3~4	<p>利用者の個室で、就寝中のベッド上で体の向きが90度ずれている利用者の向きを直そうとしている時に、利用者の体を尻を軸に動かそうとしたが、利用者の体が不安定で、それを支えようとして腰を痛めた。</p>	25	911	90	—
2017	2	12~13	<p>当日、脱衣室で、車イスからベッドへ移乗介助し、ベッド上で利用者の身体を上スライドさせた時、腰に電気はしたような感じがした。その後、違和感と腰を屈めた時の痛みはあったが、定時まで就業する。ベッドの高さ53cm、利用者身長155cm、職員身長168cm 翌日、入浴介助後に、自分の足を洗い椅子から立ち上がろうとした時、腰の痛みがひどく、その後は足を引きずりながら歩く状態であった。腰痛のため前屈みになれず、服を着替えるのも難しい状況になり、病院を受診する。</p>	48	911	19	50~ 99
2017	2	12~13	<p>研修会場へ行く為に、施設より自身のバイクで向かう途中、左側脇道より急に車が出てきたので避けようとして転倒した。救急搬送となった。（左鎖骨骨折、左足親指骨折）</p>	58	231	2	50~ 99

2017	2	16~17	部屋の床に臥床されている方を看護師2名で（上半身側と下半身側のうち、本人は下半身側を支えて）車椅子に移乗介助した時、左胸部で音がして鈍痛が出現した。	47	911	19	50~ 99
2017	2	6~7	ご利用者様の居室に訪室し、ベッドから車椅子へ移乗する際、右脇腹を痛めたものである。	24	911	19	50~ 99
2017	2	16~17	当日夜勤勤務のため入社後、オムツを確認し不足分のオムツを補うため屋外にあるオムツ庫へ行った。当日は小雨が降っており水溜まりも出来ている状態でありオムツ庫前で転倒し股関節等を強打した。転倒後も立ち上がれず痛みを訴え続け救急車にて病院に搬送した。	42	417	2	50~ 99
2017	2	13~14	施設内で興奮状態の利用者様を対応している時に背中側に作業で使っている机がある状態で、利用者様に突き飛ばされ背中側にあった机で腰をぶつけ、後ろに倒れ込み、右手で支えようとしたら、右手首を捻ってしまった。	23	719	6	10~ 29
2017	2	9~10	フロアのソファに座っていた入所者をトイレ介助のため歩行器に移行する為、立位を取ってもらうため抱えようとして数回試みるも出来ず、渾身の力を入れた時に激痛を感じギックリ腰と思い込み、整体、クリニックへ通院する。	57	921	19	30~ 49
2017	2	15~16	1階女性浴室の階段の手すりを持って（左手）掃除をした際力がかかり左手首を骨折した。右手でお湯の汲み出しをされていて、身を乗り出していた為、バランスを崩した。その時に左手首がグキツとなった。	60	921	19	10~ 29
2017	2	15~16	脱走を繰り返す利用者、ケアホームの玄関で止めようとした時に背中辺りの服を後ろから右手を伸ばして掴んで無理やり止めた時に、凄い衝撃が伝わってきて、ドアにもぶつかって、左側の首・肩・腕に激痛が出た。とても業務が出来る状態ではなく、すぐ病院を受診した。	34	911	19	30~ 49
			他職員が床の水拭き清掃を行っている所を急いで通り過ぎようとし				

2017	2	13~14	た際に、左足を折り曲げ、右足が前に出た状態で滑り、右腕から倒れ込むように転倒したものである。（2Fスタッフルームから第1トイレの前を通り2F出入口へ向かっていた。）	57	417	2	50~ 99
2017	2	10~11	就業場所であるデイサービスセンター1階事務室で、1人で事務室備え付けの壁掛け時計の取り付け作業中（電池交換後高さ約2.2mの元の取付場所に戻そうと、事務室にある椅子に上って作業をしていた）、取り付けに手間取り、バランスを崩し、上っていたイス（高さ約0.4m）から転落する。左下肢を強打し、何とか立位保持可能も左大腿痛にて歩行困難となり、受診し、左大腿骨大転子部骨折と診断される。	52	379	1	—
2017	2	20~21	居室内トイレで男性利用者のパジャマのズボンを変更中、利用者が急に片足を上げた為、利用者の身体を支える為、自分の身体をねじらせたところ、左脇がグキッと痛みがはしり左肋骨を骨折した。	57	921	19	30~ 49
2017	2	14~15	ひな飾りの作品展示のため、保育室に暗幕を張ろうと作業をする。作り付けのロッカー（幅39cm、高さ90cm）の上に、子ども用の椅子をのせて、高所に暗幕を押ピンで留めていたところ、椅子がぐらつき後ろ向きに跳び着地した。着地は成功したが、右足踵の辺りに痛みがはしり、座り込む。すぐに園にいる看護師に応急処置を受け、迎えを待ち、病院を受診する。そのまま入院になった。	55	379	1	10~ 29
2017	2	9~10	グループホーム施設内で高齢者の方をトイレに誘導する為、座っていた椅子から車椅子に移乗しようと、屈んで、高齢者の方を支えて立ち上がろうとした時に腰に痛みがはしり、そのまま床に腰を下ろして座り込んだ。当日は我慢してそのまま終業時間まで就労した。翌日も痛みがあるも出勤した。しかし、右足の痛みが強くなった。以後は自宅で静養した。その後、3日間出勤したが、右足の痛みを我慢していた。次の休日に足の痛みが酷くなり立位も困難になり夕方に受診した。翌日も勤務したがいよいよ痛みが強く	62	921	19	10~ 29

			なったので、その次の日から欠勤した。以後、歩行も厳しい状況となり現在に至る。				
2017	2	9~10	児童のリビングの階段の下から4段目で、階段の部品の片付けをしている時に人（実習生）から呼ばれたため急に立ち上がって降りようとして足を滑らせ、腰から落ちて打撲した。その日に病院を受診したが腰の痛みが強かったため、腰だけレントゲンを撮り、異常が無かった。その後、背中に非常に強い痛みを感じ、病院受診したところ、左の11番目肋骨が骨折していた。	52	413	1	30~ 49
2017	2	10~11	当園保育士は園内でホールで子供達とリズム（運動）をしていた。動いている最中、脚を開いた際、右膝を捻ってしまい、筋を痛めてしまった。	62	921	19	30~ 49
2017	2	8~9	特別養護老人ホームの入所者居室内にて、ベッド上の入所者が足元の方へ、ずり下がっていた為、入所者の体を両手で抱えて枕元の方へ移動した。介護職員1名で対応していた。中腰の状態では腰を痛めた。	41	921	19	50~ 99
2017	2	15~16	施設内機能回復訓練所でデイサービスの利用者を車椅子からベッドへ移乗させようとした時、車イスのステップに足がぶつかり、体勢を崩した。その際、利用者を落とさない様にベッドに移したが、無理に体を捻った体勢で行ったので、腰を痛めた。	38	921	19	10~ 29
2017	2	10~11	保育室で被害者の膝の上に園児が座っていた時、急に園児が被害者の足の上に立ったので園児がバランスを崩し、支えようと抱いたから、左肩を脱臼した。	47	921	19	10~ 29
2017	2	8~9	園児とブロック遊びをしており、一緒にブロックを集めていた時に、フローリングと段差のある畳付近でブロックを踏まないように避けたところ、畳のへりに足がかかり転倒した。園児が近くにおり、園児を避けようと無理な体勢で左側から転倒し左腕と左足を打ちつけ、特に左腕を強く打ちつける。	55	416	2	—
			入所者様のケアが終わり、入所者様の身体が足元に下がっていたた				

2017	2	11~12	め、本人の背と腰の下に自分の手を入れてベッド上方に動かそうとした際に腰に激痛が起こり立っているのも座っているのも辛い状態になった。	31	719	19	50~ 99
2017	2	16~17	脱衣所で車椅子から台の方へ利用者を移乗介助しようと、右足は台の上に左足は床につけて、利用者を抱えた時に左膝から音と痛みがはしり、歩行が困難になった。	36	921	19	100 ~ 299
2017	2	17~18	雨が上がった後の少し湿っている程度の、学童体育第2グラウンド（高齢者コミュニティセンター）で、児童と左手をつないで、一輪車に乗っていた時、児童が転びそうになり、一緒に体勢を崩して、右手をついて、後へ転倒し、骨折した。	25	239	1	1~9
2017	2	17~18	ケアハウス入居者居室にて、通常は歩行している体重40kg程度の入居者が転倒していた。床から自力で立ち上がるのが不能なため、被災者が両手で抱え上げベッドに移行してもらう。その際、左臀部から爪先に掛けて痛みと腰痛が出現した。数日間様子を見ていたが痛みが治まらないため病院を受診し、椎間板ヘルニアとの診断を受け、手術となる。なお業務の影響で約2年ほど前から腰~左臀部~左爪先にかけての痛みが時々あった。	39	911	19	30~ 49
2017	2	6~7	利用者の衣類を居室へ取りに行く時にフロアソファに躓き転倒する。	56	391	2	10~ 29
2017	2	9~10	利用者様のトイレ介助時に、利用者様の背後で自分の左膝の上に利用者様のお尻を乗せ、ズボンを上げようとしていた時にいきなり全体重が左膝にかかりバランスを保てず左腰を痛めたものである。	22	911	19	50~ 99
2017	2	12~13	稼働が終わり、社用車を駐車場に戻し自家用車で就業場所へ社用車のカギを戻して就業場所から自家用車へ戻る際に、縁石に躓きそのまま前方へ倒れ込み手足胸等を強打した。	50	417	2	1~9
2017	2	9~10	コンクリート造りの施設入口にて、入居者様の内服薬を持って行く途中、入口の掃除をしていた掃除機のコードに引っかかり転倒し	65	417	2	1~9

			た。左頬より出血し、左腕を強打する。				
2017	2	0~1	居室内にて、PWC介助中、立位になりPWC迄に移乗中、足を交わせず、介助バーを持ち急に座り込んだ為、職員は突然の膝折れに後方より抱える形となり、腰に痛みと鋭い音がはした。	34	921	19	—
2017	2	11~12	お客様宅にて訪問看護中、お客様を担架で浴槽に移動する際に、後ろにあるテーブルに気付かず臀部をテーブルに強打し負傷した。	40	379	3	30~ 49
2017	2	6~7	消毒マットを取りに階段で2階から1階に下りる際、最後の2段を踏み外し、右手と左膝を強く打ちつけた。右手甲の腫れと痛み、左ひざの腫れがあったため終業後に受診した。	62	413	1	30~ 49
2017	2	16~17	デイサービスの利用者を自宅に送って行った時に、車のトランクからシルバーカーを出し、押そうとしたらロックが掛かっていた為、そのまま、顔から転倒した。	45	362	2	30~ 49
2017	2	23~24	当保育園の園庭にて、園庭から保育室に戻る際、園児を並ばせながら誘導させていたところ、広げていた左手に園児がぶつかり、親指の付け根を捻って親指が逆方向を向いた。	43	911	6	10~ 29
2017	2	13~14	昼食に行こうと施設の入り口を出たところ、右足がブロックに躓き、右側に転倒し右肘を打撲してしまう。ドアストッパーとしてブロックを置いていた。	61	417	2	—
2017	2	12~13	弁当を食べ終えて片付けをしている最中に、側にいたダウン症の子（利用者）が突然走り出したため後を追ったが、その際足元を滑らせて右側顔面を地面に強打した。	63	416	2	100 ~ 299
2017	2	7~8	会社内の外側階段で足を踏み外し、左足首を骨折した。	23	413	2	50~ 99
2017	3	18~19	入居者の室内トイレにて入居者を便座から車椅子へ移乗後、フットレストへの移乗介助を行っていたところ、入居者が車椅子の車輪ロックを自分で外し、車椅子が動いて右足の薬指と小指を踏んで通過した。帰宅後に痛みと腫れがあり、LP関節挫傷との診断を受け	40	362	7	50~ 99

			た。				
2017	3	7~8	施設内のごみを屋外のごみ箱に捨てに行く際、雪がうっすらと積もっており、足を滑らせた。身体を支えるため咄嗟に右手をついたが転んでしまい、ごみ袋を持っていた左手を地面に擦った。	54	719	2	10~ 29
2017	3	11~12	グループホーム屋内物干し場所において、高さ約37cmの椅子を利用し入居者様の洗濯物を干していた際、バランスを崩し椅子から転落し、右肘を身体の下にした状態で落下し負傷した。	65	371	1	10~ 29
2017	3	5~6	救護施設内の調理員専用駐車場に車を止め、正面玄関へ向かって歩いていたところ、早朝の気温低下で凍結した路面に滑り、転倒した際に後頭部を打った。当初は処置等しなくても問題なく勤務ができていたが、その後、意識障害と左麻痺の症状が現れた。	59	719	2	30~ 49
2017	3	13~14	2階に状態不良の利用者がいた。居室内で吸引機を使用するため床頭台のコンセントより50cmほどのコードをとっていた際、その利用者が転院するため居室へ訪問し、おむつ交換と着替えを行おうとベッドに近づいたとき、吸引機のコードに足が引っ掛かり転倒した。その際に右の膝を床に打ちつけ、右足の腫張と変色が生じた。	53	391	2	50~ 99
2017	3	11~12	倉庫内で2枚立て掛けてあったパレット（110cm×90cm）約20kgを別の場所へ運ぼうと2枚一緒に手で押したところ、手前の1枚が倒れそうになったので支えようとしたが、間に合わずにパレットが倒れ、左足親指を骨折した。	57	719	2	50~ 99
2017	3	15~16	納品先で車のトランクから納品の品を下ろしているとき、同僚が本人に気づかず、誤ってドアを閉めてしまったため、左頭部にぶつかった。	37	231	6	1~9
2017	3	14~15	園内の廊下に設置してある棚に登り、展示物の片付作業をしているところ、作業を終え棚から下りる際に踏み台への目測を誤り落下し、左腕手首を強打し負傷した。	52	419	1	10~ 29

2017	3	9~10	居室において、利用者をベッドからリクライニング車椅子に職員2人で移乗させたあと、リクライニング車椅子にヘッドレストを取り付けるため、ベッドの脇に立てかけてあったヘッドレストを左側に体を捻って片手で取ろうとしたところ、腰に強い痛みを感じた。	53	921	19	50~ 99
2017	3	15~16	利用者宅に向かって走行中、わき見運転をしてしまい、道路左側の電柱に激突した。エアバッグが作動し、右腕と胸部を強打し骨折した。	54	231	17	30~ 49
2017	3	17~18	利用者居室にて、利用者を車椅子からベッドに移譲させて横にする際にバランスを崩し、一緒にベッドに倒れ込んでしまい、左足をひねった。痛みはあったが歩行に支障はなく退勤時間まで勤務し、帰宅途中に痛みが増してきた。	48	921	19	50~ 99
2017	3	12~13	利用者居室にて利用者Aをベッドに移乗させるため、電動ベッドの背もたれの角度を変えようと枕元にあるスイッチを取りに行こうとしたところ、ベッドのそばの椅子につまずき、両膝を床に打ちつけた。	54	379	2	30~ 49
2017	3	13~14	学童保育で勤務中、施設内廊下において、子どもが被災者に抱きつかうと走って向かってきた。受けとめた際にバランスを崩し転倒し、床に頭部を強打し、頭頂部に裂傷を負った。圧迫により止血を行い10分程度で出血は止まり、意識もはっきりしていた。	69	911	2	50~ 99
2017	3	8~9	デイルーム脇の非常階段のガラスが割れた箇所を外側から確認するため、非常階段を利用したところ、非常階段が劣化しており、階段を滑って踏み外し、体勢を崩して負傷した。	44	413	1	10~ 29
2017	3	14~15	視覚障害客が市の施設で行われる編物教室に参加するので、その介護のために付き添い、終了後に机、椅子等の片付け作業をしている際、折りたたみ式の机をたたもうと脚の部分をつたんでいるとき、金具の間に右手中指を挟んでしまい、右手中指の先端を骨折した。	58	379	7	1~9
2017	3	14~15	ふらつかれ転倒しそうになった人を倒れないように抱えた際、左手をひねり受傷した。	48	921	19	30~ 49

2017	3	14~15	利用者に配膳をしようとした際、椅子に左足をかけてしまい転倒した。	49	371	2	50~ 99
2017	3	16~17	児童クラブ隣接の校庭で児童達と鬼ごっこをしているとき、追いかけていた児童が突然しゃがんだため、避けようとジャンプし着地のときに右足を捻って転倒し、右膝内側側副靭帯を損傷した。	28	719	9	50~ 99
2017	3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車の助手席側後部座席に乗車していた。ほかに運転者と添乗者の計3名で移動中、車両が片側2車線道路の右車線を走行中に、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、首と腰を負傷した。	43	231	17	50~ 99
2017	3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車に運転者として乗車していた。ほかに2名の同乗者とともに、車両は片側2車線道路の右車線を走行中、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、背部と頸部を負傷した。	39	231	17	50~ 99
2017	3	8~9	施設利用者を迎えに行き送迎車に車椅子を固定している際、石ころに足をとられ転びそうになり、そのとき左足で体重を支えたため、過度に負担がかかり、左足ふくらはぎを痛めた。	66	417	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	野外レク時、利用者の付き添いをしている際に利用者が転倒しそうになったため、それを阻止しようとして先に転倒し、左手を地面につき、左手首を骨折した。	69	999	2	1~9
2017	3	15~16	保育室内中央に設置してある柵（間仕切り）をまたごうとしたところ、柵に足が引っ掛かり転倒した。その際に肩を強打し、肩が上からなくなった。	59	391	2	10~ 29
2017	3	9~10	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅に向かっている途中、狭い道に進入したため入浴車のバック誘導を行っていた際、車の左前方に木の枝がひっかかる可能性があったため手で枝をよけた。車が後退を終えたため枝から手を離れた際、枝が手にあたり、右掌・甲・指全体に腫れ、甲に切り傷を負った。	53	712	4	10~ 29

2017	3	6~7	訪問介護サービスのお客様宅にて排泄介助の際、お客様の呼びかけに応じて急いで振り返ったところ、左足の薬指を椅子の足にぶつけた。	50	921	3	30~ 49
2017	3	11~12	施設内の浴室にて、機械浴での入浴を終えた入所者をシャワーチェアから脱衣場のベッドに移乗する介助を行おうと、入所者の両脇に手を入れて抱えるように立ち上がらせたところ、当該入所者に正面から両手で突き放されるように押され、入所者もろとも後方に転倒した。その際に右側を下にするように倒れ、右肘と右膝を打って痛みを感じ、また腰部にも痛みを感じた。	25	911	2	100 ~ 299
2017	3	7~8	下肢麻痺の体重92~93kgの男性利用者をベッドから車椅子へ移乗の介助を行っていた際、利用者が車椅子からずり落ちそうになり、落ちないように無理な体勢で支えようとしたため腰に負担がかかり、作業終了後に痛みが強くなり、移動するにも手助けが必要なほどの腰痛となった。	42	921	19	10~ 29
2017	3	14~15	交通量が多い県道を自転車で走行中、道幅が狭かったが、自動車の往来が激しかったのでもう少しはじに寄ろうとしたところ、小雨が降っていて路面が滑りやすくなっている状況に加え段差があり、滑って左側に転倒した。	56	239	17	50~ 99
2017	3	8~9	施設内1Fフロアで食事後の服薬介助時、入居者に前方から左顔面、左上腕部、左鎖骨部を殴打され、同付近を足蹴りされる。	44	911	6	100 ~ 299
2017	3	14~15	訪問入浴サービスを利用するお客様宅の庭にて、入浴準備の作業中、庭の凹みに左足を取られ転倒した際、左足首を痛めた。	45	417	2	30~ 49
2017	3	9~10	デイサービスルームより事務所へ移動中、事務所の階段（2段）を踏み外し転倒した。転倒時に右足首を捻り、右肩から倒れこみ頭を打った。	47	413	1	10~ 29
2017	3	16~17	訪問入浴を終え、駐車場に車をまわし、入浴車の後片付けをし、後部スライドドアを左手で閉めようとしたとき、ドアの開閉部におい	48	231	7	10~

			ていた右手人差し指をはさみ負傷した。				29
2017	3	16~17	当社利用施設において、利用者のオムツ交換をするため、車椅子からベッドに移乗しようとして利用者の上体を引き上げた際に、腰に激痛がはしり強い痛みを感じた。	51	921	19	10~ 29
2017	3	17~18	事務所駐車場内にて、帰ろうと駐車場出口に向かい直進していたとき、相手は駐車場に頭から入れていた車をバックさせていた。相手は後方を目視していたが見えておらず、クラクションを鳴らしたが、そのまま相手車左後方部分と当該車の右前フェンダーが接触した。	53	231	17	10~ 29
2017	3	13~14	デイサービスセンターフロアで利用者Aと利用者Bの言い争いがあり、Aを移動させることにした。移動の際、車椅子に乗っていたAに上半身を抱きつかれ身動き不能の状態になったとき、移動先に座っていた利用者CとDが無理に車椅子を移動させようと動かしたため、車椅子のハンドル部分に右脇腹付近を強打した。	41	921	6	50~ 99
2017	3	10~11	学童クラブの庭で児童とサッカーをしている時、ドリブルで向きを変えた児童について動いたところ、右足をひねり転倒した。	58	921	2	10~ 29
2017	3	8~9	施設居室内トイレにて車イスのご利用者様をトイレへ誘導し、車イスから便座へ移乗する際に手首に負担がかかり痛めた。	43	911	19	100 ~ 299
2017	3	8~9	敷地内に於いて、送迎運転準備のため車両へ車椅子を積み込み作業を行った後、通用口へ戻る際に段差を踏み外し転倒した。	53	418	2	10~ 29
2017	3	16~17	当施設内において、利用者のトイレ介助を行おうと車椅子から便座に移動させようと立ち上がらせた際、利用者の立位が安定されなかったため、抱きかかえたまま下へ倒れ込み、尻を床に打ちつけた。	36	911	19	100 ~ 299
			会社の資材置場にて、丸太の整理のため、直径15cm程度の丸太を転がらないように左手で支えながら、チェーンソーで切断していたと				10~

2017	3	16~17	ころ、切断完了時に丸太を支えていた左腕に重さがかかり、体のバランスを崩し、左前腕がチェーンソーの刃にあたり怪我をした。	34	911	19	29
2017	3	15~16	当社がその運営をしている保育室において当施設所属の当社職員が、保育室でおやつの時間に0才児の子どもを抱っこして、テーブル付きのイスに座らせようとしたところ腰に痛みを感じ、そのまま動けなくなった。そのあと痛みを感じながら保育を続けたが、腰に激痛がはしり、ぎっくり腰を発症した。	30	911	19	1000 ~ 9999
2017	3	17~18	保育中、園児のおむつを取るために、2歳児保育室内のロッカー横の廊下を歩いていたところ、廊下に大人2人、子ども3人がおり、通路が狭くなっていた。廊下の台に座っていた子どもが足を動かしており、足にひっかかるのをよけようとした時につんのめり、右膝を床にぶつけた。	67	921	2	30~ 49
2017	3	15~16	外出活動から事業所へ戻る帰り道の一般道路上において、車2台に分乗し前後に並び走行中、追走車が前方不注意でにて前走車に追突し、前走車に乗車していた被災者が腰椎および胸椎を捻挫した。	54	231	17	10~ 29
2017	3	11~12	厨房内で調理中、床が濡れていたため滑って転んだ。	53	417	2	30~ 49
2017	3	8~9	ホールにて卓球部（利用者様クラブ活動）の準備をしている際、卓球台（折り畳み式）2つ折の状態から開く際に、卓球台左右の留め具を外し少し開くも、それ以上は硬くて開かないため、少し開いた隙間に体（右半身）を入れ、両手と右背部で押すがなかなか開かず、さらに力を入れ押したところ卓球台が開き、腰を捻る。	47	379	19	10~ 29
2017	3	17~18	食堂にて入居者の食事介助を行ったあと、立ち上がりその場を離れようとした際、右膝内側を入居者が乗っていた車椅子のアームサポート及びハンドリムに打ちつけてしまい被災した。	36	911	19	100 ~ 299
2017	3	13~14	リビングのステーション内で椅子に座った状態で記録を記入している時に、転倒リスクの高いご入居様が立ち上がられたため、介助に	26	921	19	30~

			入ろうと上体を上げた時に腰部に激しい痛みが生じ、動けなくなった。				49
2017	3	11~12	利用者の自主リハビリの付き添いを終え、リハビリスペースから持ち場に戻ろうとして、置いてあったサイドテーブルの脚に自分の足を引っ掛けてしまい、前方に倒れ込む形で転倒し打撲した。	62	417	2	—
2017	3	8~9	送迎利用の利用者を車へ乗車誘導する際、当該利用者（身長159cm、体重63kg）が車両の階段を上る際にふらつき転倒しそうになった為、利用者の背後に周り腰のあたりを支えようとしたが車両と歩道の手すりの中で僅かなスペースでの作業だったため、無理な体勢となり、腰を負傷した。（被災者：身長157cm、体重56kg）	33	921	19	10~ 29
2017	3	18~19	居室にて入居者の着替えを行った後、ベッドに移譲させようとしたが、入居者が不穩気味だったため、注意深く対応していたが、突然暴れたため、怪我をさせないよう無理な姿勢で支えた際、腰に急激な負担が掛かり、痛みで動けなくなった。	57	911	19	30~ 49
2017	3	17~18	利用者居室内で、寝たきりの利用者（要介護4）の排泄介助終了後に体位変換をしたとき、腰部に強い痛みが発生した。オムツ交換をしている時に腰に激痛があり、痛みが止まらなかった。	33	911	19	500 ~ 999
2017	3	16~17	タイムカードのサインを貰うため階段を下りていた時、最後の一段を踏み外し転倒し、右足首と左膝を捻り受傷した。	53	413	2	10~ 29
2017	3	10~11	利用者様のお宅へ伺うため、マンション前に設置されたエスカレーターに乗る直前につま先がタイルの溝にはまり転んでしまい、腕から倒れ込んだ姿勢となり、左腕を負傷した。	58	417	2	30~ 49
2017	3	15~16	利用者宅へ自転車で移動中、横断歩道を横断しようとした際、自転車を降りて車の通行が途切れるのを待っているとき、駅方向から来た車が停車したため、自転車を押して横断を始めた。そのあと道路の4分の1程進んだところで、駅方向から来た自転車と衝突して転倒し、右腕を骨折した。	55	362	17	300 ~ 499

2017	3	14~15	前方の信号が赤のため停止中、7人乗り乗用車2列目中央に本人が座っているとき、乗用車後方左側に加害者小型トラックが脇見運転の上ノーブレーキで追突した。はずみで乗用車は前方の大型トラックに追突し、本人はその衝撃で一時意識を失うも、同乗者に促され下車し、救急搬送された。	62	231	17	50~ 99
2017	3	13~14	雨天のなか、訪問介護業務のためご利用者宅へ向かい、合羽を着用し市道（山道）を電動自転車で走行中、右カーブ下り坂で転倒した（自損事故）。その際に右側から転倒し、頭部頸部・右肩～右腕・右顔面・左肋骨を打撲し、顎部に裂創を負った。周囲にいた観光客に介抱され、救急搬送された。	45	239	17	10~ 29
2017	3	15~16	転倒の危険がある利用者A氏を連れ、見守りながら業務を行っていた。排泄介助（おむつ交換）の時間となり、A氏と一緒に各居室をまわり、業務を行っていた。居室内でおむつ交換を行っていたところ、居室内で見守りを行っていたA氏が車椅子より立ち上がり、歩き出そうとしているのを見つけたためA氏に近づこうと走り出した瞬間、右足に力が入らなくなり、歩行も困難な状態となった。	55	921	19	50~ 99
2017	3	13~14	最後の訪問看護に向かうため、訪問看護ステーションから電動自動車を運転し、マンション前に停車して荷物を持って玄関に入ろうとしたところ、段差に足をとられてバランスを崩し、反射的に地面についた右足を外側に捻り受傷をした。	30	417	2	10~ 29
2017	3	9~10	お客様宅に介護相談業務に伺う途上、コインパーキング内の突起物に右足がつまずき転倒し、右足首くるぶし部位に左右2ヶ所の骨折を負った。	68	417	2	30~ 49
2017	3	15~16	トイレにて、利用者を車いすからトイレに移動するときに突然、利用者が膝折れし、咄嗟に支えたので尻もちをつかずに済んだが、その咄嗟の動作で腰に激痛がはしった。	47	911	19	100 ~ 299
2017	3	15~16	信号の無い交差点を自転車で渡っている時に、車と衝突して負傷し	60	231	17	30~

			た。					49
2017	3	13~14	事務所で3階から階下へ階段を下りようとした際に、3階の階段の一番上で階段の縁に躓き、足を踏み外し、一番下まで落ちた。	52	413	1		10~ 29
2017	3	11~12	午後の活動が終わり、弁当を買いにスーパーに寄った。弁当売場まで移動したところ、当日雨が降っていて床が湿った状態だったため、滑って後ろ向きに転び、右手を床につき、右手首を骨折した。	63	416	2		100 ~ 299
2017	3	9~10	電気ポットの前日の残り湯を捨てる際に、流しの脇にポット置いてフタをはずしたところ、ポットが倒れ足を火傷した。	52	391	11		30~ 49
2017	3	15~16	当施設内での利用者介護中、利用者をベッドから車椅子に移乗させる際、利用者の両足の間本人の右足が挟まれ、そのまま利用者が倒れ、本人は右足膝関節半月板損傷と前十字靭帯断裂を負った。原因は、危険予測が不十分であったこと、利用者の行動把握ができていなかったことにある。	54	911	90		100 ~ 299
2017	3	16~17	1階活動場所にて活動中に、児童の投げたおもちゃ箱が左足首近くに当たり、靭帯及び神経を損傷した。	53	379	4		50~ 99
2017	3	13~14	浴室で入所者の入浴を支援しているときに、体を洗う前に入所者が浴槽へ向かった。浴槽に入る前に体を洗うため、洗い場へ誘導した際に、足元が滑って後ろに倒れたところ、足首をひねった。	61	419	2		10~ 29
2017	3	11~12	2件目の訪問介護のあと左足に違和感があり、会社の階段の昇降の際に左足大腿部に痛みが発生した。その後、3件目の訪問介護後に痛み急増し、歩行困難となった。	74	921	19		30~ 49
2017	3	17~18	夕食のみそ汁をセットするため、厨房からカート庫へ移動中、配膳を終え厨房へ戻ろうと振り向いた際、扉が閉まりかけているのに気づかず、トレーがぶつかり左脇腹を強打した。配膳中に配膳車が扉にぶつかり、ストッパーがはずれ、閉まって来たと思われる。	61	419	2		50~ 99
2017	3	17~18	介護ヘルパーとして利用者宅で訪問し、介護サービスを提供していた。夕方暗くなってきたので照明をつけようとした際、足元に	68	416	2		10~

			あった花を置く台（高さ10cm程度）につまずき転倒し、右手をつき右手首を負傷した。				29
2017	3	19~20	保育室で新年度の準備をしており、一人で高い所に物を吊す作業をするため、机の上に子供用の椅子をおいて、その上に乗って物を吊そうとした際に足元の椅子がぐらついたため、とっさに椅子から飛び降り、床に足をついた時に足首を負傷した。	24	379	3	30~ 49
2017	3	9~10	避難訓練の際に机の下に入ろうとした際、子供の足に引っかかり、そのまま転倒し右足をひねった。	60	417	2	50~ 99
2017	3	16~17	双方に止まれの標識がない交差点で、デイサービス利用者送迎用の軽四車両を運転中に、左側から車がきていることに気付いたが、距離が近すぎてぶつかると思い、アクセルを踏んで避けようとしたが間に合わず、車両の後部に相手の車両のフロントがぶつかり、軽四がはじき飛ばされ回転し、田んぼに落ちた際に頸部を負傷した。	48	231	17	50~ 99
2017	3	8~9	車で通勤し、従業員駐車場内の右奥から2番目の場所に駐車しているのを確認し、車から降り扉を閉めたのを自車内後ろで目視確認するまで、停車して待ち、その車右側スペースに止めようと、運転席側のドアを開け縁石ギリギリに止めようと目視で下がった。その際、時計をカバンの中から探そうと下を向きながら歩いていた被災者が、バックしてきた車の後方と衝突し、倒れた。	49	231	17	50~ 99
2017	3	13~14	介助後、居室でベッドから降りたときに足をひねり転倒した。	42	416	2	50~ 99
2017	3	14~15	重介助の必要な女性の利用者様を女性介護員2人で介助、利用者様は力が入らず全体重を介助者が支え、全介助（体重49kg）はどの場面でも力が必要である。浴室で車寄せから椅子に乗り換えて介助を行ったのち、浴室を出て休憩室ベッドでおむつ介助し、その際も車椅子からベッドへの移乗、再びおむつ介助後、前かがみの体勢で利用者様を抱えた際に腰部に痛みが発生した。	41	921	19	30~ 49
			優先道路の交差点を直進で進行中、右方向より相手車両が飛び出し				100

2017	3	11~12	てきたが、衝突を回避する事が出来なかった。相手車両との衝突後は脳震盪を起こし動くことができず、救急搬送された。	57	231	17	~ 299
2017	3	18~19	施設3階のトイレで利用者の排泄介助を行っていた際、一緒に介助していた同僚の介護職員が、利用者の尻のマッサージを行いやすくするため、利用者を抱き抱え尻を浮かせた際、腰部に痛みを覚えた。	25	911	19	50~ 99
2017	3	11~12	デイサービス利用者宅へ車で移動中、停止線標識なしの丁字路にて、減速して安全確認をしようとしたが左側に住宅があり、前に出ないと左右の確認が取れない環境と不注意が重なり、前に出すぎて右方向から来た車と衝突し、前胸部および左中指を打撲した。	52	231	17	100 ~ 299
2017	3	13~14	入浴介助のため、特浴室にて2名で利用者をチェアー浴の台車に乗せ、レッグレストを2人で上を持ち上げた際、左手第4指がレッグレストのロック解除レバーに挟まり負傷した。	51	391	7	50~ 99
2017	3	9~10	事務所内で、掃除機のバッテリーをコンセントに差そうと移動しているとき、床でつまずいて転倒し、右足膝の下を打撲した。	64	417	2	10~ 29
2017	3	11~12	園庭にて1歳児の保育をしていた際、1人の園児が園舎に向かって走り出したため、それを追いかけて走っている時に、園庭内の10cm程のコンクリートの段差を踏み外し、左足首をひねり尻もちをつく形で転倒し、左足首から腰部にかけて負傷した。	41	419	2	10~ 29
2017	3	10~11	保育中、園庭で子どもと追いかけてっこをしていて、着地をした時に左足に重心がかかり、左膝がボキッとなり痛めた。	31	921	19	10~ 29
2017	3	7~8	朝の送迎時、利用者宅に向かう途中、十字路の出会い頭でデイバスと乗用車が衝突した。双方の運転手の前方不注意による事故であった。デイバスに同乗していた介護職員がシートベルトのない補助席に座っていたため、全身を打撲し、救急車で病院に搬送される。	64	231	17	10~ 29
			居室にて、利用者様を車椅子からベッドへ移乗した際、協力動作が				

2017	3	9~10	得られず自己の力で実施した。利用者様を前傾姿勢にし臀部を浮かせ方向転換をした際、腰部を中心に激痛がはしり、立てなくなり床に座り込んでしまった。どうすることも出来ず他職員に助けを求めた。	29	921	19	100 ~ 299
2017	3	13~14	施設内トイレにて利用者様を車いすに移乗している時に、狭い中で多少無理な体勢で行い、職員が左手首を痛めてしまう。体重が支えきれずひねってしまい、左手首関節捻挫（TFCC損傷）を負い、2週間程の休業となった。	55	921	19	10~ 29
2017	3	10~11	遊戯室で子どもたちと一緒に走っていた時に滑って転倒し、左手を出して仰向けに倒れ骨折した。	24	417	2	50~ 99
2017	3	12~13	入所者への飲み物をつくっている途中、ポットの湯をプラスチック製の容器に入れて、そのあと容器のフタをし、容器の中に入れてあった粉とお湯をまぜるため容器を手でふっている途中、その容器が割れてしまい、中の湯が飛び散ってしまった。そのとき湯が左手と左手首にかかり火傷した。	20	391	11	50~ 99
2017	3	16~17	児童と校庭で鬼ごっこを行った際、右へ方向転換しようとして左足を踏み込んだ時に負荷がかかり、左足に大きな音と衝撃があり、その場に倒れ込んだ。	34	417	3	10~ 29
2017	3	8~9	入居者送迎のため、他の従業員が運転する車両に同乗し、施設駐車場から出発しようとしたところ、当該車両が急発進し、道路向かいの家屋の壁に衝突した。	75	231	17	10~ 29
2017	3	9~10	利用者宅を出て車で走行中、自宅から出て右折しようとした車に当てられ頭部、頸部、右膝を負傷した。	36	231	17	10~ 29
2017	3	8~9	居室で朝食の下膳時に、ベッドに寝ている入居者の胸にあててあったバスタオルを置こうと足を動かした時、ベッドに横付けしてあった電動車いすのフットレスト部分に足が引っかかり、仰向けに転倒し、臀部と左手首を強打した。	58	417	2	30~ 49

2017	3	16~17	入所者のトイレ介助において、腰を浮かせて立ってもらう際に体勢が崩れかけ、立て直そうと力を入れた。入所者の腕をかけていた首と力を入れた腕に負荷がかかり、首の辺りを痛めた。	31	921	19	100 ~ 299
2017	3	14~15	子ども達とドッチボールをしている時、近距離でボールを投げられボールを取った際バランスを崩し横向きにこけて、左後頭部と左耳下あたりを強打して、頭にこぶがで、歯のかみ合わせの部分がはずれ、銀歯もとれてしまった。脳震盪と診断され、約1週間の自宅安静が必要となった。	50	911	6	10~ 29
2017	3	14~15	施設の浴場で利用者の入浴介助を行っており、入浴後、南向きの手すりまで両手で支えながら立ち上がってもらい、誘導した。その後東側の手すりに声掛けしながら移動してもらい、階段の手すりに持ち替えてもらうときに、バランスを崩して頭から前方に転倒しかけた。その際、左後から利用者の右腹部に右腕を入れて引き上げたところ、右肩と右肘に痛みがはしり、腕を上げられなくなった。	39	921	19	30~ 49
2017	3	8~9	全介助必要な脳性マヒの利用者がトイレ床で排泄を終え、仰臥位になっておりトイレ外の車椅子へ移動する際、利用者が手をばたつかせたのも相まって上手く車椅子へ着地できず、利用者の足がレッグベルトに引っ掛かり、長時間不安定な姿勢で抱きかかえたため、仙脇関節及び胸椎に激痛がはした。	35	921	19	1~9
2017	3	14~15	勤務地（児童センター）園庭で児童と砂場で遊んでいたとき、他児童が鬼ごっこをしており、つまずいて背中に飛び乗って来た。その際に被災職員は中腰だったため、尻もちをつき受傷した。	56	921	19	1~9
2017	3	17~18	利用者（発生場所）の支援を終えて次の利用者宅へ移動する時、エンジンをかけてバイクを押して歩いていた時にアクセルが開いて暴走し、引っぱられて転倒した。	57	231	2	50~ 99
2017	3	18~19	利用者宅で、利用者を車椅子から便座に移乗中に腰を痛める。	39	921	19	10~ 29

2017	3	14~15	当事業場内にて職場の引っ越し作業中、床上にあるソファを運搬するために同僚と共に持ち上げたところ、腰に強い痛みを感じた。	25	391	19	500 ~ 999
2017	3	13~14	詰所前で少し早歩きしているとき、右足先をつまずき足がもつれて床に胸から倒れた。時間がたつにつれ胸部と左腕が痛くなり、左腕は肩から上にあがらなくなり、胸は力を入れると痛むようになった。	49	417	2	50~ 99
2017	3	12~13	訪問介護生活援助で買い物代行サービスを実施中、バイクにて利用者の自宅に戻る途中で車進入止めのU字ポールの間をバイクにてすり抜けようとした時、U字ポールに右足下腹部を強打し、打撲圧迫による切創を負い出血した。	65	231	17	10~ 29
2017	3	18~19	施設内浴室にて入浴介助で手引き歩行中に左足を捻挫した。	51	999	19	50~ 99
2017	3	17~18	清掃業務の合間に、施設を利用している児童とキックベースをしている時に、飛んで来たボールを補給しようとして、右側に足を一步踏み出した際に、右足指に肉離れを起こした。その後、療養中に同個所に蜂窩織炎を発症した。	58	921	19	300 ~ 499
2017	3	15~16	サービス利用者をベッドに座らせて横にしようとしたとき、左下腿に激痛が生じた。	42	719	19	50~ 99
2017	3	18~19	利用者自室の洗面台で介助中、利用者が転倒しそうになったのを支えようとしたところ、一緒に転倒してしまい、自身の腕が下敷きになり受傷した。	72	911	2	1~9
2017	3	16~17	訪問介護業務の為、車にて利用者宅で空地に車を駐車後、利用者宅へ向かう際溝蓋につまずき、左前かがみに転倒し、左大腿骨を強打する。	64	418	2	1~9
2017	3	7~8	車両点検清掃の際、脚立を使い拭いて降りた時、足が外壁工事中の足場に引っかかり、後方に転倒した際に左手をついてしまい、左手	58	371	1	10~ 29

			親指付け根を骨折した。				
2017	3	15~16	園庭前のテラスで園庭に出ようとした時にバランスを崩して転びそうになり、右足に負担が急にかかった状態で踏みとどまってい、右足を骨折する。	31	921	19	30~ 49
2017	3	10~11	利用者居室にてシーツ交換時、車イスに移ってもらうために起こす際にゆっくりして欲しいとの要望があったため、できるだけゆっくりと介助を行っている時、急に脇腹に強い痛みを感じた。	67	911	19	50~ 99
2017	3	17~18	利用者宅で業務中に、利用者の家族（認知症あり）が外に出ようとするのを制止している際に、玄関にある歩行器のタイヤに躓き転倒し、右膝を床に強打し負傷した。	55	362	2	500 ~ 999
2017	3	12~13	当社施設内の健康管理室で事務作業中、キャスターのついたイスに座ろうとした際、イスの位置を目視していなかったため、座り損ね尻もちをつき、臀部を強打した。	49	379	3	10~ 29
2017	3	12~13	特養の居室で食事介助中に、左隣にいる別の利用者が「背中が痒い」と仰ったので鉄製の背もたれがあるパイプ椅子に座ったまま、背中を搔いてあげていた時、椅子の中央部に座っていたものの座面が小さくバランスを崩し、斜め前方向に倒れた。同時に椅子の足が股間に衝突し、流血し、外陰部損傷のため9針縫合した。	23	379	3	100 ~ 299
2017	3	14~15	事業場内の池内に於いて、池面に防鳥テグスを張る作業をしていたところ、バランスを崩し足を滑らせた際、右大腿部を負傷した。	62	713	2	50~ 99
2017	3	15~16	保育室で3時のおやつを食べた後、外遊びに行く準備中、それまで元気だった3才児の子供が突然嘔吐する。子供の体勢が横向きで寝た状態であり、片方の髪の毛が汚れていた為ぬぐい、かつ吐しゃ物をよけながら、横向きの子供を抱き上げた時、自身の右手を痛める。	57	921	19	—
2017	3	15~16	施設内に於いて、帰宅する利用者の対応を他の職員へ依頼し、カルテを記入するため就業場所へ急いで戻ろうとしたところ、バランス	31	417	2	100 ~

			を崩し転倒し、左足首を捻った。				299
2017	3	14~15	利用者様との事前面談の為、自身の勤め先である事業所から病院へ車で向かう途中、交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、2台後ろの加害者運転の車が、本人の後ろの車へ追突するという玉突き事故が発生し、外傷性頭部症候群、背部打撲、左手打撲を負った。	38	231	17	100 ~ 299
2017	3	4~5	グループホームで夜勤中、入居者の部屋を訪問する際、部屋に入ったところで急に入居者から声をかけられて驚き、その拍子に後ずさりしてしまいバランスを崩し転倒した。そのとき左手を床についたため、衝撃で左手首を負傷した。	54	999	2	10~ 29
2017	3	10~11	厨房内下処理室で大根を切っていたとき、誤って左手親指を切ってしまった。	32	379	8	100 ~ 299
2017	3	11~12	事業所内にて利用者のトイレ介助をしていた時に、利用者がふらつき寄りかかるような体勢になった際、左足で踏ん張ったがしゃがみ込んでしまい、立った時に左膝に痛みを感じた。	52	911	19	10~ 29
2017	3	16~17	訪問介護サービス利用者宅にて支援中に、台所より他の部屋に移動しようとした際、10cmくらいの敷居（段差）があり、慌てて移動しようとしていたため、右足の小指をぶつけてしまった。	68	417	2	10~ 29
2017	3	14~15	当施設玄関にて、来客のため玄関の鍵を開錠しようとした際、床で滑り転倒し、右手を床につき負傷した。	55	416	2	100 ~ 299
2017	3	11~12	利用者居室にて、ベッドから車いすへ移乗しようとした利用者（身長150cm・体重62kg）にベッドの端に座ってもらい、利用者の両脇に両腕を差し込み、背中に両手を当て利用者の胸に左肩を当て立たせようとした時、左側にバランスを崩したため左足で踏んばり、体の左側に力を込めて支えようとしたところ、腰と首を痛めた。	47	911	19	100 ~ 299

2017	3	9~10	介護老人保健施設に勤務する当該職員は、施設内に於いて利用者の居室案内をしていた。利用者が車椅子からベッドに上がり横になる際、足が上手く上がらなかった為、介助する際に中腰になり、右手で足を下から支えて上げたとき、腰を捻り痛めた。	33	911	19	50~ 99
2017	3	14~15	ベッド上で女性利用者の体位交換をするため、身体の下に手を入れ手前に引き寄せたところ（二人介助の足元側）、腰全体にグキッと痛みがはしった。鈍い痛みがあったが様子を見ていたところ、右大腿部後ろ側に激しい痛みと痺れが発生した。	43	921	19	50~ 99
2017	3	11~12	特浴室で利用者の入浴介助を行っている時、排水の溝に右足がはまり、左側を下にして転倒し、左肩から肘にかけて打撲する。	37	418	2	100 ~ 299
2017	3	2~3	夜間勤務中、利用者が居室からホールへ出てきたため、確認しようと移動した際、仮眠用の枕に躓き転倒した。	63	417	2	50~ 99
2017	3	11~12	サービス付き高齢者向け住宅にて、入居者様を入浴介助のためにストレッチャーに移乗する際、利用者様が激しく動きバランスを崩し、被災者の右腕に負荷がかかり受傷し、右腕が上がらなくなる。尚、この介助は2人介助にて行っていた。	58	911	19	50~ 99
2017	3	7~8	厨房前に設置してある台車（車輪）用消毒マットを踏んでしまい、消毒液の付着したスリッパで歩いているときに足が滑り転倒し、左手をついて骨折した。	68	417	2	10~ 29
2017	3	11~12	当施設入居者様の居室にて、車イスからベッドへの入居者様移乗時にバランスを崩し、腰を痛めてしまった。電動の昇降装置が故障しており、誘導についたリーダーと本人で手動にて試みたが、正常に作動せず、そのままの位置で移乗する様に誘導を行った。	34	911	19	30~ 49
2017	3	13~14	本館二階から自治会に参加するため一階に下りようとした時、階段の1~2段目が濡れていて滑りやすくなっていたため、滑って左足を捻り着地し、右側に転んで座り込んだ（左足関節外果剥離骨折）。	53	413	2	100 ~ 299

2017	3	7~8	当施設内にある利用者の居室にて利用者の見守り中に、利用者が立ち上がろうとしてふらついたため、転倒を防ごうと後ろから支えたことでバランスを崩し、左足首を捻り受傷した。	24	921	19	10~ 29
2017	3	16~17	認知症の施設利用者をお見送りする際、その利用者が急に後ろからおぶさってこられたので、転倒しないように踏ん張ったが、それ以降、背中に強い痛みがはしるようになった。	55	911	19	30~ 49
2017	3	10~11	車のエンジンベルトに右母指、右示指が触れ受傷した。	42	121	7	30~ 49
2017	3	10~11	保育園の園庭で、外遊びの時の子どもの見守り時、被災者の後で子どもが遊んでいた時、前から子どもが走って来たので後の子どもを避けようとして（もし被災者が子どもに当たって子どもが怪我をしたらいけないと思い）、横向きに転び腕を骨折した。	68	911	2	10~ 29
2017	3	14~15	児童が遊具で遊ぶのを見守りしていた所、遊具を修理している箇所があり、それを見ようとする児童を静止させようとした時に、児童に押された事もありバランスを崩し、高さ1mの所から落下し、鉄パイプで後頭部と首を強打した。	45	419	1	10~ 29
2017	3	12~13	厨房内で洗い物をしており、トレーを消毒保管庫へ運ぶ際、排水升に左足を入れてしまい、足首を捻った。直前に水の通りが悪い為、蓋を開けて様子を見たとき、トレーを持っていたため足元が見えず被災した。	63	418	1	100 ~ 299
2017	3	8~9	個人宅へデイサービスの利用者を迎えに行き、利用者を玄関から庭を通過して車まで誘導して歩いているとき、庭のコンクリートの段差に躓き、前のめりに転倒し、両腕を強打し、顔面にも傷を負った。	76	418	2	30~ 49
2017	3	15~16	調理場で、肉を切って食材を冷蔵庫に入れようと向かった時に、冷蔵庫の前に生ゴミが入ったバケツがあり、それに左足が引っ掛かり、右膝から下の床に落ち、膝の皿を骨折した。	58	417	2	30~ 49
2017	3	12~13	運動場のストックハウス内で踏み台に上がり棚の上に荷物を置こう	56	921	19	1~9

			としたとき、足を痛めた。				
2017	3	10~11	職場のトイレでトイレ介助をしている時に、腰を痛めた。トイレにて利用者の右麻痺側の右下肢を車イスのペダルから降ろす際に、腰を強く痛めた。その後も、職場で利用者の血圧を測定する際に腰がグリッと強く痛めた。	35	921	19	10~ 29
2017	3	16~17	デイサービス利用者の送迎中、車イスの昇降リフト装置付きの車両へ車イスを収納し、車両後方から降りようとした際、握った取っ手が外れ、その反動で頭部からうつぶせの状態です路面へ転落し、右頭部及び右肘を強打した。	51	231	1	50~ 99
2017	3	8~9	厨房内で温冷配膳車の位置を移動させようと操作中、操作を誤り強くレバーを握った為、その反動で自身のレバーを持っていた右手が左腹部を強打し、左第7第8肋骨を骨折した。	53	362	3	50~ 99
2017	3	13~14	入居者居室で、入居者のふらつきを支えるため駆け寄った。その際にポータブルトイレか車イスの車輪に右足先を引っ掛け、自分が倒れそうになり、左足を突っ張ったが捻った様になり転倒した。	57	379	2	30~ 49
2017	3	16~17	ホール内で食事介助を膝をついた姿勢で行っていたところ、3~4m後方に座っていた他苑者が、立ち上がろうとされたのに気づき急いで振り向き、立ち上がろうとした際に腰~太腿にかけ強い痛みがはしった。そのあと歩行可能になり、右足を床につくと仙骨部に激痛が生じた。	45	921	19	50~ 99
2017	3	10~11	座り込んで石や砂を拾い口の中へ入れた2才児女子を見て止めさせようと思い、急いで階段を駆け登り体をひねった状態で石を取りだし、園庭の方へ抱きかかえて階段を下りたときに足がふらつき、怪我させないよう気遣いながら降ろしたあと腰に痛みがはしり動けなくなった。	61	921	19	30~ 49
2017	3	8~9	職場の共有スペースにて食事の配膳車を返却しようとした際に、腰部に強い痛みが出て、急に歩行や立ち上がりが出来なくなった。	28	362	19	50~ 99

2017	3	9~10	デイサービスの迎えのため、車でお客様宅に行き、車イスのお客様をリフトで車内にお乗せした。その後、1人で車の後部から外に出ようとした際、左足が車のステップからスリップし、踵からアスファルトの地面に落ち強打した。なお、その日は朝から小雨模様だった。そのとき左足にかなりの体重がかかり、激痛がはしり歩けなくなり、後日に左踵骨骨折の診断を受けた。	69	231	1	50~ 99
2017	3	18~19	事業場建物の洗濯室において、洗濯物の整理作業を行っていたとき、洗濯物を抱えて身体を移動した際に、足元にいろいろな物が置いてあり手狭だったため、置いていた洗濯かご（約H50cm、Φ30cm）の取っ手に足が絡まり、前方に転倒し頭部及び右手を打撲した。その際、身体を庇おうとして右手で支えた為に負荷がかかり、骨折した。	68	417	2	30~ 49
2017	3	10~11	就業先事業所の浴室にてご利用者の入浴介助中、浴室のシャワーキャリーから脱衣室の車椅子へ移乗中に腰に激痛が起き、ご利用者を車椅子への移乗した後に膝をつき、激痛により立つことができなくなった。	37	921	19	10~ 29
2017	3	5~6	施設裏口にて新聞回収に行っている時、排水管に躓き、倒れとうになり壁に手をつき負傷した。	64	419	3	10~ 29
2017	3	2~3	入居者様よりナースコールの呼び出しがあり、ベッド横に転倒されており、ベッドへ移乗させる際、膝をつき持ちあげようとした時、中腰になり腰をひねった。	65	911	19	10~ 29
2017	3	9~10	グループホームの入居者の部屋にて、車椅子に座られた入居者を前方から、両脇の下に被災者の腕を入れ、抱き抱えベットに移動させようとしたとき、入居者の頭が被災者の胸骨に勢いよく当たり負傷した。	68	921	6	30~ 49
2017	3	18~19	洗濯室前廊下で洗濯が終わっているかの確認後に、廊下に出たところ足を滑らせてしまい、左足を痛めた。	60	417	2	10~ 29
			3階廊下で、利用者を食堂へ案内していたとき、利用者が自分でつ				

2017	3	14~15	いていた杖に足を引っ掛け前方へ倒れそうになった。それを支えようとしたとき、利用者が介助者の左手首をつかんだ際、ひねって受傷した。	36	911	19	50~ 99
2017	3	13~14	3階建建物の2階フロアにて、職員控室から介護室へ移動するとき、職員控室前に並べてあった他職員の靴に足が引っ掛かり、左肩を下に転倒し強打した。靴は並べてはあったが幅広くなっており、職員が移動する妨げになっていた。	74	911	2	50~ 99
2017	3	11~12	介護老人施設の入所Aステーション横の廊下にて、昼食用の食事の入った配線車を厨房からユニットへ引っ張りながら運んでいた。その際、配膳車が思ったよりも前にきてしまい、左足が配膳車と床の間隙間（約20cm）に入り左足首を痛めた。	44	229	7	50~ 99
2017	3	14~15	厨房にて、生ゴミ入れ（ポリバケツ）の中に生ゴミ処理のため手を入れ、生ゴミを押し込んだ時、左手薬指に激痛がはしり、傷口が開き出血した。生ゴミ入れの中に包丁を落としていたことに気づかず、怪我をしたものである。	48	364	8	50~ 99
2017	3	16~17	コンテナボックスにごみを捨てに行く時、少し大股で水たまりをよけようとし、左足をすべらせ、右足を内側にひねったまま体重をのせて着地してしまい骨折した。	23	417	19	10~ 29
2017	3	10~11	施設利用者（障害区分6、重度）を昼食前にトイレに誘導しようとした時、利用者が興奮されて右手の指が労働者の右眼に入り負傷した。普段から興奮が強い利用者で体格も良いため、トイレ誘導や食事介助等の業務は2~3人が対応していた。	29	911	90	10~ 29
2017	3	9~10	利用者居室にて、中腰状態でオムツ交換中、利用者の体交を行った際に腰と左足に痛みを感じ、身体を元に戻そうとするも動けない状態となり、そのあと痛みが持続した。	63	911	19	30~ 49
2017	3	17~18	サービス提供のため利用者宅へ向かっている際、相手方の私有地を通過時、相手の車がバックする事に気付き、左方向へハンドルを	31	231	17	50~ 99

			切ったが間に合わず、相手の車と接触した。				
2017	3	16~17	食堂兼機能訓練室の畳スペースにいる入所者を二人ペアで車椅子へ移乗させていた時、右腰から音がし、痛みを覚え、作業を中止した。（以前から腰痛があったがヘルニアではない）。帰宅後、痛み止めを飲み安静にしていたが、翌日の勤務中に痛みが増して歩けなくなり、腰椎捻挫、外傷性下肢抹消（性）神経障害性疼痛と診断された。	41	911	19	100 ~ 299
2017	3	19~20	当施設3階居室内にて、利用者をベットから車イスへ移動した時、左肋骨部に痛みが出た。	25	921	19	50~ 99
2017	3	15~16	事業所内にて、サービス提供に行こうと立ち上がり、1歩踏み出した時、左側の壁の角に左足の小指を強打した。座り込んで自力で立ち上がることができなくなり、その後、骨折と診断される。	53	418	3	300 ~ 499
2017	4	22~ 23	施設内での夜勤中に、男性利用者様のトイレ介助を行う際、前方からズボンを下ろした時に両手で髪の毛をつかまれ、引っ張られた。	35	921	19	10~ 29
2017	4	9~ 10	出勤してすぐ客室トイレにあるゴミの回収作業を行っていたとき、腰を落とし両手で重いゴミ箱（約4kg）を持ち上げ、左右に曲げたりしたことで腰に負荷がかかり痛めた。	61	921	19	30~ 49
2017	4	8~9	利用者が車イスよりずり落ちそうになっているのを発見し、看護師に手伝ってもらい車イスに座ってもらう。体（上腕）を引き上げる際、右腕に一瞬痛みがはしり違和感を感じた。	56	719	19	30~ 49
2017	4	13~ 14	施設外就労先の豆腐工場内にて、機械洗浄の作業中、豆計量機のスイッチを切り忘れ、労働者の不注意により危険箇所へ右手を入れてしまい、右手示指・中指の末節部を切断した。	35	165	7	10~ 29
2017	4	9~ 10	訪問中の掃除道具の片付けの最中、バケツと雑巾を持ち、台所から納戸へ扉を開けて段差を降りたところに設置されているすのこの左上側を歩いていた際、足を踏み外して15cm位下のコンクリートの床に左足外側の骨の部分を打ちつけ、足の小指付け根部分を骨折	63	417	1	30~ 49

			した。				
2017	4	11～ 12	事業所内で、入浴介助をするために着替えを行って片足立ちになったとき、突然腰痛が出現し、立ったり歩いたりすることができなくなった。	62	921	19	50～ 99
2017	4	10～ 11	厨房内で、冷菜を盛り付けようと食器棚から器をとり出そうとカゴを斜めにし、器をとり出すときに食器棚の上部レールに手があたり右手中指を切った。扉の開閉動作によりレールが摩耗し、鋭くなっていた。	50	391	8	10～ 29
2017	4	14～ 15	グループホームリビングフロアにて、利用者様が立ち上がる時手を貸したところ、急に手を離しソファに座った為にバランスをくずし、手をついて転倒し、痛みと腫れが続き、手首に変色があった。	65	719	2	50～ 99
2017	4	17～ 18	利用者居室で、ベッドから車椅子へスライド移乗する際に、利用者の足に力が入らず、後方から全体重を支える形になり、右腰部に痛みがはしる。帰宅後に痛み悪化し、右下肢に力が入らず、足を上げる事ができなくなった。	40	921	19	30～ 49
2017	4	18～ 19	遅勤勤務が終わり、タイムカードを押したあと施設内を玄関に向かって歩いていた。途中入居者さんへ手を振り、他の入居者さんのお部屋前の廊下に差し掛かった所で突然滑って転び、咄嗟に頭・腰をかばったが、右腕を下に倒れてしまった。他の職員がモップで水拭きをしていた事を認識していたが、滑っている感覚がないため普通に歩行していた。	62	417	2	100 ～ 299
2017	4	16～ 17	ケアマネジャーとして別拠点にいる利用者様にデイサービス利用票を届けるため駐車場に車を止めようとした際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて足が滑り（原因不明）、車を支障物にぶつけ停止した。その衝撃でシートベルトに胸をぶつけて骨折した。	60	231	17	30～ 49
2017	4	10～	保育園2階ホールにて、児童およびその他職員と一緒にリズム運動を行っている最中、「ギャロップ」という動作（サイドステップで	26	921	19	10～

		11	横へ移動する) を行った際に左足のアキレス腱を断裂した。					29
2017	4	11~ 12	利用者の居室で、利用者をベッドから車イスへ移乗介助するとき に、利用者をベッドに座った状態から立たせた後、利用者が急に声 を出し、足に力を入れて後方へ倒れそうになり、倒れないように急 いで支えたときに腰を痛めた。	30	921		19	—
2017	4	14~ 15	洗濯室の洗面台の蛇口（お湯が出る方）から、お湯が漏れ出して いたため蛇口の交換をしようとしたところ、元栓を探したが見つから ず元栓を閉めない状態で作業を行った。その作業中にお湯が吹き 出し、お湯を止めようとして左手にお湯がかかり、右手で蛇腹をつ かんでしまい熱傷を負った。	59	391		11	50~ 99
2017	4	11~ 12	利用者様宅でサービス終了後、室内で報告書を記入していた時に猫 が膝の上に乗ってきた。終わって立ち上がった際に猫に咬まれ、 猫の菌により感染症を発症した。	52	911		90	10~ 29
2017	4	16~ 17	施設利用者宅にて、送迎のため運転手と共に利用者様を車椅子で屋 内に送り届けたあと、階段のある玄関に設置した車用スロープを片 付けるために三段目から二段目に降りたとき、スロープの端につま ずいて転倒し、左肩と頸椎等を痛めた。	50	417		2	10~ 29
2017	4	9~ 10	御利用者の入浴準備の際、ベッドからリクライニング車イスへの移 乗介助時に腰を痛めた。移乗時は、二人で福祉用具（スライディ ングシートボード）を活用していたが、スライディングする際に御 利用者がずり落ちそうになった為、とっさに持ち上げた瞬間に腰を 痛めた。	30	921		19	50~ 99
2017	4	5~6	ビニール袋いっぱいに入ったオムツを両手に持って、別棟のオムツ 倉庫へと移動中、施設の出入口の段差につまずき転倒し、左足を負 傷した。	24	418		2	50~ 99
2017	4	7~8	利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利 用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し	40	719		19	50~ 99

			捻ったところ、背中を痛めた。				
2017	4	10～ 11	施設利用者と散歩に出た際、利用者が地面に寝そべってしまったため、起こそうとして手を4～5回引っ張ったとき、腰に不安を感じた。その後、別の利用者が散歩から帰ってきた際に建物に入りたがらず、外に走って出ようとし、別の職員が引き留めようとしていたので手伝えるため利用者を止めようとしたとき、腰に痛みを感じた。	40	911	19	300 ～ 499
2017	4	16～ 17	ホールにて、音楽専門部会の園内職員研修でリズム運動をしている時に、ギャロップで横に飛びはねたところ、床が乾燥していて滑りやすかったので、踏み切る足に無理な力が入ってしまい、左足のアキレス腱が切れた。	42	416	19	30～ 49
2017	4	15～ 16	お客様宅訪問中、正座から立ち上りの一歩で左足の感覚がなくなり、左小指側面を下に捻り、バキッと木の枝を折った時のような音がして激痛がはしった。	63	921	19	50～ 99
2017	4	15～ 16	利用者のトイレ誘導中、トランスをしようと利用者を抱き上げた際に腰をひねり腰椎捻挫となった。	37	921	19	1～9
2017	4	15～ 16	利用者と外出し、（移動支援）利用者が急に走り出したので危険回避のため、右腕で抱き上げる体勢をとった際に右足太ももに違和感を感じ、しびれ及び痛みが生じ、腰部脊柱管神経圧迫症と診断される。	48	719	19	1～9
2017	4	6～7	共同生活住居に出勤してきた世話人が、事務所から移動しようとした際、持っていた業務用携帯電話をかばんに入れようとしたときに、不注意により外廊下の排水用の溝（段差2センチメートルほど）に右足がかかり捻ってしまった。	61	921	19	50～ 99
2017	4	12～ 13	事業所の中で利用者様同士がもめているのを止めようとして、後ろからつかまえたとき、つかまえた利用者様の手とぶつかって指を捻った。そのあと別の利用者様と車に乗っているとき、湿布を貼っていた上から同じ箇所を捻られた。	51	921	99	10～ 29

2017	4	10～ 11	ホーム2階廊下において、御利用者様入浴時に使用した衣類が入ったカゴ（50cm×35cm×25cm）を持ち他の部屋に移動のため歩行中、障害物は無かったがつまずき転倒し、尻を打ち骨折した。	65	417	2	30～ 49
2017	4	7～8	勤務先特別養護老人ホーム2階のユニットにおいて、利用者に呼ばれたため駆けつけようとしたところ、目の前にあったパソコンの机の足につまずき転倒し、左足を強く捻ってしまい、左第5中足骨を骨折した。	51	391	2	30～ 49
2017	4	11～ 12	1階厨房内において、食器乾燥庫よりトレーを引き出す際、立て掛けていたトレーが倒れ、右手小指がステンレスのかごの下敷きになり小指を骨折した。	64	611	4	1～9
2017	4	5～6	特別養護老人ホームの3階フロアにおいて、夜勤業務で介護職員として就労中、2ユニットある3階フロアで入所者様が不穩でナースコール頻回のなか、ユニット間を夜勤として頻回に往復する状況で左ふくらはぎに痛みを感じ、その後、左ふくらはぎ筋肉断裂の診断を受けた。	41	417	6	50～ 99
2017	4	3～4	特別養護老人ホームAユニット居室前ご利用者の徘徊時、他のご利用者（女性）の居室へ入室された為、自身の居室へ誘導しようとしたところ、左顔面を殴打され、メガネを飛ばされて困っている際に突進してきて左手指をつかまれ、離れようとした時に指をつかまれ捻られた。	65	921	90	50～ 99
2017	4	17～ 18	1、2歳児クラスにて保育中、床の玩具を片付けていた。子どもの様子に気を取られ足元にあったプラスチックチェーンに気づかず上に乗ってしまい、バランスを崩し、右ひじから床へ転倒した。その際、手には集めた玩具を持っていたため、右ひじで身体を支えたような体勢となった。	62	379	2	30～ 49
2017	4	11～ 12	介護サービス利用者宅の洗面所で、利用者が低血糖をおこし倒れてきたので、利用者の背後に回って支えたときに、背中が反りかえる	58	911	6	30～ 49

			ような状態になり腰を痛めた。				
2017	4	14～ 15	2階浴室に於いて、男性入居者（大柄で立位不安定）の入浴介助中、入浴を終えた入居者が浴室出口の方へ体の向きを変えようとした際、急にしゃがみ込む様に腰を落とした為、とっさに左手で臀部を支えて体を引き上げようとした際、左肩を痛めた。	55	911	19	10～ 29
2017	4	10～ 11	敷地内で利用者とレクリエーションで筍掘りをしている時、斜面2.5m程の所にある筍をスコップで掘ろうとした際にバランスを崩して転落した。	36	711	1	1～9
2017	4	10～ 11	本館給湯室で入所者様の飲み物を準備する為にポットからやかんに、お湯を移し替える際、やかんの置き場所が不安定だったので、手を滑らせてしまいやかんが落下し、熱湯が足の甲にかかった。	63	519	11	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	デイサービス脱衣所で、椅子に登ってカーテンレールに洗濯物を干した後、椅子から降りる時にバランスを崩して転倒し、左腕を骨折した。	50	371	1	10～ 29
2017	4	10～ 11	送迎中、お客様宅の玄関内で、廃用症候群で体の自由が利かない男性のお客様を、二人介助にて車椅子に乗せ、上がり框（25～30cm）から床に下ろす際、直線移動で外には出られず、直角に方向転換をして外に出るため、上がり框で向きを変えていた。一人は車椅子背のグリップを持ち、本人はお客様の曲がらない両足を持っていた。十分な方向転換のスペースがない為、左足より一度床に下りた際、左足に大きな音と激痛がはしり、歩行が困難になった。	69	921	19	50～ 99
2017	4	8～9	利用者様宅で体位交換をしようとしたところ、利用者の体を動かそうとしたときに体勢を崩してしまい、腰に激しい痛みを感じ、動けなくなってしまった。	48	911	19	30～ 49
			入所している利用者の歯科治療の為、対応できる専門機関（病院）へ行くため車で移動していた。病院に到着し、先に被災者が下車し、利用者の下車を介護するため後ドアに移動してスライド式ドア				100

2017	4	8～9	を開けたところ、突然車内から荷物が落ちてきた。とっさに荷物が落ちないように支える動作をした際に、足元の段差（雨で濡れており滑りやすくなっていた）により不安定な姿勢になり転倒した。	58	419	2	～ 299
2017	4	10～ 11	有料老人ホームに派遣労働者として勤務中、老人ホームの居室にて、入居者をベッドから車椅子へ移乗しようとしていた。ベッドの高さ調整を行ったあと、車椅子へ移乗を行った際に腰部と股関節に違和感を感じた。しかし、そのまま業務を続け、別の居室で別の入居者をベッドから車椅子へ移乗したところ、強い痛みになり、その後も痛みが続いた。昼食前の時間帯であり、移動動作を急いでしまった事が原因と考えられる。	56	921	19	10～ 29
2017	4	9～ 10	軽自動車のリフト車後部に車椅子に乗った利用者を乗せセンターに向かった。途中で利用者の臀部がゆっくりと滑り、体勢が崩れたので車を止め体勢を整えた。その後体勢が崩れたので介助しようとした際に腰に強い痛みを感じ、力が入らなくなった。狭い軽自動車の後部で車椅子の横から中腰にて利用者の体を抱え上げ、無理な体勢で介助を行い腰を痛めた。	57	921	19	300 ～ 499
2017	4	16～ 17	訪問介護のサービスで、利用者宅に到着し門のインターホンを押し、玄関まで歩いている途中で石畳でバランスを崩し転倒した。石畳の高さが地面から10cmほどあり、そこに左足をかけた際にバランスを崩し、右手と右肩を他の石畳に打ちつけ、右肘と右脚も負傷した。	52	417	2	10～ 29
2017	4	15～ 16	利用者宅を訪問し、入浴介助後の浴室清掃に取りかかるため、洗面所から浴室へと続く脱衣所に入ろうとしたところが、洗面所と脱衣所との床面にある10cm程度の高さの段差にうっかり足を打ちつけてしまい、右足親指を骨折した。	61	418	3	10～ 29
2017	4	17～ 18	デイサービスの買い物のため外出中、外出先の地下道へ向かう階段から転落し、頭部と顔面を強打した。階段上部より足を踏み外し	52	413	1	100 ～

			たと思われ、中段辺りの踊り場でうつ伏せで倒れていた。				299
2017	4	9～ 10	デイサービスにおいて高齢者の送迎業務中、施設に戻りお預かりしたバッグを左手指に引っ掛けて持っていた所、階段の手すりにバッグが引っ掛かり、左手の指に強い負荷がかかった。	64	419	19	30～ 49
2017	4	9～ 10	車椅子で廊下から居室まで移動の時に便臭がし、ご入居者様の体ももぞと姿勢が下がってきたために、正面から両脚を両手で支えながら助けを呼んだが力つき、そのまま床面に落下して腰を痛めた。	63	921	19	30～ 49
2017	4	16～ 17	お客様宅にて、入浴前の浴槽を組み立てる準備の際、一人で足元側の浴槽を横にした時、腰に負担がかかり痛めた。	29	379	19	1～9
2017	4	12～ 13	調理室でおやつ調理の為、人参をブレンダーにかけた後、本体から刃のついた接続部分を外そうとした際、電源プラグを抜く前に取り外し作業をしてしまい本体スイッチボタンに誤って触れて、回転した刃に巻き込まれ右手中指を被災した。	31	165	7	10～ 29
2017	4	10～ 11	居室にて入居者の布団乾燥が終了し、布団の間に挟んだ乾燥用マットを取り出そうと高さ約40cmの介護用ベットに屈んだ際、腰に激痛が走る。足は肩幅に広げ、膝を少し曲げて45度くらい屈む状態であった。	39	921	19	30～ 49
2017	4	10～ 11	当事業所の介護サービス利用者を車椅子に乗せて、後ろ向きに利用者宅の玄関の上がり框を降ろしていた際、猫のために敷いてあった新聞に足を滑らせ転倒し、尻もちをつき仙骨にヒビが入った。	71	417	2	50～ 99
2017	4	8～9	2階利用者居室にて入居者を2人介助でベッドからリクライニングチェアへ移乗の際、利用者の上半身を支えていたときに体を捻って、右肋骨を骨折した。	55	921	19	30～ 49
2017	4	7～8	3階居室にて知的障害者の健康プログラム説明時に、支援計画に納得出来ず、興奮して1階玄関から無断で外出をしようとした利用者を追いかけて、静止を試みるも追いつけず、玄関の段差で身体のバラ	47	416	2	10～ 29

			ンスを失い、勢いよく玄関タイルへ右肩を強打し骨折となる。				
2017	4	10～ 11	居室内でご入居者様を車イスからベッドへ移乗する介助を行っている際、左太ももにピリピリとした痛みを感じた。日が経つにつれて痛みが増し、後日に腰椎間板ヘルニアと診断された。	25	921	19	100～ 299
2017	4	8～9	お客様宅に訪問し、お客様のゴミ出しのため近くのゴミ捨て場に行く時に階段を踏み外し転倒する。右足首に強い痛みを感じ、足首がどんどん腫れて歩行困難になり、右足首の骨折と診断を受けた。	73	413	2	30～ 49
2017	4	7～8	居室に朝食の誘導を行う目的で訪室したところ、失禁をしていた為シーツ及び更衣を交換する為に床に敷いていたマットレスを移動した。交換を終えベットから離れる際に足を滑らせバランスを崩し、転倒しそうになったのでベットの柵につかまっていたが無理な体勢となり、右足に痛みが生じた。	45	417	19	30～ 49
2017	4	16～ 17	営業所内の駐車場にてデイサービスの送迎の準備中、送迎車の窓を拭くため車両のタイヤに登り、右手を車両の縁につかまって左手で窓を拭く作業していたとき、左足を滑らせ落下し左踵を負傷した。	60	231	1	30～ 49
2017	4	13～ 14	被災労働者の運転するバイクがウインカーを出しながら反対車線を横断しようとして右折したところ、直進車線で反対から進行してきた軽トラックに衝突した。	25	221	17	10～ 29
2017	4	11～ 12	押し入れに布団を入れた後、背後にいた子どもを避けようとして足がもつれ、仰向けの状態で転倒し、腰を強く打ちつけ。その後痛みは治まったが、別の作業中に再び同じ部位に痛みを感じた。	55	417	2	10～ 29
2017	4	10～ 11	障害者支援施設で、入所利用者の介護のため裸足で作業していたときに、入浴介助用のストレッチャーを浴場にセッティング中、ストレッチャーのブレーキを足でかける際に踏み外し、ストレッチャーが動き右足と激突して被災した。	41	379	3	50～ 99
			介護施設にて業務中、施設内の食堂において、男性の入居者が女性の入居者に対して、手を上げ暴力行為に至るところに仲裁に入った				10～

2017	4	8～9	とき、男性の入居者様が職員の右手をつかんで強くひねりながら右肩めがけてこぶしで殴りつけた。その際に右手の筋が延び、右肩打撲を負った。なお、入居者に負傷等はなかった。	55	921	90	29
2017	4	7～8	施設内調理室にて調理中、調理用大鍋に水を張って持ち上げたとき、腰に痛みが走った。その後、痛みがひどく歩行も困難だったため早退した。	66	611	19	30～ 49
2017	4	14～ 15	利用者宅を訪問するため、マンション入り口のオートロックのインターホンを押し、中から応答があり鍵が開いたので入ろうとしたとき、床に置いたかばんにつまずき転倒して右肩を強打した。	74	379	2	30～ 49
2017	4	14～ 15	左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。勤務後から徐々に右膝が痛み始めて、ひねる曲げる等の動きができない状態となり、右膝関節捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	911	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	入居者居室にて車イスからベットへの移乗介助時に、入居者を抱えた際に痛みがあり、ベットへ移乗し臥床させた瞬間に激痛が走った。	34	911	19	—
2017	4	11～ 12	施設内の浴室にて、施設利用者の入浴介助後に浴槽を清掃をしていたところ、しゃがんだ状態から立ち上がった際に転倒し負傷した。	33	416	2	10～ 29
2017	4	19～ 20	老人ホーム施設内にて、利用者（女性身長140cm体重41kg）を二人介助で移乗介助のとき、利用者を抱えてストレッチャーからベッドへ移すときに右膝を内側に捻って負傷した。	60	719	19	30～ 49
2017	4	10～ 11	事業場の担当する1Fフロアトイレにて、入所者の更衣介助中、更衣介助は2名で行っており、被災労働者が入所者を立たせ、（両脇に腕を入れ、持ち上げる）相勤者が入所者の下衣を降ろしている際に、腰に強い痛みを感じる。すぐに入所者をトイレに座らせたが、その後も痛みが取れずその日は腰に負担の少ない業務に従事した。入所者は54kgの男性で、左側に麻痺があり、自立での立位が	44	911	19	50～ 99

			とれない為に二人介助を行っていた。				
2017	4	9～ 10	被災者が、訪問入浴介護を行う為、利用者宅に行き、まず利用者に挨拶し、浴槽などの機材を車に取りに行こうとして、玄関前の階段（8段程度）を駆け降りたところ、一番下の段を左足が踏み外し、足首を捻り負傷した。	30	413	1	10～ 29
2017	4	15～ 16	訪問診療終了後、事務所に戻る際に、外の傾斜面の道で右足を捻り捻挫した。	62	921	19	1～9
2017	4	10～ 11	入居者居室にて、入居者を布団から車イスへ移乗しようとして敷き布団の上に上がった時、右足親指が布団に引っかかり、強く捻った際に骨折した。	63	921	19	100 ～ 299
2017	4	21～ 22	入居者の居室へ入居者を誘導している際、睡眠薬の服用の効果が早く出られたようでウトウトされており立位の保持ができる状態でなく、全身をかかえるように移動していた。ベッドに移乗する時も全体重を支えるような状態で、倒れないようにベッドへ移そうとしたがその際に力のかかったまま不自然に体を捻ってしまい、腰を痛めた。	51	921	19	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	厨房入口で勤務開始にあたって厨房内用の靴にはき替えようとしゃがんで立ち上がろうとした所、腰に痛みが発生した。	38	921	19	1～9
2017	4	16～ 17	利用者様をご自宅へ送迎時、ご自宅のベッドサイドで、利用者様を車椅子からベッドへ移乗するときに、利用者様の両下肢の間に自分の右足を入れ、その右足を軸にして左側のベッドへ移乗させようとした時に右膝の内側に力がかかり、不安定に倒れこむようになって負傷した。	46	921	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	園庭で保育中園児と手をつないで歩いていた時、少しくぼんでいた所に気づかず、右足首を捻った。	45	417	2	10～ 29
2017	4	9～ 10	機械浴にて入浴介助時、タイルが濡れており足を滑らせ転倒した。	47	417	2	50～ 99

2017	4	16～ 17	支援中利用者から背中を搔くよう要求がありソファで膝枕で背中を搔いていた。利用者の手の甲がいきなり顔面・眉間に強くあたった。その後も支援していたが、首・肩に違和感が出始め、頭痛・肩・首辺りに痛みの症状が出た。	59	911	90	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	利用者宅に於いて、車椅子の利用者をスロープを使用して2人で押し上げた。その後直ちに利用者をベットへ移乗しようと慌ててスロープの中段（高さ約30cm）に左足から飛び乗った際体重が左足にかかって負傷した。	55	417	3	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	介護施設の利用者の食事提供のため、スーパーへ食材を買いに行った際、お米10kgを持ち上げた時、腰を痛めた。	66	921	19	30～ 49
2017	4	10～ 11	イスの上に乗って天袋に毛布を片付けようとした際、イスの足が折れてバランスをくずし負傷した。	69	371	1	10～ 29
2017	4	9～ 10	事業所（特別養護老人施設）内5階ユニットにて、西側ベランダの燕の巣を取り除こうとし、使用していた脚立からバランスを崩して転倒した。身体の左側を下にベランダに落ちた為、左手・足、腰・背中に打撲を負った。	59	371	1	50～ 99
2017	4	11～ 12	外フェンス内側の細い通路にて（普段洗濯物干しなどに使っているスペース）洗濯物を取りこみしている最中、フェンス下にある細い溝（排水路）につまずき、背中側（後ろ向き）に倒れる際、右手で自分を支えようとして自分の身体の下敷きになるように巻き込まれながら転倒した。	71	418	2	10～ 29
2017	4	16～ 17	小学校グラウンドにて自由遊び時間に児童と遊んでいた際、丸太の遊具が滑りやすかったため転落し、左手首と脇腹を負傷した。	64	371	1	10～ 29
2017	4	10～ 11	腰痛があり、重いものは持たないように医師より指示が出ていたが、右側麻痺のある利用者（体重70kg程）を職員2名でベッドへ移乗させた。直後は特に痛みはなかったが、徐々にしびれて痛みが発生した。	23	921	19	300 ～ 499

2017	4	14～ 15	当施設内トイレに入っている入居者及び、廊下、ホールにいる入居者を見守っていたときに、危険行為に及ぶ方を発見し、安全を確保しようと動き出した際、パチッと音が聞こえ左下腿に痛みが走り左脚に力が入らなくなり、床に転がってしまった。	54	921	19	50～ 99
2017	4	10～ 11	保育園の玄関ホールで、子ども達の散歩へ行く準備をするため靴箱に向かう際、靴箱前の5cm程の段差あるスロープで転んでしまい、左足をくじいて骨折をした。	47	417	2	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	2Fのシャワー室にて加湿器を洗っていた際誤って仰向けに転倒し、近くにあった踏み台に左脇腹をぶつけ骨折した。	71	417	2	10～ 29
2017	4	16～ 17	事務所から利用者宅へ車で向かい、利用者宅近くの駐車場に車を止め歩いて利用者宅へ向かう途中の坂道で足を滑らせ、左足首付近を強くひねった。	24	417	2	10～ 29
2017	4	15～ 16	デイサービス玄関前に駐車している車両にて、送迎前に利用者の荷物を載せたあと、一旦スライドドアを閉めたときに車体に添えていた左手を挟み込んでしまった。すぐに、自身の右手でドアを開けたが、左手中指を損傷した。	57	231	7	10～ 29
2017	4	14～ 15	事業場玄関で福祉車両の車椅子スロープ車の外から手動式スロープの格納作業をしているときに、1人で折りたたみ式スロープの格納時、車両にスロープを格納しきれず、スロープが上から右スネに落ちてきて、スネを裂傷しながら右足首で衝突停止とともに体が転倒し、右足がスロープの下敷きとなり、右脛裂傷及び右足首付近5～6箇所骨折を負った。	50	391	3	1～9
2017	4	5～6	利用者を起床のためベッドから車椅子に移乗する際利用者の両脇に手をかけた。その際、利用者の体重を支えようとして足を踏んばった時に左足の踵に痛みが走った。時間が経つにつれ痛みが増し、左アキレス腱損傷の診断を受ける。	24	921	19	100 ～ 299
2017	4	10～	施設内の2階男子トイレへタオルとバケツを取りに行き、それを持ったまま廊下に出て滑り、膝をつき前に転倒し、右足の痛みが続	63	418	2	50～

		11	いた。					99
2017	4	13～ 14	雨の日に、倉庫前のなだらかなスロープで三輪車を収納している時に、滑って右手を地面につき転倒した。	58	713		2	50～ 99
2017	4	0～1	事務所内の利用者Aさんの部屋で検温をするためAさんに近づいたところ、体温計をなげつけられ、突然突き飛ばされて尻もちをついた。Aさんは入居者の中でも普段から感情の起伏が激しい人で、この時は特に機嫌が悪かった。尻もちをついてから1ヶ月以上痛みを我慢していたが、我慢しきれなかった。もともとヘルニアがあったが、尻もちをついて損傷した部位は、その部位とは別のところである。	38	921		2	10～ 29
2017	4	11～ 12	利用者様宅に於いて訪問入浴作業時利用者様がトイレにおられ自力では入浴部屋へ移動が不可能な為私が抱えるような体勢で移動しようとしたところ私自身の体勢を整えられていないまま無理矢理移動し、腰に痛みを感じた。	24	911		19	10～ 29
2017	4	10～ 11	当所利用者用浴室内の脱衣場にて、利用者の入浴準備のため利用者を車椅子から寝たきり利用者用の浴槽のストレッチャーに、もう1名の介護職員と一緒に移乗させようと、利用者の足元を持ち上げながら中腰で体を反転させたところ負傷した。	31	921		19	50～ 99
2017	4	17～ 18	訪問先でPトイレへの車イスからの2人介助中、相手のヘルパーが支えてる腕から、利用者がずれ、下へ落ちそうになり（足底が床についてはいけない）危ないと思い、とっさに脇下の手を入れたまま、親指たてての型で支えていて、背中や腰にピリッと痛みが走った。帰り道に右足が上がらずつまずいて座り込み、立ち上がる事ができなくなり、背中での激痛と足のしびれが生じた。	51	921		19	50～ 99
2017	4	15～ 16	特別養護老人ホーム身障者トイレにて、両下肢が不自由な入所者のトイレ介助中、入所者を立たせるために抱え上げようとしたところ、途中で入所者が介助用手すりをつかみ負荷が増したため、腰を	36	921		19	100 ～ 299

			痛めた。				
2017	4	10～ 11	ご入居者様からのコール対応にて、背中に薬を塗布するために起き上がりを介助し、再び臥床介助を行う。寝ている位置が悪かった為、枕側（上方）に移動させようとマルチグローブを使用し、ご本人の肩・腰に手を入れ、上方に移動したところグキッと腰に痛みが走った。その日の勤務は市販の痛み止めを服用し終了したが、翌日に痛みが強くなった。	52	921	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	バイクで利用者宅から利用者宅へ移動中、交差点を右折する為に右車線に入ったところ、すぐ後ろの乗用車がミラーの死角に向かっていて見えず接触して転倒し、骨折した。	53	231	17	10～ 29
2017	4	17～ 18	2Fエレベーター前にて、帰宅願望の強い入居者様に付き添っていた際、入居者様がエレベーターを蹴る等して興奮され車いすからずり落ちそうになり危険であったため、静止しようとしたところ、強い力で手首や肘を両手でつかまれた。別の職員2人も応援に来たが、振りほどかれず、しばらく肘をつかまれていた。帰宅後、夜間に腕に強い痛みを感じた。	24	921	19	50～ 99
2017	4	15～ 16	移動支援サービスに従事中、利用者をホームから列車に乗せるとき、利用者が降りてきた人に当たり、電車とホームのあいだに足を挟まれ転倒し、利用者を支えていた被災者も一緒に転倒し、頭、背中、腰、足、腕等を強打した。	74	921	2	—
2017	4	11～ 12	デイサービスにて、水圧ベッドで横になっているご利用者様を起こそうと、先輩社員の指示を受けながら、首と腰の下に手を入れて起こそうとしたがうまくできず、その後何度か挑戦したが起こすことができなかった。介助中に痛みは感じていたが、後日に肩があがりにくくなった。	22	911	19	10～ 29
2017	4	9～ 10	事務所から利用者様宅へバイクで向かう途中、道路上でマンション駐車場から出てきた車に、乗っていたバイクの横をぶつけられて転倒した。	48	231	17	10～ 29

2017	4	17~ 18	勤務時間が終了し、着替えて階段を1階に下りている時、中央の踊り場上、2、3段から踏み外して踊り場でつま先から捻り、踝に骨にひびが入ってしまった。	44	413	19	30~ 49
2017	4	15~ 16	事業所内にて、面会に来られた家族から声をかけられ、対応しようと急いだ拍子にバランスを崩し、椅子のキャスターにつまずいて転倒し、右足指を骨折した。	54	379	2	100 ~ 299
2017	4	11~ 12	昼食時、4階の食堂から入所者をトイレに誘導し、その後再び迎へに行こうとした際に食堂出入口の自動扉に足を引っ掛け転倒し、左手橈骨骨折を負った。	48	419	2	50~ 99
2017	4	10~ 11	報告書提出の為に訪問先から事務所へ移動の途中、自転車同士で衝突し、腰を圧迫骨折した。（自身が右折しようとしたところ、後から走ってきた直進する自転車とぶつかった。）	61	362	6	100 ~ 299
2017	4	10~ 11	当施設内1階一般浴室の脱衣場にて、浴室で使用するボディソープの入ったダンボールが空になったため、廃棄処理のために両足でダンボールの上に乗って潰していた際に足が滑り転倒した。転倒の際に左手が床につく状態になり、左橈骨を骨折、左手関節を打撲・捻挫した。	63	416	2	50~ 99
2017	4	17~ 18	利用者宅へ訪問するため自転車で走行中、マンション敷地内の下り坂にて地面のタイルが雨で濡れていたため、スリップして転倒し、右膝を地面に強打した。	66	362	2	50~ 99
2017	4	16~ 17	次の訪問先へ向かう途中のT字路手前道路で、前方ワゴン車が左折ランプを点灯していたので、信号を左折すると思ったが手前の駐車場へ入り、ぶつかると思い急ブレーキで右に車体を傾けたところ、車には当たらずに転倒した。	56	231	17	10~ 29
2017	4	8~9	5階フロアの入居者の居室（個室）にて、職員2名で布団に寝ていた入居者を車椅子に移乗介助を行おうと、まず入居者を長座位に座らせて、男性職員が入居者の前から抱え受傷者が入居者のうしろか	47	911	19	100 ~

			ら、押し上げる動作を行っているとき、受傷者の踏ん張っている左足がちょうど布団の下のマットのヘリの位置にあったため、左足が滑って足首をひねり、左足首を骨折した。				299
2017	4	15～ 16	特別養護老人ホームの脱衣場で、利用者を特浴台からベットへ移乗しようとかかえたところ、右太ももの裏側に痛みがはしり、一瞬立てなくなった。痛みが治まらないので座ってできる業務を行っていたが、痛みがひかなかった。	55	999	19	30～ 49
2017	4	9～ 10	デイサービスの送迎中に、車から降りた際に一人で足をひねり骨折した。	29	911	19	50～ 99
2017	4	12～ 13	利用者宅より移動中、細い道を西に向かって原付自転車で走行中、T字路（信号、停止線なし）にて右折しようとしたところ、北向き一方通行で走行してきたタクシーと接触した。	54	231	17	10～ 29
2017	4	11～ 12	路上にて、介護保険サービス利用者宅より自転車にて当施設に戻る際に車道と歩道との段差でバランスを失い転倒し、左手と右足を負傷した。	61	362	17	30～ 49
2017	4	0～1	ご入居者のご家族より度重なる叱責、人格を否定するような叱責や、業務に対する根拠のない叱責を受け続け、うつ症状となった。	49	999	99	30～ 49
2017	4	5～6	夜勤勤務中入居者様を車イスに移乗させる動作をしている最中に、急激に腰に痛みが発生し、そのあと業務ができなくなった。	51	911	19	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	入居者様の歩行介助中、トイレまで手引きで歩行介助をしていたところ、入居者様の足の出が悪く、後ろに倒れそうになり、ひざ折れがあったため、ぐっとかかえた際に右手首を捻った。	45	921	19	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	雨天時、利用者宅から利用者宅へ電動自転車で移動中、車道を走行していたが後ろから車がきたので歩道へ入ろうとしたところ、タイヤが滑って転倒し、右目下、右膝、両手を負傷した。	43	362	17	10～ 29
		18～	入居者のベッドの上でずれた体をベッド上に上げる補正をしていた				50～

2017	4	19	時に、前屈姿勢で前かがみの姿勢をとっていたため肋骨を骨折した。	55	911	19	99
2017	4	11～12	開催される舞台設営中に誤って舞台より転落し、足を強く打ち付け、左足踵骨を複雑骨折する。	36	418	1	100～299
2017	4	15～16	地域支援室を出る際、他職員に報告のため声かけをしようとしたところ、階段を踏み外し転倒した。様子を見ていたが痛みとともに左手が動かなくなった。	60	417	2	100～299
2017	4	13～14	保育児童の給食に用いた給食用食器を入れたかごを運搬中、一階から二階に上る階段において足を滑らせ、三段目の階段角に左膝を打撲負傷する。	20	413	2	10～29
2017	4	7～8	施設居室内でベッドから車イスへの移乗介助中、腰をひねった際にグキッという音と共にするどい痛みを感じ、車イスの前にくずれ落ちた。	76	911	19	100～299
2017	4	10～11	事業所の厨房にて、給食の準備をしている時、人参を切った際に左手小指を包丁で切ってしまう。すぐ止血を行うが、左手小指第2関節部分を4針縫う怪我となった。	35	364	8	10～29
2017	4	17～18	児童の送迎のために車の運転業務中、葬祭場の手前で警備員が停止するよう合図していたので停止していたところ、後ろから来た車両に追突され全身を強打した。	29	231	17	1～9
2017	4	17～18	利用者居室で離床動作介助中、上半身を起こすため背中に手を添えた状態で、起きる事を拒否されて不意にベッドの方へ倒れる様に力を入れられた時、左腰にギクッと痛みを感じ歩行できなくなった。	52	911	19	50～99
2017	4	6～7	女性居室において利用者が排せつ失敗のため自室床に座っており、病弱で足も不自由なため車椅子を使用していた。この時は特に力が入らない様で自力での立位保持歩行は困難だった。利用者を後ろから抱き起こしてベッドを移動しようとした時、腰に激痛	55	921	19	50～99

			を感じ立てなくなった。				
2017	4	16～ 17	利用者送迎の帰りに走行中、店出入口付近で、前方を走行していた車が店舗へ進入しているところへ追突した。	56	231	17	100 ～ 299
2017	4	19～ 20	施設内で、利用者様に口腔ケア作業中、指を口の中に入れ口の中の側面をこすっていたら、突然利用者様が首を振り口を閉じたため、右手人差し指を噛まれた。	20	911	90	50～ 99
2017	4	11～ 12	室内で作業準備のため衣装ケースの中にあるネットに入った物品を取り出し空になったケースを両手で持ち、身体の向きを変え一歩踏み出したとたん、身体の右側から床と椅子の足に向かって転倒し、右手に激痛を感じた。原因として、ネットのヒモが足元にあり引っ掛かった可能性がある。	63	416	2	10～ 29
2017	4	10～ 11	小規模多機能型居宅介護事務所の宿泊室において、全介助状態の利用者（要介護5、体重約47kg）を介護ベッドからリクライニング型車イスに移乗介助した際、車イスへの座りが浅いことに気付き、もう一度深く座り直ししようと抱えた時に支えきれず、利用者を抱えた状態で利用者と共にずり落ち、急に腰が痛くなった。	59	911	1	10～ 29
2017	4	3～4	夜勤中に入居者様からコールによる呼び出しがあり、居室に伺ったところ、入居者様がベットより立ち上がっていて転倒しそうだった。慌てて入居者様を支えたところ、ベットの柵に入居者様を支えた状態で右手を強打した。	26	719	2	50～ 99
2017	4	13～ 14	サービスステーションの椅子に引っ掛かり転倒し、右膝を着く様にして打ち、捻挫となった。	19	379	2	30～ 49
2017	4	5～6	1階トイレにて利用者をトイレ介助中、利用者を立位させ車椅子に移動させる際、自身のバランスが崩れて直立姿勢を保とうと力を入れた際、痛みがはしり、日を重ねるごとに増してきた。	75	921	19	100 ～ 299
			保育園の3階から1階へ園児を探しながら、降りている途中で左足を				

2017	4	16～ 17	捻った。痛いと感じたが、園児をみつけてまた3階へ戻り授業（音体）をしていたときにズキンと痛みがあり、だんだん痛みが増した。その後、足を引き摺るようになり、触ると腫れていた。	42	413	19	30～ 49
2017	4	18～ 19	施設の2階屋上の排水口を清掃するため、脚立を使って屋根へ昇ろうとしていた際に脚立が滑り、2.8m位の高さから転落した。脚立を2つ折りではなく伸ばした状態で壁に立て掛けて使用しており不安定な状況であった。また、脚立を支える人間もおらず、1人で作業を行っていた。	54	371	1	10～ 29
2017	4	16～ 17	ご利用者様の散髪後、後始末の際に外の洗濯干し場でシートをはらっている時、風が吹き目に入りそうになったため目をそらした瞬間に転倒し、段差がある事を認知していなかったため左肩から落ちて一回転した。	68	416	2	10～ 29
2017	4	9～ 10	子どもがトランポリンをするようにセットし、一人ずつ名前を呼ぼうと前に出たとき、目測を誤りトランポリンの支柱に左足を強打した。	51	379	3	1～9
2017	4	9～ 10	職場施設内の2階より地下に下りようと階段を使用中に、足を滑らせて落ちた。	49	418	1	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	給食室で園児の給食調理中に回転釜に近づいた際に、段差で足が滑り、右肘下部が釜上部に接触した。続けて転倒を防ぐために、左手で釜上部を掴んでしまい、右肘下と左手の内側を火傷した。	22	341	11	30～ 49
2017	4	6～7	ショートステイの利用者居室で、起床介助し、食堂へ移動するため、ベッドから車イスへ移乗中に、利用者は右足にマヒがあるが以前は左足で自分を支えられていたので移動・移乗もしやすかったが、機能低下した為介助者の移動・移乗がしづらく、全介助にて行うようになった状況で利用者を持ち上げて、車イスに移乗する途中に腰からグシャというような音があった。利用者を車イスに座って頂いた後、痛みが強くなった。	62	911	19	100 ～ 299

2017	4	10～ 11	入居者様のオムツ交換時、排便があった為、ベッドをジャッキアップ（腰の位置まで）し、陰部臀部洗浄中に突然右側腰に激痛が生じた。そのまま動けなくなったが、オムツ交換を続けようとするも痛みが強く、座り込み動けなくなった。	43	911	19	30～ 49
2017	4	18～ 19	スタッフルームでプラスチック製のイスに座って報告書を作成していたところ、突然座っていたイスが壊れて、臀部を床に痛打した。	41	391	3	10～ 29
2017	4	9～ 10	入居者Aの介護ケア中に、別室のBより何度かナースコールがあったため、Bの部屋に行き「お待ちください」と伝えたところ、「俺を優先しろ」とBが暴れ、Bの足が被災者の左胸部に当たり、左肋軟骨不全骨折となる。	41	921	6	10～ 29
2017	4	14～ 15	入所者の居室ベッドサイドで、入所者体調不良で点滴中に自己抜針し、再ルートキープ作業を行うことになった。全介助の入所者がベット中央で臥床し傾眠中のため、前傾姿勢の中腰で右手に留置針を持ち、左手で入所者の左下腿を押さえて、10分程経過して作業を終え立位を取った際に腰部に激痛が起こった。痛みはあったが、当日は最後まで勤務した。	53	921	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	当介護施設内で、被災者は介護施設利用者の入浴介助作業を行っていた。入浴を終え、利用者を立たせ、椅子に両手をついた姿勢で、ズボンをはかせていた際、利用者の脇で前かがみの姿勢で作業を行っていた。利用者（男性身長170cm×体重58.6kg）がバランスを崩し倒れそうになったので、とっさに立ち上がり両脇を抱え踏ん張ったときに肋骨を負傷した。	46	921	19	50～ 99
2017	4	16～ 17	施設（放課後等デイサービス）の庭にて、利用者（障がい児）の支援を行っていたところ、テラスより庭におりた際に、庭に穴があいており右足首を捻った。	37	417	3	1～9
2017	4	17～ 18	施設内ダムウェーターにてゴミを降ろす際、手動の扉で手を挟み右手中指を骨折した。	31	214	7	50～ 99

2017	4	10～ 11	病棟ナースステーション出口にて、上の燕の巣から落ちてくる糞を防ぐためダンボールを巣の下に取り付けている時に、脚立から足を踏みはずして転落した。	67	371	1	30～ 49
2017	4	17～ 18	事務所内で、各自お帰りの用意をする時間に、新一年生の児童が2階へ駆け上がって行ったため追いかけて中段で制止し、先に降りるよう促し体勢を反転させていたら、足が滑って児童を抱える格好で、一緒に下まで落ち、壁に左足を打ちつけた。（児童にケガはない。）外内面共に幼児で、声掛けのみでは不十分の為、両脇に両手を差し方向転換させていた。	48	413	1	10～ 29
2017	4	11～ 12	失禁した利用者の衣類を片付けるために脱衣室へ行き、脱衣籠に衣類を入れ戻る際に床に敷いている保護マットが動き、体勢を崩し転倒した。その際に、左手で受け身を取り左手首を骨折した。	62	416	2	10～ 29
2017	4	11～ 12	施設の台所で入居者の食事を調理中、大根を縦に切っていた時に誤って右手の薬指の手のひら側を包丁で切ってしまった。（被災労働者は左きき）	62	364	8	10～ 29
2017	4	10～ 11	訪問介護の業務の中で、利用者の依頼した買い物に車で向かう際、斜面地の駐車場で方向転換を行おうとした際に運転を誤り、駐車場の柵を突き破って7～8メートル下の地面に転落した。	67	231	17	30～ 49
2017	4	14～ 15	入所利用者居室にて、被災者は利用者を車椅子からベットに移動させようと、利用者の両脇に腕を入れて抱え、ベットへ移動させた時に右臀部に痛みを感じた。当日は痛みを我慢して勤務したが、翌日に右足のふくらはぎとつま先に痺れと痛みがあり、ヘルニアと診断された。	32	921	19	50～ 99
2017	4	1～2	3病棟にて、朝のミルクの準備中にイリゲーターを掲げる台車のねじが緩み、上から下へ掲げる箇所が落ちた。その衝撃でイリゲーターが床へ落ち、中身がこぼれて床がびしょ濡れになったため、床を掃除しようとした際に足を滑らせて転倒しそうになった。踏ん張ろうと横にある流し台を掴んだが、バランスを崩し右足を捻り、	40	419	19	100 ～ 299

			徐々に痛みが増し歩行困難になった。				
2017	4	13～ 14	当園の駐車場にて仕事の為駐車場に車をとめ、園に向かっていたとき駐車場にあったくぼみに気づかず右足をひっかけてしまい転倒し、右足の甲あたりを負傷した。	64	417	2	50～ 99
2017	4	16～ 17	児童クラブ駐車場で子供達と鬼ごっこをして遊んでいる際につまずいて転倒し、車で右膝打撲した。	54	417	2	1～9
2017	4	9～ 10	施設正面玄関前に送迎車（リフト車）で到着し、利用者様を降ろすために送迎車の後方から降りる際、乗降ステップに右足をかけたが、雨で濡れており車イスのグリップを握ったまま後方に転落し背中を打撲した。	65	231	1	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	当社施設内において、入所者をカーペットの上から肘付きの椅子に座らせようとして、前方より抱きかかえるようにして持ち上げたとき、腰部を負傷した。	66	921	19	10～ 29
2017	4	10～ 11	浴室において、利用者の洋服の着衣時に車椅子の背後から前側に移動しようとした際に、左足が車椅子のタイヤに引っ掛かり、転びそうになり、右足で踏ん張ろうとしたが、右足が滑り右膝を床に打ちつけた。	67	417	2	50～ 99
2017	4	14～ 15	当法人施設の1階汚物リネン庫にて、庫内奥の汚物袋を取るため奥まで行く際に、床に置いてあった布団の上に乗って歩こうとした時に右足先が布団に引っ掛かり、体勢が不安定になりバランスを崩して前に転倒し、床で右膝を強打した。	54	417	2	50～ 99
2017	4	0～1	事業所施設内居室で入所者に声を掛けながら定時のオムツ交換作業をしている際に、入所者が突然怒りだし暴れ始めた為、同僚に協力をお願いし、なだめながら作業をしていたが、両足の踵で左胸部分を数回蹴られ負傷した。	56	911	90	50～ 99
2017	4	14～ 15	自社倉庫の軒樋を取り付け中、誤って脚立から落下転倒し、全身を打撲し、特に肋骨頸椎を強打した。	20	417	2	100 ～

									299
2017	4	11~ 12	原付バイクで訪問介護の移動中に雨が降っており、カッパ、ヘルメット着用、水滴で前が見えづらくなっており、信号で急ブレーキをかけたところスリップし転倒した。その際に右側に倒れ、右腕、右脚、左手の甲打撲足のつけ根の内出血、右ひざ、右足の甲を擦りむいた。	53	231	17			30~ 49
2017	4	11~ 12	園内の教室前廊下にて、子供を抱えて移動させようとしたところ、足元のわずかな段差につまずき子供を抱えたまま足首を捻ってしまった。	26	417	19			30~ 49
2017	4	16~ 17	利用者の部屋の窓とカーテンを閉めて周っていた際、部屋の入口付近の床が水でぬれており、足を滑らせて転倒し、肘を床に打ちつける形で転倒し、右肘を骨折した。	57	416	2			50~ 99
2017	4	18~ 19	キッチンで洗い物をしていたところ、トイレのコールが鳴り続けていた為に対応しようと急いで駆け付けたため転倒し、滑って壁に左肩を強打し骨折した。	62	416	2			1~9
2017	4	8~9	要介護者の利用者宅で利用者をベットから車イスへ移動する際、バランスを崩して左足膝関節を痛めた。	50	921	19			10~ 29
2017	4	17~ 18	デイサービス利用者を送る際、利用者自宅前でリフト車を作動中、リフトが作動せずギアボックスにナットを差し込み、ギアを動かそうとしたときに約10cm四方のギアボックスの中へナットを落とし、回収しようとした際にギアが動き出し、左手人差し指を挟まれた。	49	231	7			100 ~ 299
2017	5	9~ 10	1階リビングにて、利用者の口腔ケアを行うため、利用者（介護度4、160cm、50kg位）をリビングから洗面台に移動する際いすから車椅子へ移乗させたところ、利用者がまったく立位を保てず、全体重を抱えたため、強く腰を捻る格好になった。日によって利用者の立位状況も変わる為、抱えた時に無理なようであれば、すぐに声を掛けて2名介助に切り替えるように指導した。	24	921	19			30~ 49

2017	5	11～ 12	園児を引率中の遠足で、児童公園内にて、園児を追いかけて小さな山を登っている途中にパンと言う衝撃があり、そのまま歩けなくなった。	56	921	19	～ 299
2017	5	17～ 18	利用者の個室に入り夕食を配膳しようとしたところ、突然利用者が激昂し理解不能な内容の事を叫びながら、介護職員の膝とすね全体を力強く蹴り、左膝と左すね全体を打撲した。	38	719	6	50～ 99
2017	5	13～ 14	当社の施設にてイベントの用意でエレベーターで椅子を運んでいた際、椅子2脚を運んでいたがエレベーターが狭かったため、降りる際に椅子とエレベーターの間に右手首を挟んだ。	18	214	7	50～ 99
2017	5	9～ 10	介護施設内浴室において、利用者様の入浴介助をする際、しばらくの間同じ前傾の姿勢で利用者様の手指の洗浄を行っていたところ、腰部を負傷した。	42	921	19	50～ 99
2017	5	12～ 13	利用者個室で体勢移乗の作業中、ベッドに片足を上げた状態で利用者の方の頸部と腰部に手を入れて枕元まで引き上げようとした際、腰部に激痛が生じて床に座り込み、立ち上がりや歩行が困難になった。	18	921	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	デイケアホールの一角で、高さ32cmの小上がり（畳）に上がり、カーテンを閉めていた際、1m離れた場所にあるカーテンまでは、小上がりが無い事に気が付かず、足を踏み外して右足の指と左膝を負傷する。	55	416	2	50～ 99
2017	5	11～ 12	障がい者支援施設の居室で、居室据え付けの高い位置にある棚に利用者の衣類を入れるため、利用者のいない空のベッドに片足だけ靴を脱いで上がった。片足のまま衣類を棚に入れベッドから降りようと靴を履いていた側の足を下に降ろしたところ、脱いであった靴を踏んでしまい、不安定な着地になり、転倒した。転倒後動けず、他職員に起こしてもらったが、腰と右手首に痛みがあり業務が出来ない状態になった。	43	417	2	50～ 99

2017	5	9～ 10	出勤時、保育園駐車場に車を駐車しようとした際に耳の痛みを感じて気を取られ、アクセルを踏んだまま前進し、前方にあったポールに追突してしまった。	23	231	17	10～ 29
2017	5	10～ 11	勤務場所の居室にて、入居されている方をベッドから車椅子へ移乗する際、腰の右側に鈍い痛みを感じたが、そのままの状態ではバルーンを車椅子のカゴに入れようと中腰の姿勢で持ち上げたため激痛が走り、動くことが出来なくなり、腰椎捻挫を負った。	38	921	19	50～ 99
2017	5	15～ 16	利用者居室にて、本人が右側臥位で静養中だった為、パット交換と体位変換、離床介助をしようと利用者の背中側に立った。自身の腰の高さにベッドを調整し、立ち位置を確認してからサイドレールを外した。パット交換の為、利用者の腰に手を掛け、手前に引こうとつま先立ちになって足が伸びた際に、下腿三頭筋付近からブチッと音がして激痛が走った。	41	921	19	30～ 49
2017	5	14～ 15	展示館を利用者と見学後に、玄関前駐車スペースで車椅子利用者を福祉車両に乗せるため車椅子リフトを昇降操作中に、車椅子リフトのアーム部分から腕を入れ、掛け忘れていたブレーキ（ワイヤーロック）を掛けようとした。リフト操作を車内から別介護者が行ってしまったため、本人が腕を入れてしまっていることに気付かずアーム部分に腕を挟まれた。	55	229	7	10～ 29
2017	5	17～ 18	送迎からの帰り道に誤って信号機に衝突してしまった。運転中にボーっとしてしまい運転操作を誤ってしまった事が原因である。車両は信号機にめり込んで全損し、頸椎捻挫、多少の擦り傷、切り傷を負った。	20	231	17	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	園庭で保育中、子どもが川にバケツを投げそれを拾うために、とっさにフェンスを乗り越えたところ着地に失敗し、右手首から落ちた。	62	419	1	30～ 49
2017	5	12～ 13	車椅子から利用者に移乗する時に持ち上げた際、腰を痛めた。	27	611	19	50～ 99

2017	5	19～ 20	居室内において、入居者を車イスからベッドへ移乗介助中、入居者が被災者の首につかまった際に腰に急激に痛みが走った。	48	921	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	壊れたカラーボックスの天板を重ねて、左手で天板を押さえ、前もって必要な長さに切ってガムテープを右手で天板の右側面に貼ろうとしたが、ガムテープが右手にからまったので右手人差し指ではずそうとしたところ激痛が走り、右人差し指が伸びなくなった。	58	379	19	1～9
2017	5	17～ 18	当園での2歳児クラスの室内で保育をしている時に、1名の園児が廊下に飛び出そうとしたため追いかけてようとしたところ別の園児が被災者の足元に来たので避けようとしたが転倒してしまい、片手をついて足が逆立ちとなる姿勢となって背中をひねり、手首に体重が掛かって負傷した。	52	921	2	10～ 29
2017	5	0～1	当施設特別養護老人ホームの居室において、被災者ともう一人の介護士の二人で利用者（女性：身長148cm、体重52kg）をベッドから車椅子に移動させる際に中腰になったところ、腰に激痛が生じ動けなくなった。	34	921	19	50～ 99
2017	5	17～ 18	利用者の居室にて、ベッドに横になっている利用者を起き上がらせようとした際に、利用者が手を被災者の首に回し、体重をかけられてしまい被災した。	44	911	19	30～ 49
2017	5	9～ 10	汚物室の高い棚にあるタオルを取ろうとして台に乗ったあと、後方に倒れて床に右手をつき、右手首を骨折した。	62	371	1	50～ 99
2017	5	11～ 12	トナーカートリッジ組立工程で、製品（トナーカートリッジ本体）に小部品を治具（ハンドプレス）で圧入する作業中に、製品と小部品を治具にセットし、右手で製品を支え、左手でハンドプレスのレバーを引くと、製品の上の面を治具が下方に加圧して小部品が圧入される。その際、誤って治具にセットした製品の上の面を右手で支えてしまった為、左手でレバーを引いた時、治具と製品の間で右手人差し指を挟んだ。	25	911	19	50～ 99

2017	5	19~ 20	<p>談話コーナーにあるソファに座ってくつろいでいた入所中利用者で認知症男性（84歳、要介護度2）の足元に置いてある痰容器が横転していたので、それを元に戻そうとした当該介護職員が、かがんで手を伸ばした時に男性利用者が右足を上げて、つま先が右脇腹に当たった。</p>	67	921	6	1~9
2017	5	12~ 13	<p>グループホームの居室において、利用者様の入浴準備の為着替えの入った脱衣カゴを4つ（総重量6kg位）重ねて持った際、腰に痛みが走りギックリ腰となった。防止対策として、ミーティング時に重量物など持ち上げたり移動する際は、十分注意して取り扱うよう連絡した。</p>	27	611	19	10~ 29
2017	5	16~ 17	<p>運営施設から事務所へ自転車で移動中、交差点にて自転車に跨った状態で信号待ちをしており、ペダルを踏み込んだ際に縁石に左足の甲を強く打った。</p>	23	362	3	50~ 99
2017	5	15~ 16	<p>障害者の共同生活援助事業所（グループホーム）において、利用者の洗濯物を片付ける為に、ベッド（床1.35m位）へ上がり作業を行う。その後、ベッドから降りようとした際にバランスを崩してしまい、右足から着地したが挫いてしまった。患部が強く痛み、腫れも出てきて、右第五中足骨骨折及び右足関節捻挫となった。</p>	42	371	2	1~9
2017	5	11~ 12	<p>利用者様の起床時のベッドから車椅子に移乗した際にいつもより重いような違和感を左背部に感じ、入浴介助中に激痛が走った。</p>	46	921	19	50~ 99
2017	5	9~ 10	<p>夜勤を終えて、退社するため施設内のエレベーターに乗ろうとした際、足を滑らせて右の腕を下にして転倒し、骨折した。</p>	64	417	2	100 ~ 299
2017	5	16~ 17	<p>施設内ホールにて、利用者の見守り支援を行っていた際、急に後方から男性利用者に背中を叩かれる。痛みが残り、頸椎を痛めていたことが分かった。</p>	47	911	6	30~ 49
2017	5	19~ 20	<p>施設利用者の居室にて、終身介助の為、利用者を車椅子から床に移乗する際、腰を痛めてしまい、施設移動中に痛みが悪化した。</p>	44	911	19	50~ 99

2017	5	15～ 16	施設内において、知的障がい者である入居者を指導中、興奮した入居者の腕が当たり、転倒し負傷した。	45	911	2	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	訪問看護が終了して職場に戻るため駐車場に向かっている際、いつも通る団地内ピロティを歩行中、雨で路面が濡れていたからか滑って転倒した。右背部～側胸部を強打し、一時、呼吸苦で動けなかった。右背部上部に内出血があり、痛みが強い側胸部には外観変化はない。帰宅後、寝返りもできず痛みも増し、第9肋骨骨折が判明する。	57	417	2	50～ 99
2017	5	10～ 11	施設内廊下の曲がり角付近において、施設利用者の入浴準備のため急ぎ足で歩いていたところ、角を曲がったところで左足ふくらはぎに痛みが走り動けなくなった。	40	921	19	50～ 99
2017	5	15～ 16	園舎内にて清掃作業中、フローリングの床を水道水で湿らせたモップで拭いている時に濡れている床で滑ってバランスを崩し、左膝に体重がかかり前のめりに転倒し骨折する。その際、踏みとどまろうとした右足の指先も同時に痛めて骨折する。	51	417	2	50～ 99
2017	5	12～ 13	入居者様を車椅子からベッドへ移乗する際に負傷した。片麻痺がある体格の大きい入居者様だったので、気を付けながら移乗していたが、無意識に右側に力が入っていたようで負傷してしまった。	36	911	19	—
2017	5	17～ 18	デイサービスの利用者を自宅に送るため送迎車後方の車椅子用スロープを操作していた際、スロープのエッジに右足の脛をぶつけ、裂傷を負った。	50	418	3	10～ 29
2017	5	10～ 11	散歩で公園に行き水遊び場で園児を抱っこした際に、足音が見えにくい状態で、足を滑らせ左足首をひねった。	29	417	19	10～ 29
2017	5	10～ 11	保育所の園庭で、1～2才児の子供達を向かい合って中腰で遊ばせている時、後ろからふいに飛びつかれて腰に痛みが走った。その場を動かずにいると少し落ち着いたが、しばらくして動き出すとまた	26	921	19	10～ 29

			腰に痛みが走った。				
2017	5	9～ 10	保育園ホールにて、同僚と一緒に、毛布とタオルケットの入替業務を行っていた。押し入れに重ねられた毛布を中段位から引っ張り出した時、足元の布団に滑り転倒し、左足の腓骨、脛骨の2ヶ所を骨折した。	55	379	2	30～ 49
2017	5	8～9	移動支援でお客様を学校まで送り届けた後、自転車を学童まで置きに戻る途中、道幅の狭い道で、人をすり抜けながら走ってきた自転車の高校生とぶつかった。高校生の自転車のハンドルかブレーキ部分が右手中指と薬指の間にはまり、手の甲にかけて裂傷、左足打撲し、アザを負った。尚、高校生は急いでいたため、名前を聞くのが精一杯な状況であった。	69	362	6	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	施設内3階5トイレにおいて、利用者排泄介助中、利用者が便座から立ち上がった状態で、パットを当てズボン上げる介助動作で腰部に必要以上に無理な力が加わり、急性腰痛症となった。	28	921	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	帰宅する為、勤務地敷地内にある駐輪場にて自転車を出し、一時停止した。乗る準備をしていたところ、バランスを崩し左側に自転車ごと転倒した。その際、地面にお尻から着地した為、尾骨を負傷した。	43	417	2	30～ 49
2017	5	15～ 16	デイサービスセンターにおいて、利用者様のトイレ介助をしていた時、利用者様を便座から車椅子に移動させるため、1人で利用者様を抱え上げた際にバランスを崩して、転倒してしまった。その際、頭を強打したらしく、意識を失ってしまった。	52	911	2	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	訪問介護の利用者宅にて室内での移動中、床に置いてあったマットに、急いでいたため躓いて転倒した。	73	418	2	10～ 29
2017	5	14～ 15	事業場入居者居室内ベッドサイドにおいて、ベッドから車椅子へ移乗介護を行うため、入居者を抱えて立ち上がった際に腰がバキッと鳴り、激しい痛みが走った。	44	911	19	50～ 99

2017	5	14～ 15	施設内、居住者居室で床に設置された金庫の鍵を開けようと、しゃがみ込んだ途端、左膝に強い痛みと痺れを感じ床に座り込み、そのまま5分近くは、左足を動かそうとするも痛みで力が入らず動けなかった。しばらくしてゆっくりと左足を動かせる様になり、徐々につかまり立ちし、痛みはあるものの歩ける様にはなったが、また同じ症状が出た。	53	921	99	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	利用者宅から利用者宅へ向かう途中、上り下りを仕切る中央のポールに接触し転倒した。	63	362	3	1～9
2017	5	11～ 12	仕事場（マンション1F部分およびその周囲）の裏の外水道で粘土ベラ等を洗って終了後、玄関前に出ようとしたら、マンションの外階段の脇に自転車が停めてあって、前輪の向きを少し変えようとしたところ自転車が傾き、慌てて両手で止めようとしたがモーターサイクルのため重量があり、腕に負荷がかかる。	72	231	19	10～ 29
2017	5	9～ 10	訪問入浴介護サービスにて、お客様を浴槽からベッドへ戻すために抱えた際、腰部に痛みが生じ、痛みが悪化していった。	24	911	19	30～ 49
2017	5	15～ 16	お客様宅の活動に向かう途中、電気自転車で急坂を上っていた際、消防車が後方から続けて走行してきたので、路肩により通過待ちを行った。再度発進しようとしたところ、スピードが上がらず、右方向へ傾き転倒し、頭部を打って出血し、救急搬送された。	68	362	2	10～ 29
2017	5	11～ 12	利用者宅に向かうため原動機付自転車を運転中、見通しのよい十字路を直進しようと、十字路に進入した。その際、一時停止をした様子だが、完全ではなかったため、相手の車の運転席右前方のピラー付近に衝突した。そのはずみでヘルメットが脱げて、そのまま後方に転倒して後頭部を強打し、頭蓋内出血、肋骨骨折及び骨盤骨折を負った。	62	231	17	1～9
2017	5	16～ 17	施設内の流し台の吊戸棚が落下し受傷する。	31	391	4	10～ 29
			2階中間浴側内脱衣室で利用者様を入浴後、整容の為洗面台へ手引				

2017	5	15～ 16	き誘導し車椅子に座って頂こうとした時、利用者様がバランスを崩し倒れそうになった為、支えようとしたが、利用者様が上に乗った状態で共に転倒した。	49	911	6	100 ～ 299
2017	5	6～7	当施設内事務所前の廊下で居室からリビングに移動中、躓いて転倒し、左足全体をぶつけ痛めてしまった。	69	417	2	300 ～ 499
2017	5	7～8	介護施設にて業務中、ご入居様の起床介助の際に腰を痛めた。施設内居室において、男性で介護度5・体重90kg位で水頭症ありのご入居者様を2人介助で別スタッフが下半身を抱え、当該スタッフが上半身を抱えベッドからリクライニングに移乗中に腰に激痛が走った。	51	911	19	10～ 29
2017	5	15～ 16	利用者の居室にて、利用者を車椅子からベッドへ移乗している際、ベッドに寝かせる作業で膝固定をしていたが、上手く自身の膝が外れずに利用者の体重がのしかかってしまい、肋骨の辺りに痛み、違和感を感じた。当日には痛みは強くなかったが、翌日に痛みが増し、骨折となった。	56	911	19	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	911	19	50～ 99
2017	5	9～ 10	グループホームから利用者2名と昼食の買い物に出掛けるため玄関の鍵を取りに行き、玄関に戻ろうとして途中にある水栓の蓋の手前に左足をのせたら、足が滑り落ち身体が前に倒れ左右の膝を打った際、右膝を強打し右足首を捻ってしまう。様子を見ながら仕事をしたが、右足首の痛みが酷くなった。	68	417	2	100 ～ 299
			ご利用者宅団地敷地内のゴミ集積場に、ご利用者宅のゴミを出そうと片手にゴミを持ち、もう片方の手で集積場のゴミに掛けられてい				10～

2017	5	8～9	るネットを持ち上げてくぐる際、足がネットに引っ掛かり転倒した。痛みと出血はあったが業務を終え、帰宅後に痛みが増し、膝が曲がらなくなった。	69	391	2	29
2017	5	6～7	居室内で入居者様をベッドから卓椅子へ移動しようと介助をした際、入居者様を抱えた時に膝に痛みを感じた。	38	911	19	50～ 99
2017	5	18～ 19	勤務施設内1階の食堂にて入居者が食後服薬する薬の確認作業中、介護職員が入居者が乗る車椅子を押して通りかかった際に車イスが左踝に接触し、痛みが走った。	53	362	6	50～ 99
2017	5	14～ 15	1F廊下で食堂へ伝票を提出しに行った帰りに、水拭き後の水分に滑り、臀部より転倒した。腰部に痛みがあり、立位や歩行が不可となった。	57	417	2	30～ 49
2017	5	14～ 15	厨房内で生ゴミ用バケツを運ぼうと持ち上げたところ、腰に電気が走り動けなくなってしまった。痛み止めを飲んで働いていたが、しびれが出て来た。	52	379	19	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	保育中、子供と園庭でおしくらまんじゅうをしていた際にバランスを崩して倒れ込み、地面に右手を強く打った。	69	911	6	10～ 29
2017	5	15～ 16	当施設の居室でおむつ交換後、おやつを差し上げる為に離床、車椅子への移乗を行っていた時、左ももの付け根の辺りを痛めた。介助する入居者様は、特に体格の大きい方ではないが、ご自身の脇や足に力が入ってしまい、体を突っ張ってしまう方である。ベッドの端に腰掛けて頂き、脇から手を入れ体を持ち上げた時に、入居者様が体を後方に反り返してしまい、それを支えようとして無理な姿勢になってしまった。その時に、左ももの付け根と膝に痛みを感じたが当日はそのまま、最後まで勤務した。	26	911	19	50～ 99
2017	5	13～ 14	自動車でショートステイの利用者様を、自宅から当老人ホームに送っていた際に事故が発生した。複数事故が起きている、緩やかな右カーブの細い道路にて、法定速度で走行中、自動車の左前方を塀にこすってしまったため、焦ってハンドル操作を誤り、左側面を	59	231	17	50～ 99

			こすりながら電柱に衝突した。ほぼ真正面からぶつかったため衝撃が大きく、エアバックが作動してしまい、鎖骨を骨折した。				
2017	5	13～ 14	レクリエーションルームにて、レクリエーションの準備をしている際に、立ててある長机を移動しようとした。長机のキャスターが回りきらなかったために、右足首の上に長机が倒れてきた。	40	379	6	50～ 99
2017	5	16～ 17	デイルームのカーテンレール取り付け時、脚立から降りる際に一段踏み外し、高所から落ちて右足に負荷がかかった。	52	371	1	30～ 49
2017	5	12～ 13	施設から事務室へ向かう廊下を歩行中、床に置いてあった洗濯物の入ったカゴに足を取られて転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	52	529	2	10～ 29
2017	5	1～2	施設内ユニットリビングで歩行中、立ちくらみのため、左側へ倒れ左足甲を剥離骨折した。	30	417	2	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	浴室にて、利用者様を車椅子から入浴チェアへ移動させるため、2名で抱えて立ち上がらせた際にバランスを崩し、左側に転倒した。転倒時、利用者様が体の上に被さる状態で転倒し、転倒した時の体勢が悪く、その上に利用者様が乗ってしまった重みもあり負傷した。	24	921	2	10～ 29
2017	5	13～ 14	就労継続支援A型事業所の検査室で製品の検査をしている時に、製品を床に落として拾う際に左手が床につき、左手関節痛を発症した。	19	921	3	50～ 99
2017	5	16～ 17	保育園の遊戯室で、子供達とドッジボールをしている時にボールを拾おうとした際にホースが切れるような音がして、同時に左足が滑る感覚があり、前に倒れた。そのあと左足首が思うように動かなかった。	37	417	2	10～ 29
2017	5	9～ 10	デイサービスご利用者様を迎えに行き、利用者の自宅で、ベッド上に寝ているところを後頭部と両膝の下を支えた状態で、利用者様をベッド端に腰を掛けさせようと介助した際に、以前から痛みがあっ	54	921	19	50～ 99

			た右膝に強い痛みがあった。				
2017	5	11～ 12	リフト浴室にて、利用者を抱えて立たせる介助をした際、腰に痛みが走った。その後、座って事務仕事をしていたところ右臀部から足にかけて強い痛みが出現し、治まらなくなり、座っていることも歩くことも苦痛となった。	42	921	19	50～ 99
2017	5	20～ 21	強度行動障害者への支援についての研修会参加のため出張中、研修会を終えての帰り道、高速道路を走行中、右前輪が道路上の落下物に接触した。同乗者が確認のため車から降り確認中、走行車線を走っていたトラックが後方より追突した。当方労働者は運転席に乗車中にて負傷し、同乗者は無傷であった。	44	231	17	10～ 29
2017	5	17～ 18	当社デイサービス施設玄関前にて、デイサービス利用者の帰りの送迎対応で利用者に送迎車の後部座席に座ってもらうための乗車介助をしていた際、ステップに足を乗せていたところステップが雨で濡れて足を滑らせ体が傾き、車両内左側の手すりに左胸部下を強打した。	36	719	2	50～ 99
2017	5	10～ 11	当社デイホール内窓辺前の長机の上に乗し、紙でできた大きな看板のようなものを壁に貼ろうと、長机の上に立ち、手をいっぱい伸ばしながら作業していた際、折りたたみ式の長机の脚が折れてしまい、背面から床に転落してしまった。	34	391	1	30～ 49
2017	5	2～3	段違いの畳の間にて利用者様の見守りをしていると、物音がしたため立ち上がり、板敷部分に移動したところ足が滑り、約40cm下の床に左側から転落した。その時に思わず左手で体を支えたところ、左手首に激痛を感じた。	60	416	1	100 ～ 299
2017	5	7～8	介護施設内の共有スペースの食堂にて、ご利用者様が味噌汁をこぼしかけたため慌てて受けに行ったところ、椅子の脚に躓き転倒した。その際、手を床に着き左手薬指を剥離骨折する。	59	911	2	1～9
2017	5	16～	当社内階段において、2F事務所より階段を下りて、車内の荷物を取りに行こうとした際、階段の下から5～6段目より転倒し、左頬と左	57	413	1	10～

		17	肘を負傷した。					29
2017	5	8～9	利用者がベッド下で動けない状態にいるところを利用者に棚を持ってもらい立ち上がらせようと後方から支え上げようとしたが、過度に腰に負荷がかかってしまい骨折した。	73	921		19	10～ 29
2017	5	17～ 18	施設（グループホーム）リビング食堂ホールにて、洗濯物を利用者各自の席で畳んでもらおうと、2つのテーブルの間を歩いて洗濯物を配っていた時、立った状態で洗濯物を畳んでいた利用者が急に隣のテーブルの洗濯物が気になり動いた為、左足甲を踏まれてしまった。しばらく仕事を続けていたが、痛みで足を床に着けなくなってしまった。	59	921		7	30～ 49
2017	5	2～3	利用者居室で、ベッドからポータブルトイレに移乗させる際に腰を捻挫してしまい、痛みがでた。	37	921		19	50～ 99
2017	5	14～ 15	デイルームにて、トイレ介助をしようと車イスを押してトイレに入ろうとしたところ、先に入室しているのが分からなかったためドアを開けたところ使用中だったので、ゆっくりバックをしようとしたが、自走式だったので車イスがバックし、一瞬かわそうとしたが間に合わず、左後輪が左の足甲に乗ってしまった。	57	362		7	100 ～ 299
2017	5	20～ 21	業務終了し駐車場へ向かう途中、厨房裏手階段（3段）より通路へ下りようとしたが、上から2段目のところで足を滑らせ、右手をついて尻もちをついた。雨は降っていたが傘をさしておらず、荷物を肩に掛けて両手は空いていた（スニーカー履き）。階段のある事は承知しており、足元を見ているつもりであったが滑ってしまった。	23	413		2	100 ～ 299
2017	5	19～ 20	認知症の症状がある施設入居者が興奮状態となり暴れたため押さえようとしたとしたところ、投げ飛ばされて負傷した。	25	921		2	10～ 29
2017	5	15～ 16	放課後等デイサービスの室内で障害児の支援中、一人の児童が急に走り出したため、他児童に危害が及ばないように後を追っている最	55	921		19	10～ 29

			中に左膝をひねった。				
2017	5	15～ 16	フロア内で、利用者をソファから車椅子に移乗させようと抱きかかえた時に、ゴキッと音が鳴り動けなくなった。	56	921	19	30～ 49
2017	5	13～ 14	車椅子の利用者を自宅へ送る為、車からスロープを出し、安全ベルトを車椅子へつけた。スロープから降りようとしたところ、スロープの端にある落下防止の5cm位あるへりに右足が引っ掛かり、後へ転倒して右手首を負傷した。	62	231	1	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	5才児の部屋で担当障害児の見守り中、立っていた自分に他園児2人が前から飛びつき、また後から園児1人が右腕にぶら下がった。右へバランスを崩し右膝を捻り、右膝前十字靭帯断裂をした。	54	999	99	30～ 49
2017	5	11～ 12	利用者様をベッドから車椅子への移乗介助の際、ベッドに横たわる利用者様の下にバスタオルを敷き、別の職員が頭側から、自分は足元側から二人でバスタオルを持ち上げて、移乗するために屈んだ際に腰を痛めた。	42	921	19	100 ～ 299
2017	5	7～8	勤務中、利用者居室へ急いで向う途中、通路で躓いて右足を捻った。	18	921	19	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	脱衣場において車椅子の利用者の入浴後の介助を行っていた時、利用者の右足の装具を装着するため利用者の足元にしゃがんで太ももの辺りに利用者の右足をのせて装具を装着して、立ち上がった時に腰の左側付近に激痛が走った。	45	921	19	30～ 49
2017	5	9～ 10	利用者の居室で軟膏を塗布しようとした際に、利用者が認知症のためか興奮し、払いのけた手が顔に当たりよろめいた。しばらくして左肩から首にかけて連続的に痛みが起こるようになり、激痛を伴うようになり、首が左右に動かせなくなり、左上肢神経痛および頸椎捻挫だと分かった。	59	921	19	100 ～ 299
			支援施設内、午後の活動後お茶を飲んだ後、男性の利用者が不安定				

2017	5	14～ 15	<p>になった気持ちを抑えきれず、机と椅子を持ち上げパニックに至る。職員2人で制止に入り、パニックになって暴れている利用者を床に押さえて、状態が落ち着くのを待つ。その際、被災者は利用者の上半身に馬乗り姿勢であり、何度もぶり返したためしばらくその状態が続いた。当初は大きな痛みを感じなかったが、その後、腰痛が発症し、痛みで立てなくなる。</p>	39	921	19	10～ 29
2017	5	15～ 16	<p>市の移動支援事業で、軽度の知的障害者姉妹とヘルパーと、公園でシーソーをして2対2で遊んでいたところ、バランスを崩して頭から落ち、右膝を打撲し歩行困難になった。</p>	55	911	1	10～ 29
2017	5	14～ 15	<p>当施設浴室において、利用者の入浴介助の合間を利用し、当日に使用した浴槽を清掃するにあたり、立位の状態から腰を屈め、右手で浴槽内の汚れを拭き取ろうとして、濡れた浴槽の縁に左掌を置いた時、当該掌が滑り浴槽内へ転落し、左肩を強打した。</p>	52	391	1	30～ 49
2017	5	21～ 22	<p>交差点（片側二車線）にて、走行中の車の左側面でバイクにて走行中、右車線を走行中の車がウインカーを付けずに左車線に進入してきた。それを避けようとした左車線走行中の車が急ハンドルを切り、当バイクと接触し、バイクが転倒した。</p>	33	231	17	50～ 99
2017	5	16～ 17	<p>保育園内の階段で、ゴミを収集した袋を持って降りている時に最下段を見落として、足を挫いた。</p>	53	413	19	30～ 49
2017	5	9～ 10	<p>施設利用者が線香に使用する為のライターを使って、ごみ箱付近で不要になった紙を燃やしたところ、火がごみ箱のごみなどに引火して、火災警報器が鳴った。報知機の音で火元が2階の奥だと分かったため、消火活動を行った際に、近くにあったシングルの掛け布団で火元を両手で包み込むように火を消そうとして火傷を負った。</p>	65	715	11	10～ 29
2017	5	8～9	<p>特別養護老人ホームで入居者の離床介助中、ベッドからベッド横にある車椅子に移乗しようとして入居者の身体を起こす途中、ぎっくり腰のような状態になり動けなくなった。</p>	45	921	19	50～ 99
			<p>小学校にて勤務中、児童を迎えに来た保護者が帰ったところでお伝</p>				

2017	5	18～ 19	えしないといけない事を思い出し走って追いかけたところ、勢い 余って玄関脇に設置してあった三段ボックスに右脇腹をぶつけ負傷 した。	55	417	3	10～ 29
2017	5	17～ 18	施設内の利用者様の居室で、尿失禁によるオムツ交換の介助をして いる時、利用者様の家族が、利用者様の尿が被災者に付着したと思 い、被災者の背後から芳香剤のスプレーをかけた直後、気分が悪く なり、状態が悪化して急性薬物中毒の病状を発症した。	35	519	12	50～ 99
2017	5	8～9	利用者宅で、手動車椅子から電動車椅子に移乗するため利用者を抱 きかかえた時、突然左ふくらはぎに激痛がはしり、立つことができ なくなった。	40	911	19	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	利用者宅で車椅子からトイレへ移乗する際、利用者の下肢に力が入 らず、正座するような体位になる。再度車椅子に移乗する際、利 用者を抱き上げ腰に痛みが走る。数ヶ月経っても痛みが治まら ず、第3腰椎圧迫骨折となった。	67	911	19	10～ 29
2017	5	9～ 10	当社営業所において、訪問介護の利用者宅へケアに行くため事務所 2階から階段を下りていた時、下から3段目で足を踏み外して転倒 し、手を着いた時に左手首を骨折した。	70	413	2	50～ 99
2017	5	15～ 16	介護利用者宅において入浴介助の後、浴室（脱衣場）の清掃中に、 床面の水滴により滑って転倒し、右大腿骨転子部を骨折した。	52	416	2	1～9
2017	5	10～ 11	園庭に置いてあった長さ約3m、直径約20cmの丸太を撤去する際に 誤って足の上に落とした。	57	522	5	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	入浴介助時、風呂場で利用者を2人介助中（車椅子からストレッ チャーに移動）施設しているサンダルを着用していたが、床が濡れ ていたため、バランスを崩した時に肋骨を骨折した。	38	416	2	50～ 99
			デイサービス利用者のお迎え時、駐車場に停めたリフトカーの上主 席に利用者の乗り込み介助をした。助手席に座られた利用者には、				

2017	5	8～9	車外からシートベルトを装着しようとした時、（リフトカーの助手席が高いため、踏み台（高さ25cm程）を使用するが、踏み台を置いた場所が少し斜めになっていたため、踏み台が傾き、バランスを崩し）右足が踏み台から外れ、地面に着いた際、足首をぐねって、後方に転んでしまった。	53	379	2	30～ 49
2017	5	8～9	自宅からお客様宅へ自転車で移動中、交差点で左から来た自転車と衝突し転倒し、後頭部を打った。	63	239	17	10～ 29
2017	5	7～8	4階食堂にて、入居者を椅子にしっかり座らせようと抱えた際、腰に違和感を覚え、次第に立てなくなった（圧迫骨折）。	72	911	19	10～ 29
2017	5	15～ 16	訪問介護中、利用者より買い物を依頼されバイクで買い物に行く途中、当日は雨天で路上が滑りやすくなっており、一旦停止の所で一旦停止の字の上でスリップして転倒した。	56	231	19	10～ 29
2017	5	14～ 15	2階廊下にて、M氏のトイレ介助後、手すりを持って移動中（左手は被災者が持ち）、T氏が歩行器で来られ、すれ違い様にM氏がバランスを崩され、転ばないように身体で受け止めた際に、被災者の左足がM氏の下敷きになり、左足に痛みを感じ、骨折した。	62	921	19	50～ 99
2017	5	9～ 10	1件目の訪問先に自転車で向かう途中、側道を右折した時後輪が滑って転倒し、その時に左膝を強打し、強い痛みを感じた。	44	362	17	30～ 49
2017	5	8～9	利用者宅から利用者宅へ大通りの歩行者ロードを自転車で移動中、後方から自転車が来たので左に寄ったところ、点字ブロックの溝に自転車の前輪が入り、滑って転倒した。歩行者ロードの左端に立てられている鉄のポールに当たると思い左手で胸をかばおうと左手を出した時ポールに激突し、左手首を骨折し、胸がポールに当たりヒビが入った。	61	362	2	10～ 29
2017	5	17～ 18	利用者様送迎中、運転時に車内後方から児童（利用者様）が飛びかかり、口と鼻を塞ぎ顔を左斜め後ろへ引っ張られる。	41	911	90	1～9
			グループホームフロアで夕刻のバイタル測定をするため、座席に				

2017	5	16～ 17	座っている利用者Aの右横に行ったが、利用者Aの右腕が上がりにくく、その場で瞬時に両足で床にひざまずいた。その時に強い衝撃があり、強い痛みを両ひざに感じた。	53	921	99	10～ 29
2017	5	9～ 10	業務を開始しようと、清掃道具を持ち現場に出向しようとした際、事務所前の廊下で躓き、バランスを崩して転倒した。体を支えようと手をついたことにより、右手首を殴打し、右手首に強い痛みがある。	77	418	2	50～ 99
2017	5	10～ 11	支援室で利用者の移動誘導中に、急に体を動かし、暴れそうになったため制止しようとしたとき、利用者の頭が自分の頭（前頭部）に当たり、脳震盪を起こし倒れた。意識はあったが、打った部分の痛み、手足の痺れと気分不良があった。	33	911	90	30～ 49
2017	5	13～ 14	訪問介護サービス中、利用者宅から買い物に行く途中、路上にて事故が発生した。原付バイクで道路を南進し、駐車場へ入る為右折しようとしたところに、後から追い越そうとしたバイクと接触し転倒した。相手方のバイクが当方本人の足に直撃し、右足首に骨折を負った。	73	231	17	30～ 49
2017	5	17～ 18	デイサービス利用者をデイサービスからご自宅へ送迎する際、ご自宅の玄関まで階段を上がるのに職員3名で急な階段を利用者の両脇をかかえて登り、（一名は足を上げる係）最後の階段で左脇を捻った。	65	921	19	100 ～ 299
2017	5	5～6	夜勤勤務中、巡視の記録中に利用者のトイレセンサーが鳴ったため利用者の居室に行こうとして廊下で転倒した。	58	417	2	30～ 49
2017	5	11～ 12	入所者の居室で、昼食時の部屋移動の為にベッドから車椅子へと移乗介助を行っている時に、腰に激しい痛みを感じた。家で安静にしていたが痛みが治まらなかった。	39	719	19	100 ～ 299
2017	5	17～	救護施設に勤務する当該職員は、施設内静養室において、脳出血のため意識の無い利用者を職員2名体制で車椅子からベッドへ移乗していた。その際、利用者の頭部側で支援していた被災者が利用者	40	911	19	50～

		18	の両脇を抱えきれず、自身の腕と脚が伸びた状態のまま、腰に負担が掛かり座り込む格好となり負傷した。					99
2017	5	13～ 14	荷物の積み込みの際、利用者にバックドアを開けてもらうため車のカギを渡した。利用者は、車内が暑かったため冷房をかけようとしたところ、誤ってエンジンをかけてしまい、車が後退し始める。車を止めようとしたところ、引っ掛かって引きずられてしまった。	67	231		17	30～ 49
2017	5	10～ 11	1階ホールにて、床に転んでいる利用者を車椅子に移乗しようとした際、体勢が悪く腰に痛みがはした。（床に座った状態から抱え上げた段階で発症した。）	52	921		19	10～ 29
2017	5	8～9	通所介護利用者（寝たきり）宅へ迎えに行き、玄関前で車イスから送迎車助手席（リフトアップ）に2人介助で移乗した。被災労働者は、利用者の上半身を後方から前屈みの姿勢で抱え、もう一人の職員は利用者の正面から下半身を抱え、息を合わせて抱え上げ、そのまま約50cm横方向に移動しながら助手席に利用者を下ろした。被災労働者は、利用者を抱え上げた時の負荷と、横移動後の着席の際の腰部を捻る動作等により、腰部に強い痛みを生じた。	21	921		19	10～ 29
2017	5	15～ 16	勤務地の渡り廊下にて、片手にズボンを持った状態で、もう片方の手で扉を開けたところ、持っていたズボンが廊下に落ち、そのズボンを片足で踏んだところ滑ってしまい、その拍子に右手を廊下の床面（コンクリート）に着いたため負傷した。	65	911		2	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	社用車でデイサービス送迎時、交差点で信号待ちで止まっていたところ、後ろから追突された。	32	231		17	30～ 49
2017	5	16～ 17	就労場所である施設内にて、通所介助の利用者を介護中、椅子に座っていた利用者をトイレに連れて行くため、利用者の前側から両手を持って立たせた際に、自分の腰に重みが掛かり違和感が残った。その後も介助中に腰を捻ったりすると痛みを感じたが、当日は最後まで仕事をした。安静にしていると痛みは軽減したが、後	44	911		19	30～ 49

			日にトイレに行ったとき痛みが強くなった。				
2017	5	10～ 11	施設内ホールにて利用者の車椅子への移乗介助を行っている時に、利用者が予想外の行動をとった為、思った以上に荷重が掛かり、腰を痛めた。	30	911	19	30～ 49
2017	5	15～ 16	ホーム内1F特殊浴浴場にて寝台車椅子から特殊浴寝台ベッドへ寝たきりの入居者（女性）を移乗する際、左手首に強い痛みを感じ、その後左手が痛みにより、使えなくなった。	39	911	19	50～ 99
2017	5	8～9	利用者宅から利用者宅へ原付バイクで移動中、交差点で青信号を右折しようとした時、右方向から来た4tトラックの信号無視により衝突し、意識不明で救急搬送され、左鎖骨、肋骨、鼻骨を骨折し、肺挫傷、肝損傷を負った。	36	221	17	10～ 29
2017	5	2～3	2階リビング窓の確認に行った際に段差があり、足を踏み外して転倒する。右側を下に倒れて、手首、肘、右お尻、太ももを打撲する。	62	418	2	1～9
2017	5	17～ 18	一階指導室において、日中一次支援利用者の支援中、小学生の女子利用者とゲーム遊びの最中に誤って防御の体勢が取れないまま尻もちをつき、胸椎第11番目、第12番目を圧迫骨折した。	53	911	2	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	職場の利用者の行事でパン屋へ引率して行き、休憩した後、他の職場に移動するため利用者に声掛けしていた。その時、地面に座り込んでいた男性（100kg弱）を起こして立たせる時、転倒しそうになったのを1人で支えてしまい、男性の全体重を受けて、腰を痛めた。	51	921	19	50～ 99
2017	5	12～ 13	当事業所グループホーム施設2階トイレに於いて、入居者をトイレ誘導し、お尻を陰部洗浄しようとした際、便器に深く座り過ぎ、作業を行うのが難しかったので、前にもうようよう声掛けを行ったが理解されなかったため、その状態のまま陰洗を行おうと腰からお尻に手を伸ばした時、胸部に痛みを感じた。その後も痛みが続く、しばらくして左肋骨骨折と診断された。	64	921	19	10～ 29

2017	5	7~8	早出出勤の時、ご利用者様を朝食へお連れするため、ベッドから車椅子へ移乗介助していたところ、ご利用者様が車椅子へ腰を下ろした際に足を伸ばして座ったため、滑り落ちるのを防ごうと足を上げて前屈みで支えた時に腰に負担がかかり、痛みがはしった。その日は痛みを我慢して仕事を続けたが、翌日も痛みがひどかった。	49	921	19	10~ 29
2017	5	9~10	給湯室に用事のため入室した際に、コンクリート床が濡れていたのに気付かず、滑って転倒した。その音を聞いた他の職員が駆け付けてくれ、立ち上がることが出来た。そのあと昼まで仕事をしたが、左肩の痛みがひどくなった。	50	416	2	10~ 29
2017	5	11~12	障害者支援施設利用者が男子棟入口前の柵を乗り越えようとしたため、他の職員と抱えて下ろそうとしていたところ、利用者と共に転んでしまい、利用者が上に乗る形となって足を捻った。痛みがあるが歩ける状態だったので様子を見ていたところ、後日に骨折していることが分かった。	55	911	2	30~ 49
2017	5	13~14	利用者様に訪問介護提供中、エアコンの掃除を行おうとして、3段の折り畳み脚立の2段目で作業をしていたがカバーが開けられず、上に行こうと3段目に片足をのせ、もう片方の足を2段目から上へ上げた時にバランスを崩し、後ろ側にお尻から落ちた。	63	371	1	100 ~ 299
2017	5	18~19	トイレにて利用者のトイレ介助を行っている際に、立ち上がらせようとして身体を持ち上げた時に腰に強い痛みを感じた。	29	921	19	100 ~ 299
2017	5	10~11	福祉サービス利用援助事業において支援活動中に、地域活動支援センター駐車場入口のチェーンに躓いて前のめりに転倒し、右手首を地面に強くついた。	68	419	2	50~ 99
2017	5	9~10	利用者宅にて乗務中、手押し車を送迎車に積み込みバックドアから降りようとした時、大雨が降っていたためステップから滑って、右足から地面へ転落し、左内股と左手首を強打した。	62	231	1	100 ~ 299

2017	5	20～ 21	当施設3階廊下にて、入居者が右手で手すりを使い歩行中、バランスを崩し後方に倒れそうになるところを発見する。入居者に声かけを行い、被災者が入居者の左側面より抱きかかえた直後、左手に持っていた杖を振り上げ柄の部分で右後頭部を叩かれる。被災者が頭を抱えていたところに再度、杖の柄部分で右頸部を叩かれ、頸椎捻挫と後頭部打撲傷となった。その後、右上肢に痺れが出現し、頸椎椎間板ヘルニアとなった。	50	921	6	50～ 99
2017	5	13～ 14	粗大ゴミを搬出作業中、玄関の段差のところで転倒して左肩と頭部を強打した。	47	417	2	1～9
2017	5	14～ 15	デイケアフロア内の浴室にある浴槽から上られる入浴者の介助に入った際、ご利用者様の足がなかなか立たずふらつかれたため、階段上から無理な体勢で慌てて階段を下りながら湯船の中のご利用者様を支えた際、左膝を捻り、更に捻じる状態で支え続けたため左膝を痛めた。そのとき右手中指にも引っ掛かりを感じ、左膝の腫れや痛みが強くなった。	42	413	19	30～ 49
2017	5	13～ 14	当事業所デイサービス施設内の浴室で、利用者の入浴準備をしている時、濡れた浴室の床タイルに足を滑らせて転倒し、右手をついて負傷した。	58	416	2	10～ 29
2017	5	11～ 12	当園保育室内において、昼食準備のため食器を置いた状態の園児用のテーブル（直径約80cm、重さ約8kg）を食器を落とさないように両手で持ち上げようとしたところ、無理な体勢でテーブルを持ち上げた為、腰に激痛が走り、急性腰痛症になった。	43	391	19	10～ 29
2017	5	9～ 10	施設内の大浴場において利用者の入浴介助中、普通に歩行可能な利用者（認知症有）の右横に付添い（両脇を支えながら）、利用者は、両側にある手摺りの左側を両手で握って、浴槽から上っている途中に階段を踏み外し、手を離れた利用者が転倒した。被災者は、利用者の頭部をかばって（頭を打たないように）、自身の腰部を右側に捻るように座り込み、腰部の痛みが出現した。	65	921	19	10～ 29

2017	5	8～9	施設の駐車場で、施設を出て車の所まで歩いて向かっている時に車止めに躓き、そのはずみでフェンス下のブロックに頭頂部より激突した。	56	417	2	10～ 29
2017	5	15～ 16	利用者様宅にて味噌汁を調理中、布巾を探す為に中腰になってまな板を上げたところ、片手鍋の柄に当たり、鍋がひっくり返って味噌汁が右頬・右肩・腕にかかり、火傷をした。	63	379	11	30～ 49
2017	5	11～ 12	訪問サービス中に掃除機を使用していて、方向を変えるために身体を動かした時にコードに足が引っ掛かり転倒し、掃除機に右大腿部を打ち負傷した。	62	391	2	10～ 29
2017	5	10～ 11	被災者は訪問介護ヘルパーであり、担当している訪問介護利用者が入院するため、自宅マンション3階から階下に下りる際に一緒に利用者の手荷物を両手に持って階段を下りていたところ、3階から2階に下りる途中で急に左足膝の裏が痛みだし、自力で歩行が出来なくなり、左側側副靭帯を損傷した。	54	921	19	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	中庭にあるシーソーの真ん中辺りに腰掛け、砂場などで遊んでいる児童達を見守っていた時に、女子児童2名がシーソーにやってきて、シーソーの上で跳びはねたり遊びして飛び下りた際に、その反動で本人の体が飛び上がってそのままシーソーに落ちた。これが2、3回繰り返され、腰と首に衝撃が走り、当日はそのまま業務に就いたが、痛みが残った。	57	719	19	10～ 29
2017	5	10～ 11	グループホーム浴室内で入浴介助中、利用者左シャワーチェアーから車椅子へ移乗介助中に左膝を捻った。	43	719	19	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	厨房配膳室の床を洗淨、清掃しようとしたところ、洗剤を撒いた床の洗淨で滑り転倒し、左手首に痛みが生じた。	59	417	2	30～ 49
2017	5	16～ 17	休憩室の食器棚の上に、椅子に乗った状態で箱を片付けようとした際に椅子が不安定だったため、バランスを崩して落下し、左手首を骨折した。	66	371	1	10～ 29

2017	5	11~ 12	浴室にて入浴介助中、他の利用者の介助に移るため浴室を歩いている際、床が濡れていたため足を滑らせ左側を下にして転倒し、左脇腹周辺を強打した。転倒時の記憶は曖昧であるが、左手は体の下敷きになっておらず、上の方に伸びていたため手の着き方が悪く、肩を痛めたと考えられる。	31	417	2	30~ 49
2017	5	14~ 15	障害者支援室の中庭にてソフトボール投げの練習中に、施設入所者の投げたボールが1~2m程の至近距離から顔面に直撃し、鼻骨を骨折した。	58	529	6	30~ 49
2017	5	11~ 12	モップを使い掃除をしていたところ、足を滑らせて転倒した。当初は捻挫と思い自宅療養したが、腫れがひかず痛みが増した。	48	417	2	30~ 49
2017	5	10~ 11	お客様宅に2名で訪問介護に出掛けた際、お客様宅前の駐車場から玄関に向かう途中にマンホールがあり、別のスタッフがマンホールの蓋に躓いて倒れ、持っていたハンドバッグの紐が前にいた被害者の足に引っ掛かって、前のめりに転倒して左足甲を捻挫した。	63	611	2	30~ 49
2017	5	10~ 11	清掃契約先アパートで清掃作業中、消火器が設置してある所の金具が古くなっていたため右手の上に落ちてきて親指を骨折した。	55	418	4	10~ 29
2017	5	11~ 12	児童発達支援事業所（保育室）で給食配膳の食器等を運んで戻ってきた時に、子どもの横を通っていて、子どもが木製の椅子を運んでいる最中、椅子を回転した時に左足の小指と薬指の間に木製の椅子が落ちてきて骨折した。	51	611	4	1~9
2017	5	16~ 17	事業所2階勉強室にて子供達に勉強を教えていた時、他の部屋の子供が入室してきて部屋にあった鉛筆削り器を手に取り持って行こうとした際に、振り向き様に鉛筆削り器を持っていた手を振りかぶるように振り回したため、ちょうど後ろを通りかかった被災者の顔面にぶつかってしまった。	46	911	6	1~9
2017	5	11~ 12	入浴介助時にリフト浴移動を行おうと足を突っ張った際にピキッと音が鳴り、右足首付近を痛める。	25	921	19	50~ 99

2017	5	10～ 11	<p>浴室内洗い場から、浴槽への入り口にかけて片麻痺の男性利用者様（身長150cm台、体重約60kg）をシャワーチェアに座ったままの状態で、椅子の左前脚と左後脚を両手で持ち前に引きずり、次に右前脚と右後脚を両手で持ち前に引きずることを交互に行い、浴槽ふちまで30～40cm程移動させ、両足を浴槽ふちに上げた状態にする。</p> <p>そのあと男性に左側にある手すりを左手で掴んでもらい、被災者は右側から男性の腰と太ももに手を掛け、椅子から体を持ち上げる形で浴槽内へ移動させ介助を行った。利用者様が介助経験が浅く緊張があったことと、体重もあったため浴槽チェアからお尻を持ち上げることができず、腰に無理な負担がかかり、強い痛みを感じた。</p>	40	911	19	1～9
2017	5	6～7	<p>入居者（女性158cm・100kg）をベッドから車椅子に移乗する際、入居者がベッドから床に立ち、介護職員の肩に両腕を掛け、介護職員は入居者に向きを変えて座らせようとした時に急に腰が痛くなり、座らせた後に痺れが来る。終業時刻まで仕事を続け、帰宅後に仮眠をとり、目を覚ましたら痺れが強くて動けなかった。</p>	53	911	19	10～ 29
2017	5	16～ 17	<p>体育館にて、保育園交流ミニバレー大会にて、職場チームとして出場した。その試合中、相手方チームからのボールを受けようとした瞬間、誤って後方に転倒した際に左手を床につき、左手首を負傷した。</p>	50	418	19	10～ 29
2017	5	11～ 12	<p>デイサービスセンターにて、入浴介助後、外においた洗濯物を干しに行くときに風呂場で使うスリッパのまま事務所の中を移動してしまい、スリッパの底が濡れていたためか、右足のスリッパが床に吸盤のように引っ付き右足が上がらず、上半身から前に思いきり転倒してしまった。</p>	67	417	2	10～ 29
2017	5	11～ 12	<p>通所介護利用者の入浴介助後、脱衣所にて裸足で約4kgのアルミ製の椅子（90cm×35cm×40cm）を片付けようとして持ち上げた際、手を滑らせ約30cmの高さから落とし、右第1趾、第1関節部分に当たり出血し、骨折した。</p>	43	379	4	—

2017	5	16~ 17	保育園2階テラスのトイレ前で、5歳児クラスの園児が排泄を済ませるのを待っている時、順番待ちをしている園児の頭部と、被害者の鼻がぶつかった。ぶつかった原因は、園児が跳びはねながら前進したのと、被災者がトイレ方向から園児の方へ振り向いたのが同時だったからと考えられる。	27	719	6	30~ 49
2017	6	10~ 11	介護保険訪問介護事業のサービス提供中、利用者宅で居室等を掃除していた際、床下点検口の蓋の上に上がった時に蓋が抜け落ち、約80cm下に右足側が落ち、右足首の捻挫と右すねを打撲した。他に腰を捻ったことによる痛みもある。	46	416	1	30~ 49
2017	6	7~8	早朝からの勤務の為、事務所に出勤した。外勤の支度をしながら事務所内を歩いていた時に、コピー機下の木の台の角に左足小指をぶつけた。腫れと痛みがあったが外勤に出かけ、活動を終えて夜に事務所に戻り、所長に報告した。	41	522	3	50~ 99
2017	6	10~ 11	特別養護老人ホーム内において、入所者を車イスからベッドへ移動させようとして1人で抱えたところ、支えきれず、腰部から「ボキッ」と音がした。安静にして30分間程様子をみていたが、益々痛みが強くなってきたことから夫に連絡し、夫の運転する車に同乗し、病院の整形外科を受診した。当日は日曜日のため、当直医しかおらず、レントゲンの検査もできなかったことから、ぎっくり腰との診断を受け、痛み止めと胃を保護する薬が処方され帰宅した。翌日、町内の整形外科を受診し、圧迫骨折と診断された。	50	921	19	30~ 49
2017	6	9~ 10	施設内の洗濯物干場にて、洗濯物を干そうと脚立（高さ80cm）の2段目（47cm）の所に上がって作業中、向きを変えようとした際、バランスを崩し落下した。その時に臀部を強打したため、整形外科にて受診したが、骨に異常がないとのことで帰宅した。帰宅後、嘔吐と痛みの症状があり、別の病院で再受診した。診察の結果、外傷性S状結腸穿孔と診断され、すぐ手術をしたが、翌日、汎発性腹膜炎にて死亡した。	59	371	1	10~ 29

2017	6	9～ 10	デイサービス玄関前にて、後部荷物台より車椅子を下ろそうと車椅子を持ち上げた時、力がかかり左肩に痛みが出た。	60	911	19	500 ～ 999
2017	6	11～ 12	幼稚園の運動会への幼児引率にて参加する。親子競技の騎馬戦に出場するも児童をおんぶしての競技であり、その際、他父兄と接触しそうになったのをかわした際にめまいがして、力が抜け、尻もちをついた。	55	921	19	10～ 29
2017	6	10～ 11	居室内にて、入居者の排泄介助の際、ベッドに横になった入居者を左側臥位から仰臥位に体の向きを変えるために手を伸ばした時、腰に激痛がはしった。腰に痛みはあったが、その日は業務を続行した。その後も腰痛ベルトを着用し業務をしていたが、痛みが悪化した。	42	921	19	50～ 99
2017	6	16～ 17	帰りの送迎の時に、施設の駐車場で利用者を車椅子から車に移乗した際に、腰と右手首に痛みがあり、腰が伸ばせなくなった。	39	921	19	50～ 99
2017	6	16～ 17	施設内において利用者をベッドから車椅子に移乗時、車椅子にいつもあるクッションがないことに気がつき、再度ベッドへ移乗した。その際、「ギクツ」と音がして、腰をひねり、痛みを感じた。	61	921	19	10～ 29
2017	6	14～ 15	ご利用者宅へ向かうため、公用車輛にて走行中、下り坂を下りきり、ゆるやかな右カーブを曲がりきる付近でセンターラインをオーバーしてしまい、対向車線を走行していた貨物トラック後部に接触し、貨物トラックの後を走行していたダンプと正面衝突する。その後、救急車にて病院へ救急搬送される。	57	231	17	10～ 29
2017	6	10～ 11	法人主催の施設対抗ビニールバレーボール大会に参加している際、試合中にボールを拾おうとしたところ、右足を強く床につき、強い痛みが生じた。その際、右足を床につくことが困難な状態となったため、一時安静にし整形外科医院にて診察を受けた。その後、状態があまり思わしくないことから、自宅近くの整骨院にて治療を受けるに至った。	55	921	19	100 ～ 299

2017	6	12～ 13	介護老人施設内居室において、体重の重い利用者を二人介助でベッドからリクライニング車椅子に移動させる際、強い負荷が加わったためと思われるが、背骨と腰に激痛があった。尚、移動させる時は、バスタオルを下に敷いて、バスタオルごと移動させる。	52	921	19	300 ～ 499
2017	6	14～ 15	中庭内で段差のある所へ入居者に座っていただき、花の鑑賞をしていた。花の鑑賞を終えて立ち上がる際、入居者の前にプランターが置かれていた為、正面側からでなく横から支えて立たせようと、入居者の腰に右手を当て、左手で入居者の手をとろうとしたが、急に腕を掴まれバランスを崩し、腰部に痛みが出現した。	54	921	19	30～ 49
2017	6	18～ 19	残業中に厨房内で清掃業務を終え、モップを片付けた後、入り口付近で前のめりに転倒し、右脇腹を強打した。床が濡れていたため、滑って転倒した。	65	417	2	10～ 29
2017	6	8～9	利用者様のオムツ交換中、体位交換を行った際に、自身の腰を捻り左側腰部周辺を痛めた。腰を捻った際、腰部周辺に電気がはしった様な激痛がはしり、その後も継続し、走行困難となった。	46	921	19	30～ 49
2017	6	10～ 11	デイサービス施設ホール内にて、利用者様が座っている椅子の向きを変えようと、もう一人の介護職員と二人で椅子を持ち上げ動かした際、左腰部と左足付け根に痛みが発生した。	48	911	19	30～ 49
2017	6	11～ 12	入浴を終了した車椅子の利用者様の着替えをしていた時、左膝をついて手伝いをしていたが、上着の背中の方を直そうと、右ひざに力を入れて斜め前の方向に立ち上がろうと中腰の姿勢になった時、腰がギクギクギクとなり立てなくなってしまった。	54	921	19	30～ 49
2017	6	18～ 19	入居者様を車椅子からベッドへ移乗後に、車椅子を移動しようとしたところ、入居者様の足に自分の足が引っ掛かり、バランスを崩した。体勢を整えようとして着地したが、左足を捻った。	38	921	19	100 ～ 299
			夕食のため利用者をベッドから車椅子に移乗介助した。ADLはほぼ全介助の利用者で、両脇を抱きかかえて介助した。車椅子は				

2017	6	16～ 17	ベッドのすぐ近くに置き、抱き上げて1m位移動する間で激しい痛みが発生した。当日は夜勤であり、痛みは消失していなかったが、歩行は何とかできる状態であったため、夜勤業務を続けた。夜勤明け後、1日休んでも痛みが改善しなかった。	45	921	19	10～ 29
2017	6	15～ 16	浴室にて、入居者様の入浴介助後に浴室の清掃を行っていた。その際に、壁に立て掛けていた木製椅子が倒れ、左足小指に直撃する。左第5趾末節骨骨折の診断を受けた。	59	379	5	50～ 99
2017	6	15～ 16	園内でビーチボールを使って子供と遊んでいたところ、ボールがフェンスの外に出て道路に落ちたので、ボールを取りに行くため、フェンスの外に出て、高さ156cmの擁壁から飛び降りたところ、ボールの上に着地して、バランスを崩し、左足首を骨折した。	58	418	19	1～9
2017	6	14～ 15	当社老人介護施設において、入居者を入浴させる業務を行っていたが、入浴を終えて浴室から出し、着衣を着せようと両手で抱えて椅子に座らせようとした際、後腰に激しい痛みを感じギックリ腰になった。	52	911	19	10～ 29
2017	6	6～7	早番で出勤し、ガスコンロにやかんをかけ、湯沸かしをし、ポットに入れようとやかんを下に置いた。すぐにポットに入れればよかったが、やりかけのことを思い出し、一旦カウンターの所へ歩いて移動した。その後、元の場所に戻ろうとしたが、やかんを下に置いたことを失念して、足元のやかんに躓き転倒してしまった。その際にやかんも倒れ、中の熱湯が両足太ももと右腕にかかってしまい、火傷をした。	55	379	2	50～ 99
2017	6	12～ 13	利用者（32歳男性、自閉症、噛みつき癖あり）の食事中、被災者は当該利用者の監視をしていたが、安全面を考慮して、利用者が手にしていた棒の使用をやめるよう依頼したところ、左肩を噛まれた。再度噛まれそうになったため避けたところ、左指を噛まれた。事故当時、同じテーブルには当該利用者、被災者の他にスタッフが3名同席していた。	36	719	90	1～9

2017	6	10～ 11	当施設主催のレクリエーションフェスタ（利用者、保護者、職員合同の運動会）のリレーで走っていた際に、誤って躓いて転倒してしまい、負傷した。	26	711	2	50～ 99
2017	6	17～ 18	合同保育の際、畳に正座した状態で2人の園児を抱えていたところ、前方より1人の園児がぶつかってきて、後方へ転倒してしまった。	63	719	6	30～ 49
2017	6	11～ 12	保育園の遊戯場でぞう組（年長児）が、たる太鼓の練習をしていた時、太鼓のバチを振り回している子を制止しようとした職員の指に、その子のバチが当たってしまった。	22	719	6	30～ 49
2017	6	15～ 16	デイサービス利用者様を自宅まで送り、居室まで歩行介助していた。居室へ入り、ベッド脇まで行った時、利用者様がバランスを崩し転倒しそうになる。介助者が抱きかかえて転倒は免れたが、利用者様の全体重が介助者にかかってしまう。体勢を立て直そうと利用者様の体を引き上げた際、介助者の体に負担がかかり、腰部に激痛が発生した。	46	719	19	10～ 29
2017	6	11～ 12	障害者支援施設において、女子トイレを清掃している際、濡れた床で滑ってしまい転倒し、左側腰から足首にかけて強打した。	65	416	2	100 ～ 299
2017	6	8～9	老人介護施設（デイサービス）に利用者を搬送し、利用者の降車が完了したところ、利用者の降車をしていた当該被災者が車から降りる為、車と（車椅子用）オートリフターの間にある約30cmの間隙を跨いでオートリフターの上に着地したところ、足を踏み外し、左足首を「くの字」に曲げて着地し、両手がフリー状態の為、曲がった足首に全体重が加わり、左足首を脱臼骨折した。	59	231	3	30～ 49
2017	6	17～ 18	食堂で入所利用者の食事介助をしていたところ、近くにいた利用者の介助もしようとして立ち上がろうとした際、本人が座っていた椅子の脚に足が引っかかり、体勢を立て直すことが出来ず、膝から転倒してしまった。	65	391	2	50～ 99

2017	6	12～ 13	保育中に、サークル（子供が入らない為の壁、高さ70cm）を跨ごうとした際にバランスを崩して転倒し、左膝靭帯を負傷した。	28	391	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	作業場にて、当日の作業内容を説明し、作業を開始した際、利用者様が説明と違う作業を始めた。再度、作業についての声かけを行うと、利用者様がフラッシュバックを起こしてしまい、職員に向かってスコップ及びバケツを投げつけた。その後も落ち着かず、休憩室に場所を移し、ほうきで肩・背中・腰を叩かれた。	38	719	6	1～9
2017	6	16～ 17	当社施設内において、ベッドから車椅子に移乗介助を行っていたところ、利用者が突然、被災者の後頭部の髪を後方に引っ張った為、体勢を崩し、後方に転倒し、臀部を負傷した。	42	911	2	10～ 29
2017	6	16～ 17	当社施設内で入浴介助中、タオルを保管している棚から滑り止めマットを取ろうとしたところ、マットに引きずられ、棚板（木製：42cm×115cm×2cm、2.5kg）と一緒に左足先に落下して負傷したものである。	32	391	4	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	利用者宅において、利用者の車椅子を押してトイレに入り、利用者をお便座に移乗しようとして、利用者の腰を支えた時、腰に痛みがはしり、負傷したものである。	64	921	19	10～ 29
2017	6	3～4	勤務場所である第3病棟にて、不穏な入所者がいたので、落ちつかせるため病室に入る際、床に敷いてあるマットに足をとられ転倒し、左膝を打撲した。	60	416	2	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	当社において、本人が入居者様の体位変換（ベッド上）の作業の際、しゃがもうとした時に右膝を痛めた。	34	911	19	10～ 29
2017	6	9～ 10	デイサービスご利用者様送迎の為、後部座席から降車する際、入口横に座っている利用者様のシートベルトが気になり、頭上に注意がいてしまい、ステップから滑り、仰向けに転倒した。その際、頭部を地面にぶつけてしまった。	49	231	2	300 ～ 499
2017	6	14～	首下麻痺の利用者様がベッドで静養していて、車椅子の方へ移乗し	50	911	19	30～

		15	ようとして身体をトランスしたところ、腰部に痛みを感じた。				49
2017	6	18～ 19	廊下で他の指導員と会話していたところ、特別支援学級の児童が指導員に向かって勢いよく走って来た為、受け止めたが後方に転倒した。児童の体重がかかった事もあり、瞬間の出来事なので捻ったかぶつけたか定かではないが、左足甲を痛め、勤務中に腫れてきたので翌日に通院したところ、骨折と診断された。	70	911	99	10～ 29
2017	6	17～ 18	デイサービス利用者の帰りの送迎時、利用者住宅駐車場にて送迎車からの降車介助の時、車両のスライドドアを開けて、2列目の座席の下から足台を引き出して降車の準備をし、右手で利用者を支え、足台が動かないように左足で押さえ、バランスを保つために右手は車両のドア枠につかまりながら介助している時、スライドドアが自然に閉まり、誤って右手を挟み負傷した。	51	231	7	10～ 29
2017	6	15～ 16	支援室にて放課後等デイサービスの支援中、玄関から外にとび出した児童を止めようとして、転倒した。	54	911	6	10～ 29
2017	6	12～ 13	利用者様のトイレ介助中、立っている利用者様の転倒防止の為、利用者様の右側から腰に左手を回していたところ、勢いよく便器に座られ、便座と利用者様の臀部の間に挟まれ、左手首を上に向けた状態で強打し、下に手首が下がった。	44	911	7	10～ 29
2017	6	7～8	5歳児の保育室で、子ども用の椅子に座り、4人の園児を保育していた。後方から男児がおぶさろうと首に手を回してきたので、そのままの体勢で立ち上がった。2、3歩移動したところで、もう一度おぶさっている男児の体勢を整えようと、両膝を曲げてから伸ばそうとし、一步右足で踏み出そうとしたところ、左脹脛が「ブチッ」という鈍い音とともに痛み出した。その際、左足に体重がかかっていたため、左足首も捻ってしまった。	58	911	19	50～ 99
2017	6	11～ 12	利用者宅浴室で入浴介助中、中腰で作業をしていた際、次の動作をしようとしたところ、腰に激痛がはしった。	43	921	19	10～ 29
			厨房に近い住宅のお客様の配膳時、保温庫に汁物が残っていたこと				

2017	6	18～ 19	に気付き、厨房に戻ろうとした際、入口に敷いてあった小さいカーペットごと滑って転倒し、腰を強打し、動くことが出来なかった為、救急車を呼んでもらい、そのまま入院した。	58	417	2	30～ 49
2017	6	10～ 11	1階の廊下から事務所向かって歩いていた時、室内用靴の履き口が浅く、靴底のゴムが廊下のPタイルのブレーキになり、全身で倒れ、足の膝は廊下に、肩はドアの枠に打った。その時は痛かったが、仕事に支障は感じなかった。後日、徐々に痛みが増して不安になっていたところ、勤務中に階段を下りようとしていた時に激痛があり、歩くのがやっとになり、次の日の起床後、前日より悪化し歩けなくなり、救急搬送された。	66	416	2	30～ 49
2017	6	9～ 10	派遣先フロアーにて、当日、外出許可が下りていた利用者を利用者の息子が連れ出す際、許可が下りていない他の利用者も連れて行こうとしたため引き止めたところ、口論となり左胸を3、4回叩かれ、左肩を掴み前後に揺さぶられ、左手首を握られた。その後、痛みを感じながらも、その日の業務は定時まで行い帰宅した。翌朝も痛みがあったので病院を受診した結果、左胸左肩打撲、左手首捻挫と診断された。	63	911	90	10～ 29
2017	6	17～ 18	事業所内において、利用者様の配膳の為、利用者様の食事を居室に持って行く際に、1階から2階に上がる間の階段を踏み外し、転倒した。転倒したばかりの時は、痛みがなく業務を続けた。その後、足の痛みが治らず、左足脛の肉離れ、足首の捻挫と診断され、3週間程度安静にするようにとの指示が出た。	45	413	2	30～ 49
2017	6	17～ 18	保育園の廊下で保育中、廊下を移動しようとして、足元に子どもがしゃがんでいるのに気付くのが遅くなり、かわそうとしてバランスを崩して転倒し、左膝を痛めた。	62	911	2	50～ 99
2017	6	21～ 22	利用者宅へ訪問し、退去の際に家屋のシャッターを左手で下ろしたところ、肩に痛みがあった。翌日、痛みがそのままあり、腕も上がらなかったため病院に行った。	66	911	19	10～ 29

2017	6	18～ 19	保育園の行事準備の為、舞台上の物をホールに移動している時、鉄棒を二人で運搬中に舞台（高さ90cm）から降りた際、バランスを崩し右足首を捻って負傷した。	21	416	3	30～ 49
2017	6	9～ 10	訪問介護サービス中、先のお客様宅から次のお客様宅へ移動中、右折しようとした際に自動車が見え、グレーチングの上にタイヤがのった時にブレーキを掛けたため、タイヤが滑り右側に転倒し、負傷した。	42	362	17	50～ 99
2017	6	19～ 20	ご入居者の居室内にて、2人介助で布団から車椅子へ移乗介助中、靴も履いておらず、足元の体勢も保てず、滑りやすい状況であったために、腰を捻って痛めた。その後、休業せずに就業していたが、後日休業が発生することとなった。	30	416	19	30～ 49
2017	6	10～ 11	当社が指定管理者としてその運営を委託されている児童館において、当館所属の当社職員が、児童館のプレイルームの倉庫で幼児サークルの準備中、足を滑らせて転倒した。転倒の際、右脚を強く伸ばした状態で転倒したため、右腿に強い張りの痛みが出た。転倒時に座卓の脚部分に腰を強く打った。学童クラブ室にて様子を見たが、痛みが引かなかった。	24	417	2	30～ 49
2017	6	10～ 11	社内1Fにおいて、弁当の盛り付け作業をしていた。弁当パックが足りなくなったので、2Fの在庫を取りに行った。50パックほど詰まったビニール袋を両手で抱えて、急いで1Fに戻ろうと階段を下りたところ、足を踏み外し、10段程下の踊り場に落ちた。その際、左手首、左足を強打した。	40	413	1	30～ 49
2017	6	7～8	当施設内地下駐車場入口において、斜面を下りる際、斜面の終わりがけ辺りで右足首を捻り、負傷した。	53	417	19	100 ～ 299
			担当のお客様宅に訪問するため、自転車にて、自転車専用レーンより交差点を左折し、歩車道の区別のない公道に入る際、道路内に4				

2017	6	13~ 14	名の学生グループが歩きスマホ等を行いながら歩いているのを確認した。接触しないように距離を保ち通行していたが、すれ違い時に自転車の後輪に歩行者グループの1名が転倒して接触し、自転車も転倒した。乗っていた本人も転倒し負傷した。歩行者は直ぐその場から立ち去っている。	46	362	2	1~9
2017	6	10~ 11	ホールにて、運動会の体操を3、4、5歳児が集まって行っていた。2回行ったところ、2回目途中の屈伸運動の際、腰を痛めてしゃがみこんでしまった。	29	921	19	30~ 49
2017	6	10~ 11	身体介助の為、利用者を車椅子からベッドに持ち上げながら移乗途中に、痛みはなかったが急に腰に力が入らなくなった。その後、同利用者をベッドから車椅子に戻そうとした時、お尻辺りがしびれた様な感覚となり、まったく力が入らず、体が重たい感じになり、早退して内科を受診（脱力感が主だった為）するも、異常なしとの診断を受けた。帰宅後に腰の症状が悪化したため、翌日に整骨院を受診するも、「右足機能不全」と診断された。MRI検査を勧められ、別の医療機関を受診した結果、「腰椎椎間板症」と診断された。	26	921	19	50~ 99
2017	6	17~ 18	療養室のトイレ内で、車椅子使用の方の座位置変更をしようと足を踏んばった際に、膝に激痛がはした。	61	921	19	50~ 99
2017	6	17~ 18	図書ホールにて、子ども達と保護者に紙芝居を読んでいる時、紙芝居に描いてあるキャンディを子ども達一人一人に、「どうぞ」と食べる真似をして配り、後方へ一歩下がった際に床で滑って転倒し、右足リスフラン関節を脱臼骨折した。	47	417	2	10~ 29
2017	6	13~ 14	保育園の保育室内で午睡の為、子供を寝かしつけている時に、隣の子をトントンしようとして移動しようとして腰を上げたところ、腰に強い痛みがはしり、正常に歩いたり動く等の行動が出来なくなった。	35	921	19	10~ 29
2017	6	9~	入居者居室にて、トイレ介助作業後、入居者をベッドへ移乗させようとした際、急に腰の痛みで動けなくなった。同室内で勤務して	30	911	19	30~

		10	いた他のヘルパーに仕事を替わってもらい、病院で受診した。				49
2017	6	8～9	薬配りが終わり、空のケースを3、4階分重ねて、2階のステーションで持っていた時、床にあるコードの差し込み口が上に上がっていたことに気付かず、躓いて転び膝を捻じってしまった。数日間は痛みを我慢して仕事をしてしたが、痛みがひかなかった。	60	351	2	30～ 49
2017	6	10～ 11	調理室内で昼食の調理中、包丁で右手指先を5mmほど切り落としてしまった。（左利き）	51	364	8	10～ 29
2017	6	14～ 15	施設内の廊下清掃を行っていたところ、滑って足をからませ躓いてしまい転倒し、その際に左膝を強打した。当日は痛みはあったが様子を見ていた。翌日になっても痛みが治まらなかった。	75	417	2	50～ 99
2017	6	13～ 14	勤務中に、児童と走り回り鬼ごっこをしていた時に、急に腰を痛めてしまった。	42	911	19	30～ 49
2017	6	12～ 13	訪問介護のヘルパーとして勤務中、電池を購入するため、利用者宅から近所のコンビニに行き、利用者宅へ自転車で戻る途中、点字ブロック上で滑って転倒した。その際に着地を誤り、一度事業所へ戻るが痛みがひかず、腫れが酷くなった。右足首の関節脱臼骨折と診断された。	37	362	17	10～ 29
2017	6	17～ 18	一般浴室にて、入浴介助後の片付け中、入浴物品の置いてある折り畳み式のテーブルを片付けるため持ち上げた際、誤って自分の足元に落としてしまった。	59	391	4	30～ 49
2017	6	14～ 15	診察室にて、椅子に座りながら机で作業中、ベッドの書類を取ろうとして椅子からずり落ち、床に腰を強打した。	79	911	2	50～ 99
2017	6	20～ 21	保育室内で、洗濯物を干し終わり、子ども用椅子から降りようとした時、バランスを崩し転倒した。その際、右手を床につき、右手首を痛めてしまった。	58	379	2	10～ 29
2017	6	13～	3階食堂にて食卓テーブルを移動する際、テーブルに足が引っ掛か	65	379	2	100 ～

		14	り、転倒した時、左膝・右手首・左脛を床にぶつける。					299
2017	6	0～1	施設利用者を抱え上げようとした時、腰に強い痛みを感じたので、しばらく様子を見てから診療所で診察を受けたところ、腰骨を骨折していることが分かった。	74	921	19		10～ 29
2017	6	16～ 17	利用者様のトイレ誘導中、トイレの中で介護士2人で介助中、利用者様の手が手すりを握っているのに気が付かず、移動をしようと抱きかかえた時に、強く腰を捻ってしまった。今後は、利用者様の全行動を確認してから行動するように気をつける。	41	911	19		50～ 99
2017	6	13～ 14	入居者の居室にて、歯科診療を終えたご入居者を、歯科医師が誤嚥防止体操の指導を行うため、指示により、車椅子からベッドへ移乗介助を行った。入居者の両手を首に、両脇より腕を差し入れ、ベッドに端座させる際、左腰より左臀部に痛みが生じた。時間が経つにつれ痛みは増したが、翌日は休日であったため横になっていた。夜になって歩行困難となり、救急車にて病院へ搬送され、そのまま入院した。	53	911	19		10～ 29
2017	6	10～ 11	お客様宅で掃除中、電気コードに足が引っかかり転倒し、左足首を捻ってしまった。	76	359	2		30～ 49
2017	6	9～ 10	利用者を送迎するため添乗員として社用車で移動中、交差点にて直進レーンから右折レーンに入って右折する際に、後続車両に接触され負傷した。相手車両はそのまま逃走したため、ナンバー等は確認できず、警察へ当て逃げの被害届を提出した。	51	231	17		50～ 99
2017	6	16～ 17	特別養護老人ホーム内の一般浴室で清掃をしていた。大浴槽に入るためのスロープ部分を洗剤を使ってデッキブラシでこすっていた時に足が滑り、右手を床につけて支えようとしたが、反動で後ろに倒れた。後頭部が大きく腫れ、右手を握ることが出来なかった。 (当時、長靴を着用していた。)	65	417	2		100 ～ 299
			会社内2F廊下にて、入浴者を迎えに行こうとしていた時、2Fサロ					

2017	6	14～ 15	ンを通り、3Fに階段で行こうとして走っていたところ、床が湿っていて躓いた。その際、前のめりにバタンと倒れ、胸と右肘と左膝を打った。	70	417	2	50～ 99
2017	6	7～8	清掃業務の掃除機をかける準備中、掃除機のコードが足に引っ掛かり、両手を床に着いて転倒した。その際、左足の靴が脱げ、左足第一指が内側に反った状態で床に打ち、左膝、左手首、右肩も打ちながら転倒した。	60	391	2	50～ 99
2017	6	17～ 18	1階食堂にて、入居者様の口腔ケア介助をしている際に、入居者様が当人の左中指を強く掴み振りほどこうとした時に、強く捻じられ、その反動で洗面台に左中指を打ちつけてしまった。	37	911	3	30～ 49
2017	6	16～ 17	お客様宅にて活動中、手で玉ねぎを持って、スライサーで食材を切っていた際、右手第三指の先端を切ってしまった。	54	364	8	100 ～ 299
2017	6	12～ 13	施設内は電気設備点検の為、全館停電中だった。その中、昼食の為、お客様をベッドより起こそうとしたが、ベッドの高さを停電中で調整できず、ベッド高約30cmの最低床のまま車椅子への移乗を試みた。その際にお客様には、両腕を職員の身体に回してしがみつく様に掴まって頂いた。しかし、ベッドから車椅子へ移る際に、お客様の手が職員から離れ、ベッドのL字介助バーを掴んでしまった。その結果、お客様の身体が固定され、職員は腰が捻じれる形で介助した。その後、腰に違和感があったが業務にあたっていたが、後日業務中、前屈みになった際に腰が立たなくなり、動けなくなった。	36	921	19	50～ 99
2017	6	16～ 17	T字路交差点の道路脇法面にて、草刈後の集草作業を行っていたところ、法面で足を滑らせ、土留コンクリート擁壁で止まれなかったため、擁壁下（高さ1m弱）のコンクリート面へ飛び降り、両足を着いたところ左足首を骨折した。	25	416	1	50～ 99
		14～	事務所からリビングへ出ようとした時に、同僚の足に躓き転倒し				

2017	6	15	た。	61	416	2	1～9
2017	6	16～ 17	施設内において清掃作業中に、掃除機をかけていて段差の上に掃除機を置いたところ、左足の甲に落下し、左足の小指を骨折した。	22	169	4	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	職場の壁にある蜂の巣駆除をするため、机の上に脚立をのせて壁に立て掛け、その上に乗りながら作業していたところ、作業中に下の机が動き出し、脚立と一緒に落下した。その際、左足踵を強打した。	39	371	1	1～9
2017	6	11～ 12	入浴介助終了後に風呂場で清掃中、滑って両脚が開いた状態で尻餅をつき、転倒した。	56	416	2	100 ～ 299
2017	6	22～ 23	認知症専門棟にて夜間勤務をしていた。個室の部屋において、部屋にはベッド、ベッド横にL字型の柵、ポータブルトイレ（夜間のみ）を設置してあった。利用者よりトイレとのナースコールがあった。利用者は掴まり立ち・つたい歩きは可能だが、臥席から座位、座位から立位姿勢をとるには介助が必要であった。臥床していた利用者を端座位姿勢にする為、職員の腕を利用者の背中の方へ回し、支えて上体を起こそうとしたが、バランスを崩し、前屈みになった際、腰に痛みを感じた。	48	911	19	50～ 99
2017	6	17～ 18	デイサービス終了後、施設内を清掃するため水モップを取りに行こうとした時に、テーブルの上にチェック表があることに気付いたため、食堂にいる夜勤職員に届けに行った。その際、廊下を急いで歩いたため、靴のつま先が床に引っ掛かり、躓いて前方に転倒した際、左半月板を強打し骨折した。	62	417	2	10～ 29
2017	6	14～ 15	ご利用者宅で調理（唐揚げ）終了後、油をオイルポットに移す時、フライパンの柄が緩んでいたのか回転し、左手に油がかかってしまい火傷した。	60	911	11	50～ 99

2017	6	9~ 10	デイサービス利用者宅前にて、朝の迎いの送迎の際、送迎車が利用者自宅前に到着して、後部座席からスライドドアを開けて送迎車から降りるため、ステップ板に足をかけ地面に着地しようとした際にバランスを崩し、前方に四つん這いになるようにして転倒し、両肘・両膝・両足首を負傷した。	40	231	2	10~ 29
2017	6	10~ 11	施設内特殊浴場脱衣所において、利用者の入浴介助作業中、入浴後に利用者をシャワーベッドから脱衣所のベッドに移動させ、シャワーベッドを浴場洗い場へ戻そうとした時、床が濡れていたため左足が滑った際に負傷した。当初、痛みがあまりなかったため定時まで就業したが、帰宅後に痛みが増した。	40	416	2	50~ 99
2017	6	7~8	3階のSSにおいて、おしぼりの熱湯消毒を洗面器で行った。本来は、軍手とゴム手袋をする予定であったが、急いでいたため、軍手だけでお湯の中に両手を入れたため熱かったため、その場で軍手を外したところ、右手の親指の皮がめくれ、その他の部分は赤く腫れ上がっていた。この業務中、側に誰もいなかった。水で冷やし、看護師を呼んで応急措置をしてもらい、その後、病院の救急へ連れて行った。両手火傷（重症）で、全治3週間となった。	19	911	11	50~ 99
2017	6	12~ 13	1階のリビングにて入居者様を椅子から車椅子に移乗する際、足を肩幅より少し大きめに開き、腰を落とし立ち上がらせようとした際に、腰に激しい痛みがある。	27	921	19	10~ 29
2017	6	8~9	会社入り口の階段を下を向きながら上っていたところ、あと2段というところで顔を上げた時、目まいを起こし、そのまま後ろから一回転しながら転げ落ち、負傷した。（来社時、仕事場である2階に上ろうとしていた。）	27	413	1	50~ 99
2017	6	13~ 14	被災当日、移乗介助中に腰がグキツとなる。数日後の就寝介助中に、腰に激痛がはしり、足の方まで痛くなり、膝がガクガクし、全身に震えが出る。その後も痛みが続き、起床介助中に腰が再びグキツとなり、鈍音と共に激痛がはしった途端、膝が痛くて力が入ら	19	921	19	100 ~ 299

			なくなり、病院に受診する。				
2017	6	11～ 12	チャレンジ棟の片付け物を倉庫に運んでいた際、施設利用者に気を取られ、チャレンジ棟前の段差を忘れ、前のめりに躓き転倒し、着いた右手の中指・薬指・小指を負傷した。	64	418	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	保育園2階保育室手洗い場前で、保育作業中、子供にペーパータオルを渡す時に、子供が取り出した踏み台が、普段はない場所に置かれており、踏み台に躓き、前方に立っていた子供を避けようと右側へ身体を反らした状態で転倒してしまった。	59	416	2	10～ 29
2017	6	16～ 17	トイレ介助の際、ご利用様様が転倒しそうになり、支えた時に右足を捻った。	34	921	19	30～ 49
2017	6	10～ 11	戸外遊び中、園庭にあるままごと用の流し台の前で、子どもと一緒にしゃがんで遊んでいる時、追いかけてっこをしていた3歳男児が友だちに追われ、自分の胸元へ飛び込むように走ってきた。咄嗟に身構えて男児を受け止め、そのままの体勢で踏ん張ったところ、右足腿の付け根辺りに激しい痛みを感じ、その場から動けなくなってしまった。	35	921	19	30～ 49
2017	6	14～ 15	介護浴洗身介助中に、入居者の体を前屈みになって洗っている時に、スライドドアを脱衣所（自分の後方）から他職員によって開けられた際に、ドアが左腰骨に強く当たってしまい、その後、腰痛を発症した。	28	921	6	30～ 49
2017	6	14～ 15	利用者様を移乗する時に利用者様が右手で当労働者の左腕の一部を強くつまんだため、痛みと不安定さを解消するため、つままれた手をずらした時、利用者様が当労働者に倒れてきたため、当労働者の右胸に利用者様の肩部分が当たった。	53	921	19	30～ 49
2017	6	23～ 24	入居者の居室で対応を終え、2階介護職員室に戻ろうとしたところ、ナースコールが鳴り、どこの居室かを確認し急いで行こうと振り返った時、バランスを崩して左足を挫き、その場に転倒した。	25	417	2	100 ～ 299

2017	6	10～ 11	当施設の脱衣所において、入居者様の更衣介助中、入居者様の腕を袖に通す際、誤って被災労働者の腕を袖に差し入れた状態で動いた為、右肩を捻り被災したものである。	30	921	19	30～ 49
2017	6	16～ 17	デイサービスの利用者を社用車（リフト車）から自宅まで送り、小走りでリフト車まで戻る途中で右膝に激しい痛みを感じ、歩けなくなった。	56	911	19	10～ 29
2017	6	8～9	デイサービス利用者宅に車でお迎えに行き、利用者を後部座席に座らせ、シートベルトを装着しようとした際、認知症の症状がある男性利用者に右腕を掴まれ、振り払われて右腕の外側と右肩を痛めた。当日はそのまま仕事をしたが、翌日になって痛みが増した。	25	921	90	50～ 99
2017	6	8～9	服薬支援中、知的障害のある男性利用者が服薬支援中の支援員と目が合うと、突然背後から頸椎を殴った。殴られたことにより、頸椎捻挫と末梢神経の麻痺が起きた。	33	921	90	30～ 49
2017	6	11～ 12	事業所内のプレイルームで児童とサッカーをしていた時に、ボールの競り合いをされていて、右足を挫いた。	49	921	3	10～ 29
2017	6	14～ 15	利用者宅へ訪問する途中、十字路の交差点をバイクで走行中に、左側から出て来た乗用車と接触した際に転倒し、左肩脱臼、靭帯断裂（2ヶ所）が発生した。	42	231	17	10～ 29
2017	6	12～ 13	出勤のため原動機付自転車に乗り、事業場の敷地内を走行中、対向車を避けようとハンドル操作を行った際、雨天時であった為にスリップし転倒した。	43	231	2	50～ 99
2017	6	16～ 17	調理室の裏口の戸を開けて、ゴミ箱が置いてある場所で90?入りのゴミ袋に入っているゴミをゴミ箱へ入れようとした時、10cm程度の段差で足を滑らせ足首を捻り、自然と崩れ落ち、なかなか起き上がることが出来なかった。	66	416	2	50～ 99
			当事業所内作業指導所・障がいのある方の就労訓練施設において、利用者に休憩の声かけを行った直後、男性利用者が女性利用者に対				

2017	6	10～ 11	して体の接触を求めて近づこうとしていたため、男性利用者に対し「近づき過ぎないで」と声かけを行った。その際、男性利用者から力一杯に突き飛ばされ、その場で倒され、壁に頭（額）を強打ち、また転倒時に床に右腕をついた際に右腕も打撲した。更に首を捻ることになったため、むち打ちの状態となった。	68	999	99	10～ 29
2017	6	9～ 10	訪問入浴サービス利用者宅マンション入り口で、入浴物品を搬入しようとした際、バケツの中にシャワーホースや洗剤等を入れて両手で持って入り口廊下を移動しようとした際に、右側に何台もの自転車が止められている状態で、荷物を持っているため足元が見えづらく、自転車のスタンドに引っ掛かり前のめりになって、両手がふさがっていた為に右膝から倒れ、そこへ全体重がかかり負傷した。	59	911	19	10～ 29
2017	6	9～ 10	訪問先の玄関で靴を履こうとした時に、車椅子用のスロープに一步踏み出した時、滑って仰向けに転倒し、頭部を床で打ちつけた。	74	417	2	50～ 99
2017	6	16～ 17	入居者のところへ行くため施設内の階段を下りている時に、足を捻じって転倒した。湿布で様子を見ていたが、痛みと腫れが軽減しなかった。	52	413	1	10～ 29
2017	6	13～ 14	施設の便所内で、介護利用者を便座から車椅子へ移乗の際、利用者に肩に手を回してもらい抱え上げ、補助者がパット、リハビリパンツ、下着、ズボンを上げる。その後、車椅子を旋回しようとした時、利用者が肩から手を離して自分の後方のL字バーを持った為、L字バーから手を離す様伝えたが、中々離さなかった為、転倒してはいけないと思い、便座に自分が利用者を抱きかかえるように座り、体勢を整える為に利用者に手を回して貰い、車椅子に移乗しようとした時、腰部に痛みを感じ、その際、バーに右肩を打ちつけた。	51	921	19	50～ 99
2017	6	11～ 12	1F利用者用フロアにて、椅子に座って書類整理をしていたところ、後方より配膳車がぶつかってきて、前方に投げた出された。その際、骨盤周辺に違和感を覚えた。	37	362	6	50～ 99
			立て膝で子供と向き合っていた時、後ろを通った子供に脛脛上部を				30～

2017	6	8～9	踏まれて負傷した。	47	921	90	49
2017	6	0～1	丁字路を直進中に、進行方向右側より左折して来た車と衝突した。	32	231	17	1～9
2017	6	15～16	施設内にて、お風呂の誘導を行う際、利用者様に声掛けを行ったところ、利用者に突きとばされ、尻もちをついてしまった。立とうとするも足に力が入らず立てなくなった。	27	911	2	100～299
2017	6	17～18	園の遊戯室にて防犯訓練の為、警察の方から指導を受けている時、護身術の一つで後ろから抱きつかれた時はどうするかを2人1組で実践中、抱きつく役になった職員がグッと力を入れた際、右の脇下に痛みがはしたが、ふさぎ込むほどではなかった為、その日は業務に戻った。鈍痛はずっとあったが、翌日も出勤した。その夜から痛みが増し、肋骨骨折と診断された。	51	921	90	—
2017	6	13～14	9Fキッチンでお茶の準備をしていた。ポットの水を足そうと軽量カップを探すもカップがなかった為、直接キッチンの蛇口から水を入れようと思い、ポット本体を両手で持ち上げた。その時、キッチンカウンター前をご入居者が不安定な状態で歩行されていた為、お名前を呼び気を取られた瞬間に、手を滑らせてポットを床に落としてしまった。その際、右足首から甲にかけ熱湯がかかり火傷した。	57	391	11	30～49
2017	6	20～21	3階グループホームにて、就寝介助中のA居室から、不穏状態になっているB居室へ急いで行こうと、リビングを小走りしていた際に、踏み込んだ左足にブレーキがかかり、左側からバランスを崩し、左大腿部から激しく転倒した。	53	417	2	50～99
2017	6	16～17	訪問先に2階から1階に下りる際、残り数段を踏み外し転倒し、右膝を骨折した。	62	413	2	1～9
2017	6	12～13	訪問介護サービスを終え事務所に戻る途中、前方から自転車に乗った高齢の女性が向かって来た。危ないと思い女性と逆の方向に進路を向けたが、女性が同じ方向に向かって来たため衝突しないよう	27	231	18	100～

			にハンドルを切った際、自転車から転落して着地に失敗し、左足首を捻ってしまい、足の痛みが酷くなった。					299
2017	6	11～ 12	障害福祉サービス事業（共同生活援助）の施設で、清掃支援業務のため居室を訪れ、蓋が開いた状態の様式トイレを清掃中、便座を拭いて蓋を倒し、便座の後ろ部分を拭こうとした時、陶器製のタンクの下部が割れていて、右手中指を切創した。	73	911	8	1～9	
2017	6	10～ 11	利用者宅に訪問して介護サービスをしていた際、利用者がトイレに行こうとして立ち上がろうとした時、よろめいて倒れそうになったので支えた。その際、利用者の体重がのしかかる状態で、左肩から左腕にかけて辺りを掴まれ、激しい痛みがはしった。	31	921	19	1～9	
2017	6	8～9	介護先にて、床に横たわっていた介護者を車椅子に移乗介助するため、介護者を先ずベットに移乗介助し、次に介護者を前から抱きかかえてベッドから車椅子に移乗介助している時に、「ポキッ」と音がして腰に痛みがはしり、第一腰椎圧迫骨折した。	71	921	19	10～ 29	
2017	6	17～ 18	送迎中、利用者H氏の自宅マンションに到着した際、利用者H氏がだらんとしており、なかなか下車できず、やっと下車したところ全身に力が入っていない状態であったため、姿勢を立て直して自力で立って歩いてもらおうと利用者H氏の体を抱いて上へ持ち上げたところ、左肩を痛めた。	66	921	19	50～ 99	
2017	6	13～ 14	脱衣室で入浴準備中、リフト浴用椅子を所定の位置に動かそうと通常より上部を持ったところ、倒れて来た。慌てて支えようとしたが、背もたれから後方へ倒れた際、右手を挟み、中指関節周辺が痛みを伴い、赤くなっていた。出血はなく、手も動かせたので、すぐ入浴介助にあたった。その後、痛みはあったものの仕事にも遅れがあり、手が動かせたので、遅出の仕事が続けた。終了時に腫れが酷くなった。	38	379	7	10～ 29	
2017	6	12～	老人ホーム内入居者の部屋で、入居者をベッドから車椅子へ移動する時に手首を負傷した。その時、手首の辺りからブチッという音	48	911	19	～	100

		13	がして激痛がした。					299
2017	6	11～ 12	昼食の味噌汁が、バツカンの蓋がロックされた状態で火にかかって いた。暖まり具合を確かめるため、ロックされた片方を外した途 端、圧力が抜け、中の味噌汁が噴出し、体前面に降りかかった。 ナースが衣服を外して冷水で冷やし、救急車を呼び、病院にて治療 を受けた。	20	529	11	30～ 49	
2017	6	13～ 14	モップがけ直後とは気づかずに、3F北トイレ汚物庫入口付近で滑っ て転び、右足足首を捻った。	66	417	2	50～ 99	
2017	6	8～9	朝食後、入居者を居室へ誘導した後、ナースコールに対応する為、 部屋を出ようと咄嗟に左方向へ体の向きを変えた時、右足の膝折れ が起きて激痛を覚えたが、1～2分じっとして、その後歩くことが出 来たので、右膝をかばいながら何とか一日を過ごした。翌々日、 朝から立つこともしゃがむことも激痛で困難になった。	56	921	19	50～ 99	
2017	6	7～8	出勤し、外のロッカー室に向かう時、坂道で滑って転倒した。そ の際に右手をついたので、右腕と右肩を負傷した。	52	417	2	50～ 99	
2017	6	16～ 17	訪問介護で利用者宅へ訪問し、デイサービスより帰宅された利用者 (認知症がかなり進行していて、体重が重い)を椅子に座らせる 際、普段はデイサービスの人も手伝ってくれるが、その日は手伝い がおらず、一人で椅子に寄せようとして、腰に予想以上の重みが掛 かったことにより痛めた。	61	921	19	50～ 99	
2017	6	4～5	交差点付近で信号待ちをしている時、居眠りしてしまいブレーキペ ダルから足を離してしまった為、前方に停車している自動車に追突 してしまった。	49	231	17	10～ 29	
2017	6	14～ 15	お客様宅で雑巾掛けをしている最中、バランスを崩し倒れそうにな り、右手の手の平を床に打ちつけ負傷した。	39	921	2	30～ 49	
2017	6	15～	研修中に跳び箱の実習があり、横向きの跳び箱(3段)を飛び越え る際に、跳び箱に着いた手が滑って左奥側へ転倒した。その時に	27	391	19	10～	

		16	左肘の関節を捻挫し、左腕全体の筋を痛めた。					29
2017	6	8～9	館内2Fのフロアにて、認知症の入居者様の食事介助中、足を蹴り上げられたところ当人の左膝に当たり、腫れが出た。	57	911		90	30～ 49
2017	6	15～ 16	放課後等デイサービスの事業の勤務中に、ある児童が他の児童に足蹴りをしていたため、制止した際、児童の肘が右目に入り込むように当たる。その後、右目の見え方に違和感（電灯が消滅するような感じ）が現れ、視力の低下も自覚するようになった。	59	911		6	10～ 29
2017	6	20～ 21	職員ミーティング終了後、出口のスロープを降りる際に、膝からぶちっという音がした後、膝が動かなくなり、そのまま歩くことが出来なくなった。	47	413		19	100 ～ 299
2017	6	12～ 13	利用者宅にて、トイレ介助で車椅子からポータブルトイレに移乗させていた際、バランスを崩してしまった。利用者の転倒を防ごうと無理な体勢をとってしまい、背中に痛みを感じた。数日はそのまま仕事を続けられたが、痛みが治まらず、胸椎圧迫骨折をしていた。	56	911		19	10～ 29
2017	6	9～ 10	大学の外階段で駐車場から移動中、雨で階段が濡れ滑りやすくなっていたため、足を滑らせて転倒し、尻を強打した。	39	413		1	1～9
2017	6	12～ 13	デイホール東側静養室前において、利用者様をトイレ誘導している時、職員は右側に付き添っていた。利用者様が右側の静養室に入ろうと急な行動をとり、職員が利用者様と入り口に挟まれるようになり転倒した。倒れた職員と共に利用者様もゆっくりと転倒され、職員が下敷きになった。急な方向転換に跳ね飛ばされ、右腕が違う角度のまま転倒し、骨折した。	60	921		2	50～ 99
2017	6	7～8	特別養護老人ホーム内の洗たく室にて、業務用衣類乾燥機へ衣類を入れた後、取り出し口を閉めた際（少し強く閉めてしまった）、乾燥機下部にあるフィルター清掃用扉（鉄製）が落下し、左足親指に受傷した。	55	391		7	30～ 49

2017	6	11~ 12	就業場所にて、カゴ車（物流機器）を移動中に転倒し、身体とともにカゴ車も一緒に倒れ、右腕と左腕を倒れて来たカゴ車で打撲した。	41	362	2	10~ 29
2017	6	18~ 19	放課後児童クラブの室内で、窓のカーテンが外れており、掛け直そうと児童用の椅子（高さ40cm程度）に乗り、窓枠（1m位）に上がってカーテンに手を伸ばしたところ、バランスを崩してカーテンレールを掴んだが、右足から床に落ちて右足を骨折した。	62	379	1	1~9
2017	6	15~ 16	リハビリ利用者を自宅まで送迎するため、送迎車の助手席に被災者が同乗していた。送迎後、利用者の自宅前の路地から車が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだところ、シートベルトを着用途中の被災者が、反動で額を車内の窓枠に打ちつけた後、その反動で座席に頸部を強く打ちつけた。	65	231	17	50~ 99
2017	6	7~8	駐車場にて駐車をしようとした際、ブレーキを踏んだが間に合わずそのまま前進し、田んぼに転落し、首・肩・腕・腰等を打撲した。	34	231	1	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	支援員2人と子供1人の3人で鬼ごっこをしていた。支援員1人は校舎側へ逃げ、被災労働者である支援員は体育館側へ逃げた。鬼であった子供が、被災労働者である支援員を追いかけてきたため、体育館前にあるサッカーゴールとネット（2m×2m）の間をすり抜けて逃げようと思い、ネットに左示指1本を引っ掛けて回転し、ネットとサッカーゴールの間をすり抜けたところ、左示指第一関節が切断され、子供が切断された指を拾ったことで切断に気付いた。	59	911	8	1~9
2017	6	9~ 10	送迎を終え、送迎車から降りて車の後ろを通り、玄関へ入ろうと右へ向きを変えようとした際、ぬかるんだ地面に滑って右手をついて負傷した。	51	417	2	30~ 49
2017	6	8~9	特別養護老人ホームの厨房において、昼食の準備で玉葱の皮を剥いていて、包丁の刃が滑って左手の親指と人差し指の間を切り、出血がひどかった。	20	364	8	50~ 99

2017	6	16~ 17	教室内の休憩スペースで、二人の子ども達と他の指導員が座って行っていたオセロゲームを、その横で床に横座りして見ていた時に、左斜め後方から子どもが低い姿勢で抱きつこうとして、頭の右半分が腰付近に当たった。	42	921	6	50~ 99
2017	6	7~8	施設利用者様の居室にて、おむつ交換のため、ベッドの高さを上げて、頭側のベッドの横に動こうとした時、ベッドのリモコンのコードに左足首が引っ掛かり、右膝より転倒した。	64	351	2	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	訪問介護の業務を終えて車で帰社するため、交差点を東へ右折しようとしたところ、東から直進してきた車と衝突した。	61	231	17	1~9
2017	6	11~ 12	利用者宅訪問時に、ベランダに干していた洗濯物を部屋に取り込もうとしていて、窓枠で左足小指を引っ掛け、両手をつくように転倒した。その時に、窓枠で打撲した左足小指に痛みがあったので、翌日に病院で受診したところ、左足第5趾の末節骨を骨折していた。	44	418	2	10~ 29
2017	6	10~ 11	有料老人ホーム4階浴室にて、入居者の入浴介助の後、対象入居者を車椅子にて廊下に移動させた後、自身も退室しようとした際に、濡れた入口スロープ床面で足が滑り、咄嗟に右手を床につき、直後に右側頭部を床面に打った。	54	419	2	30~ 49
2017	6	14~ 15	工場内で棒状の豚肉をフードスライサーで角切りしていた時、豚肉が出て来るところから豚肉を取り出そうと左手を入れた際に、フードスライサーの刃に左手中指の先が当たり同部を負傷したものである。	25	169	8	10~ 29
2017	6	16~ 17	ベッドに寝ていた利用者を車椅子へ移乗しようと、スタッフ2人にて介助時、利用者を抱きかかえて立った時に利用者が手を出し抵抗し、バランスを崩し、そのまま右足を下にして2人で転倒した。もう1人のスタッフはいたが、間に合わなかった。右足に違和感と痛みを感じ、病院にて骨折と診断される。	31	911	2	10~ 29

2017	6	7~8	当施設2階東トイレにて、男性利用者にトイレへの声掛けをした際、ズボン・紙パンツが汚染されていたため、トイレ終了後に交換と更衣をするように声を掛けた際、急に立ち上がり右手拳で殴られそうになり、それを防御しようと両手で止めると、今度は左手で平手打ちされそうになったため、避けようとして後方へよろけたが、平手打ちをされた。その後、避けようとした私の左手親指を掴み（握り）反らされた。その後、膨れと痛みがあり、第一関節から指先が下に垂れたままになり、動かすと痛みがあった。	46	921	19	100 ~ 299
2017	6	10~11	事業所5Fホールにて、利用者様用の白湯を作っている時、お湯の入っている透明の容器が倒れて両下腿にかかった。	34	391	11	100 ~ 299
2017	6	19~20	就業先の3階で勤務中、利用者を抱えて移乗する際に腰を痛めてしまった。激痛だったため、勤務終了後に整骨院に行った。翌日も痛みが強く、骨に異常は無いがぎっくり腰と診断された。	45	921	19	30~ 49
2017	6	17~18	夕食を終えたご利用者の下膳の際、エアコンからの水漏れにより、床が濡れていたことに気付かず、左手に食事用エプロン、右手に食器がのった盆を持った状態で足を滑らせ、そのままの状態で転倒した。その際、お尻と左肘を床に打ちつける形となった。すぐに氷で冷やしたが、翌日になっても痛みが治まらず、病院受診をしたところ、仙骨骨折、左肘関節部打撲傷と診断され、後日入院に至る。	32	417	2	10~ 29
2017	6	10~11	施設1階の特別浴室にて、椅子に座っている入居者を立たせようとした時に、腰痛になった。	20	921	19	50~ 99
2017	6	14~15	訪問介護サービスのため、A利用者宅からB利用者宅へ電動アシスト付自転車で移動中、狭い道路で対向する自動車と離合後、自転車のペダルを強く踏んだため自転車が急発進し、バランスを崩し、ブロック塀に自転車ごと衝突し負傷した。	67	362	3	30~ 49
		16~	利用者の介護業務のため、老人ホームを訪問中、玄関の外で弁当ケースを受け取り、玄関からフロアへ移行した時に、段差解消のため				10~

2017	6	17	めの置床の空間に足指を引っ掛け、そのまま倒れ、頭と左膝を打って負傷した。	68	417	2	29
2017	6	13~ 14	新しく入る入居者のための居室清掃時、洋服ダンスの上段の棚を拭こうとして、丸椅子に右足から乗り上げた時に左膝に激痛があり、しばらく動けなくなり、痛みが取れなかった。	68	921	19	10~ 29
2017	6	9~ 10	特別養護老人ホーム施設内の入居者居室内で、寝たきりの入居者をリクライニングの車椅子からベッドへ移乗する時、他の職員と2人で抱えてベッドに下ろしたところ、腰に電気がはしる様な痛みがあり、その場で動けなくなった。（ベッドと車イスの間隔15cm、マニュアル通りの移乗）	33	921	19	50~ 99
2017	6	3~4	朝食の準備をする前に、入居者様の安否確認をしようとリビングを歩行中、小さなゴミを発見し、それを拾おうとした時に足がつんめった状態でバランスを崩し、転倒した。痛みの為、しばらく動けない状態であった。	67	417	2	1~9
2017	6	19~ 20	当施設1階の厨房に食事を取りに来た施設利用者の挨拶に、2名の世話人（うち1名が被災労働者）が、「ドエム」と聞こえたため利用者「ドエム？」と聞き返したところ、立腹した。利用者の変化に気付いたが原因が分からなかったため、数十分後に食事を済ませた利用者が喫煙所で喫煙しているところに、被災労働者が厨房での発言について尋ねたところ、「何度も同じことを聞くな」と叫びながら被災労働者の腹部を蹴った。その時、後に倒れかかった体を支えようと左手を地面に着いた際に、左手首を負傷した。尚、当該利用者は精神障害保険福祉手帳（2級）を所持する責任能力のない精神障害者であり、被災労働者及び法人共に当該利用者に対し、損害賠償請求を行う予定（意志）はない。	57	921	99	10~ 29
2017	6	8~9	朝食をとられた入居者様を居室へ誘導後、施設内の2階から1階に通じる階段を下りていたところ、下から2段目の階段（約31cm）で足	54	413	19	1~9

			を挫いて体勢を崩し、よろけ落ちた。				
2017	6	0～1	施設にて、自分の身長より高い物干し竿に入浴用のバスタオルやタオルを干していたところ、突然左膝から「ブチッ」と音が鳴った。その後、痛みが出た。	50	379	19	30～ 49
2017	6	16～ 17	デイサービス裏手の通用口（段差あり）を下りて、両手に1つずつごみ袋を持って、ごみ捨て場へ行っていた。小雨が降っており、通用口の段差を下りた時に足を滑らせ右側の方に転倒した。その際に右手首と右足を負傷した。	52	413	2	10～ 29
2017	6	10～ 11	デイサービス施設内で利用者を介護中、その他利用者の所へ移動中、足が絡まり自ら転倒した。その際、右手よりついたため骨折した。	60	417	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	着脱室より利用者の荷物を持って出てきた時に、右足が先に滑り体勢が崩れ、左足を捻った状態で倒れた。転倒のはずみで壁に左側頭部を打った。	59	417	2	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	当施設4階浴室において、男性（左半身麻痺）の入浴・更衣介助後、靴を履かせ車椅子に乗せる際、体勢を崩し床に左膝を打ちつけ、半月板を損傷した。	66	921	19	10～ 29
2017	6	7～8	利用者様のトイレ介助を行っていた際、排泄のために利用者様を抱えた際に腰に痛みがはしり、歩行が困難な状態になった。業務の継続が困難であった。	60	719	19	30～ 49
2017	6	17～ 18	坂道になっている歩道で、児童の帰宅送迎中に、一緒に坂道を徒歩で下っている時、雨で濡れている側溝の蓋（グレーチング）で滑って転倒した。その際、地面についた左手首の腱を損傷し、骨折した。	45	417	2	10～ 29
2017	6	16～ 17	園庭の遮光ネットを張る際に、2本のワイヤーを引っ掛ける時に1本が外れ、体のバランスを崩し、脚立から飛び降りたため、右下肢を痛めた。	71	371	1	10～ 29

2017	6	15～ 16	業務中、施設内東側廊下にて、履いていたスリッパで躓き、前のめりになり右膝を床に強く打ちつけて、うつ伏せに倒れ込んだ。	61	417	2	50～ 99
2017	6	10～ 11	使用していた平均台を、トラック外に置いていた他の平均台の所に片付けようとして持ち運び、置いた際に腰を痛めてしまった。	38	911	19	50～ 99
2017	6	15～ 16	園内のゴミを収集のため回っていたところ、手洗い場水道の栓が閉まっていなかったため、閉めるために右足を踏み出したところ、水道の前に置いてあったマットの下に水が溜まっていたらしく、マットが滑り、左側の肋骨をコンクリートの部分で強打し骨折した。	51	379	3	10～ 29
2017	6	12～ 13	休憩時間になったので2階ホールから更衣室に向かって廊下に出たところで床に躓いて（障害物なし、床濡れなし）、浴室の前で転倒した。浴室の角か手すりに左側頭部と打ち、そのまま左肩を床にぶつけ負傷した。	64	417	2	30～ 49
2017	6	10～ 11	当園の0歳児部屋にて保育中、園児（約7kg）を背中におぶった状態で、泣いている園児（約9kg）を抱きかかえようとした際に、腰に激痛がはしった。	30	719	19	10～ 29
2017	6	12～ 13	介護施設にて工作中、昼の休憩をとるため、階段（2階から1階へ）を下りている時に階段を踏み外して（1～2段程）、踊り場に落ちた。その際、右足が下になる形で落ちた。	37	413	1	10～ 29
2017	6	7～8	入浴の用意をしようと洗面所に行った時、手を洗っていた利用者が方向を転換した際に転倒しそうになり、咄嗟に本人を支えようと手を差し伸べたところ、逆に手を振り払われ、自分の体勢が崩れ、脇にあった洗面台で左脇を打ってしまった。	49	911	2	10～ 29
2017	6	19～ 20	利用者が居室より出て来られ、歩行のため手すりに手をかけようとしたが届かず、転倒しそうになった。付き添いの被災者が右手で支えようと右手を差し出した際、利用者が被災者の右手を強く握り、掴んだ。その際に右手第4指と右手第5指を痛めた。結果的に利用者は転倒したが、大事には至らなかった。	54	719	90	10～ 29

2017	6	8~9	浴室前で掃除中、モップの水滴が落ちているのに気がつかず、掃除機を両手で持ち、場所を移動している最中、滑って右側に転倒した。	55	416	2	10~ 29
2017	6	8~9	デイサービスホール内にて、利用者送迎のため、玄関方向に踏み出したところバランスを崩し、左下肢に力が入りやや外転した。その際に、「ブチッ」と音がして、近くにあった机につかまって椅子に座った。その後、歩こうとするが力が入らず、歩けなくなった。	52	921	19	1~9
2017	6	11~ 12	お弁当の配達先で滑って転倒し、頭と左肩を強打した。現場は坂道になっており、苔が生えていて滑りやすい道であった。当時、お弁当を2つ持っていた。	61	417	2	100 ~ 299
2017	6	7~8	被災者が、事業所内でベッド（高さ約50cm）に座っている利用者（男性、43kg）を抱きかかえ、車椅子へ移そうと一歩前へ踏み出した時に、右ふくらはぎを痛めた。	61	921	19	50~ 99
2017	6	10~ 11	女子更衣室にて、ロッカーの上に置いてある鍵を取ろうとしたが手が届かず、ロッカーの上を見るため椅子（円型の直径約33cm、高さ約42cm）に上ろうとした時、ロッカーに掴まっていたためロッカーが傾き、バランスを崩して後方に転倒した。その際、後方にあるロッカーに後頭部を強打した。	72	379	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	入浴脱衣室にて、自力で立つことが困難な障がい者の入浴を終えて、シャワーイスから車イスに移乗介助の時であった。他の障がい者も利用していたこともあり、脱衣室の床が水で濡れている状態であったため、移乗の際に足が滑り転倒した。また、抱えていた障がい者が支援者の左足に倒れてきた瞬間、骨が折れたような音がした。激痛が走り立つことができない状態になったため、救急車で病院へ行くことになった。	57	417	2	50~ 99
			当園の調理室で園児の昼食の準備中に鱈の天婦羅を揚げている所を通過した時に、床に落ちていた油に足を滑らせ前のめりに転倒した				30~

2017	7	10~11	際に左手を冷蔵庫の底の留め金に指を入れて負傷し、転倒時に両膝も打撲した。	65	417	2	49
2017	7	5~6	B棟居室内で利用者の起床介助中に、更に別の利用者からのナースコールがあり、その利用者をトイレへ誘導した後、前の利用者介護のため、廊下に戻る際、つまずいて転倒し、左ひざ・右ひじを強く打った。直後強い痛みがあった。レントゲンの結果、骨折はないが、腫れ・痛みがある。	55	416	2	—
2017	7	18~19	老人ホームの利用者の居室から退室する際、ベッドに敷いてあるエアーマットの配線（輪になっていた）に左足が入ってしまい躓いて右足の膝を床に強打した。しばらくしてから段々腫れと痛みが出てきた。	61	391	19	50~ 99
2017	7	15~16	萌葱ユニット内で入居者のコップをフローテーブルからキッチンに運ぶ際カクンと左足首がなり痛みが出る。	53	921	19	50~ 99
2017	7	15~16	入居者のコップをフローテーブルからキッチンに運ぶ際、カクンと左足首がなり痛みが出る。その後も左足をかばいながら作業にあたるが、左足を床につける事が出来なくなる。足首が腫れてきていたため、病院を受診することとし退勤する。フロー内はバリアフリーで段差や通路に障害物はないが、本人は小走りで動いており、方向転換等でバランスを崩し、力が足首にかかった可能性はある。	53	416	19	100 ~ 299
2017	7	13~14	施設内の食堂で水分補給の準備をしている時に、普段から車イスから立ち上がり転倒の恐れのある利用者が車イスから立ち上がろうとしていたので、静止しようとする利用者のところに小走りで行く途中で床につまずいて受傷。左かかと部分に痛みが走った。その後痛みはあったが湿布を貼り、終業時刻まで勤務したが翌日になっても痛みが治まらなかった。	64	417	2	50~ 99
			当施設、地階浴室に於いて、ご利用様を浴用リクライニング				50~

2017	7	11~12	チェアに乗せ、ハンドル操作と共に、そのまま下降入浴させようとした際、安全を担保する傍ら、自らの腰を痛めてしまった。	47	921	19	99
2017	7	8~9	Bユニット東トイレ前廊下で、トイレ後の入居者様を居室に誘導している時に、他入居者様が掃除機をかけていたので道をあけていただいたが、その際によけていただいた入居者様の足にスタッフが躓きバランスを崩してしまった。スタッフは入居者様の手を引き誘導中だったので入居者様を転倒させないよう身体を支える際に左膝をひねってしまった。	54	921	19	10~ 29
2017	7	20~21	残業後、帰宅のため着替え終えて出入口へ向かう階段を下りていた時、手すりがない側だったため1段踏み外した際、支えきれず転倒、左足首を打ち靭帯を負傷した。	43	413	1	500 ~ 999
2017	7	16~17	施設内の玄関で、サービス利用者様の帰り支度をしていた。利用者様7人の私物手提げ鞆を玄関の下駄箱上に置きに行く際、荷物で足元が見えない状態で段差を降りようとしたため、段差手前で左足首を内側へ捻り、荷物をもったまま段差下へ右膝をつくように転んでしまった。	44	417	2	1~9
2017	7	13~14	一人でマンホール内作業に伴う交通誘導中、左折する車両を誘導するため車道上から歩道上に移動しようとした際、歩車道境界ブロックに気づかずにつまずき、後ろ向きに転倒して左腕から地面について負傷した。	50	921	19	30~ 49
2017	7	9~10	起床援助と朝食援助のために利用者様宅を訪問する。起床援助のため清拭し着替え援助し、朝食のために部屋を移動し、椅子に座ってもらうために立っていただくよう声をかけていたが、なかなか立ち上がることができず、戻らなければならない時間が近くなり、手を貸そうと後ろから持ち上げる姿勢をとり、力を入れたところ「ゴキ」と音がして痛みが走った。	65	921	19	50~ 99
2017	7	11~12	職場の買い物終了後、駐車場にて車から降りる時、ふらつき転倒し	62	417	2	100 ~

			て負傷した。					299
2017	7	9~10	事業所内屋外倉庫屋根部波板トタンを修繕中、骨組みの単管パイプを左手で支えながら右手で剥がす際に途中で破け、その反動で足を踏み外し、高さ1m50cmの外壁から転落する。転落時、両足で着地したが、地面のトタンに乗り上げ左手が伸びた状態でアスファルトに転落した形となる。	32	415	1	~	100 299
2017	7	1~2	対象利用者Aの排泄介助の際、トイレ入口の所で利用者Aの歩行を前方から両手引きで支えていた。その後利用者Aがバランスを崩し転倒され支えようとした際に、右足第2趾付近を踏まれ、鈍痛内出血有あり、骨折と判明し、入院加療となる。	51	921	7	10~	29
2017	7	16~17	オムツ交換中利用者様右側臥位に体交し、オムツをさしこむ際、腰に痛みがはしる。その後オムツ交換者が5人残っていたため、痛みをこらえオムツ交換を終わらせ片付けるが、他職員に痛みあることを伝えイスに座ってから動くことができなくなった。	28	921	19	50~	99
2017	7	6~7	厨房で朝食の準備中、茹でた野菜を冷やすためザルにあけようと鍋を持ち上げ、後方のシンクに移動したところ、急いでいたため鍋の底をシンクのフチにぶつけてしまい、その反動でこぼれた熱湯が右手にかかってしまった。	67	379	11	30~	49
2017	7	20~21	施設駐車場で開催された夏祭りが閉会し、片付けのために浴衣から動きやすい服装に着替えるため施設建物内に戻る際、来賓席とパイプ椅子席の間を小走りで通ったところ、来賓席に敷いてあったゴザに足を取られ転倒する。右を下にして右手と顔を地面に打った。その後、施設内で看護師から応急手当を受けた。	52	417	2	~	100 299
2017	7	10~11	食堂前廊下にて巡回中に、清掃員が施設内消毒のため、消毒液を散布して濡れている床の上を歩き、足を滑らせ転倒する。	57	416	2	10~	29
2017	7	11~12	高齢者の介護を高齢者本人室でベットから車いすに移すときに、高齢者を抱えたまま転倒して顔面を負傷する	54	719	2	10~	29

2017	7	12~13	組合員宅の庭で、訪問が終わり車に戻ろうと歩いていたところ、欠けていた側溝の蓋に右足を引っかけてしまい転倒。その際、右足甲外側を骨折してしまった。	31	921	19	50~ 99
2017	7	9~10	印刷機が850rpmで運転中に印刷不良が発生。第一ユニットの安全バーからの結露が原因とわかり、コバン（隙見ゲージ）にウエスを巻いて拭き取ろうとしたところ、ブランケットにウエスが引っ張られてしまい安全バーとブランケットの間に指が挟まれて受傷した。停止させてから実施させるルールにはなっていたとのこと。	65	921	19	30~ 49
2017	7	10~11	特別養護老人ホームにて、入居者様（女性・身長147cm、体重37kg）をベッドに座っている状態から車椅子へ移乗させる際に、横から入居者様の腰部を持ち上げた時に、腰に激痛が起こり、その場で動けなくなった。	52	911	19	30~ 49
2017	7	11~12	利用者居室にて寝ている利用者をベッドに座らせ、車イスに移そうと腰をかがめ、利用者を持ち上げ、方向を変えた際に負荷がかかり、痛めてしまった。	31	911	19	30~ 49
2017	7	16~17	事務室内で、電話を受けたところ、外出中の所長宛てであったため伝言をメモし、そのメモを物が置いてある位置から所長の机上有る印鑑ケースに貼りつけようとした際、体を伸ばすような体勢になってしまいバランスを崩して半回転して右側から転倒した。	60	921	2	1~9
2017	7	13~14	利用者の介助業務で、車椅子からベッドへ移乗させるため、支えで利用者の足と足の間に自分の右足を入れ移乗させた際、右膝に痛みがはした。 ※初診日まで家にあった湿布薬を貼ったりリサポーターをして痛みを我慢していた。	42	911	19	50~ 99
2017	7	10~11	当施設内で入浴介助中に暴れた利用者に喉付近を強く突かれ頸部を負傷した。	49	911	90	50~ 99
2017	7	16~17	放課後児童デイサービス支援中に利用者を連れて、スーパーに買い物に行った。レジでお金を払うために、利用者と繋いでいた手を離したところ、突然左ななめ後方から利用者に押されてしまい、倒	57	911	90	30~

			れる時に、カウンター角に肋骨をぶつけてしまい骨折とひじを損傷した。				49
2017	7	13~14	入居者のトイレ誘導時、車椅子から抱きかかえた際に腰の左側に痛みを感じた。その後は通常通りに勤務したが、椎間板ヘルニアとの診断を受けた。	33	921	19	100 ~ 299
2017	7	11~12	国納において作業中にホコリが目に入ったためペーパータオルで目を拭いたところ角膜等に傷を付けてしまった。	24	921	90	10~ 29
2017	7	9~10	給食調理のため、野菜を包丁で切っていたところ、勢い余って左手人差し指を負傷した。	37	364	8	10~ 29
2017	7	13~14	介護サービス中の買物代行時に、買い物した品物を2つの買い物袋に分け両手に持ちその他自分のバックを持ってご利用者様宅のアップार्टの階段を上がっていた時に、持っていた荷物と自身の体重が左足にかかりその場にうずくまってしまった。スタッフの業務は同行援護など長時間歩くサービスを日々行っている。	69	921	19	10~ 29
2017	7	13~14	ご入居者様を車椅子からベッドへと移乗介助している時に、前方からかかえ上げ介助した時に、ご入居者様の身体に筋緊張が強くみられ、身体が背後にのけぞりつっぱった状態となり腰に強い荷重がかかった。	34	921	19	30~ 49
2017	7	15~16	洗濯室内に水が垂れており、気づかずに歩行した際に滑り、仰向けの状態で転んでしまった。	55	416	2	50~ 99
2017	7	15~16	勤務中、不意に背後から飛びつかれ全治2週間の頸椎捻挫との診断を受ける。発生時、他児童の指導をしていたために背後から来る児童に気づけなかった。	30	911	6	—
2017	7	18~19	保育園の1歳児保育室で、座って事務仕事をしているときに、女兒が急に走り寄って来て、それを受け止めたときに体勢を崩し、右足の人差し指を骨折した。	65	921	19	50~ 99
			施設と施設の移動の際に自転車に乗っていた。坂道を登っている				

2017	7	14~15	ときに、バランスを崩し転倒。両腕を損傷、右腕を強打し負傷した。	30	362	2	10~ 29
2017	7	11~12	保育所の男性更衣室のエアコンのフィルターの掃除をするため机(120×60×H45)にテーブル(52×52×H34)をのせその上に椅子(28×30×H30)を置き、その上によって作業している時、エアコンのフィルターが床に落ちたので拾おうと降りる際にバランスを崩して転び左手を畳の所について左手首を骨折した。	60	379	1	30~ 49
2017	7	8~9	2歳児の保育室で、床に左手をついて座り朝の視診をしていたところ、走って隣に滑り込んできた男児に膝で左中指を踏まれ、痛みを感じた。その後、左中指に触れると痛い状態がしばらく続き、右中指も同様に痛み出す。今は両手首と両親指に痛みがあり、物を握ったり掴んだりが困難な状態。	39	921	99	30~ 49
2017	7	18~19	全身に衣装を装着し、ステージショーに全公演出演後、退勤のため、建屋を出てすぐの階段を下りている際、左足を着いた時に左膝に違和感・痛みが発生。通常歩行ができる状態だったため、左足を庇うように歩きながら帰宅。アイシングとマッサージを行った。以降、コンディショニングルームを利用し様子を見ながら出演を継続。後日ステージショーにて「ボイボールを床面に叩きつけながらしゃがんで静止し、その後勢いは付けずに立ち上がった」際、左膝に強い痛みを感じた。	35	413	1	1~9
2017	7	15~16	ダンプのバンパーに両足を乗せて荷台のセメントを引っ張り下ろそうとしたときに、左足から地面に降りたが、地面のアスファルトまでの距離が思ったよりもあり、つま先立ちになってしまい、左足に体重がかかり、足を痛めてしまった。	43	391	11	50~ 99
2017	7	6~7	保育所の男性更衣室のエアコンのフィルターの掃除をするため机(120×60×H45)にテーブル(52×52×H34)をのせその上に椅子(28×30×H30)を置き、その上によって作業している時、エア	50	911	19	50~ 99

			コンのフィルターが床に落ちたので拾おうと降りる際にバランスを崩して転び左手を畳の所について左手首を骨折した。				
2017	7	10~11	送迎を終えた母親と園外保育へ行くための職員と子どもが園を出た。通り沿いの歩道で母親を追って行こうと突然走り出した子どもを静止しようと身体を抱きかかえたところ突き離され、その勢いで膝・腰・肩を地面に強打した。	62	719	19	10~ 29
2017	7	10~11	団地にてお客様の送迎中に介助に入っていたお客様がふらついたので支えた時階段に膝をつき左膝を負傷した。	73	921	3	—
2017	7	17~18	当施設（療護園）内の会議室で会議テーブルを片付けていて、そのテーブルの脚接続部分が故障していることを知らずに、脚が折りたまたまれたままテーブルを移動しようとテーブル面を持ち上げた時に、折りたたみである脚が急に広がり接続部分にあった右手中指の爪を剥がしてしまった。	26	379	7	10~ 29
2017	7	11~12	パン工房で菓子パンを焼いている時、冷めている天板だと思い、生地を載せ焼こうと両手（素手）で持ち上げたが、熱い天板だったため、両手掌の親指、人差し指の根本付近を火傷してしまった。	56	379	11	50~ 99
2017	7	10~11	弊社の障害者自立支援介護サービスご利用者のお宅にて、建物の外階段を降りる際、階段を踏み外し、階段から落ちて足を痛めた。その外階段は、段の色がわかりづらく降り切ったかどうかの判断がつかず踏み外し落下。骨折と診断。	52	413	1	30~ 49
2017	7	14~15	買い物支援中に、店の出入口で約20cmの段差を確認できなかったため、踏みはずし、転倒し手右橈骨を骨折した。	54	419	2	10~ 29
2017	7	11~12	病院内科診察室内で、認知症状のある利用者の付き添受診中、利用者右後方で介助していたところ、受診中利用者から不意に手で押され、間仕切りの柱の角に右腕をぶつける。痛みがひどかった。右腕靭帯損傷と診断をうける。	68	418	3	30~ 49
			施設の入居者とのお茶の準備を済ませ介護スタッフ用に置かれてい				

2017	7	15~16	る丸椅子（パイプ椅子）に座ったが、座った瞬間丸椅子が不安定となり、後ろにひっくり返り負傷した。ソファにて休んでいたが、傷みがひかなかった。	66	379	2	10~ 29
2017	7	10~11	訪問介護利用者にてサービス中、利用者の外出（買い物の付き添い）のため自宅より利用者のそばに付き添って徒歩で移動していたときに前方より自動車が来て利用者がぶつかりそうになったのを阻止しようと手を差し伸べたところ道路の側溝に足をとられ転落し右足を負傷した。	78	419	1	30~ 49
2017	7	10~11	訪問介護のため社用車で移動中、交差点内において右折のため、車を停止させ対向車や歩行者の通過待ちをしていたところ、後方から来た車が減速せずに走行してくるのを確認したが車は停止できず社用車の後方左側のバンパーを中心に全体に追突。その際に頸部と腰部を捻挫したものである。	40	231	17	1~9
2017	7	8~9	ご利用者宅内にて、15kg前後重さの浴槽を二人がかりにて搬入時、腰に痛みが走る。そのまま、バイタルチェック・更衣介助・入用介助等を行うが、訪問終了時には腰が曲げられなくなる程痛みが増す。そのまま次の訪問先へ向かうが痛みのため動けなくなる。	43	391	19	10~ 29
2017	7	3~4	ホーム地下駐車場天井の蛍光灯が切れていたため交換しようとした際に、脚立がぐらつき、1.2m位より後ろに落下した際着地した左足首、踝を痛めた。	60	371	1	100 ~ 299
2017	7	13~14	全介助の利用者を車いすからベッドへ移乗するため利用者を抱えた際に後方にのけぞるような姿勢となり、腰に力が入ってしまい腰に痛みを感じる。骨には異状なく右腰・右臀部からくる痛みだろうとの診断を受ける。その後も痛みが引かず、強くなりしびれが出てきた。	33	921	19	—
2017	7	18~19	利用者宅から自転車で事務所に戻る途中、左側に用水路のある道路を走行中、対向車を避けた際、側溝のへりの出っ張りに前輪が引っ	61	231	17	30~

			かかり左側に転倒、用水路に落下し左足踵骨骨折をした。				49
2017	7	11~12	自転車で、利用者宅から事務所に戻る途中下り坂を走行中、風で前カゴの荷物が飛びそうになり、片手で直そうとした時、バランスを崩して転倒、左橈骨骨折、右第五中手骨骨折をした。	52	362	2	10~ 29
2017	7	9~10	交差点にて自宅から勤務先に自転車で向かう途中に起きた十字路の交差点を自転車で乗って直進していたところ、交差点の左から直進してきた車と接触した。車の右バンパーと自転車が接触し自転車ごと右側に倒れる。	35	362	17	1~9
2017	7	9~10	当社のデイサービス利用者に朝の送迎に行った際玄関入口の階段を下りる時に右足を踏みはずし、転倒したものである。そのまま転倒した状態で動けない状況で右足を地面に接地することができなかった。運転担当者の介助により事務所に戻った。右足首の捻挫と診断。シーネによって右足固定し松葉杖歩行となった。7月27日より安静を・・・・・・・・	44	413	1	10~ 29
2017	7	14~15	一般浴室更衣内で入浴用チェアから車椅子に利用者様を抱えて移乗する際、足を滑らせ左側にあった棚に左肩甲骨をぶつけ利用者様下敷きになり転倒してしまった。左肩甲骨周辺に痛みがひどく歩く事が困難であった。	36	416	3	100 ~ 299
2017	7	7~8	早番勤務中に、事業場内車務所前に設置してあるパソコンの配線に足が絡まり転倒する。左下半身を地面に強打した。診断の結果、左大腿骨頸部骨折となった。	72	417	2	10~ 29
2017	7	22~23	施設内における夜勤中でのナースコール対応のため、お客様の部屋へ向かっていた際の出来事。早歩きでお客様の部屋へ近づきながら、遠方より廊下天井に取り付けられたナースコールランプを見て、どの部屋のどのお客様であるかを目視確認していた際、足元の椅子に気付かず、勢いよくつまずき転倒した。不意を突かれたことに加えて、右手にPHSを持っていたことから、受け身が左手だけ	55	417	2	50~ 99

			になってしまい、左手に負荷がかかってしまった。湿布を貼って様子を見ていたが、痛みに耐えかねた。				
2017	7	13~14	訪問介護利用者宅にてサービス時、床に仰臥位の利用者を起こして車イスへ移乗する際にヘルパーの身長ではかなりの高さに持ち上げなければならず腰に負担がかかり腰部に痛みが出たもの。（その日以降痛みこらえて勤務を続けていたが後日夕方に痛みが強くなり歩行困難になった）	42	911	19	50~ 99
2017	7	13~14	ホールでお昼寝か静かに本を読む時間に横になって本を読んでいる被災者A（文句を言えないため）の背中の上にBがおおい被さり、被災者Aは涙を溜めて我慢していたので、口頭で注意しつつ何回も離してもまたおおい被さるのでBを抱きかかえて立たせようとした時、Bの重さから右足指に負荷がかかり転倒して骨折してしまった。	61	416	2	10~ 29
2017	7	10~11	2Fフロアにて、清掃時モップをかけていた時に、滑って転倒し左手をついた。	57	416	2	50~ 99
2017	7	9~10	デイサービス利用者宅前の駐車場で、被災者が右手で利用者の荷物を持って車両の助手席に載せたのち、左手で助手席のドアをつかんだまま閉めようとしたところ、うっかりして親指がドアの内側に入ったままだったため挟まれてしまい、左手親指の爪の部分の下あたりを裂傷し、第一関節部分を骨折したもの。	60	231	7	100 ~ 299
2017	7	10~11	入浴介助のため、利用者を抱きかかえ脱衣所から浴室に移動を試みていたところ、突然胸部に痛みを感じ、そのためバランスを崩した状態となり、利用者とともに前方に倒れ込んでしまった。被災者は胸椎圧迫骨折により2~3週間の入院加療、利用者は腰椎圧迫骨折により自宅療養が必要と診断された。	61	911	19	100 ~ 299
2017	7	16~17	園行事（夏まつり）のため、玄関ホールにて作業をしていたところ、空になったウォータージャグを給食室に運ぶ際敷いてあったブルーシートにつまずき転倒し右肩を骨折した。	78	379	2	30~ 49

2017	7	13~14	訪問先から事務所の駐車場に戻り、奥の駐車スペースに駐車するため場内を直進していた際、右側に並んだ駐車スペースに前向き駐車していた車両がバックしてきて、相手車両の右後方バンパー部分に、当方の運転席ドア前から右後ろドア付近にかけて引きずるよう に接触した。なお、相手車両も本会の事業用車両であり、運転者も本会の別の職員であった。両者とも相手の車両が認識できておらず、当方の前方不注意と相手の後方不注意が原因と思われる。	44	231	17	100 ~ 299
2017	7	10~11	デイサービス施設内において、施設利用者のリハビリ中、リハビリ中の利用者の回点支持杖と靴を隣接するケアホームに取りに行き戻る際、左手に持っていた回点支持杖を右手に持ち替えようとした時 つまずき転倒し被災負傷した。	68	417	2	1~9
2017	7	11~12	派遣先の3F中央ホールにて、食事介助の工作中に、ご利用者2人から日差しがまぶしいのでロールカーテンを閉めて欲しいと言われ、南窓のロールカーテンを閉めるひもを引っ張るため、15cm位ジャンプをしたところ、着地時に足に負担がかかり負傷したもの。当日は痛みが無く、そのまま帰宅したが、痛みがひどくなった。	68	921	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	夜勤を終え帰ろうとした職員Aに対し、被災者が介護記録を書いたから帰る様指示したが書かずに敷地内の駐車場に向かったため、追いかけて行き、Aが車に乗ってドアを開けている状態で話をしていたところ、ドアを閉めて車を出すのにじゃまであった被災者をAが 押したためひっくり返り、首のあたりを負傷する。受傷後勤務していたが、だんだんと、首から、腕にかけての痛みとしびれ、痛みによる不眠を、訴える様になり後日休業する事となった。	42	921	2	10~ 29
2017	7	10~11	入居者の居室ベッドサイドで、パット交換のために身体の位置（入居者）を整えようとした所、腕に激痛が起こった。腕を見ると筋肉の位置がもり上がって不自然であった。入居者の身体の位置を整える際に腕に無理がかかったと思われる。	55	921	19	30~ 49
			障害者デイサービスセンター施設内で利用者の移乗、排泄介助をし				

2017	7	15~16	ている時、2~3名で移乗を行う際、自身の手で利用者を支えきれず左手首の辺りに激痛を感じた。その後痛みが生じていたのでサポーターを装着していたが後日に激痛を感じた。	35	921	19	~ 299
2017	7	9~10	当社施設6階の入居者居室で介護中、テーブルに置いてあった入居者のタオルを回収しようとしたところ、通り道が狭く足元のバランスを崩し転倒した際車イスの肘掛けに手があたり負傷したもの。	60	417	2	30~ 49
2017	7	14~15	施設事務所で移動しているときに、台所の横を通り過ぎようとしたところ他の従業員の持ったポットのふたが外れこぼれた湯が右足にかかり火傷した。	33	519	11	30~ 49
2017	7	13~14	事務所出入り口付近で、入浴介助準備のため藁ケース（2段）を抱えてお風呂に向かおうとしていて、入り口ドアを出て鍵をかけようと後ろ向きになり再び振り返って前方に歩き出したところ、真下に利用者さんの足が見えたため床に座っていることがわかりとっさによけようとした時、バランスを崩し転倒した。その後も痛みが強かった。災害時は藁ケースを持っていたため前方が死角となっており、利用者さんの存在に気付くのが遅れてしまった。	46	911	2	100 ~ 299
2017	7	11~12	就業終了後、帰宅のため、会社の玄関にある下駄箱で靴にはきかえ1、2歩進んだ直後に何かにつまずいたのか下駄箱の前で転倒し左膝関節を骨折、右肩を強打した。	66	417	2	30~ 49
2017	7	14~15	老人保健施設3階リネン室において、利用者の汚れた衣類を業者洗濯にだすため準備作業をしていた。衣類の入れ入れ替えのため、床においた袋を避けようとして足と足が絡まって転倒した。大転子骨折との診断。	55	611	2	300 ~ 499
2017	7	9~10	自転車で自宅からお客様宅へ向かう途中、路地から車が出てくるのが見えたため止まろうとしたところ、濡れたマンホールの上で滑り転倒した。	60	417	2	100 ~ 299
			施設内のお客様の居室にてトイレの見守りを行っていた際、お客様				30~

2017	7	15~16	がふらつき倒れてきたため、身を挺して抱えた。その結果、背後の壁に腰と背中を強打し負傷。	46	418	3	49
2017	7	13~14	二人介助の利用者様を湯船から介助チェアに移乗する際、左足、第2趾をタイルで擦った際に傷ができた。移乗介助時には入浴介助スリッパを脱いで行っていた。帰宅後、自己にて消毒とカット判で処置を行った。翌朝、腫れと痛みはあったが軽い炎症と思い出勤した。途中、頭痛と吐き気のため早退した。夜中に高熱が出て緊急入院にいたる。	23	911	90	50~ 99
2017	7	6~7	調理場シンクで洗い物をするため、そこに移動し、洗い物をやりかけたが少し動いた時バランスを崩したので右足でふんばったところ右足を挫いてしまった。少ししたらひどい痛みを覚えた。	28	416	19	50~ 99
2017	7	13~14	介助者宅において、介助を終えて戻るため、玄関を出た際に、約10cmの段差を踏み外し誤って転倒し負傷した。	72	417	2	10~ 29
2017	7	12~13	昼休み自分の昼食を取りに厨房へ行った。入口に少量の水が溜まっていたが、気づかなかった。左足が滑ってしまい、右足膝をついて止まった。強く打ってしまい、膝蓋骨骨折をしてしまった。	63	417	2	50~ 99
2017	7	9~10	当苑内にあるショートステイをご利用の利用者様にあいさつをしている時に、後をふりむいた際に転倒してしまった。その際に左腕のひじを強打し左尺骨を骨折となった。	32	921	2	100 ~ 299
2017	7	11~12	特浴室内で、入浴利用者の更衣、皮膚状態、全身観察、軟膏塗布、傷の処置を実施。処置実施後、使用済みのビニール手袋等をゴミ箱へ捨てるため、ベッド付近のゴミ箱まで移動した際床が少し濡れていたため、足を滑らせ、足元より前方向きにバランスを崩し転倒した。両手足を床につき、四つん這いの状態で動けなくなった。	49	416	2	100 ~ 299
2017	7	12~13	利用者宅において、サービスを終了し退出しようとした際に裏口の段差を降りようとしたところ、バランスを崩し転倒しそうになり、その際に左ひざを置いてあったブロックに強打し負傷したものである。	59	418	2	50~ 99

2017	7	13~14	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打し、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	59	911	3	10~ 29
2017	7	0~1	寮内の清掃業務等が続けていたところ両肩に熱をもって腫れて寝られない状況が出てきた。五十肩と診断され動かすように言われたが、痛みがひどくなった。MRI診断を受け（両肩腱板断裂と診断）以後、休業している。	47	921	19	50~ 99
2017	7	11~12	プラント室洗浄槽前にて、装置カバーや治具を洗浄する作業をしている時、粉末のアルカリ薬品を溶かしアルカリ液をつくり洗浄効率が上がる様に水温を上げる。本来アルカリ薬品は水温40℃以下で投入口より柄杓にて投入、その後蒸気を入れ水温を上げていくが今回薬品投入前に水温を上昇させ、粉末を槽内にそのまま入れようとして袋ごと落としてしまい、突沸し、前半身に薬液を浴びた。作業手順の省略行為、保護具の未着用により顔面、太ももを薬傷した。	50	921	19	10~ 29
2017	7	10~11	被災者は、サンプル採取のために開いた窓に近づき、左足に体重をかけた際、左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	50	921	19	10~ 29
2017	7	12~13	商品在庫の保管場所での出庫作業をしていた。7段積みの最上段からダンボールを下ろそうとした時に誤って頭の上に落とした。	70	413	1	100 ~ 299
2017	7	18~19	店舗レジ周辺にてゴミを集める作業中、ゴミ袋を右手に持ちレジ出入口から出ようと右足に体重を乗せた時に膝を捻ったような感じがあり崩れ落ちそうになった。慌てて立ち上がったが右足に体重をかけると膝に痛みがあり動かすことも立っていることも出来ない状態になった。	24	231	17	10~ 29
2017	7	16~17	屋外危険物倉庫の室内にて作業中、別の作業を行うために慌てながら室外に出たところ、入り口付近に放置していたハンドリフトに気が付かず衝突した。ハンドリフトは所定の位置ではなく、ハンド	45	362	7	10~

			ル操作部も斜めに傾いた状態で放置されていた。衝突した際、ハンドリフトのハンドル操作部で右脇付近を打ち付けた。				29
2017	7	10~11	プールで指導中、2歳児の子供達をプールから出し入れを続けたことで手首に痛みを感じた。	40	921	19	30~ 49
2017	7	10~11	配送後車上より製品（業務用冷蔵庫）をパワーゲートを使用して荷降し中製品のバランスが崩れて転倒しそうになったため両手で製品を支えようとして右手小指を挟み骨折。	33	713	2	1~9
2017	7	17~18	利用者様宅でオムツ交換のため、車イスからベッドへ移乗する時に利用者様を抱えきれず転倒する。その時に腰を捻り、左腕左膝を打撲。利用者様体重80kg以上を支えることができず、かばうように転倒。ベッド横に車イスを置いていたが、体重が援助者にかかり転倒してしまう。	43	911	2	10~ 29
2017	7	10~11	当事業場内ショートの施設トイレにて、利用者の排泄介助をしていた際、この利用者の排泄の有無を確かめようと、洋式便器に座っていた同利用者の横に立って、背中越しに便座をのぞき込もうと狭いトイレ内で右に身体をひねった途端、腰に激痛が走り、立ってられなくなったもの。	52	921	19	100 ~ 299
2017	7	11~12	グループホーム内のエアコンのフィルターを外して掃除をし取り付けるために丸イスに乗り作業をしていたところ、誤って転倒し床に右ひじを強打する。	59	379	1	50~ 99
2017	7	9~10	利用者宅寝室でベットから車椅子へ移乗介助をするため、ベット上で起床介助をしようとした際、利用者が全体重をかけて倒れてきた。咄嗟に身体を捻った瞬間首筋に痛みを感じた。	42	911	19	30~ 49
2017	7	11~12	ご利用者様をご自宅に送り届けた後、階段を下りて門を出たところで段差に足をとられ転倒した。	55	417	2	50~ 99
			放課後等デイサービスの公園での活動中に利用者が突然走り出したため、利用者の前方へまわり込み、車道への飛び出しを阻止した。				10~

2017	7	10~11	行動を止められた利用者が怒り、胸部めがけて頭突きをしたため、胸部を打撲、後方へ転倒した。	44	999	6	29
2017	7	15~16	施設2階の手すりを使い利用者様の立位訓練を行っていた時。麻痺側に短下肢装具を装着し左手で手すりを持ってもらった際に体が不安定になるため腰部（ズボンウエスト）を持ち介助する時に自分の腰に激痛がはしたが痛みを我慢しリハビリ業務を行った。その後も痛みはずっとあったが鎮痛剤の服用とコルセットの着用で対応していたが、日数が経っても痛みがなくならなかった。	47	921	19	50~ 99
2017	7	11~12	社用車駐車場内において、駐車中の社用車両内後部席（車椅子乗車準備）で、後部座席シートを折りたたんであげた際、止めの噛み合わせがはまらず、両腕に力を入れて再度シートを押した瞬間、腰部で音が鳴り中腰のままの体勢で動けなくなった。	50	231	19	30~ 49
2017	7	10~11	厨房において、じゃがいもを包丁にてカット中、左手小指と接触し、切傷。	63	379	8	30~ 49
2017	7	13~14	以前疥癬感染症が施設内で発生し、終患宣言を行った。その後も継続して皮膚状況を含め全身状態のチェックを行っていたが、利用者の両手に丘疹と結節を認め掻痒感が強くみられたため受診したところ疥癬との診断をうける。職員に同症状が見られたため皮膚科受診となる。	32	921	90	100 ~ 299
2017	7	11~12	畑作業中本人の体調が悪いようなので、本人の妻に連絡をとり、かけつけてもらう。熱中症の診断を受け点滴治療を行う。その後自宅療養していたが3日後自宅で調子が悪くなり、脱水症と診断される。その後通院点滴を続けていたが良ならず医院から紹介を受け、12日間病院に入院。	75	715	11	50~ 99
2017	7	19~20	3階療養棟にて、入所者の夕食後就寝の介助のため、入所者Aの居室で介助を行った後、居室を出てすぐの廊下において同室者の入所者Bに突然背後から枝で右上腕部をたたかれ、右上腕を負傷する。	34	911	99	100 ~ 299

			事故の前後特に入所者Bとの関わりはなく前ぶれもなく受傷する。				
2017	7	11~12	食事介助をしていた時にご入居者にボールペンで手をつき刺され、手と腕を外側に捻られた。	43	921	19	30~ 49
2017	7	10~11	無縁墓横の階段で、つるをカマで切っている時に、体のバランスを崩し、階段を3段滑り落ちた。右足を踏ん張ったので、仕事が終わって帰るときに、右足首が痛くなった。骨折していた。	73	413	2	50~ 99
2017	7	15~16	当法人特別養護老人ホームに於いて、利用者様を車イスで居室へ移動し、車イスからベットへ移す介助を行う際に、利用者様をかかえたときに骨盤を締めるベルトをしていたにもかかわらず、右側の腰がグキッと became ので車イスに一旦もどし再び移しかえするため持ち上げようと前かがみになったとき腰の痛みが酷かった。	53	921	19	50~ 99
2017	7	19~20	利用者様のトイレ介助中、便座から車イスへ移る介助を行うときに尿もれパットを当てながら立ち上がらせようとしたときに右拇指のつけ根をひねったようになり痛めた。	53	921	19	50~ 99
2017	7	16~17	狭い家の間の路地から道路に出る際に左右確認し、左に曲がろうとし、プレートの様な段差で自転車のバランスを崩し、左ハンドルに胸部打撲しそのまま転倒した。	54	362	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	風呂場にて二人介助の時に、入居者を車椅子からシャワーチェアに移動する際に腰をひねった。	67	921	19	100 ~ 299
2017	7	0~1	施設内洗面所で、利用者をトイレ誘導し、その後車イスで洗面所につれて行き、車イスの横に立ちブレーキをかけ、車イスの後ろに移動し身体のバランスを崩し背中から倒れ後頭部を床に強打する。	42	418	2	1~9
2017	7	10~11	事業所内の2階の事務所から訪問ヘルパーの訪問先へ向かうため、2階から1階へ階段で下っている時に滑りそうになったので右手をつっぱり、その際に右手首骨を骨折した。	60	413	2	30~ 49
			1F施設内トイレにおいて入所者（車イス使用）の方をトイレ介助し				

2017	7	10~11	ていた。入所者が急に立ち上がり車イスに戻ろうとしたため、転倒させてはいけないと思い、慌てて、支えた時に十分な体勢ではなかったため、腰を捻った様な感じになり、腰を負傷した。その日は最後まで勤務したが、翌日より動きにくくなった。	57	911	19	30~ 49
2017	7	7~8	洗浄室で食器の洗浄作業を行った後、鍋をコンロで温めるため調理室に移動中に転倒した。その時、床には物などは置かれておらず、乾いた状態で、つま先が床面に引っかかったような感じで転倒した。転倒した際、右膝蓋骨を骨折し左肘にあざができていた。	63	417	2	10~ 29
2017	7	16~17	職員用トイレから出て、タイムカードを押すためにレコーダーの位置まで歩いて進んだところレコーダー付近の廊下が濡れていて足が滑り右臀部を下に転倒した。痛みのためしばらく動くことができず、他の職員の手を借りて立ち上がり、帰宅した。自宅では歩行時に痛みがあった。痛みが続いた。CT検査にて大腿骨頸部骨折にて、手術の要有りとのことでそのまま入院となる。	57	417	2	100 ~ 299
2017	7	17~18	夜勤出勤後施設2F廊下をおむつ交換を行いに小走りで居室に移動中、足がついていかずその拍子に右膝から右手、頭からと転倒し、右手の中指、薬指を負傷したもの。	56	921	2	50~ 99
2017	7	9~10	3升の米を2回に分けて洗った後、米びつの上にそれを重ねて置き、後ろにある冷蔵庫の下側に運び入れ立ち上がった瞬間、電気が走ったようなズキとした痛みが、特に右側の腰にきた。	68	921	19	30~ 49
2017	7	11~12	施設Bユニット浴室にて汚物を捨てようと入室。入浴後だったため、床が水で濡れていて足を滑らせ、前かがみで転倒。そばにあった洗たく機で右手を殴打。支えきれなかった。	59	416	2	10~ 29
2017	7	10~11	デイサービスのフロア内で利用者のお茶の準備をしようとキッチンに向かい、小走りした時に床につまずき転倒し頸椎を痛めた。	67	921	2	30~ 49
2017	7	14~15	大浴場にて入所者の機械浴終了後、機械浴用車いすから移動用の寝台へ同僚と二人で抱えて移動した際に腰と左股関節を痛めた。	43	911	19	100 ~ 299

2017	7	11~12	4階機械室にて（入浴場）入浴介護作業中シャワーチェアの取っ手が右側胸部に当たり疼痛出現した。	51	391	3	100 ～ 299
2017	7	17~18	厨房の出入口を出てすぐ隣の洗濯室の出入口に入るため体の向きを変えようとしたとき、体が右側に倒れ、転倒を防ごうとして右手をついてしまい、その後、激痛とともに腫れ始めた。	55	417	2	100 ～ 299
2017	7	10~11	体育館入り口前で、児童を並ばせようとして右手を挙げて後ろ向きに進んでいた時車止めに踵があたり転倒し左手を地面に打ちつけた。	55	417	2	10～ 29
2017	7	9~10	地域交流ホームの出入口において、正門から園外へ飛び出そうとするほど興奮している利用者の後を追い、出入口に立った時、利用者が勢いよく閉めた戸に左手指全体が挟まれた。直前に正門から園外に出ようとしたところを職員に引き止められ、極度の興奮状態にあった。突発的に起こったことであり予想が困難であった。事故にあった職員は利用者の興奮状態そのものに気を取られ自分の身を守ることができなかった。	57	418	7	30～ 49
2017	7	13~14	訪問介護利用者様宅で、左で洗濯物を持ち右手でドアを開け中に入ろうとした時、ドアノブに右手が引っ掛かり小指を骨折した。	61	418	19	50～ 99
2017	7	18~19	被災者が業務を終え、事業所に隣接した職員駐車場の自分の車へ向かって歩いている途中、砂利を敷いてあるセメントの坂道の通路にさしかかったところ、砂利で足元が不安定だったため、足をとられ滑って転倒し右足を負傷した。	54	417	2	30～ 49
2017	7	9~10	通所リハビリテーション送迎中に車両から利用者を介助している時、右足がステップ上に乗った状態でふんばった際に左足のバランスを崩し、左足をついた時痛みと違和感と感じた。	69	231	19	100 ～ 299
			特別養護老人ホームの入所者の共用スペース（食堂）で、食卓テーブルの前の椅子に座って入所者のおやつ介助をしている時に、他の				100

2017	7	16~17	入所者がお茶を床にこぼしたため、それを拭こうとして椅子から立ち上がった。その際に、自分の足がもつれて床に転倒し、右肩を負傷した。	59	911	2	~ 299
2017	7	10~11	施設内食堂にて、利用者レクリエーションで使用する竹の枝を切っていたところ、右手に持っていたのこぎりが滑り、左手親指付け根を切傷したものの。	49	364	8	30~ 49
2017	7	7~8	入居者様居室でリクライニング型車椅子に全介助にて移乗して頂いたが、上手く移乗できず、リクライニング型車椅子からずり落ちそうになられた。そのためリクライニング型車椅子後方から入居者様を持ち上げようとした。指導した方法ではない方法で介助したため、グリップがろっ骨に当たり骨折したと思われる。	34	362	6	10~ 29
2017	7	8~9	デイサービスご利用者の送迎のため、社用車使用にて、ご利用者宅へ向かう途中走行中に、右後方タイヤがパンクしたことにより、ハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突したものの。 ※使用車両については、専門業者による3ヶ月点検、1年ごとの法定点検の定期点検及び車両使用者による乗車前の簡易点検を実施しており、特に異常はなかった。	45	231	17	100 ~ 299
2017	7	8~9	1階南側トイレにて、被災者（妊娠7ヶ月）がトイレから出て手を洗った後、廊下へ出ようとした時、履いていたクロックスタイプのスリッパがタイル張りの濡れた床で滑ったのか、出入り口付近で転倒した。その際、後頭部と背中、腰部を打撲した。	38	417	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	次の訪問先へ向かうため、訪問した利用者宅玄関先の急なコンクリートの坂道を徒歩でおりている途中で転び、腰をついた時に（腰は打撲）左手をついたために左手首を骨折した。	75	417	2	10~ 29
2017	7	11~12	当施設の2Fトイレ内でトイレ介助中、利用者の紙パンツやズボンをはかせていた当事者職員の腕をつまんだり、捻ったりしていた。大腿部あたりまではかせた時に、しゃがんでハカせていた当事者職員の顔面に利用者の右手握り拳がパンチするような形であたり、口	51	911	90	50~ 99

			腔内に極微量の出血があり、強く握られた手にも痛みがある。				
2017	7	10~11	1階廊下で、外の洗濯機置き場から室内（廊下）に戻ろうとしたときに幼児用プールがあったため、避けようとしてバランスを崩し、そばにあったウレタン積み木の角で肘を強打する。痛みと肘の凹みがあった。	57	379	3	30~ 49
2017	7	17~18	障がい者支援施設デイサービスにおいて、主に障がい者の入浴介助（移乗、洗身、衣服の着脱等）に1年7か月従事していた。右利きのため右手を使うことが多く、酷使したことにより痛みが生じ、TFCC損傷との診断を受けた。	52	921	19	50~ 99
2017	7	16~17	保育園内で子どもと遊んでいるとき、おもちゃを取りに行こうとサークル（縦横90cm、高さ60cmの子どもを囲うための柵）をまたごうとして、足をひっかけ転倒した。その際、左手をつき、手首を痛めた。	66	391	2	10~ 29
2017	7	16~17	施設入所者居室トイレで、入所者の排泄介助を行っているときに入所者の膝折れがあり、立位保持が難しくなった。片腕（右手）のみで、立位補助を行いながら、左手で排泄介助を行ったところ、右腕に負荷が掛かり、右肩に痛みと違和感を覚える。	52	921	19	50~ 99
2017	7	13~14	会社敷地内の休憩場所で椅子に腰掛けて休憩中、自宅から会社にかかってきた電話を受け取ろうと急ぎ立ち上り、右へ出ようとした時、椅子の脚に自分の足をひっかけて右側へ転倒した。	67	391	2	10~ 29
2017	7	11~12	下処理室で野菜の下処理中、ブロッコリーの茎を落として茹でやすくするために半分に切り目を入れる際、まな板の上で切り目を入れていたが、最後の1個だけ左手に持ったまま誤って深く包丁をさし込み、左手の小指を不注意で切ってしまった。	52	364	8	100 ~ 299
2017	7	8~9	高台にある施設内のデイサービス送迎業務中（利用者同乗なし）、ブレーキとアクセルを踏み間違えてフェンスを突きやぶり、4~5m下の私道に転落し、横転（車両上部が私道に接地する状態）した。	64	231	17	10~ 29

2017	7	8~9	駐車場に車を止め、徒歩で事業所に向かっている途中、玄関付近の段差につまずき転倒した。	64	419	2	10~ 29
2017	7	14~15	区役所内にて、休憩中、トイレを使用し、トイレ前で転倒した。	51	417	2	10~ 29
2017	7	12~13	教室内で夏休みのお昼寝前の掃除道具を取りに行こうとした時、子供の足にひっかかり転倒した。	56	921	2	1~9
2017	7	12~13	訪問介護サービスを担当している利用者宅を退室後、利用者居住マンションの共有階段にて躓いて転倒し、ヒザを打ちつけた。	64	413	1	10~ 29
2017	7	10~11	保育園内2歳児クラスで、午前のおやつの時間が終わりテーブルを拭いていた。そのとき、園児が引いた椅子に右足小指が強く当たり負傷した。	52	391	6	30~ 49
2017	7	19~20	夜勤の勤務中に、短期入所利用者の様子を見るために、利用者の居室に向かう途中で重度棟女子支援員室前の廊下で転倒した。転倒した理由は不明。	52	417	2	30~ 49
2017	7	14~15	買い物代行支援にて車で店へ向かい、駐車場から店内に向かう際、買い物用のカートを避けようとした時、誤って車のタイヤ止めに右足小指をぶつけて負傷した。	46	417	3	50~ 99
2017	7	10~11	事業所で、入居者をベットより車イスへ移乗させようとした際、腰をひねり骨折した。	52	921	19	30~ 49
2017	7	9~10	障がい者支援施設の利用者をワンボックスカーで迎えに行き、到着後に車内から後方の扉を開け、転倒防止板（30cm位の鉄板で以下?とする）をまたいで、バンパーに足を掛け、降りる際に踏みはずした。地面に足が届かず?で陰部を打撲した後、車外に転倒。内出血して当日緊急で外陰部の血腫除去手術を行う。リフトは基本外からリモコンを操作して降ろす。リフトが降りたら?は倒れてスロープの役割となる。利用者が多い場合、後方からしか乗り降りできない。	52	231	3	100 ~ 299

2017	7	11~12	小学校において児童のプール監視をしていた際、休憩終了の児童がプールに入り危険行為をしていたため、児童を制止しようと急いでプールに入ろうとしたところ、水入れ装置のコンクリートに足をひっかけ、左足小指を骨折した。	66	921	19	50~ 99
2017	7	14~15	入浴準備をする際、慌てていたため履物が脱げかけてフロアで躓き、顔面から倒れた。床へ転倒する際、棚の角に右手首をぶつけ、同時に首をひねった。	64	417	2	10~ 29
2017	7	12~13	入所者さんを病院に送った帰りに、病院内の駐車場で車椅子に乗っている入居者さんを軽自動車に乗せるためトランクのドアを開け、スロープを出そうとした時に、スロープが被災者の右足の親指に落ちてきて負傷した。	27	231	5	10~ 29
2017	7	9~10	書類を提出するため、施設内駐車場に車を止め、入り口へ歩いて向かっていたところ、縁石に躓いて転倒し、左膝を負傷した。	58	417	2	10~ 29
2017	7	21~22	保育室で行事の片づけをするため、重さのあるテーブル（たて90cm×よこ180cm×高さ55cm、鉄製、厚さ10cmの木の天板）を2人で運びながら高さ40cm程のステージに上がろうとした時、腰に急激に強い力がかかり、強い腰痛が発生した。	51	419	19	10~ 29
2017	7	16~17	保育園主催の夏祭りに出勤し、保育園から400メートル先の職員駐車場に車を停めて降りる時、砂利の駐車場に足をつき、石があるのに気づかず、右足を左右にこねて、痛みが出た。	58	417	19	30~ 49
2017	7	13~14	事務室入り口にて、事務所内にいる職員と業務の打ち合わせをしていたところ、後方より利用者から後頭部を殴られ、頸椎を捻挫した。	39	921	90	30~ 49
2017	7	16~17	厨房内で夕食の用意をしていた時、お粥をブレンダーにかけ、ブレンダーのスイッチを切ったと思い引き上げたが、不注意によりスイッチを切っておらず、左手でブレンダーをさわって左手第一関節人差し指の先を切創した。	68	364	8	50~ 99

2017	7	11~12	園児を水遊びさせた後、服が濡れたので紙芝居等用具を置いている部屋で着がえをしていた。その時となりのクラスでは和太鼓があった。和太鼓の用具をとるため、同僚上司がその部屋に入ろうとドアを開けたため、本人は場所を移動しようとして50cmほどの高さのステージからおりた時、着地と同時に足をひねって負傷した。	31	416	2	10~ 29
2017	7	8~9	通所リハビリの送迎に向けて、利用者宅へ行く途中のトンネルで、ダンプトラックがスリップし、対向車線をはみ出し、自転車と正面衝突した。	42	231	17	50~ 99
2017	7	10~11	店搬入口駐車場にて商品納品のための荷下ろしの際、少し目を離した際に台車に乗せた商品が坂道で勝手に動き出した。慌てて止めようとしたところ、駐車場にある側溝に台車ごと落ち、足を骨折した。	54	419	1	10~ 29
2017	7	16~17	利用者の送迎中、交差点（信号はなく、相手側に、一旦停止がある。）に近付いたところ、左側から軽自動車が交差点に進入しそうだったためブレーキを踏んだが間に合わず、自転車右前と相手の車の右後方が接触した。衝撃で相手の車は民家のブロックにぶつかった。	32	231	17	10~ 29
2017	7	11~12	施設内手芸室前にて、教員特例介護等体験実習生へ利用者の手芸作品を見せ、説明する際、フロアと手芸室畳間の境で滑って転倒。右手首を骨折した。	59	417	2	30~ 49
2017	7	15~16	施設内にて、利用者様をベッドから車いすに移乗する際に、抱きかかえていた状態からバランスを崩したため、靴が滑り、利用者様を支えきれず、両膝をひねって転倒した。これにより右くるぶしを負傷した。	50	416	2	10~ 29
2017	7	14~15	厨房にて、買ってきた食材を運んでいる時に、清掃後で床が濡れていたため、誤って滑って前方に転倒して左膝を打った。膝を打った後、徐々に痛みが強くなり、歩けなくなり、「左膝蓋骨骨折」と	66	417	2	10~ 29

			診断された。				
2017	7	10~11	朝の送迎から戻り、利用者を駐車場から施設へ誘導していたとき、突然利用者の一人が反対側の道路へ向かって走り出したため、引き止めようと身体を捻って走りだした際、左ふくらはぎに強い痛みが走った。	37	921	19	10~ 29
2017	7	7~8	入所者居室にて入所利用者起床時にベッドから車椅子へ移動するために利用者を前から抱え、持ち上げて介助を行った。その際に右足に痺れを感じた。その後、業務を継続していたが、痺れが強くなりもものつけね部分に痛みがでてきた。	20	921	19	100 ~ 299
2017	7	16~ 17	知的障害者支援施設（定員60名）の敷地内の土手にて、利用者の対応中に手で払いのけられた際に後ろ向きに転倒。臀部、腰部、背部、後頭部を打った。	52	711	1	30~ 49
2017	7	9~ 10	利用者居室内にて、オムツ交換時客室のベッド上で横になっている利用者の右側面に立ち、麻痺のある左半身を持ち上げた際に、無理な姿勢で持ち上げてしまい、腰を痛めてしまった。	20	911	19	50~ 99
2017	7	15~ 16	入居者の代行で買い物をした荷物が事務所内にあった。車イスの入居者も数名居て通路が狭くなっていた。そのような中、荷物を入居者の部屋へ運ぼうと思い荷物を持ち上げた際ふらつき、車イスのタイヤに躓いて転倒し腰を打った。その後特に痛みは無かったが、夜間から腰の痛みが強くなった。	60	417	2	10~ 29
2017	7	18~ 19	入居者の居室を訪問し、洗濯物を降ろそうとしたところ、ころうっかりして介護ベッドのキャスターの金属部分に左足をぶつけた。打撲と思い湿布にて様子を見ていたが痛みが治まらず病院を受診したところ左足の中指が骨折していた。	45	391	3	30~ 49
2017	7	9~ 10	施設内において、両手にオムツのごみが入った袋を持ちながら階段を下りている途中、踊り場の2段目から階段を踏み外して、転倒。左足ふくらはぎ外側から出血した。	70	413	2	100 ~ 299

2017	7	6~7	当社施設（住宅型有料老人ホーム）の入居者の部屋において、入居者の更衣介助をしている際、ベッドの端に座っていた入居者がバランスを崩し、後ろに倒れそうになったため、背中に手を回して支えようとしたところ、右膝をひねり負傷した。	53	921	19	10~ 29
2017	7	10~ 11	訪問先の利用者宅でベッドマット移動依頼を受ける。ベッドマットの上下変更（頭部と足部の変更）で作業した場所は居室でテレビやタンスに囲まれているベッドであった。せまいため身動きが思うようにできず、テレビタンスにも気を取りながら作業をした。作業中に腰に違和感を感じたがそのまま作業は続けた。	60	921	19	1~9
2017	7	8~9	利用者へのモーニングケア、朝食提供等、デイサービスへの送り出しを行う為利用者宅へ訪問。着替え介助の為利用者を座らせその前に立ち介助を行った後、後方に移動した際に転倒。その際、後方に尻もちをつく形で倒れ近くにあったテーブルの角に頭部をぶつけ、右手を床に付き体を支えようとして負傷した。	54	921	2	10~ 29
2017	7	17~ 18	施設の清掃後、モップのホコリを払おうと戸外に出た際に、扉どめに置かれていたコンクリートブロックに右足で乗ったところバランスを崩し、左足をひねりながら着地してしまい、第5中足骨を骨折した。	54	417	2	10~ 29
2017	7	19~ 20	グループホーム廊下にて、ゴミ袋と掃除用具を両手に持ち、清掃作業の為歩いて移動中、床面につまずき転倒している。帰宅後に痛み、腫れがひどくなる。	39	417	2	10~ 29
2017	7	15~ 16	保育中（園児お昼寝中）にクラスの子の部屋へ入ろうとしたところ、入口付近にあるブラインドカーテンの下の棒に足が引っかかり、転倒する。その際、うまく受身がとれず、臀部、腰から直接床にぶつける。ひとりで歩くのは困難である。	64	418	7	10~ 29
2017	7	19~ 20	支援センター敷地内の1階出入口から外に続く階段において、帰宅するため階段を下りていた。夜が街灯もなく暗かったため、足元を探りながら下りていたが、2段ほど下りたところで、足を滑らせ	57	413	2	100 ~

			て転倒した。					299
2017	7	16～ 17	2才児保育室で夕方の自由遊びの体育を行っていたところ、タオルハンガーを移動して空いたスペースに紙ゴミ用袋を掛けようと児童用イスに登って作業をした。作業を終え児童用イスから降りる際、背後に児童が近寄ってきたため接触をさけながら降りようと考え、右足を床に降ろした途端床にあった道具に足をとられてすべり、勢い良く床に尻もちをついた。その際左手を手のひら側から床につき受傷した。保育士は痛みで手を動かすことができず、整形外科で左手首橈骨遠位端骨折と診断された。	60	417	2		30～ 49
2017	7	11～ 12	利用者（腰が曲がっており、移乗する際足を縮めぶら下がる状態になる。持ち上げる際手、足等に力を入れる。）がベッドに座っている状態で、抱き上げ車イスに移乗させようとした際、右膝に激痛が走った。左足が利用者様の両足で挟まれて動かせない状態であった為右足（膝）に負荷がかかったと考えられる。	28	921	19		100 ～ 299
2017	7	17～ 18	夕食の調理作業終了後、排水溝の清掃中排水溝を跨ごうとするが見誤って落下（高さ40cm）する。その際排水溝内の突起物に右足スネ部分が引っ掛けてしまい裂傷する。	27	418	8		50～ 99
2017	7	15～ 16	施設内居室（11号室）で利用者を車椅子から畳の上の布団へ平行移動で降ろす際に、相手職員が下半身で負傷職員が上半身で横に移動しようとしたが車椅子の肘掛を躲せず、再度声掛けして持ち上げて降ろす際に左足を捻り受傷した。	49	921	19		50～ 99
2017	7	19～ 20	事業場内（ひよこ看護室入口）で哺乳瓶を片付けようとし柵を跨いで移動したところ、体勢を崩し、柵に顔を強打した。	51	418	3		30～ 49
2017	7	18～ 19	利用者居室で、身長150cm体重41kgの介助抵抗が強く、両下肢に麻痺のある要介護度5の女性利用者のオムツ交換をする際に、利用者を側臥位にして着衣を脱がし、オムツ交換をしていたところ、腰に違和感を感じ痛みが生じて動けなくなった。	47	921	19		50～ 99

2017	7	15～ 16	一次保育室でおやつを配っている時、テーブル回りから配膳台へ移動する際、部屋の引き戸に左足つま先をぶつけてしまった。	38	419	3	30～ 49
2017	7	12～ 13	2階入居者居室内で、入居者をベッドから車椅子へ移動するための作業を2人組でする際、前かがみになったときに背中と腰に痛みが走り、通常の動きができなくなった。	33	911	19	50～ 99
2017	7	6～7	施設利用者の居室で、おむつ交換の業務中、ベッドの上で硬直している男性利用者の身体を移動させようと力を入れたところ、腰を捻ってしまった。その際、腰部に電気が流れたような激痛がはしり、動けなくなってしまった。しばらく安静にしていたが、徐々に痺れも出てきて歩行困難となった。	43	719	19	30～ 49
2017	7	11～ 12	信号待ちのとき、後方より追突された。その後、追突車両は逃走した。	31	231	17	10～ 29
2017	7	17～ 18	利用者ホールで見守り中、利用者に危ない行動が見られたので、助けるために走り出したとき、足と腰に痛みがはしり、痛みのため歩行が困難になってしまった。後日受診したところ、L5/S椎間板変性等と診断された。	38	921	19	50～ 99
2017	7	13～ 14	約40cmの高さがあるリハビリ用プラットフォーム上にて、利用者によりハビリを施術中、別のプログラムに移るために、利用者に姿勢を変えてもらい、自身も姿勢を変えようと、正座の姿勢から右手をプラットフォームの端につこうとしたが、端を通り過ぎて空間に手をつく形となってしまう、バランスを崩し、床に落下した。その際、右手第1指が捻られた状態で床につき、さらにその第1指に自身の上体がのしかかる形となった。	63	391	1	30～ 49
2017	7	7～8	2階フロアの自席で、入居者の口腔ケアの介助中に、拒否が強い方のため2人で介助をしていたとき、右手をつかまれ親指を強くひねられた。	59	911	90	50～ 99
		15～	利用者を車椅子からベッドへ移動する際、利用者が耳元で大きい声を出し、肩に置いていた手がぶらんと下がってしまった。落とし				10～

2017	7	16	てはいけないと思って上にあげたとき、両手首に力が入ってしまい、右手に痛みを感じた。	65	921	19	29
2017	7	9~ 10	介護従事中、入居者（155cm、40kg程）の女性を浴室より居室へ移送し、その後、入居者をストレッチャーからベッドへ他職員と共に移乗する際に発生した。ストレッチャー、ベッドを平行に配置し、本人が頭部側、他職員が足側を持ち上げた。そのまま、入居者をベッド側へスライドさせようと体を旋回したところ腰を捻った形となり、腰痛を発症した。作業工程的には普段と変わらず、被災者本人もこれまで腰痛の症状がなかったことから、普段通りの動きであったが、今回は腰に急な負担が掛かったために、腰痛を発症した様である。	38	921	19	50~ 99
2017	7	9~ 10	利用者の家を出発した直後、送迎車内で利用者の1人が走行中にシートベルトを外し、ドアのキーを解除して外に出ようとしたため制止してたところ、利用者が数回頭突きをし、顔面に頭頂部を強く打ちつけてきた。そのため、利用者の頭が顔面（特に鼻の部分）に直撃し、鼻骨2ヶ所を骨折した。	50	911	6	1~9
2017	7	10~ 11	職場の利用者用トイレで、利用者を車いすから便座へ座らせようと抱きかかえた際に、左肩に体重がのしかかってバランスを崩し、左肩の筋肉に激痛がはしり、腱が断裂した。	58	921	19	30~ 49
2017	7	18~ 19	当別養護老人ホーム3階入居者食堂にて、入居者の食事介助中、床に落ちていた残菜に滑り、右膝を床に強打した。	63	417	2	100 ~ 299
2017	7	13~ 14	介護施設利用者を送迎する際に、利用者の男性が転倒しそうになったため、その身体を支えようとしたときに、左腕に大きな負荷がかかり、左肩と左肘の靭帯を伸ばしてしまい負傷した。	28	921	19	30~ 49
		17~	保育所で0、1歳児クラスを担当する被災者は、被災当日の夕方クラスにて保育をしていた。入口のドア前で、膝立ち状態で周りにい				30~

2017	7	18	る幼児と遊んでいたときに、室内の端から保育者（被災者）に向かって走ってきた幼児に対応しきれず、左足の辺りに不意にとび込んできた幼児の身体が当たり、左足太ももに挫傷を負った。	23	911	6	49
2017	7	14～ 15	駐車場の側で草刈機を使い草刈作業をしているときに、小石が草刈機にはじかれ、右目に飛んできた。右目に5mm程度の小石が刺さった。	63	523	4	100 ～ 299
2017	7	20～ 21	事業所内にて、突然入居者（知的障害者）から驚かされ、その拍子に後ろ向きに倒れて階段から転落し、左鎖骨骨折と捻挫を負った。当該入居者に悪意はなく、故意によるものとは認められない。	73	413	1	30～ 49
2017	7	19～ 20	仕事場で、1人で1階2階を行ったり来たりし、おむつ交換等をしていて腰を負傷した。	67	921	19	30～ 49
2017	7	12～ 13	患者を案内するためにエレベーター前に集めていた際、患者の車椅子フットレストに躓き転倒し、床面に右膝を打って受傷した。	67	611	2	50～ 99
2017	7	16～ 17	デイサービス静養室にて、2人介助にて入居者の排泄介助を行っていた。車椅子からベッドへ移乗する際に、1人が後ろで支えて、本人が前で抱き上げたときに、腰を強く捻ってしまった。	67	911	19	30～ 49
2017	7	14～ 15	当初の事業場において、洗車のため脚立に登っていたとき、毎日来る清掃車の方に挨拶をした際、誤って左足が脚立から離れ、脚立から落下した。これにより、右肘と右手首の痛み、及び右膝裂傷を負った。レントゲンの結果右手首骨折と診断された。	71	413	1	10～ 29
2017	7	10～ 11	事業所内においてヘルパー会議開催の準備をしていた際、カーテンレールからカーテンを取り外そうと脚立に乗ったところ、誤ってバランスを崩し、脚立から落下してしまい、左手首を骨折した。	74	371	1	10～ 29
2017	7	17～ 18	勤務地である養護老人ホーム2Fフロア廊下にて、探し物をしながら小走りで移動中に、足がもつれ転倒し、左膝と右手首踝部、右肩を床面に強打した。翌日に通院し検査したところ、左膝蓋骨にひびが見られ、右手首は捻挫と診断される。	61	921	2	100 ～ 299

2017	7	15～ 16	道路上で徘徊し、認知症のせん妄状態が出現している利用者を発見した。家族へ連絡し、タクシーに乗せようとした際に利用者が抵抗し、利用者の身体が地面に落ちそうになったため、利用者の身体を支えようとしたときに、腰椎を圧迫骨折した。	61	911	19	30～ 49
2017	7	10～ 11	当法人保育園の保育室において、座っていた園児を抱えて立ち上がり歩き出そうとしたところ、足元の園児に気付かず、驚いたためバランスを崩し、尻もちをついた。その際、左手をついてしまい負傷した。	41	911	2	50～ 99
2017	7	12～ 13	利用者宅へお迎えに行く途中の事故である。自転車で信号なしの交差点に進入した際、左方から交差点に進入した相手車と出会い頭に衝突し、救急車で病院に搬送された。診断の結果、右第1、第2趾骨折、四肢・腰部擦過傷、右膝半月板損傷で約1ヶ月間の加療を要する見込みである。通勤経路について、通常は自宅から直接利用者自宅へ向かうが、当日は靴を忘れたため会社に一度寄ってから出勤した。なお、会社での業務は行っていない。	46	231	17	1～9
2017	7	16～ 17	静養室（ベッド上）にて食事介護中、急に利用者がベッドから落ちそうになったため、急いで体を支えて危険を回避した。しかし、その際に突発的に動いてしまったため、肋骨に激痛を感じた。すぐに治ると思い様子を見ていたが、痛みが強くなったため整形外科を受診したところ、骨折が判明した。	54	921	19	10～ 29
2017	7	7～8	事務所から訪問介護先へ自転車で向かう途中、曲がり角の左側から歩行者が出てきたため、それをよけようとした際、バランスを崩して転倒し、右手首を痛めた。	38	362	2	50～ 99
2017	7	14～ 15	当法人が運営する障害者支援施設（鉄筋コンクリート造3階建）建物内において、障害者の問いかけに答えを保留し、後に上司を通じて答える旨を約束して、1階フロアの職員室へ戻るべく階段を下りたところ、追いかけてきていきなり顔面を殴打され負傷した。	59	921	90	30～ 49
			利用者宅にてサービス中に、リビングの段差を踏み外し、足元の扇				

2017	7	13~ 14	風機を避けようとして焦って転倒した。転倒した際、頭をガラスの引き戸にぶつけ、お尻から転倒した。	73	417	2	50~ 99
2017	7	13~ 14	有料老人ホームデイルームベランダにて、昼食後の入居者のエプロンを干して、身体の向きを変えようとした際、ベランダの段差に右足を踏み外し、右足甲を骨折した。	70	416	2	50~ 99
2017	7	9~ 10	利用者居室にて、居室ベット上に利用者を臥床させ、（排便セットにより）体位を枕上に引っ張り上げる際に、腰に電気がはしるような痛みを感じた。体動の激しい利用者で、横臥姿勢が確保しづらく、安全ベルトで固定しながら排便スタイルを取っている。	35	921	19	100 ~ 299
2017	7	8~9	訪問サービス利用者宅にて、利用者が疥癬とは知らずに清拭等の介助を行ったところ、両手から身体にかけて発疹と強い痒みを感じて受診した。しかし原因が解らず、1ヶ月服薬と塗り薬の治療で改善しなかったため、他の病院で受診したところ疥癬と診断された。	57	719	90	10~ 29
2017	7	15~ 16	利用者の居室にてトイレ介助の際、ゆっくり座ることができるように利用者と向かい合い、両腕を利用者の両脇に入れ、姿勢を低くしていたときに腰に痛みが発生した。	47	921	19	100 ~ 299
2017	7	17~ 18	0歳児の保育室で、子どもを抱いたまま55cm位の高さの仕切の柵をまたごうとしたところ、またぐ際に足が柵に引っ掛かり転倒した。その際に柵に胸をぶつけてしまい、右側肋骨にひびが入ってしまった。	42	391	2	30~ 49
2017	7	13~ 14	事業所内で、入居者が椅子のない所に座ろうとしたため、咄嗟に支えたところ、腰がポキと鳴り受傷した。	67	921	19	30~ 49
2017	7	10~ 11	有料老人ホーム居室にて、居室内を歩いて移動しているとき、ベッドの角に左足薬指をぶつけてしまい、だんだんと腫れてきて歩行困難となった。	43	379	3	50~ 99
			スタッフルームで転倒し、休憩が終わり仕事へ向う途中で発生した。休憩に入る前に、スタッフルームの電気を点けたが消えてい				100

2017	7	3~4	たため、暗闇の中を進んで行ったところ、パイプ椅子に左足が絡み、うつ伏せの状態転倒し、左膝・左胸・右大5指を強打した。	62	419	2	~ 299
2017	7	20~ 21	園内1Fから2Fへ登る階段途中の格子の付いた窓を施錠しようとしたところ、足を踏み外して転倒し、落下した。	64	413	1	30~ 49
2017	7	17~ 18	フロアを掃除機で掃除時、長椅子の脚に左足が引っかかり、右に倒れた。	79	391	2	10~ 29
2017	7	11~ 12	当社営業所デイサービス施設厨房にて昼食調理中、食器等を洗っていた際にブレンダーを洗浄中に誤って、ブレンダーの電源スイッチをONにしてしまい、回転する刃で左人差し指と中指を負傷した。	57	165	8	10~ 29
2017	7	12~ 13	園児のお昼寝の準備のため、積み重ねてあるコット（折り畳み式簡易ベッド）を下ろそうとして腰を捻ってしまい、動けなくなり病院に行った。	22	391	19	10~ 29
2017	7	10~ 11	当社派遣就業先の1階入浴室にて入浴介助中に、中介助の準備で、次に入浴する方のために浴室用チェアを洗い、移動しようとした際、後方部に付いている金具部分に右足第4指を強打し負傷した。	35	391	3	50~ 99
2017	7	10~ 11	利用者の入居施設へ訪問した際、玄関で靴を脱いでいたとき、管理者が来たので挨拶をしようと体の向きを変えたところ、バランスを崩して転倒し、右肩を強打し、左膝もぶつけた。	68	416	2	100 ~ 299
2017	7	10~ 11	施設の利用者居室内にて、リクライニング車椅子からベッドにスタッフ2名体制で移乗介助をしていた際、足元での介助を行っていたときに、腰を痛めてしまった。	51	911	19	30~ 49
2017	7	19~ 20	利用者居室でオムツ交換後、ベッドの足元側に全身が下がっていたため、体を上の方に移動しようと思い、両腕を利用者の背中側と下半身に差し入れ、ベッド頭上に移動したところ、体格が良い利用者であるため左足に加重がかかってしまい、左足ふくらはぎ裏側からブチっという異音が生じ、床にしゃがみ込んでしまい、しばらく痛みのため動くことができなくなった。	60	911	19	50~ 99

2017	7	18～ 19	拠点の駐車場内にて、外出先より戻り、レンタル商品返却のため確認作業をしていたとき、意識障害により倒れ、職員が発見し、意識混濁のため救急搬送された。脱水が原因による意識障害と診断された。	44	715	90	30～ 49
2017	7	11～ 12	1階デイルーム一般浴室にて、利用者の入浴介助中、徒歩にて移動した際に床が濡れていたためバランスを失い、仰向けに転倒し、身体の背中側全体を打った。	49	417	2	50～ 99
2017	7	16～ 17	仕事で利用者の買い物代行をするため、店へ行く途中、交差点で一時的停止後に自転車を発進したところ、相手の自転車が右側の坂道より下ってきて、当方自転車側面に衝突し、自転車ごと地面に倒れた。その衝突で、当方右肩と両足を負傷した（特に右大腿部の負傷が大きかった）。	43	231	17	10～ 29
2017	7	15～ 16	新規契約を行うために利用者宅に向う途中、電動自転車の電源を入れずに急坂（階段）を上がろうとして、階段端の幅の狭いコンクリートの平らな部分を使って自転車を押しながら階段を上っている途中、電動自転車の重さに耐えられずふらつき、自転車と一緒に階段を5～6段落下し、左足が倒れた自転車の下敷きになり負傷した。	53	362	1	30～ 49
2017	7	13～ 14	施設のリネン倉庫内で、排泄物等を片付けるため中腰状態のとき、ステンレス製（棚高さ140cm位）の排泄カートとして使用していた棚のキャスターが外れ、仮止めをしようとしたときに棚が傾いて倒れ、右上腕を打ち、その衝撃で腰・背中に違和感を覚えた。	57	391	5	—
2017	7	10～ 11	事業所内にある庭木の剪定作業中、脚立2台と板でセッティングした作業台（高さ約60cm）に立って刈り込みをしていたところ、バランスを崩し落下した。	67	416	1	50～ 99
2017	7	8～9	利用者を追いかけていた際、目の前に椅子があったため、中腰で椅子を動かそうとした際に腰に痛みがはしり、そのまま立てずにしゃがみこんだ。	45	611	19	50～ 99
		9～	送迎車両で添乗業務を行なっているとき、隣の利用者が急に発作を				

2017	7	10	起こし、左肘が強く右脇腹に当たったため、肋骨を骨折した。	61	921	6	—
2017	7	8～9	利用者ファイルをキャビネットから取り出そうと引き出したところ、キャビネットごと倒れた。その際、側にあったベビーチェアと倒れたキャビネットの間に手を挟まれ、右手薬指を骨折した。	62	391	5	100 ～ 299
2017	7	11～ 12	お客様宅で活動中、被災者の様子がおかしいと感じたお客様から、仕事を切り上げて帰るようと言われ、被災者が事務所へ連絡し、次の活動は勤務するが午後は休みたい旨を申し出た。心配した職員が、次の活動は休むようにと被災者の携帯へ連絡したがつながらなかった。その後、次のお客様宅へ向かう途中で被災者が倒れているのを職員が発見し、救急搬送した。	75	715	90	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	入居者居室にて、排泄介助（パット交換）のため車椅子からベッドに移動する際に、対象利用者は下肢に力が入らず、全体重を掛けられ、支えていた右手首に負担が掛かった。様子を見ていたが、腫れてきて押すと痛みがあり、時間の経過とともに痛みが強くなった。	63	911	19	100 ～ 299
2017	7	12～ 13	給食を食べるときは、1つの保育室を高月齢と低月齢に分けるため棚で仕切りを作っており、入口手前の高月齢担当で、奥の低月齢側にある水道でおしぼりを濡らし、仕切りとなっている棚の脇を通ろうとしたところ、棚の底面の角に左足小指をぶつけた。棚の底以外には子供用のガードが付けてあったが底面にはなく、他の職員が早くに食べ終わった子供の布団を準備するため棚を動かしており、通常時より通れる幅が狭くなっていた。	23	379	3	10～ 29
2017	7	7～8	夜勤明けの朝、トイレにいた利用者Aを朝食の準備ができたため呼びに行く際、トイレの廊下を塞ぐ形で別の利用者Bが寝ていたため、利用者Bを跨いで行こうとしたところ、急に利用者Bが動いたため、バランスを崩したまま右足を着地し、痛みがはしった。夜勤が終了し帰宅したが痛みが引かないため、同日受診し、レントゲ	53	921	19	100 ～ 299

			ンを撮った結果、右足指の骨2本（人差し指、中指）が骨折していた。				
2017	7	16～ 17	杖をつきながら、廊下をマットを引きずりながら歩いているとき、マットレスに躓き、うつ伏せに転倒した。	55	417	2	30～ 49
2017	7	9～ 10	ビニールハウス内での野菜収穫作業後、自ら体調不良を訴え、冷房の効いた部屋で休憩をとっていたが、容態が悪化し、嘔吐、意識がもうろうとなった。その後、歩行困難や、職員の呼びかけにもあまり応じなくなったため、職員の車にて病院へ搬送し診察を受けた。	47	715	11	30～ 49
2017	7	16～ 17	障害者施設のグループホームに帰宅したが、鍵がかかっていたため、やむなく外で待機することとなった。部屋に入れられない状態に利用者（障害者）が興奮状態となり暴れだし、それをなだめようとしたときに、利用者に蹴り飛ばされ、左足甲と指を負傷した。	60	911	90	100 ～ 299
2017	7	5～6	夜勤中、朝になり、利用者の新聞を所定の場所に持って行こうとして、スタッフ室の机の上に置いてあったパソコンのコードに足を引っ掛け、前方に転倒し、両手をつき骨折した。	64	417	2	10～ 29
2017	7	7～8	昼食の下準備中の際、ほうれん草を切っていたとき、包丁で左人指の側面を斜めに切った。	40	364	8	50～ 99
2017	7	9～ 10	1階プラットフォームにおいて、配送車に商品を積み込む作業中、両手に商品ケースを持った状態で地面に降りようと、床に尻を着いて片足ずつ降りたとき、昇降用に置いてある地面のブロック1個が見えず、地面だと思い左足をブロックにのせて右足を下ろしたため、体勢を崩して左足を捻った。	21	417	2	10～ 29
2017	7	9～ 10	デイサービスでの朝の送迎時（迎え）、利用者宅にて会社へ連絡を取るために車内の携帯電話を取りに戻る際、利用者宅の玄関にあったマットを踏んだ。このとき、マットが滑り、右膝をひねりながら転倒し、右膝関節捻挫および右股関節捻挫を負った。	50	417	2	10～ 29

2017	7	14～ 15	トイレに入ろうとして、スリッパの上で滑り転倒した。その後、他の人がトイレに入ろうとしたときに発見し、救急搬送された。	56	379	2	30～ 49
2017	7	19～ 20	被災労働者が入居者の移動介助を終え、次の要介護者の元へ出向くため、施設内の廊下を歩行していたとき、方向転換するために自分の体の向きを変えようとし、右回りの動作をしたとき、足がもつれて体勢を崩し、廊下の床面に右膝を捻りながら着地して負傷した。	63	921	19	50～ 99
2017	7	14～ 15	3F浴室で入居者の入浴介助中（外介助）、車椅子のフットレストに足が引っかかり転倒し、手を浴室の床についた。その後、手首を動かすことができず固定し、呼吸も荒く、痛みが強かったため救急搬送された。	60	417	2	30～ 49
2017	7	18～ 19	事業所敷地内で、グループホーム入居者の要請により、入居者本人の新聞を取るため、グループホームから新聞の置いてある地域活動支援センターへ歩いて移動しているとき、砂利に足をとられて右足首を捻った。	60	417	2	50～ 99
2017	7	15～ 16	会社駐車場にて、夏祭りを行っていたとき、利用者に食べ物を配膳するため、お盆を持って歩いていたところ、高さ10cm程の車止めに右足が引っ掛かり転倒した。その際、両手がふさがっていたため手をつくことが出来ず、左肘を骨折負傷した。	61	419	2	10～ 29
2017	7	8～9	遊戯室で子供の受入れを行っていたとき、出入口に利用者が来館した。お弁当を受取るため、受入れ用のカゴを両手に持ち、慌てて入口に向かった。その際、動線上にあった椅子が机に収納されていないことに気付かず、右足先を引っ掛けて前に転倒した。丁度、水筒を入れるプラスチックのかごの上に転倒したため、かごの縁や床に腕・胸・足を強打した。	67	391	2	50～ 99
2017	7	11～ 12	社内の水遊び場で、子どもが水遊びをしており、終了時に、なかなか水遊びを終了できずにいた児童に指導員が声をかけ、手を差し出したところ、いきなり児童が指導員の手を引っ張り、指導員は違和感を感じた。	43	911	19	1～9

2017	7	12～ 13	食堂にて、利用者と一緒にテレビの画面に合わせて体操をしていたとき、利用者に気を取られて、自分の左足が右足に引っ掛かり、左手と左尻を強く打ち転倒した。右手首と鼠けい部に痛みがあり、時間の経過と共に激痛になっていった。	67	921	2	10～ 29
2017	7	11～ 12	本館2Fフロアにて、昼食の品出し中、入れ物の蓋を配膳台の箱に戻すため床を歩いたとき、床が濡れていたため靴が滑り、転倒した。	36	416	2	100 ～ 299
2017	7	21～ 22	カーテンのフックが外れていたため、椅子にのって掛け直したあと、椅子から下りるときに足を踏み外し、右足から落ちてしまい、右足を骨折した。	60	371	1	10～ 29
2017	7	19～ 20	業者を浄化槽の場所まで案内するときに、建物と建物の間にある敷地内の通路を、左手に懐中電灯・筆記用具・眼鏡・浄化槽の鍵を持ち歩いていたとき、足元に注意していなかったため、躓いて転んでしまった。なお、石畳の小さな段差に躓いたのか、近くにあったドア止めに躓いたのかは定かではない。	68	417	2	100 ～ 299
2017	7	18～ 19	入居者Aのトイレ介助のため共用トレイにいたときに、シルバーカーの動く音が聞こえたため確認に行くと、入居者Bがシルバーカーで洗面場へ行き、立ち上がってふらつきながら動き始めていた。入居者Bへ近寄り、介助しようとしたときに、入居者Bが倒れて来て、支えきれずに一緒に倒れ、左肘を床に強打した。（入居者Bの体重は54kg、共用トイレから洗面場までは約2m）	36	911	2	100 ～ 299
2017	7	19～ 20	当社グループホーム内にて、利用者（身長155cm、体重45kg、介護度4、女性）の入床介助中、車椅子からベッドへ移すため、利用者を一人で抱え上げたとき、利用者が怖がって、突然車椅子を掴んだため、バランスが崩れてしまい、体勢を保とうと右足を踏み出し床面についたとき、全重量が踵にかかってしまい、右足を負傷した。	41	911	19	10～ 29
2017	7	18～	居室において、食事を終えた利用者（入所者）を車椅子で運び臥床させたあと、帰るときに他の入所者が床に排出した尿で足を滑ら	56	417	2	50～

		19	せ、右膝を強打し、右膝蓋骨骨折を負った。					99
2017	7	18～ 19	駐車場に行こうとして、施設建物玄関前の階段を降りていたとき、誤って階段を踏みはずして転倒し、右足首捻挫及び左大腿を打撲した。	53	413		1	30～ 49
2017	7	10～ 11	施設のロビーで、デイサービスウォーキング活動班担当職員として出発待機中に、外出用携帯電話を携えた他職員と利用者がロビーに集合した。利用者に携帯電話を渡し、携帯担当職員に配布中、突然、利用者が携帯電話を投げつけた。その際、職員の顔面の鼻上部に当たり、鼻血が出て、止血後から痛みと頭痛がでた。	51	391		4	30～ 49
2017	7	8～9	事業場にて、被災労働者が利用者（障がい者）の作業室のゴミを収集していたとき、そこにいた利用者（男性、18才、自閉症、療育手帳A）に突然、体を突かれ、机で腰を強打し打撲した。	23	921		90	30～ 49
2017	7	8～9	事業場にて、利用者（男性、18才、自閉症、療育手帳A）が、同僚支援者に他害行為をしたため、被災労働者が当利用者を止めに入ったところ、体を何度も強く突かれ、胸の辺りから腰にかけて打撲した。	23	921		90	30～ 49
2017	7	9～ 10	事業場の出入口で、ゴム荷の入出荷をしているとき、手にキャスターを持っている状態で、雨水で濡れたフロアで滑って転倒し、右ふともも大腿骨を骨折した。	53	417		2	10～ 29
2017	7	14～ 15	入浴介助の際、車椅子より利用者様をシャワーチェアへ移乗介助するため、抱え上げたときに急に腰に痛みがはしり、動けなくなってしまった。	36	921		19	100～ 299
2017	7	16～ 17	事務所内のトイレにおいて、利用者のトイレ介助作業中、利用者のズボンを上げるため、中腰の体勢から体を起こそうとした際に、腰部に激痛がはしり負傷した。	24	911		19	100～ 299
2017	7	4～5	施設内1Fの利用者居室前廊下にて、ナースコール対応のため移動中、急いでいたので歩行が不安定になり、左に体重がかかり、左足	54	417		19	10～

			を捻ってしまった。					29
2017	7	10～ 11	作業室で、外出前に座り込んでいる利用者を立たせようとして、利用者を抱きかかえるためしゃがみ、腰を伸ばしたときに腰に痛みが生じた。その後、事務室まで鍵を返却に行き、事務室を出たとき、左足に痺れを覚え動けなくなった。	37	921		19	10～ 29
2017	7	9～ 10	送迎時、車椅子介助にて、バックで利用者宅玄関を出るとき、玄関引き戸の段差が3.4cmあったため、車椅子のハンドルを持ち上げて段差を越えようとした際、首に痛みが出た。	19	362		19	30～ 49
2017	7	10～ 11	ヘルパーご利用者の買物代行に行く際、玄関を出たところの三段ある階段の最後の一段を踏み外し、バランスを崩し尻もちをついた。立ち上がろうとした際、右股関節に強い痛みを感じ、その後も痛みが続いたため、サービス終了後に病院を受診したところ、右大腿骨の骨折と診断された。	71	413		2	300 ～ 499
2017	7	15～ 16	施設内浴室にて入浴介助の際、認知症（BPSD症状）の入居者が暴れ、左手を強打した。	57	911		90	10～ 29
2017	7	10～ 11	入浴介助で、入浴日に当たる利用者を誘導するため、居室に伺ったが断われた。その後、別の階の入浴者に声かけするため移動していた際、当日は早出の仕事であり、メンバー次第で就労時間を大幅に超えてしまうため、時間内に終わらせなければと心理的に焦り、2階エレベーター近くの廊下は広く何も無い状態だったが、エレベーターまで早足で向かっていたところ、廊下で躓いた。手すりに届かない場所だったため転倒し、右膝を強打した。	54	921		2	30～ 49
2017	7	10～ 11	利用者宅2件目のサービスを終え、3件目の利用者宅へ行く途中、信号が青に変わって渡りだしてすぐに、反対側から渡って来た人が右側に突っ込んで来て、そのまま左側に避けようとして転んだ。	54	911		2	1000 ～ 9999
2017	7	8～9	当施設において、食堂の中で朝食の後片付け中、利用者より声をかけられ、一緒に探し物（紙のメモ）をしていたところ、事務所の中	56	999		6	10～

			で紙のメモを見つけたが、利用者が思うものと違うことから、豹変し暴力を振るわれ、右肩を負傷した。				29
2017	7	14～ 15	施設敷地内で準備作業中、投光器の設置場所確認のため、電柱に登った。設置場所を確認して下りようとしたが、直下にポールがあったため、1m40cm程の高さから後方に飛ぶようにして下り、着地の際に右足踵に痛みが発生した。	29	416	3	50～ 99
2017	7	10～ 11	施設内の1階玄関エレベーターエントランスにて、利用者の送迎機で立っていた被災者が、デイルーム側に体を右回りに変更した。その際にちょうど、廊下に設置されたタイムレコーダーを打刻するためにデイルーム通路から玄関エレベーターエントランスに曲がってきた厨房職員と左肩が接触した。被災者は、1～2歩後ずさりして尻もちをついた際に、床に左後頭部や左肘を打ちつけ、脳震盪を起こした。	60	921	2	50～ 99
2017	7	17～ 18	仕事場である小学校から自宅へ原付バイクで帰宅中、交差点付近を直進中に、左から右折しようとしていた車にぶつかり転倒した。	26	231	17	1～9
2017	7	1～2	介護施設で入居者の介護時、車椅子への移乗や衣類、寝具、更衣、体の接触を介し感染した。	64	719	12	10～ 29
2017	7	15～ 16	ケアハウス廊下の掲示板の飾りつけをしている際、椅子に乗って取付けていたとき、椅子から転落し、手から落ちて手首を骨折した。	24	391	1	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	2階居室にて、入居者を車椅子からベッドへ移乗した際に腰を捻り、同時に痛みがはしった。	62	921	19	50～ 99
2017	7	8～9	朝、出勤時に職場の駐車場にて躓いて転倒した。その際、左手と右膝を強打して動けなくなり、病院を受診したところ、左手首と右膝の骨折で入院となった。	60	417	2	10～ 29
			昼食後、つながった輪ゴムを飛ばして遊んでいた児童A君がおり、その輪ゴムが被災者の足元に飛んできたため、危ないことを伝え、				

2017	7	14~ 15	輪ゴムを帰りに帰すと机の上に置いた。A君が弁当箱を片付ける際に勝手に持ち去ろうとしたため、止めたところ、手に持っていたステンレスの水筒を振りかざし、被災者の右腕を殴った。その後、他の児童に何かあっては困るため、A君をフロア奥の台所の方へ連れていったところ、A君が殴る蹴るなどの暴力をふるい、同時にみぞおち部分に一発か二発まともに蹴りを食らい、2時間ほど動けなかった。	55	999	99	30~ 49
2017	7	10~ 11	子どもを抱っこしながら立ち上がろうとしたとき、子どもが暴れたため、体勢を崩しながら立ち上がり、膝を痛めた。	38	911	19	50~ 99
2017	7	11~ 12	介護老人福祉施設本館4階にて遅出業務に入り、入所者の入浴が終わり、ラウンジにて、介護職員と2人でストレッチャーからリクライニングに移乗介助したときに腰を痛めた。	50	911	19	100 ~ 299
2017	7	9~ 10	事業所内、4階から3階に移動する際、慌てていたので階段を一つ飛ばしで降りていたとき、着地に失敗し左足を挫いた。	55	413	2	30~ 49
2017	7	14~ 15	社内デイルームで座ってレクリエーションをしていたとき、2.5m前方に座っていた利用者が急に立ち上がったため、介助に向かおうと慌てて立ち上がり、駆け寄る途中に床に躓き、左足親指を床に強くついて、付け根部分を負傷した。	57	417	2	1~9
2017	7	7~8	居宅介護利用者宅に、ヘルパー2人で訪問した。朝の準備で利用者が横になっている状態で、体を両側から寄せようとしたとき、被災者の腰に激痛がはしった。その際、ベッドの柵と壁の間に倒れ込み、動きがとれない状態となった。	62	921	19	50~ 99
2017	7	13~ 14	休憩室内の畳の間にて、昼休憩が終了し、業務に就こうと立ち上がった際に、体のバランスを崩し、左足を捻る状態となった。	27	921	19	50~ 99
2017	7	13~ 14	3F老人保健施設の居室にて、定時の排泄介助の際、認知症のため理解が困難な方にいきなり左手を強く握られ、手をひねり回され、その後、痛みが持続した。	50	911	90	100 ~ 299

2017	7	17~ 18	児童クラブ保育室において、しゃがもうとした時に倒れて起き上がれなくなった。	58	921	19	1~9
2017	7	16~ 17	駐車場において、全介助者を車椅子から送迎車の中へ移動する際、一人介助にて行っていたところ、右足太股に利用者の身がのりかかる状態となり、転落しそうになり、不安定な姿勢のまま無理に座席へと乗車させた。その際、過度に足の付け根を捻る形になり、グギッと音がして痛みがはしった。	58	911	19	10~ 29
2017	7	10~ 11	デイサービスセンターにて、リフト入浴後の利用者の更衣を手伝う際、チェアインに乗った利用者の足を拭こうとして、両足でしゃがみこんだところ、左足からピキッと音がして左膝に痛みを感じた。	59	921	19	100 ~ 299
2017	7	10~ 11	2人1組でオムツを1Fから3Fへストレッチャーにのせて運搬中、エレベーターから降りようとした際にストレッチャーの車輪部分で左足の指を挟んだ。その日はそのまま勤務を続けたが、翌日受診し、左第5足趾末節骨骨折の診断を受けた。	40	391	6	50~ 99
2017	7	17~ 18	スタッフルーム等の清掃中に、キッチンからサニタリーに向かって歩いているとき、足を滑らせて転倒し、左足首を捻った。	56	417	2	1~9
2017	7	13~ 14	3階食堂にて、利用者が参加する詩吟教室の準備をするため、一人で机や椅子を持ち上げて運んでいたところ、準備後、腕に違和感があった。詩吟教室が終わり、机や椅子を片付けていたところ、首の痛みと、右手が拳がらず痛みがあったため、早退し病院で受診した。	28	391	19	50~ 99
2017	7	17~ 18	建物裏1階の通用口にて、洗濯物を取り込むため、物干しスタンドを両手で抱えたまま館内に入ろうとしたところ、通用口ドアの下枠に躓き、物干しスタンドを持ったまま前方へ転倒し、転倒時に左手をついたため左手首を負傷した。	68	419	2	50~ 99
2017	7	7~8	駐車場から歩いて移動中、職員玄関手前の外階段で足を踏み外し、2段上から転倒し、右膝を強く打撲した。	58	413	2	100 ~ 299

2017	7	15～ 16	利用者宅への訪問が終わり、渡船場へ向かうため、アスファルト道路を自転車にて通行を開始した。自転車を運転中に一瞬意識が遠のき、左側へ転倒し、左膝を打った。	50	921	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	倉庫内で行事用の椅子を借りるため搬出しているとき、椅子を持ち上げた瞬間に、右腕に強い痛みが生じた。椅子は5脚ずつ（約6kg）紐で一纏めにしてあり、他の椅子と絡み合っていたため、力を入れれば絡みが外れると思い持ち上げたが、結果的に受傷した。	66	611	19	10～ 29
2017	7	9～ 10	当苑中庭で、丸鋸を付けたグラインダーを左手に、右手に木の枝を持ち、植木を切る作業中に、グラインダーの振動で刃が右手親指に当たり負傷した。	68	153	8	100 ～ 299
2017	7	12～ 13	勤務場所1階の食堂で、利用者の食事介助中に、利用者の箸がないことに気付き、慌てて小走りで取りに行こうとして、テーブルの角に右膝をぶつけた。	31	379	3	100 ～ 299
2017	7	20～ 21	利用者の居室にて、窓のカーテンを閉めるために利用者不在のベッドに上っていた際、右足がベッドの柵に引っ掛かり、ベッド柵に挟まったまま転倒して、右足関節を捻挫した。	32	391	2	30～ 49
2017	7	6～7	施設内2階の居室で、入居者がベッドの下のマットレスにうつ伏せになっているのを発見し、そこから車椅子に移した際、腰に痛みがはしり、左足に痺れが出た。	38	921	19	10～ 29
2017	7	11～ 12	入浴準備のため、浴槽（可動式）を動かしていた際、立て掛けていた浴槽が急に倒れ、浴槽の角で左胸を打った。	49	391	6	50～ 99
2017	7	16～ 17	グループホーム内の廊下で、洗濯物を取りに行こうと脱衣所へ向かっていたとき、上履きの滑り止めのゴムに躓いてバランスを崩し、そのまま加速がかかり、脱衣所のドアに激突し打撲した。	64	417	2	10～ 29
2017	7	12～ 13	休憩のため寮母室に入ろうとした際に、出入り口3mm程の段差に躓き、前のめりに転倒した。その際に右足を捻じり、左肘を打撲し、右足背に腫脹と疼痛がみられ、歩行困難となった。また、冷	64	417	2	100 ～

			汗、血圧低下、気分不快もみられ、しばらくベッド上で安静にした。				299
2017	7	11～ 12	当日は雨が降っており、利用者の買い物のために訪れた店舗の入り口で、足を滑らせ転倒した。入り口付近は坂になっており、滑った際に下向きに転倒し、頭を強打し、左腕を擦り、左手と頭部に腫れが生じた。	60	417	2	10～ 29
2017	7	16～ 17	利用者の送迎業務にて運行中、ぼんやりしていて電信柱に衝突した。	66	231	17	10～ 29
2017	7	14～ 15	0歳児保育室で、0、1歳児が合同で午睡中に監視をしていた。目覚めた0歳男児を抱いてあやしているとき、もう1人目覚めた1歳児が大声で泣いたので、慌てて抱きかかえ、両腕に二人を抱く形となった。その形で立ち上がったときに、床（フローリング）に敷いている畳（3畳分）の縁に踵が躓き、尻もちをついた。	58	379	2	10～ 29
2017	7	11～ 12	3階にて仕事が終了、階段で1階まで下りようとしたときに、階段（上から3～4段）の途中から2階と3階の踊り場まで足を踏み外して転落し、頭・顔面・右足・左足・両手・体全体を打撲し、出血する怪我を負った。	58	413	1	50～ 99
2017	7	16～ 17	浴室にて利用者をシャワーチェアから車椅子へ移乗しようとしたとき、車が滑り、利用者と共に転倒した。その際に尻もちをつき、利用者の足が自分の足の上へのった。また、尻もちの衝撃により、股関節と腰を痛めた。	32	921	2	100 ～ 299
2017	7	16～ 17	運営する介護施設の入居者居室にて、入居者の介護時に、痰吸引作業のため、入居者（男性、71歳、水頭症）の口を開けて、左第2指を口腔内に入れていた。入居者が抵抗し、被災者の指を噛み、左第2指の先端部分に咬創を負ったものである。	49	921	8	50～ 99
2017	7	16～ 17	利用者を全員送迎後、事業所に戻る途中、交差点付近で信号が変わったため、慌てて急ブレーキをかけたが間に合わず、信号待ちをしていた前から4台目の車に追突した。事故処理をしようとした	33	231	17	1～9

			が、追突された車両が立ち去ったため、相手方は不明である。				
2017	7	14～ 15	デイサービス内の厨房に入る際、スリッパに履き替えるときに、左足からスリッパが抜け、身体のバランスを崩した。右手を厨房台につき、身体を支えようとしたが、そのまま前方に膝をつき、転倒した。	59	416	2	10～ 29
2017	7	21～ 22	3階エレベーター付近で、入居者（認知症）に部屋を間違えそうなことを咎めたところ、歩行器に掛けている杖を取り出し、「俺はもうどうなってもいい」と言いながら、10数回、肩・頭部・首・背中を叩かれた。	57	921	99	50～ 99
2017	7	15～ 16	入居者の入浴後、居室へ誘導し、車椅子からベット移乗する時に、介護職員の足元が不安定になり、入居者と共に転倒した。転倒時、介護職員の体重が左前腕にかかり、車椅子のフットレストのボルトが左前腕に刺さり、救急車で搬送された。	39	921	2	10～ 29
2017	7	11～ 12	被災者が集金のため顧客宅を訪問した際、勝手口より入室し、集金を済ませ、勝手口より退室しようとして勝手口階段1段目に足を運んだとき、床にワックスがかかっていたために滑って転倒し、そのまま土間まで転落した。転落の際、左足が身体の下敷きになり被災した。	59	417	2	10～ 29
2017	7	11～ 12	浴室前の廊下にて、処置台を運んでいたとき、濡れていることに気づかず通ったため、足を滑らせ転倒し、腰を強打した。	75	417	2	1000 ～ 9999
2017	7	10～ 11	宅老所にて調理中、鍋を持っているときに転んで、煮汁が足にかかり、右足の甲を火傷した。	48	379	11	1～9
2017	7	13～ 14	施設近くの公民駐車場（椅子側）において、夏祭り準備のため、ワゴン車後ろリフトにて作業中、バランスを崩し後方へ転倒した。左手首に痛みがあったため、直ちに整形外科を受診したところ、左手首骨折の診断を受けた。	35	417	2	10～ 29

2017	7	11～ 12	保育園の調理室で昼の給食の準備をしているときに、他人が持っていた沸騰した味噌汁が手にかかり火傷した。	33	391	11	30～ 49
2017	7	10～ 11	保育園内において、陶芸の焼き窯を4人で移動する際、焼き窯と床との間に左手中指を挟まれ負傷したものである。	23	391	7	10～ 29
2017	7	21～ 22	入居者の尿取りパットを交換するため、入居者の身体を左側臥にしようとしていたとき、右足側部に力が入り、激痛を感じた。その後、右膝に湿布を貼付し、朝まで痛みを感じながら夜勤を続けて様子を見た。しばらくして痛みが和らいだので、再び夜勤をするが、痛みが酷くなったので、夜勤明けに受診した。	62	921	19	10～ 29
2017	7	7～8	ゴミ出しのため、坂を下りた道路へ傘を差して捨てる途中、20cm位の陥没している所で転び、左足首を捻り、右膝を打撲し、右の掌に擦り傷を負った。湿布を貼り、消毒するが、痛みが酷くなり腫れてきたため、仕事帰りに受診した。診断の結果、骨に異常はないが、靭帯を損傷しているのでギプス着用が必要となった。	54	711	2	1～9
2017	7	16～ 17	利用者を左の車椅子から右の車椅子に移乗中、腰を捻り、右側の腰に電気がはしるようにピキッとし、違和感を感じた。翌日受診したところ、急性ヘルニアとの診断を受けた。	36	921	19	100 ～ 299
2017	7	19～ 20	居室にて転倒している療養者を一旦車椅子に乗せるため、1人介助で起こそうとしたとき、右足を捻り、自身の体重が右足にかかり、右第5中足骨を骨折した。	33	911	19	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	会社施設に隣接する道で、草刈りの作業をしているときに、使用していた草刈り機が、地面に落ちていた鉄片を回転に巻き込んで跳ね、右眼に当たった。	25	169	4	10～ 29
2017	7	14～ 15	鬼ごっこの要素を含む遊びの研修を行っていた際、鬼から逃げるために急激に方向転換をしたとき、足を滑らせて転んだ。そのとき咄嗟に左手をついたため、手首を骨折した。	53	911	2	1～9
		14～	デイサービスセンター内のステージで、認知予防行事として、ホワ				30～

2017	7	15	イトボードを利用して利用者に説明していたとき、ボードのフック部分に足が引っ掛かり転倒し、腰を床に強打した。	59	379	2	49
2017	7	9～10	特別養護老人ホーム食堂において、エプロンを畳むためパイプ椅子に座った瞬間、椅子が振れ、そのまま後ろに倒れ後頭部を強打し、吐き気があり起き上がれない状態になった。脳に異常はなかったが、脊椎を損傷しており、入院することになった。	56	379	2	50～99
2017	7	15～16	子どもがこぼしたお茶を拭いている途中、濡れた床で滑って転倒した。	63	417	2	30～49
2017	7	15～16	一人目の利用者の入浴介助中、利用者が落とした洗顔料をしゃがんで拾おうとしたとき、腰が張るような違和感があった。その後、午前の入浴介助を中断して様子を見た。午後の入浴介助にあたり、腰に違和感があるため、5人目までの利用者の入浴介助では移乗介助をしなかったが、最後の利用者の入浴時、1人で対応して怪我をさせたら悪いと思い、2人介助にて対応した。浴槽から椅子へと2人で移乗介助をしようと、右腕を利用者の左脇下に入れ、左手を利用者の左膝下に入れる姿勢で、両脇から抱え上げたときに、腰にズキッと激しい痛みがはしった。移乗介助、着脱支援をして風呂掃除をしようとしたが、痛みが激しくなり、立てなくなった。	24	719	19	300～499
2017	7	8～9	デイサービス利用者宅の庭先のゴミ袋が積まれている付近で、利用者を車椅子で送迎車へ乗せ、後部ドアを閉めるときに、積まれているゴミ袋に足をとられ、後ろに転倒した。その際、後方にゴミ袋や輪切りにされた丸太があり、腰と首をぶつける形での転倒となった。ぶつけた部分の痛みと、むち打ちのような症状が出てきた。	36	611	2	100～299
2017	7	15～16	駐車場を出て左折したとき、左に寄り過ぎて、そのまま電柱に衝突した。その際、アクセルを踏み込んだため、衝撃が強かった。	31	231	17	30～49
2017	7	16～	利用者（72kg）の排泄後、便座から起こし、車椅子へトランスさせる間に発生した（利用者に実害なし）。利用者を車椅子へ方向転換させようと、ズボンのウエストを持ち、車椅子へ引き寄せたと	48	921	19	100～

		17	き、保持していた右肩を中心にグイっと引っ張られた形になり、1分位後に痛みを覚えた。				299
2017	7	13～ 14	外廊下のコンクリートの所で、両手に物を持っていたため、下にパイプが置いてあることに気付かず、パイプに乗って滑って転倒し、腰から転倒し、首を打撲した。	45	417	2	30～ 49
2017	7	18～ 19	厨房の中にある配膳車を移動させようとしたとき、配膳車にストッパーが掛かった状態で強く引っ張ったため、右肩の骨がパキッととなり、痛みがでた。	40	921	19	100～ 299
2017	9	14～ 15	勤務先病院内において特浴介助作業中、入所者をベットからストレッチャーに抱きかかえて移動させ、入浴後はストレッチャーからベットに移動させる時に、ベットの柵が取り外せなく柵の上から入所者をベットの上に移動させようとして無理な体勢から力を加えたところ、腰に激痛があり動けない状態になってしまった。	60	921	19	10～ 29
2017	9	20～ 21	夜から施設内の入居者共同生活室（以後「リビング」）の拭き掃除（モップ掛け）を行い、その後、リビングに隣接する入居者居室内の拭き掃除も行っていった。掃除完了後、居室からリビングに出たところで、滑って右側臥位の状態で転倒した。	59	417	2	50～ 99
2017	9	11～ 12	当施設の3階のご利用者の医療処置後、職員階段を通過して2階医務室へ戻る際、2階の踊り場から2階フロアに出ようとしたところ、床に右足のサンダルが突っかかり左手に注射器を持っていたため、受け身ができず、そのまま2階フロアに出る扉に額を強打、右膝から着地し右脚を負傷。右脚スネの外側に強い痛みが走り直ちに病院に直行。	53	921	2	50～ 99
2017	9	11～ 12	お風呂場にて利用者様の入浴介助中、体を洗っている際に少し痛みが走ったが、そのままサービスを続けていた。その後、転倒防止の為、床の水を拭いていたら痛みが強くなった。	53	719	19	10～ 29
			被災者は、当社住宅型有料老人ホームにおいて、2階居室での掃除				

2017	9	10～ 11	洗濯サービスを行っていて、1階事務所の電話が鳴っているのが聞こえ対応と思い急いで階段を下りて行き、事務所に着き施設長席の電話を受けるのに腕を伸ばしたところ、木製椅子の背もたれ部分の角に胸部を打ちつけて負傷した。	56	391	3	10～ 29
2017	9	10～ 11	職場の厨房で、包丁を食洗機のカゴに入れようとした時に、誤って包丁を左手に落としてしまい、その際、左母指に包丁が深く刺さり、左母指伸筋腱を損傷した。	53	379	8	50～ 99
2017	9	13～ 14	施設内で、利用者様を介護中、体勢が崩れてしまったところ、利用者様に足を踏まれてしまい身動きが取れず、転んでしまった際にひざの骨にひびが入った。	62	921	19	10～ 29
2017	9	10～ 11	利用者様居室において掃除中、洗面所で果物ナイフを洗っている際、汚れがこびりついていたため力を入れて取ろうとした時に誤って人差し指を切ってしまったことによる。	48	364	8	1～9
2017	9	17～ 18	送迎業務中、送迎車後方から乗る時ステップを越えようとしたら、左足に痛みが走った。	55	921	19	50～ 99
2017	9	14～ 15	利用者の居室内で、ベッド上で利用者様の体位交換後、次の利用者様の移乗介助のために向かおうと歩き出した際に腰に力が入らず、ひざから崩れるように倒れた。	30	921	19	30～ 49
2017	9	11～ 12	訪問介護利用者の自宅にてトイレ誘導で利用者を支えながら移動中に、左膝に負担がかかり痛みがあった。その後、利用者が動くことが難しかったため救急搬送することになり、送り出した後、利用者の玄関先で段差を上がろうとしたところ、左膝の痛みがひどくなり歩けなくなった。	61	921	19	50～ 99
2017	9	1～2	夜間勤務時、NSコールがあり、向かってる際、右足の力が抜けて右膝を床に付けて転倒した。	30	921	2	50～ 99
2017	9	20～	勤務場所から駐車場へ向かう途中の歩道で、勤務を終了し、帰宅のため駐車場へ向かって歩いていた時に、立ちくらみがしたので、	46	417	2	100 ～

		21	しゃがもうとした時、歩道と駐車場の間に段差（10センチくらい）があり、段から落ちて前に倒れ、両手両足をついて受傷した。					299
2017	9	18～ 19	勤務先の保育室でリズム遊びをしていた時、子供が数人傍を走って来たのでよけようとした所、バランスを崩し左腕を床につき後ろに転んだ。自分の体重を支えきれず、左腕を負傷、みるみると左腕が腫れた為、勤務中に受診し、骨折悲観血的整復術四肢ギプスシーネの処置をした。	55	921		2	10～ 29
2017	9	13～ 14	保育園のトイレ内で排泄処理後の子どもを抱き上げた直後に、腰に違和感があり、動くことが困難となった。	45	921		19	10～ 29
2017	9	9～ 10	老人ホーム一般浴室において、利用者様の着脱介助中にズボンを下げるため屈もうとしたところ、腰部に激しい痛みを感じた。無理をして介助を続けようとしたが、動くのも大変になってきたため上司に報告し病院を受診し、急性腰痛症と診断される。	24	921		19	100 ～ 299
2017	9	17～ 18	当社厨房内にて作業中、湯沸したやかんを移動する際に、片手でガスコンロから降ろし棚に戻す時にやかんが棚にぶつかり弾みでフタが外れお湯がこぼれて左右足部を火傷した。	41	391		11	30～ 49
2017	9	15～ 16	入浴介助中にプラットフォーム（更衣する所）で更衣介助をしていた。入苑者を車イスに移乗しようと、入苑者を抱き回転し、座らせようとした際に腰に痛みが走り動けなくなった。	33	921		19	50～ 99
2017	9	10～ 11	1階浴室入口前の廊下において、2階で入浴介助後に同じ履き物で1階浴室にある洗濯物を取りに来た。そのとき、履き物の底がすり減っていたことと、履き物と足が濡れたままだったため、右足を滑らせて転倒する。その際、右手で体をかばい、右橈骨を骨折する。	62	417		2	10～ 29
2017	9	16～ 17	居室にてオムツ交換を行った際、後ろ向きで、後方に下がろうとした所、床につまずき足をひねりながら倒れた。その際、後ろにあった車いすのフットレストに左足首をぶつけ、そのまま体勢を直すことができず、車いすの座面に座る形となった。	21	416		2	50～ 99

2017	9	14~ 15	1階チェアインバスの、入浴介助中、車椅子からストレッチャーに移動時、2人介助で行うべき所やもえず1人介助で行った。介助者が腰の痛みが発生した。	58	921	19	50~ 99
2017	9	9~ 10	居室でベッドからリクライニング車イスへ移乗介護直後に前傾姿勢の状態に腰に痛みが発生した。その後、業務中断し早退する。	20	921	19	100 ~ 299
2017	9	13~ 14	当法人の保育室内に於いて、空いた布団を片付けて園児達の就寝（昼寝）スペースに戻る途中、園児の1人が突然、体勢を変えて布団から足を出してきた為、咄嗟にそれを避けようとして身体のバランスを崩し転倒。その際、右手のみで身体を支える形になり、床に手をついた瞬間、右肩を脱臼した。	41	911	2	30~ 49
2017	9	6~7	ガスコンロから高さ2.5cm差がある作業台に9分目まで熱い汁物が入った鍋を移すとき、鍋が作業台に引っかかり、中身が右腕にかかり負傷した。	67	379	11	100 ~ 299
2017	9	10~ 11	浴場で利用者の入浴介助をしていた、洗体後に利用者を浴槽に入れ、ヒゲソリを脱衣場に取りに行き、洗体場に入る際に、右手にヒゲソリを持ち、浴槽に近寄る時にすべってしまい頭から転倒した。	50	417	2	50~ 99
2017	9	11~ 12	遅番のため、勤務に入る、遅番は昼食当番のため、台所で昼食の準備中、コンロ付近より左側へ移動しようとした処、スリッパが中途半端な形となり左足を中心とした様に半回転し転倒受傷したもの、後日、骨折と診断され手術をした。	66	417	2	10~ 29
2017	9	7~8	体重42.1kgを起床のため、居室のベットから車イスへ移動するため、私1人が介助に入った。当該入所者は日頃より介助拒否が強く、当日の起床介助も強い拒否があり、ベットから起こす際、暴れる様子で両手を振りかざしてきた。私はそれを避けながら両手で体幹を支え、車イスへ移乗する途中に当該入所者が両手で私の首元をつかもうとしたため、バランスを崩さぬように左腕に無理な力を	58	921	19	50~ 99

			加え手首をひねった状態で車イスへの着座を行った。その際に左手首に激痛を感じ、その後も同様の痛みが継続し、業務や日常生活において左手首をかばうようになったため、病院受診をした。				
2017	9	14～ 15	避難訓練のため、2Fエレベーター前でエレベーターに乗る順番待ちをしている時に、後ろから介護士が押している車イスに左足首を強く打される。	46	362	6	10～ 29
2017	9	12～ 13	駐車場に於いて、業務中に歩行中転倒し負傷した。	73	417	2	30～ 49
2017	9	7～8	利用者宅寝室において、利用者（身長168cm、体重58.3kg、左足が不自由で自分では歩けない）をベッドから車イスに移動介助中、利用者も介助に不慣れだった為、無理な姿勢になってしまい腰に痛みが走った。	69	911	19	10～ 29
2017	9	14～ 15	汚染区域下処理の流し台のシンクにまな板をのせて包丁でレタスを切っていた時、まな板の設置が不安定でシンクに落ちてしまい、その際に包丁で指を深く切ってしまった。	21	364	7	100 ～ 299
2017	9	10～ 11	保育園内において、園児を園庭で遊ばせる際、クラスごとの出入口で一人の園児に靴を履かせようと抱きかかえて移動し、出入口のそばにある足洗い場の反対側で履かせるために足洗い場をまたいだところ、バランスを崩して転倒し負傷したものである。	46	418	2	30～ 49
2017	9	16～ 17	訪問先の利用者宅において、訪問介護でベットメイク中、ベットの奥側にシーツをセットしようと左足に力を入れつま先立ちになったところ、左足ふくらはぎに強い痛みがあり負傷したものである。	58	921	19	10～ 29
2017	9	17～ 18	おやつが終わり、掃除の為に子どもテーブルを片付けようと持ち上げたところ、腰を痛めた。	58	921	19	1～9
2017	9	14～ 15	食堂で水分補給時間帯に、利用者5～6名とスタッフ3名、レクボラ講師1名と水分を摂っていた。すでに水分を摂り終わった利用者の前で並んで立っていた際、ふいに利用者が向きを変えその瞬間、バ	62	921	2	10～ 29

			ランスを崩し転倒した。				
2017	9	11～ 12	給食前にトイレに入ろうとして、ドアを左へスライドし、入ろうとして左足をドアにぶつけた。しばらく様子を見ていたが、痛みが増してきて病院へ受診すると、左足薬指を骨折していたことがわかった。	53	418	3	30～ 49
2017	9	17～ 18	放課後児童クラブの庭で、児童とバトミントンで遊んでいたところ、シャトルを打とうとして前に出た時に足をすべらせて転倒し、右手をついてしまい負傷した。	61	417	2	1～9
2017	9	15～ 16	業務の一環として施設庭の植木の剪定を行う為に脚立を伸ばした状態にして登り、枝切りをしていた際にバランスを崩してしまい、脚立から転落した。背中に激痛と吐き気があった。	65	371	1	30～ 49
2017	9	11～ 12	デイサービスセンターの入浴介助で、体格の大きい利用者を、ベッドから車いすに移乗する際に、腰に痛みが発生した。	44	719	19	100 ～ 299
2017	9	17～ 18	社長のオフィスの庭で、2～3mの木を、脚立に乗って伐採後、切り口を保護するためのペーストを塗っていたところ、スズメ蜂が飛んできておどろき、右腕が下になった状態で脚立から落下した。下には切った木があり多少クッションがわりになったもようである。	53	371	1	50～ 99
2017	9	9～ 10	デイサービス送迎車（10人乗り、1BOXカー）に利用者に乗せ施設に戻る途中、車両前方から別の車両が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだ（交通事故には至らず）。被災者は後部座席で後ろ向いて利用者と話をしていたため、止まったはずみで前方に飛ばされ、手すり用のバーに脇腹を強打した。利用者はシートベルトをしていたが、被災者はしていなかった。	46	231	3	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	駐車場で、まつりの準備をしているときに、3メートルの高さの脚立に登る途中（頬3メートルの高さ位の位置）で、バランスをくずし、地面（アスファルト）に左足に全体重がかかった状態で着地してしまい、左足を負傷（骨折）した。	64	371	1	100 ～ 299

2017	9	6~7	ご入居者の居室内で、布団（床）からの立ち上がりの介助の時に、口頭での指示が伝わらない方で、体がつっぱり、全体重を支える形で介助したために、腰部に激しい痛みがでたが、介助を続けた。	49	911	19	30~ 49
2017	9	22~ 23	夜に他のご利用者様の居室に入ることがあり、注意をしたところ、興奮状態になり、職員の髪をつかみ、拳で左顎を殴られる。3階にいる職員に助けを求める為、内線にて電話中に背後より首を絞められ倒れた際に馬乗りになり、殴られている最中に3階にいた職員が駆けつけ、静止した。	51	911	90	30~ 49
2017	9	11~ 12	介護棟で220号室の緊急コールが鳴った為、急いで向かっていたところ、その部屋の前で足がもつれた、転倒しそうになった為、部屋の入口のスライドドアにつかまろうとしたが、転倒の勢いでドアがスライドし、コンクリートの壁に左顔面を打ち付けた。	65	417	2	50~ 99
2017	9	16~ 17	デイサービスセンターフロア内の利用者用トイレで、利用者を洋式トイレから車イスへ移動する介助をしている時に、一人ではまったく立位のとれない利用者が本人の首に両腕をまわして本人は利用者の腰に手を回して持ち上げながら数歩移動し、車イスへおろした。その直後、腰から大腿にかけ痛みが出て痛みが強くなり、ゆっくりとしか歩けなくなったものである。	67	911	19	100 ~ 299
2017	9	18~ 19	リビングにおいて、椅子に座って利用者の対応をしていたところ、利用者から押されて椅子ごと転倒し腰を打撲した。	67	379	2	1~9
2017	9	21~ 22	利用者に話しかけていたところ、別の利用者に後ろから首~肩のあたりをつかまれ、おどろいて急に振り向いた時に首を捻って痛める。	63	911	90	50~ 99
2017	9	17~ 18	園庭砂場に園児が大きな穴を2つ掘り、危ないので埋め戻そうと砂場に入ったところ、1才児が入ってきたため抱き上げて降ろしたときに、左足が穴にとられ転倒した。その際、左膝が穴のへりに当たり鈍い音がして、その場で動けなくなった。	58	416	2	30~ 49

2017	9	14~ 15	同僚と一緒に、利用者様2人を連れて、散歩のガイドヘルプ中に、方向転換しようとする進行方向とは逆に体をむけようとした時、誤って足が滑ってしまい、バランスをくずし仰向けに転倒、その際、コンクリートの地面に、後頭部を打ち付け、30秒程気を失う。背中、腰も打撲があり、タクシーを呼び、病院で受診した。	55	416	2	10~ 29
2017	9	13~ 14	当施設の機械浴室に利用者さんを連れて行き準備をしていたところ、利用者のガーゼを忘れたことに気づき、入浴靴のまま早足で居室へ向かった。その際、居室前通路にて左足のつま先が床に突っかかり、左側の胸と左肘を床に強くぶつけ転倒した。激しい痛みがあり、動けなくなり負傷した。	51	417	2	100 ~ 299
2017	9	15~ 16	施設内2Fフロアで、おやつ時間作業中に1歳児クラス（2歳）のお子様を保育士の膝元より受け取る状態で、子供の脇を持ち上げた時、腰に強い痛みが走った。	51	921	19	30~ 49
2017	9	13~ 14	職場の駐輪場から自転車で帰宅しようとする敷地境界にあるポールとポールの間を通ろうとした際、右によりすぎて右側のポールに自転車が当たってしまい右側を下に転倒し、右手を地面についた時に、右手首を痛めた。	69	362	17	100 ~ 299
2017	9	11~ 12	介護を行った利用者宅から次の利用者宅へ向かうため、電動アシスト自転車（26インチ、全長1,880mm、全幅585mm、ハンドルの高さ770~895mm、重量25.5kg、バッテリー容量8.9Ah）に乗り、歩道の車道側を走行中に横断歩道を渡ろうとし、赤信号だったためブレーキをかけ止まろうとした際、バランスを崩し自転車ごと転倒、左膝と左手の手の平を負傷した。	73	362	17	10~ 29
2017	9	9~ 10	公園へ子供達と移動中、他の保育士の指示により、子供のくつを園舎へ取りに戻るため、ふり向き走ろうとした際に慌てていたのもあり、左ふくらはぎを痛めてしまった。	50	921	19	100 ~ 299
2017	9	17~	施設に来所する前から自閉症の成人利用者の状態が悪く、頓服薬を服用して様子を見ていた際、パニックを起こし、左手の甲にかみつ	47	911	6	10~

		18	いてしまった。					29
2017	9	16～ 17	避難訓練中事故、子ども（2才児）の手を引き移動中、反対側から別職員が子どもの手を引いたところ、バランスを崩し転倒した。左腕から転倒した為左肩を強打する、病院受診後、左肩の骨折と診断を受ける。	70	921		2	30～ 49
2017	9	15～ 16	ひよこ1クラス保育室を掃除中、ロッカーの上に置いてあった掃除用具を取りに行き、振り向いて歩き出した際に、近くにあった幼児用の机の脚に、左足を強打し、左足人差し指を骨折した。	33	391		3	—
2017	9	13～ 14	居室トイレ内に於いて、立位不安定な利用者の排泄介助時、便座から利用者を抱えた際、過度な負荷がかかり腰を痛めた、腰部捻挫。	55	921		19	50～ 99
2017	9	10～ 11	介護老人福祉施設に勤務する当該職員は、施設内2Fにある浴室隣の脱衣所において、入浴後の利用者をリフトチェアから車椅子に移乗介助を行った。その後、身体を拭くためのタオルを取ろうと手を伸ばした際、突然左腰部から左下肢にかけて強い痛みが走り、身体を動かすことが困難となった。時間の経過と共に痛みはやや軽減されたが左下肢に痺れが残った。	44	921		19	100 ～ 299
2017	9	8～9	朝デイサービスご利用者様を迎えに行った時、ご利用者様が自宅団地の手すりにつかまりながら下りている時に、隣でかさをさして介助していたら階段をふみはずしてしまい転倒した。その後、背骨を三ヶ所圧迫骨折しているとの診断を受けた。	62	413		1	10～ 29
2017	9	16～ 17	夕方、0歳児保育室において、午前中の散歩のおりにかみつきををした子供の隣にいた子供が泣いたため、様子を見るため子供に近づこうとした時、すべり足元の子供の上にたおれこまないようするため、床かかべに手をつき身体をささえたため、右手首を骨折した。	63	417		2	10～ 29
2017	9	11～ 12	保育園のホール内の倉庫の中に巧技台を片付けていた時に、壁に斜めに立てかけ跳び箱で押さえていたと思われるビーム（細長い板）が、跳び箱が少しずれたことにより2本倒れてきた。その時、腰を	47	522		5	50～ 99

			曲げており、そこにビームが当たり負傷した。				
2017	9	10～ 11	客先訪問中、介護者の洗濯物を干そうと踏み出したところ、踏み石が段差になっているのに気付かなかったため、躓いて足を捻り、右膝の後ろの筋を違えた。	68	419	19	10～ 29
2017	9	20～ 21	有料老人ホーム施設の事業所内にある、利用者居室の定期巡回業務をしていたところ、居室内において、車椅子乗車のまま車椅子ごと転倒している利用者を発見した。当該社員はとっさに車椅子を起こそうとして一人で車椅子を持ちあげるべく床面から車輪部を持って押し上げたが、その際に不安定で無理な姿勢をとってしまったため、腰椎圧迫骨折と診断された。	65	911	19	1～9
2017	9	11～ 12	新築工事現場でコンクリート打設前で配筋が完了した所で、スリーブ取付状況及び記録写真を撮影している際に配筋上を歩いた際に、鉄筋上から左足を踏み外し足首をひねった。（実際は歩行中であった）	46	379	2	30～ 49
2017	9	18～ 19	離設願望が強く再三外へ出て行ってしまいう入居者を止めようと説得していたところ急に左膝をけられ、腹部にパンチされたので両手をつかみ制止しようとしているうちに入居者が転倒したが両手をつかんだままだったために同時に倒れてしまい、左膝と首を痛めた。	49	921	2	10～ 29
2017	9	14～ 15	施設内2階、ご入居者居室のトイレ内で、ご入居者がトイレ壁設置の介助バーをつかんで、車椅子から立ち上がろうとしたところをその背後から右手でズボン、左手でご入居者の左臀部を支え上げたところ、左腰の辺りに激痛が走った。ぎっくり腰のような痛みで、日に日に痛む範囲が広がっている。	38	911	19	100 ～ 299
2017	9	12～ 13	業務終了後、帰宅時、施設内の駐輪場にて自転車を出そうとしたとき、隣の自転車のスタンドに左足を引っかけてしまい裂傷した。	20	362	8	100 ～ 299
			ユニット型特養の現場にて各居室介護中（移乗排泄更衣等）右手首に違和感を感じる、時間が経過するにつれズキズキと痛みを感じ始				

2017	9	8～9	める、勤務後はそれほど痛みは気にならなかった、そして翌朝になると右手首小指側に激しい痛みを感じる。物が持てず、手首に何かに触れるだけでも痛みがあり、日常生活にも支障がでる程になり、整形外科を受診する。	26	719	19	100 ～ 299
2017	9	6～7	施設内にて、ご利用者を床の上から車椅子へ移乗介助する際、ボキッと音がして痛みを感じる。移乗状況は、床の上からご利用者の身体を車椅子に持ち上げる動作を行う。	67	911	19	10～ 29
2017	9	14～ 15	福祉施設内の2階カプセル浴室の脱衣場にて、ご利用者に使うタオルを取りに行こうとした際、足を滑らせてしまい、右手を床について、右第4指中骨を骨折した。	57	416	2	100 ～ 299
2017	9	18～ 19	訪問介護を終了し自転車で営業所に帰る途中、T字交差点の青信号を渡ろうとした際、反対方向から左折してきた車と衝突し、右手首を骨折した。	55	231	17	30～ 49
2017	9	15～ 16	利用者宅にて、ベッドでオムツ交換を行った際、体位交換時にバランスを崩し、左手の親指、人差し指、中指を負傷した。	62	911	19	10～ 29
2017	9	15～ 16	ご利用者様のご自宅の浴室にて、ご利用者様を、他の従業員と2人がかりで抱えて浴槽から出そうとしたところ、自分のスペースを確保できず、無理な体勢になってしまい、ご利用者様を下したところ被災したものである。	25	921	19	50～ 99
2017	9	12～ 13	利用者と一緒に食事を取り、食器を片付けようと右手に皿を持ち立ち上がった時、右に利用者が居て、足を出しているのに気付き、バランスを崩して、左側に体が傾き食器棚に左半身を激しくぶつけ、左手を打ち床に跪いた。左肩、鎖骨、腕に痛みを感じたので湿布を貼り、夕方迄業務を続けた。	62	911	19	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	利用者の送迎中、信号のある交差点で、左折しようと信号待ちにて停車し、発進後に前車が停車した為、続いて停車したところ、後車の前方不注意によりノーブレーキで追突され、頸椎捻挫、背部、右	43	231	17	10～ 29

			手を挫傷した。				
2017	9	8～9	被災者がイスに座りつつお客様2名に対して水分介助。同席していた介護士も同様に、その2名のうちの1名の水分介助を行おうとした。ただそのお客様の口の中にまだ飲み込めていない水分が残っていたため、被災者がそれを注意した。注意された介護士が激昂し、被災者に対して有形力を行行使し、被災者は座っていたイスごと、左方へ倒れ込んだため負傷した。	31	999	99	50～ 99
2017	9	16～ 17	3FAユニット食堂にて、Y利用者（男性）が他利用者（女性）の胸を触る行為があり、注意したが、再度触ろうとしたのでもう一度注意したところ怒り出した。女性利用者の側にいたところ、Y利用者が後ろから近づき不意打ちのような感じで右眼こめかみにパンチされた。	43	719	90	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	お客様の入浴介助時、お風呂場にてお客様のタオルを取りに行き戻ってきたところ、ぬれた床に足を滑らせ、シャワーチェアの背もたれに右脇腹をぶつけ転倒した。	44	416	2	10～ 29
2017	9	13～ 14	自転車にて、利用者宅から事務所へ戻る途中、歩道と道路の境界部分の段差に車輪がはまってしまい、ハンドルを取られて転倒、コンクリートに体を強打し、右腕、左脛、左膝を負傷した。	62	417	2	30～ 49
2017	9	12～ 13	標識のない交差点で、被災者がその交差点を直進しようとした際に、右側から直進してきた車と接触した。	59	231	17	50～ 99
2017	9	13～ 14	ユニット内のトイレで、トイレ介助（女性146cm、51kg）、通常は本人立位がとれるが、急に膝折れしたため、支えた際に腰を痛めた。	57	921	19	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	特浴の浴室で、座浴のイスを洗い終わって壁側の所定の場所に移動する時に排水溝の鉄板に自分の足が乗り、傾いて左足の内側の足首にあたり裂傷した。	59	418	3	100 ～ 299
		15～	会社駐車場内において、利用者の送迎準備のため、送迎車の後部座				50～

2017	9	16	席を折り畳んでいたときに、座席を両手で持ち上げた際、腰部に痛みが走り、腰を受傷した。	23	921	19	99
2017	9	10～11	保育中に園庭の砂場で子どもたちと虫探しをしていた。人数確認をしたところ、担当児1名がプール方面に戻っていったことに気が付き、追いかけてようとした。砂場を横切ろうとしたところ、右ふくらはぎの筋が切れたような音がした。痛みがあり、足を引きずらないと歩けない状態となった。	27	921	19	50～99
2017	9	7～8	出勤時、事業場敷地内の駐車場で自家用車を降り玄関に向かう際に、急いでいたため両手に荷物を持って走ったところ、バランスを崩し転倒、右手を強打し負傷した。当日受診し、数日間痛みを我慢し勤務したが、後日再受診した際、医師から経過が悪いため安静にするよう指示があり休業した。	57	417	2	10～29
2017	9	11～12	園の運動会のリレーで走っている途中に左アキレス腱を切った。	27	416	2	30～49
2017	9	12～13	職場の玄関を出た駐車場で、自分の車に向かって歩いていた。階段を2段下りたところをつまずき転倒。左手に書類を持っていたため、右手で全身を支えようとして、右手首を骨折した。	60	417	2	10～29
2017	9	10～11	体重の重い人を全介助した際、負傷。腰痛がある状態で再度同じ人を入浴介助した際、腰痛が悪化。常に痛みがある。	45	921	19	10～29
2017	9	11～12	3階ユニットトイレで、トイレ介助のため、入居者の正面から中腰で両脇に手を入れて抱きかかえている時に、入居者が足に力が入らず、ほぼ全体重（45kg）を被災者が支えていたため、腰に痛みがはしり負傷した。負傷日当日は耐えられる痛みだったためがまんして仕事をしたが、家に帰ってから痛みが増して動けなくなり、翌日は仕事を休み自宅療養し、病院を受診した。	38	911	19	50～99
			当施設内、ご利用者様の部屋にて、おむつ交換のため、体位交換（身体を仰向けから横向きに交換）をしようと、ベッドに左ひざをつき、右足は床についた体勢で、横向きに寝ているご利用者様の背				10～

2017	9	0~1	中を押し出した瞬間、右腰に痛みが走った。当日は応急処置で湿布をして勤務をした自宅に帰り就寝し、朝起き上がろうとしたが身動きが取れなくなった。	46	911	19	29
2017	9	16~17	業務終了後、帰宅しようとして当社施設敷地内の外階段を急いで降りようとしている際、右足をひねり負傷した。	58	413	19	30~49
2017	9	13~14	施設内の廊下のモップ掛け掃除の際、両手で水モップを持ち床を拭きながら歩く、その時右足が前に滑り、モップを離し後方に右手を付きながら転ぶ。	62	417	2	50~99
2017	9	18~19	施設駐車場にある花壇に液肥をやる為、ジョウロを手に持ち、水と一緒に花壇に撒いた後、戻そうとしたら近くの車止めブロックにつまずき転倒、右大腿骨頸部を骨折した。	56	419	2	100~299
2017	9	12~13	入浴介助後、脱衣場から廊下に出た所で足をすべらせて転倒し、尻もちをついた。両手に介護用品を持っており、受け身がとれず仙骨と骨折した。	29	921	2	50~99
2017	9	19~20	特別養護老人ホーム1階の利用者居室内において、体位交換業務を行っていた。夜の就寝時、利用者を右側臥位から左側臥位に換えるためベッド横から利用者の体を手前に起こしたところ、踏ん張っていた左足ふくらはぎに痛みがはしった。手すり等がないと歩行困難であったため、病院を受診したところ、左足ふくらはぎの肉離れと診断された。	47	921	19	100~299
2017	9	14~15	トイレ介助作業中、利用者の方に手摺を掴んでもらい、利用者を立たせた状態で介助をしていた際、利用者が下がったため両手で利用者の臀部を支えて押し上げた時に、右手首に痛みが走った。	47	921	19	300~499
2017	9	8~9	お客様宅にて訪問介護中、排泄介助のため、お客様の隣に座った状態（正座）からリハビリパンツ等を準備するため、片膝をついて立ち上がろうとしたところ、急に腰部右側に激痛が走り、起立困難となった。	46	921	19	10~29

2017	9	12～ 13	6年生の1日保育のため（スポーツ娯楽施設）へ引率し、ローラースケートで転倒した。尻もちをつき尾骨を強打した。	44	418	2	1～9
2017	9	23～ 24	当ホーム内にて、入所者のトイレ介助終了後、再度入床しようとベットまで歩かれたが、ふらつかれた為入所者の右側から支えようとした際に、右足の親指の付け根を痛め負傷したものである。	52	921	19	10～ 29
2017	9	10～ 11	お風呂場で、利用者が入浴時イスに深く座らせるため、上半身を持ち上げた時に骨折したものである。	69	921	19	100 ～ 299
2017	9	10～ 11	公園から保育園へ忘れ物を取りに戻る途中、走っていて転び、アスファルトに膝をぶつけた。	49	417	2	50～ 99
2017	9	11～ 12	当施設内共同トイレにおいて、トイレ介助中、利用者様を支え移乗しようとした際、腰を捻り被災したものである。	50	921	19	50～ 99
2017	9	10～ 11	保育園の厨房で調理作業中、濡れた床で滑って転倒し、シンク側面に右肩を強打した。	39	416	2	1～9
2017	9	10～ 11	利用者迎えのため東に向かって走行中、前方停車車両を確認したため停止しようとしたが、操作を誤りブレーキを踏む事ができず、停車車両との衝突を避けるため、左にハンドルを切った所、歩道にあった電柱に正面からぶつかった。被害者は、当該送迎車両に同乗していた。	33	231	17	10～ 29
2017	9	9～ 10	当施設の脱衣場にて入所者を入浴させるため準備をしていたところ、脱衣場に敷いてあったマットにつま先が引っ掛かり、近くに置いてあった車いすに倒れかかるように転倒した。	73	379	2	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	保育中に絵本の箱を小走りで運んでいる時、段差の角に右足の先が当たり骨折した。	55	418	3	30～ 49
2017	9	13～ 14	保育園の遊戯室で、給食後縦70cm、横120cm、高さ52cm、重さ15kgのテーブルを片付けようとした。立てかけて足をたたもうとした際、園児の様子が気になり横を向いた時、机から目を離してし	50	611	4	50～ 99

			まって左足に落ちた。				
2017	9	13～ 14	ショートステイ利用者をトイレ介助中、立位不安定であったため、利用者の臀部に介助者がひざを当てて、中腰状態になっている際、腰に痛みが発生する。	36	911	19	300 ～ 499
2017	9	7～8	ヘルパーが居室へ訪室すると、ご入居者様がベッドの下に頭部が入るような形で転倒していた。他職員を応援に呼び、ヘルパーがベッドを持ち上げ、他職員がご入居者様を救出する。その後、ヘルパーより腰に違和感があると訴えがあったものである。	65	419	19	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	利用者宅への訪問に行く際、普段走行している道が除草作業の為、迂回した結果、疎水に架かる橋を越えなければならなくなった、疎水に架かる橋を渡る為、スロープを走行、スロープ走行中にバイクの一部が階段に接触し、ふらついた結果スロープから地面に転落、バイクと共に右側の地面に3m程度の高さから叩きつけられた。	49	231	17	30～ 49
2017	9	15～ 16	デイサービスの送りの時、送迎車が円滑に行く際、送迎車から家へ誘導が必要なお客様の為に、自転車でお客様宅へ向かう途中、転倒し骨折、自転車のチェーンが外れた事が原因である。	66	362	2	10～ 29
2017	9	11～ 12	訪問先の有料老人ホーム内で、利用者様の排泄介助ケア（便汚染した上着を更衣）中に突然利用者様が手を振り回し暴れる、その際に、顔をひっかき、それをよけるときのけぞった、腰に激痛が走り、湿布、コルセットをし痛み止めを服用した。	41	921	19	100 ～ 299
2017	9	17～ 18	3階エレベーター前にて、ご入居者をエレベーターホールでお見かけしたので、書留をフロントにてお預かりしていることをご本人へ伝えに行き、その後、書留をお渡しする為にフロントに書留を取り戻ろうとして振り向いた時、後方にあった郵便ポストの台にぶつかり、転倒した。	54	391	2	100 ～ 299
2017	9	14～	入浴場の廊下にて、利用者のドライヤー中、他の職員から別の利用者の更衣介助のために呼ばれかけつけた、入浴場と廊下を行き来していた、その為、床が滑りやすくなっており、スリッパをはいて介	31	417	2	100 ～

		15	助等をしていたことから、滑ってしまい右側臥位に転倒し、右腰部を打撲した。					299
2017	9	14～ 15	施設内の事務所の引き戸で障がいのある利用者に、支援で付いている時に引き戸に付いているクッションが外れていたため職がつけるタイミングと利用者が引き戸を閉めるのが同じで、右手を挟んでしまった。	46	419	7		100 ～ 299
2017	9	11～ 12	作業済みの荷物を車両へ積み込む作業を行っていた際、腰部に強い痛みを感じ歩行困難な状態に、夏頃から腰部に痛み、足の痺れなど違和感があり、病院への通院を行っていたが、症状が進み入院となる。	51	911	19		30～ 49
2017	9	19～ 20	特別養護老人ホームで介護業務に従事中、入所者のトイレ介助でトイレに移乗しようとして、手すりに肋骨があたり体をひねったため、肋骨に痛みが生じた、その後痛みがあったが業務を続け、翌日の夜間勤務後に、病院で診察を受け、第5肋骨骨折と診断された。	33	391	3		50～ 99
2017	9	13～ 14	車から電動ベッドを下ろす際、電動ベッドを持って腰をひねった時、腰を痛めてしまった。	43	921	19		30～ 49
2017	9	14～ 15	利用者様居室で入浴介助のため全介助が必要な寝たきりの利用者様をベットからシャワーチェアに移乗させていた時、軽く左脚付近に痛みを感じた、そのまま介助を続けたが終わってから激痛となり受診したところ、股関節の捻挫だった。	62	921	19		10～ 29
2017	9	10～ 11	利用者宅において、ベットで臥床している寝たきりの利用者の訪問看護のケア中にあやまって、ベット柵に左肋骨を強打した。	44	911	19		1～9
2017	9	16～ 17	信号の無い交差点で、被災労働者及び相手方も一旦停止をした、まず被災労働者が停止し、次に相手方が停止線で停止した、相手が停止した事を確認し、優先道路を走行中であった被災労働者が相手方に会釈し、ゆっくりと前進したところ、相手方の車が視界から外れた瞬間、左の後部座席の辺りに強い衝撃を受けた、そして腰部に痛	44	231	17		50～ 99

			みが走り、その数日後、首、左腕に痛みが出た。				
2017	9	13～ 14	ご利用者様を送迎後、車輛を在庫して下車の時、右肩に痛みがあった、すぐに病院に受診をして、治療を受ける、1週間ほどして、痛みが強くなり、他の病院を受診する、1週間ほどの加療が必要との診断がされ、休業する。	27	999	99	50～ 99
2017	9	11～ 12	介護現場（フロア・共同トイレ）で、入居者が排泄を終えられ便座より車イスに移乗してもらおうと、入居者（自分で立てない）を立たせる為に対面になって支えようとした際、腰に負担がかかり動けなくなってしまった。（入居者は認知があり自身で立てず体重も労働者にかかりやすい）	36	911	19	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	訪問介護サービスにて利用者様のご自宅の鍵を取りに事務所によつた際、事務所があるマンションの共用スペースの集合郵便受け部分の15cmほどの段差を降りる時に、スマホ操作中で気付かず、足をひねってしまった。（勤務開始前に発生）	36	413	2	30～ 49
2017	9	10～ 11	事業所の階段で足をふみ外し、正座の体勢で6段目から転落、両足を負傷した。	31	413	1	10～ 29
2017	9	7～8	施設内2階の大型洗濯機庫内に入所者の汚染した大布団を大たらいの中で予洗いしたものを、大たらいごと床から持ち上げて膝に乗せて、ひざの反動を使って入れた時、腰に負担がかかった。	48	611	19	30～ 49
2017	9	16～ 17	利用者宅へ買物代行・掃除の訪問介護中、近くのスーパーに買い物に行き利用者宅へ帰宅途中、歩道を徒歩で通行中、地面に痰のような物があり滑って転倒、左足を痛める、近くで見ていた人が湿布を下さり、貼って業務を続行、後日、左足首骨折と診断された。	66	417	2	300 ～ 499
2017	9	12～ 13	施設内の4Fフロアで、利用者様が昼食を終えてテーブル席から立ちあがり、前のめりになりながら歩いてきたので、転倒予防のため利用者様を下からすくい上げるようなかたちで支えているとき、腰部に激痛が生じた。	44	999	19	50～ 99

2017	9	15～ 16	当園保育室内において、1歳児のおむつ替えを終え子供を誘導している時、午睡用に敷いている布団に足をとられて滑り、転倒した際ついた右手を負傷した。	48	911	2	10～ 29
2017	9	18～ 19	夕食介助時、車椅子の利用者に、姿勢を正してほしいと頼まれ、腰の部分から持ち上げた際、右上腕部に痛みと違和感が発生した。	38	911	19	50～ 99
2017	9	12～ 13	デイケア棟にてベットで横になっていた利用者を起こして車椅子へ移乗する際に、利用者の後ろから腰を支えて力を入れた時に、右手首をひねり負傷したもの。	53	921	19	50～ 99
2017	9	13～ 14	生活介護事業所において、利用者に対し指導を行っている内職活動（箸入れ）で完成した商品（約30kg）を業者へ引き渡す際、横回転やスライドして移動させようとしたところ、左肩を負傷した。	37	611	19	50～ 99
2017	9	9～ 10	当日、駅内に於いて、被災者が障害者移動支援で利用者様を通院のため付き添っていたところ、電車降車後、エスカレーターに乗り降りた時に利用者がつないでいた左手を振り切り突然走り出し追いかけた時、つまずき、前のめりに左手から顔を打つように倒れて、左手首と前歯を負傷した。	67	417	2	10～ 29
2017	9	8～9	利用者宅で認知症状があり自立歩行・立ち上がり不能の男性被介護者がベッドから床に転落して倒れこんでいたのでベッドにもどそうと体をかかえ上げた時、抵抗され支え直そうとした時、背中がブキッと音がして激痛が走った。	62	921	19	10～ 29
2017	9	12～ 13	訪問介護サービス中、利用者様のトイレ介助を行う時に右足がトイレの扉の角で強打し負傷した。	53	418	3	10～ 29
2017	9	10～ 11	生活介護事業所活動室にて、休憩中の重度障害のある男性利用者の方を床に座った状態からソファーに移そうとし、正面から両脇に腕を差し入れ利用者の身体を持ち上げたところ、腰部にビリッと激痛がはしり、そのまま動けなくなる。	28	719	19	10～ 29
		15～	児童クラブのプレイルーム内で児童がバスケットボールリングに座				

2017	9	16	布団を投げ上げたため、脚立を使って取ろうとしたところ、脚立を固定するための金具の掛けが不完全であったため床に転落した。	59	371	1	1～9
2017	9	16～ 17	利用者宅にて正座で訪問介護の担当者に電話が鳴ったため慌てて立とうとした際、足が痺れて下肢に力が入らず転んでしまった。ポキッと鈍い音がしたが、そのまま援助を行った、援助後、右足がパンパンに腫れ上がり我慢できないほど痛みが強くなった。	34	416	19	1～9
2017	9	10～ 11	被災者が清掃業務で1階厨房のモップがけを行う際、洗剤を床に撒いてから始めようとしていた。液体の洗剤だったため滑りやすくなっていたが、本人が洗剤を撒いたことを忘れてしまい、そのまま清掃を開始しようとしたところ、滑りやすくなった床に足を滑らせ尻餅をつくように転倒した。	34	416	2	100 ～ 299
2017	9	19～ 20	業務を終了し、建物裏の砂利道（敷地内）を、駐車場に向けて歩いていたら、照明が暗かったため、段差に右足がつかず、転倒し右肘を損傷した。	64	418	2	10～ 29
2017	9	10～ 11	当日は運動会の予行日であり、道具の出し入れの都合でホール出入口のスロープを外しており、20～25cm程度の段差ができていた。使用後の道具を片付けようと大きい道具（軽量）を一人で運んでいた所、足元が見えなかったため、その段差を踏み外してしまい左足首を捻挫した。	40	417	19	10～ 29
2017	9	9～ 10	下処理室で切った野菜を調理室に置き後に下がった時、下処理室にある洗濯機設置のための段差でつかず、後ろ向きに転倒して右手をついたため、右手薬指第二関節骨折となった。	43	416	2	10～ 29
2017	9	12～ 13	地域交流ホームにて、施設行事、運動会が開催され、大なわとび競技に参加した時、縄に引っ掛かり転倒した際に、左足かかとを強打した時に骨折した。	65	379	2	10～ 29
2017	9	7～8	施設の3階310号室にて、朝、洗顔用のタオルを居室のベッド上におられた利用者へ手渡したが、利用者が床に投げつけたので、そのタオルを拾い、再度利用者へ近づき手渡そうとした際に、ベッドそ	68	391	2	10～

			ばに敷いているマット（転落した時のケガ防止のためのもの）がすべり、後ろ側に転倒し、左手をついて、尻もちをついた。				29
2017	9	9～10	浴室にて、介助が必要な利用者を車イスから寝浴用の寝台へ移乗するさい、腰と背中に激痛がはしり動けなくなる。	31	921	19	100～299
2017	9	8～9	入居者居室内にて、入居者の体を起こす前にベッド内の体の位置を変えようとして、入居者の頭方向から両脇をかかえて引き上げた、その際、バランスをくずし、柵で腰部を打撲する、鈍痛が続いていたが、朝に強い痛みを感じ、病院を受診する。	59	391	3	30～49
2017	9	7～8	朝食介助後、男性利用者を手引きで居室まで介助していたところ、ご利用様が急に大声を出し暴れた、腕を振り切られ、体を押された際廊下壁に左肩を打ちつけ転倒した。	45	921	19	—
2017	9	9～10	施設内のトイレにおいて、介護が必要な高齢者を車イスからトイレに移乗（支えて座りかえる動作）の介助をしようとしたところ、腰痛が発生した。	38	921	19	30～49
2017	9	11～12	当園の洗濯室で洗濯物を乾燥機に入れようと向きをかえようとした時に、床に置いてあった洗濯物を入れるカゴに付けてあるひもに足をひっかけて転倒した。	62	416	2	50～99
2017	9	13～14	休憩時間、詰所に入ろうとし2～3歩歩いた所で、バランスをくずし、転倒した。その際、右膝を打ち、皿にひびが入ったイスの背もたれで首を打ち、打撲。	66	417	2	30～49
2017	9	8～9	勤務時間中に事業所敷地内の少し勾配の有る所を清掃をしていた、50cm幅位の水路を渡ろうとした時に、体勢をくずし右膝を痛めたものである。	67	414	2	10～29
			児童デイサービス施設（2階）内にて、子供達を学童保育中の事故である、子供達をプレイルームに座らせ、しばらく待っておくように言った、その内の一人の男児（小1年生）が立ったり座ったりす				

2017	9	15～ 16	るので、「ちゃんと座っててね。」となだめた、その直後、私が ちよつとの間、自分の足元を見て子供から目を離したとき、前方か ら跳び箱を飛ぶがのごとく、その男児が突進してきた、甘えたかつ たのかもしれないが、予期せぬことであり、不意打ちの激突で、後 方にほとんど直立状態で転倒、右手をホール床につき負傷した。 その男児はADHD疑い（障害者手帳なし）で、日頃より衝動的な多 動児で、力まかせに突進してくる危険性があり、スタッフ全員で注 意しながら指導・支援を行っていた、近くに別の指導員がいたが、 一瞬の行動で危険を察知できず制止できなかった。	65	999	6	1～9
2017	9	19～ 20	なごみ室と呼ばれる医務室の隣の部屋で、モップを使い床の水拭き をしている時に、水拭きがひと通り終わったので、次の作業の準備 の為に医務室に向かう途中、濡れた床で右足を滑らせた、その際、 左足を巻き込んだ形で尻もちをつくように転倒した、他の職員に起 こしてもらい、すぐに左足を冷やすが足首が腫れ上がり歩けなく なった。	42	417	2	50～ 99
2017	9	16～ 17	ていずい2階階段前廊下にて、退勤しようとして階段に向かって歩行し ていた時、他職員の右足につまずいてふらつき、左手は鞆を持って おり、右手は手すりに残したまま体だけ転倒した、右手筋肉に大転 子が（股関節横の出ている骨）引っ張られ、骨折する。	53	999	2	50～ 99
2017	9	15～ 16	当施設内敷地の駐車場において、当宛主催の開苑祭終了後の後片付 けの作業を行っていた、当該人がステージ上部に設置していた看板 の撤去作業において、脚立（1.9m）の最上部に座っていたが、中 段に降りようとしてバランスを崩し重心がずれて脚立が傾き1.6m程 の高さから地面（アスファルト）に転落し、身体を損傷した。	56	371	1	30～ 49
2017	9	16～ 17	2階の控室から階段を使って1階に下りていたときに、下から2段目 の階段で足を滑らせ転倒し、靭帯を損傷した。	57	413	1	50～ 99
2017	9	11～	浴室で入浴介助中で利用者の移動を行う為、抱えようとして腰を痛	39	921	19	100 ～

		12	めた（ギックリ腰）。					299
2017	9	11～ 12	ユニット浴室前で使用済みオムツパットの回収時、オムツパットの 入った袋を持ち上げた際、回収カートに袋が当たりカートが動い た、その際右足でカートを制止した為、右足首を捻り捻挫に至っ た。	65	362	19		50～ 99
2017	9	10～ 11	掃除の際に部屋の窓をベッドの上で膝を立てて拭いていた、拭き終 わった後、左回りでベッドから降りようとして、自分の足に引っか かって左肩から落ちて左肩と腕と胸を打った、その後痛みがあった が仕事を続け、翌日も痛みがあったが病院が休みだった為、仕事を した、月曜日に内出血が確認されたので病院を受診した。	61	419	1		30～ 49
2017	9	20～ 21	夜間勤務中に、居室にて入居者様を車イスからベッドへ移乗介助を 行っていた、片マヒである男性入居者様を車イスから抱え上げよう と力を入れた際に痛みが走ったとの事、被災者は服薬の影響で骨が 強くない事や男性入居者様も片マヒであり体格も大きく身体を持ち 上げるのに大きな力が必要な事もあり、今回のケガに繋がった。	61	911	19		10～ 29
2017	9	11～ 12	トイレにて、職員が2人介助にて入所者の排泄介助を行った際、職 員が入所者の両脇の下に手を入れ抱え上げたところ、腰部に激しい 痛みを感じうずくまってしまう、1人で動くことが困難なため、車 いす使用し整形外科を受診する。	31	911	19		100 ～ 299
2017	9	14～ 15	介護老人保健施設内1階にて、通所リハビリテーションのレクリ エーションとして運動会に行ったが、職員参加競技のなわとびを 行った際に体勢を崩して、左足首を負傷した。	35	921	19		50～ 99
2017	9	9～ 10	ヘルパー業務の訪問の為に向けて、公用車を一人で運転して移動 中、前方不注意でよそ見をしてしまい、中央ラインをはみ出し、対 向車との接触事故を起こす。事故日は、身体に異変を感じなかつ たが、翌日、首等に痛みが発生した。	42	231	17		10～ 29
			厨房の外の掃除を柄の短いブラシを使って前かがみでおこなってい					

2017	9	14～ 15	たところ、足がすべって頭から転落した、深さが約1mあり底には水がたまっていたため、息が出来ず意識不明となった、掃除は1人でおこなっていたが、通りかかった同僚に発見され救助された。	69	418	1	10～ 29
2017	9	14～ 15	施設内脱衣所にて利用者入浴のため、利用者を脱着衣介助しようとして抱えているときに当該利用者に左前腕を咬まれ受傷した、その後、左手掌及び指先に強い痺れと受傷部分の痛みが増強したため、病院受診となった。	54	911	90	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	事業所内浴室にて立位困難な利用者をイスに座らせた状態で洗身介助していた際、臀部及びその周辺を洗うため、被災労働者（身長166cm）が利用者（身長145cm、体重45kg）の両脇に手を入れ、洗いイスから抱え上げ、もう一人の職員が利用者の後ろに回り洗身しようとしたところ、被災労働者と利用者以身長差があった為、通常より腰を深く曲げて抱え上げたため腰への負担がかかり、抱えた際に腰がグキツとなり負傷した。	37	921	19	10～ 29
2017	9	10～ 11	デスクにて記録を書いていた所、急に右側よりインスタントコーヒの空き瓶を持った利用者様より右側頭部を殴られる。	60	911	6	10～ 29
2017	9	9～ 10	工業高校裏側付近の農道にて、左カーブを曲がったところで前方に車と自転車があり避けようとして右側へハンドルを切り、ハンドル操作を誤り右側の2メートル程下の農地に上下さかさまに車ごと転落した。	25	231	17	10～ 29
2017	9	6～7	入居者の居室のセンサーが鳴ったため、入室しセンサーを切ろうとしたところ、入居者がベッド柵を外して振り回し、首を強打された、振り返ったところ、再度ベッド柵で右手を強打された。入居者には認知症の症状があった。	43	911	6	50～ 99
2017	9	12～ 13	施設厨房において調理中に、床段差につまずき前方に転倒、その際に左膝を床に強く打ち付ける。	67	416	2	30～ 49
		14～	特別養護老人ホームの入所者とのレクリエーションを見守っていた時、入所者が使用していた風船がフロアに転がったので、それを拾				50～

2017	9	15	おうとしたところ、入所者の車椅子に足を引っかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	53	417	2	99
2017	9	14～ 15	タオル作業場で、タオル作業場乾燥機のフィルタ清掃時、仕上げ場へ戻ろうと、外履きから内履きへ履き替えたところ、床に履物が何足も置いてあり、不安定な環境だった、室内と洗い場をつなぐ踏み台の側面につまずき、前方に転倒し、思わず左ひじをついた。	60	371	2	10～ 29
2017	9	2～3	夜勤業務中、おむつ交換時、入所者男性（要介護4・身長165cm・体重47.1kg）を体交させる時に右背部に違和感を感じた、早朝共同トイレにて入所者男性（要介護4・身長160cm・体重61.75kg）の排泄介助をし、ズボンを上げた時に右背部に激痛を感じ、動けなくなった、夜間看護師が近くにいた為、介助してもらい車椅子に座り、併設病院を受診した。	23	921	19	50～ 99
2017	9	9～ 10	保育園保育室内のトイレにて、雑巾を取ろうとしたところ、足を滑らせて左足首をひねった。	54	416	2	10～ 29
2017	9	21～ 22	入所者（男性）が3Fホールにて上半身裸でいたので、上着を着るよう促した際、入所者の方の痛に障り右顔面を殴られた、その日は夜勤シフトだった為、勤務明け後病院を受診した。	54	921	90	30～ 49
2017	9	16～ 17	厨房火元の冷蔵庫前にて、脚立に上りレンジフードの清掃作業をしていた時、脚立のロックが不十分だった為に脚立が左右に開いてしまった、約1.5mの高さからしりもちをつくように転落した。	73	371	1	50～ 99
2017	10	8～9	当社施設内2階食堂にて、朝食後の服薬済みの空袋を回収しようと振り向いた際、真後ろにいた利用者様の車イスのフットレストに当該職員の足がぶつかり転倒。右肘から着地し、右肩、右膝も強打した。	53	362	2	50～ 99
2017	10	11～ 12	1Fフロアにて居室より移動し車イスからソファに誘導中、ご利用者様の体が急に下がりそうになり、ご利用者様の両腕が肩にまわった体勢で支え、背骨を傷めた。	52	921	19	30～ 49

2017	10	11~ 12	1Fフロアにて居室より移動し車イスからソファに誘導中、ご利用者様の体が急に下がりそうになり、ご利用者様の両腕が肩にまわった体勢で支え、背骨を傷めた。	52	921	19	~ 299
2017	10	18~ 19	利用者に夕食提供のためホールにて配膳作業を行っていたが、テーブルと利用者の間をすり抜けようとしたところ、利用者の車椅子の前輪に左足のつま先が引っかかり、身体が回転しながら仰向けで転倒してしまった。右側大腿骨頸部が骨折していた。	65	362	2	30~ 49
2017	10	15~ 16	訪問看護業務を終了して帰社の途中、交差点を通過しようとしたときに、右側の通りから走行して来た車と、当方の右側の後部と衝突。その際に、頸椎及び腰に捻挫及び打撲した。	39	231	17	10~ 29
2017	10	15~ 16	利用者宅の浴室掃除中、床の掃除をしている時に、バランスを崩し転倒しないよう踏ん張ったため、右膝と腰を負傷。	36	417	19	30~ 49
2017	10	17~ 18	信号、一時停止のない交差点で、通所児童の送迎で添乗業務を行っていた際、自車ハイエースと軽自動車が出合い頭に衝突した。後部補助席で児童の対応を行っており、シートベルトをしていなかった為、衝突した際の衝撃で前方に投げ出され、前座席に全身を打ちつけ、首等の痛みを訴え、搬送される。	23	231	17	30~ 49
2017	10	14~ 15	3Fの利用者用ベッドでシーツ交換している際、ナースコールのコードにつまずき転倒。その際、左膝を地面につき骨折した。	67	391	2	50~ 99
2017	10	15~ 16	デイサービス利用後、利用者を自宅へ送る際、玄関前のスロープを車いすの後方から押し上げながら登る際、段差があるため車いすを2回持ち上げたところ、左臀部に痛みを覚えた。当日夕方頃から左太ももから足先への痛みも生じ、夜間には痛みが増大した。	41	362	19	30~ 49
2017	10	7~8	厨房で（腰の高さ）下の方の電磁調理器に置いてあったおかゆの入っている大きい釜を持ち上げようとしたところ、腰に痛みが走って、そのまま痛みが治まらなかった。	46	921	19	~ 499
		12~	事務所の休憩室内で、お昼休憩中に9.5?のジャグポットを本人が移				30~

2017	10	13	動した際に、テーブルからバランスを崩して、左足の指に落下させ、その後痛みがあった。	59	379	4	49
2017	10	11～ 12	浴室で利用者様の入浴介助中、利用者様の身体の位置をずらす際に足が滑り、右胸部に負荷がかかり、負傷した。	39	417	19	10～ 29
2017	10	9～ 10	昼食の下準備のため、調理台にて大根の切断作業を行っていた。その際誤って右手に持っていた包丁で自分の左手（大根を押さえていた）中指第2関節付近を2cm程切ってしまった。	54	364	8	50～ 99
2017	10	13～ 14	学童クラブ教室内のロッカーがある場所において、子供に注意をする為、話をしていたところ、子供達が使っている3段ロッカー（高さ130cm位）の一番上の段に置いてあった水筒のひもに、子供が手をかけてしまった為、落ちて足の指に直撃し、ヒビが入った。	54	611	4	1～9
2017	10	15～ 16	デイサービスのホールで、利用者とレクリエーション活動にて、ビーチバレーを実施中（利用者23名が椅子に座った状態になり、職員が輪の中に張り、ビーチボールが床に落ちないように続ける）、無理な体勢でボールを拾おうとしたら転倒し、右手を床について骨折した。	64	417	2	500 ～ 999
2017	10	16～ 17	当社介護施設駐車場において、傷者は、利用者の送迎のために同僚他2人と共にワゴン車に乗せる作業をしているとき、車イスの利用者を車内に乗せ、スロープ脇で確認をしていたところ、スロープ格納（電動式）の操作をする者が傷者の立ち位置をよく見ずに操作を行ったため、スロープとワゴン車後部のところにはさまれ受傷したものの。	46	231	7	30～ 49
2017	10	8～9	当施設更衣室にて作業服に着替え作業室に走っていった時、靴の踵をつぶして履いていた為、デイフロアーで右足を滑らし、前に転倒、両腕を負傷した。	57	911	2	50～ 99
2017	10	13～ 14	食堂の外に設置していたテントを公用車に乗せ倉庫まで片付ける途中、他の荷物を同じ公用車に乗せるために、場所を浴室裏に移動し、公用車のスライドドアを開けたところ、テントの重りが右足に	37	379	4	—

			落下した。				
2017	10	14～ 15	利用者宅でのサービス終了後、車で事務所へ戻る途中、信号の無い十字路で、曲がる道を1本先と思い込み、ブレーキをかけずに優先道路に侵入してしまい、優先道路からきた車と衝突、頸椎捻挫した。	59	231	17	30～ 49
2017	10	17～ 18	当園保育室内に於いて、延長保育をしていた時、園児を抱っこして前に座らせようとした際、足がつまずいて前のめりになり両膝をついて転倒し、強打した為、右膝蓋の部分を骨折してしまった。	54	416	2	30～ 49
2017	10	10～ 11	デイホールにおいて、利用者が車椅子からズレ落ちそうになったので押し上げようとしたところ、腰を痛めてしまったもの。	65	719	19	30～ 49
2017	10	7～8	雨天時、イベントのテントの屋根を直そうとハシゴを登って作業中、足が滑りコンクリートに落下し、頭部等を強打する。	70	371	1	10～ 29
2017	10	12～ 13	当施設（グループホーム）のリビングにおいて、窓の網戸を開けようとして網戸が開きにくかったため、網戸の調整をするため椅子（高さ約45cm）を使用して窓枠（高さ約80cm）に上がり作業をした。作業後窓枠から下りるため椅子に足を乗せようとしたが、踏み外し落下した際、近くの台所カウンターに手を伸ばしてつかまろうとしたが、つかめずに右手首をぶつけてしまい負傷したもの。	74	371	3	10～ 29
2017	10	13～ 14	「福」ユニット3号室にて入居者のトイレ介助時、トイレが終わり衣服を直している時に、立たれている入居者が脱力してしまい、体を支えた際、体をひねってしまい腰を痛めた。	40	719	19	50～ 99
2017	10	15～ 16	デイサービスホールで秋の行事、運動会を開催、職員の競技、紅白パン食い競争を行っていた。競技後に白組席へ戻る際、足がもつれ、単独で後ろ向きに転倒、その際、右手から床に着き、痛みが発生した。	47	416	2	10～ 29
2017	10	12～ 13	居室にて利用者をベッドから車イスへ移乗する際、バランスを崩し右足を捻った。応急処置として患部に薬を塗り、湿布を塗布し帰	21	911	19	30～ 49

			宅する。第5趾中足骨骨折となった。				
2017	10	10～ 11	老人ホームにてご利用者様への機能訓練業務を行っていた。リハビリ訓練台へ寝かせる際に体勢を崩しかけたご利用者様を支えたところ、左殿部から左大腿部にかけて痛みが発生した。	46	911	19	50～ 99
2017	10	9～ 10	給食室の作業台で、包丁とまな板を使い、ちゃんぽんラーメンの具に入れる白菜を切っていて、誤って左手人差指を切ってしまった。	59	364	8	10～ 29
2017	10	19～ 20	夕食後、入居者（男性）をベッドに寝かせるために、居室に連れて行き、車いすをベッドに横付けし、車いすの左側アームを外し、入居者をベッド柵につかまらせ、車いすの後方から右足をベッドにかけ、入居者をベッドに腰かけさせようと、入居者の腰部を持ち上げた際、腰に痛みを感じ、そのまま痛みが引かなかった。	50	921	19	30～ 49
2017	10	9～ 10	会社の駐車場にて事故の所有する自家用車が側溝へ脱輪したため、同僚4人と手で車を持ち上げた際、腰椎へ負担がかかり骨折した。	63	231	19	30～ 49
2017	10	15～ 16	施設トイレの掃除時、トイレ内のゴミを外へ運び出し、トイレのドア付近の床（カーペット敷き）にゴミを降ろした後、後方へ方向転換した際、床に足がつかず、そのまま体の左側を下にするように前方へ転倒した。転倒した際に、頭部・左肘・胸部を床に打ち付けた。	68	417	2	10～ 29
2017	10	20～ 21	施設内にある事務所階段付近にて、もう一人の介助者と利用者様の移乗介助を行っている際に、バランスが崩れ、足を捻ってしまったもの。	38	921	19	50～ 99
2017	10	14～ 15	ホームの入所者が車いすごと倒れていたため、足に力を入れ踏ん張り、車いすを起こそうとしたときに、右膝、腰を捻挫した。	72	911	19	1～9
2017	10	21～ 22	訪問看護業務中、ご利用者様宅より施設へ戻る途中の交差点で1つ先の信号と勘違いをし通過。その際、右方向より交差点を通過しようとしている車と衝突し、左前にある歩道のポールにぶつかり車は停止、両者救急搬送となった。	49	231	17	50～ 99

2017	10	10～ 11	ご利用者様をベッドから車イスへ移乗介助した際、左足に激痛を感じたため受診した結果、肉離れとなる。	44	911	19	50～ 99
2017	10	9～ 10	ご入居様の居室内トイレにて排泄介助中、ご入居者の排泄後、L字型手すりのポールを握って立って頂いた。右手で腰を支え、左手で臀部を清拭タオルで拭いた際、突然腰に強い痛みが生じた。トイレ内には車椅子も便座に横付けしており、動きは制限される。	37	911	19	10～ 29
2017	10	16～ 17	絨毯を敷いている場所に座っていたお客様を床から車椅子への移乗介助を行うため、靴を脱ぎお客様の背中側に回り、背中側からお客様の両脇より手を差し込み介助をしようとしたが右足が滑り、お客様の右肩越しに前方へ転倒。その際に、移乗するためにセットしてあった車椅子のフットレストへ右目周辺を打ち付け、負傷した。	64	921	2	30～ 49
2017	10	15～ 16	事業場調理場で、夕飯調理準備中、コンロの上の鍋を火が付いていないことを確認の上、把手をつかみ、移動させようとしたところ、把手部分がはずれかかり、とっさに右手で鍋底を支えたが、鍋の底が熱くなっており、右手中指、人差指に火傷を負う。	31	379	11	10～ 29
2017	10	11～ 12	厨房内の作業場で切り込み作業中、フードプロセッサーで使用方法の誤りにより左中指を負傷した。 ※使用方法 正) スイッチをoffにする→完全に止まってからカバーを外す→中にある刻んだ野菜を取り出す。 誤) スイッチをoffにした時に、完全に止まる前にカバーを外した為に中のディスク刃で左中指を負傷。	48	165	7	50～ 99
2017	10	15～ 16	特別養護老人ホーム内入居者居室にて、リネン（シーツ）交換中、シーツを張り終えベッド位置を戻す際、ベッドのローラーが勢いよく動き右側に置いてあったタンスにぶつかりベッドとタンスの間に挟まれて右手第5指を負傷した。挟まれた際、ベッドをすぐに動かそうとしたがベッド頭部側ブレーキを2カ所かけていた為、位置をずらすことが出来なかった。	29	419	7	—
			1階事務室からデイ事務室への通路で、新聞処理をするために、その通路を通る折、左側棚横に立てていた蛍光灯の箱が倒れていたこ				100

2017	10	4～5	とに気が付かず、箱につまずき、机に胸を打って左手、左足をついた。	64	611	2	～ 299
2017	10	17～ 18	障害者入通所施設の2階風呂場にて女性利用者（知的身体障害者）の入浴支援中、男性利用者（同程度の障害あり）が間違えて浴室に入ってきたので、被災労働者が止めようとした。その際に誤って足を滑らせてしまい仰向けに転倒、体の背面（頭、腰、腕等）を床に強打し、負傷してしまった。負傷後、痛みが酷かった為、救急車で搬送されたものである。	73	417	2	50～ 99
2017	10	14～ 15	調査で自転車移動中、対向車の大型トラックを避けようと左へハンドルを切った際、台風による強風とトラックにあおられ、転倒した際に股間を強打。その結果左大腿骨頭部骨折、左恥骨上枝骨折、臍からの出血、排尿障害となる。	52	362	2	10～ 29
2017	10	11～ 12	2階実習室2で介護の仕事をしている時に、両下肢機能障害（歩行は不安定であるが可能）のある体重66キロの利用者を立たせようと、自分の左腕を上体にまわし、右手で左腕をつかみ立ち上がろうとした際、腰を捻挫した。	33	921	19	300 ～ 499
2017	10	9～ 10	保育園の保育室で布団ひきをしている際、園児のバスタオルがない事に気付き、廊下へ取りに出ようとじゅうたんのある所から、フローリングの床に出た時にバランスを崩しすべって転んだ。その時に頭をかばい左肘を打ち、左肘を骨折した。	47	416	2	30～ 49
2017	10	9～ 10	1件目訪問の利用者様宅へ自転車でむかう途中、強風にあおられて帽子を飛ばされそうになり、左手でおさえたとこ、さらに強風にあおられて自転車ごと右側へ転倒、舗装道路に左手を強くつき、右膝を強打。左手掌の痛みと腫れを生じた。	53	362	2	10～ 29
2017	10	8～9	保育園一歳児クラスにて保育中、子ども同士のトラブルを未然に防ごうとして慌てて動いた為、玩具棚に右足の指を強打してしまった。	48	419	3	50～ 99

2017	10	14～ 15	ご利用者様の入浴介助中に浴室内の床がぬれていたため足が滑り、入浴用のイスにぶつかり転倒してしまった。	70	418	2	10～ 29
2017	10	8～9	移動中の階段で、2人体制で車椅子の利用者の昇降を行うため後ろ向きで階段を下りている時いつもと同じようにしていたつもりだったがいつもより、過度に右足に負担がかかってしまい、骨折した。	49	413	19	30～ 49
2017	10	12～ 13	被災者は、施設1階の食堂で与薬をしていた。口腔内に薬の残りが ないか確認しようとし、最初はハッキリ見えなかったため再度見ようと利用者本人に接近したところ、利用者に左頬を強く叩かれ負傷した。	50	921	90	50～ 99
2017	10	9～ 10	利用者宅で、ポータブルトイレ横の椅子に手をつき半分しゃがみこんだ姿勢の利用者を後ろからかかえ立たせようとしたところ、背骨がポキッという音がして腰に痛みを感じた。	73	911	19	50～ 99
2017	10	10～ 11	広場にて、園児と追いかけてっこをしている最中、公園に置いてあった遊具（丸太）をジャンプして飛び越え着地した際、左足を捻ってしまった。	46	711	19	10～ 29
2017	10	18～ 19	利用者宅に訪問後、敷地内を歩行中、足を滑らせて転倒し、股関節に痺がはいった。	62	417	2	10～ 29
2017	10	18～ 19	利用者様居室にて、利用者様の移乗介助中に右手首を痛めた。その夜から湿布にて対応するが、次の日も痛みが残った。	25	911	19	50～ 99
2017	10	11～ 12	運動会の保護者競技（大縄跳び）に先生チームとして参加した時、縄を跳んだ瞬間に足に痛みが走った。	47	921	19	30～ 49
2017	10	11～ 12	公園内複合遊具施設内滑り台にて、児童を介助して降ろした後、自ら降りた際バランスがとれず落下してしまった。勢いよく地面に落ちてしまい、お尻を強く打ってしまい、胸骨第12番目を骨折して しまった。	63	419	1	50～ 99
2017	10	18～ 19	ゴミ置き場まで、ゴミを捨てに行く際に70?と45?の2つのゴミ袋を持ち階段（7段）を降りている最中に辺りが暗かった為、残り2段の	30	413	1	10～ 29

			所から足を踏み外し転落し、右足首を捻挫した。				
2017	10	16～ 17	当日派遣先において退勤後、保育室脇にある階段を下りていたところ、玄関先にいた保護者に気をとられ階段を踏み外し、着地した時に左足首を捻ってしまったもの。	29	413	3	30～ 49
2017	10	11～ 12	入居者様の部屋にて移乗等介護をしていたが、初め入居者様の病名が違ふものであり、発赤は他人に移らないと聞いた為、他の入居者様と同じ対応をしていたが、後日疥癬の診断がくだされた際、自分にも発赤が出来ていた為、病院受診し、卵のからが見つかり疥癬であると診断された。	42	911	90	50～ 99
2017	10	8～9	就業場所の駐車場で転倒し、右足首を負傷した。介護施設に勤務のため、通常通り車で施設駐車場に到着。車を降りて数歩歩いたところで、砂利と雑草に足を取られ転倒した。左足首が痛いため病院受診したところ剥離骨折と診断された。	53	416	2	30～ 49
2017	10	7～8	利用者の朝食の時間になったので、朝の着替えの介助をしていたところ、利用者に抵抗されて、その時利用者の肘が左手小指にぶつかった。	29	911	6	30～ 49
2017	10	16～ 17	訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。	36	719	19	30～ 49
2017	10	13～ 14	介護施設にて業務中、左膝を痛めると共に、腰椎捻挫となった。ご利用者様の送迎準備のため、施設入口に停めた車両に車椅子を積む際、誤って車両後部に左膝を強打した。また、強打による激痛のため、勢いよくうずくまった際に腰を強くひねり腰を痛めた。左膝挫傷並びに腰椎捻挫と診断された。	52	362	3	10～ 29
2017	10	10～ 11	入浴介助中、入居者の立位介助を行った際、腰部と左下肢を痛める。	50	911	19	30～ 49

2017	10	17～ 18	事業場にて、階段の上り口から壁に向かって脚立をはしごにして立てかけ、階段壁面上部に飾り付けをする作業の際に、脚立と床との接地部分が滑り倒れ、それに伴って高さ1.5m程のところから落下し、負傷したもの。	45	371	1	10～ 29
2017	10	15～ 16	体重のある利用者を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	911	19	50～ 99
2017	10	15～ 16	当社が運営する有料老人ホームの車椅子用トイレにて入居者のトイレ介助中に発生。手すりにつかまって立ってもらった体勢時に突然、入居者の膝折れが生じ、当該労働者の首と肩に全体重が押しかけた。その際、首と肩を痛めた。深夜になってから痛みがひどくなった。	23	911	19	30～ 49
2017	10	14～ 15	お客様宅で掃除機をかけていた最中、床に落ちていた物を拾おうとした際に、腰に痛みが出て、動けなくなった。	52	921	19	300 ～ 499
2017	10	9～ 10	2階建てアパート形式の2階にて、朝の勤務終了後、16段ある外階段の2階から1階に下りる際、履いていたスニーカーのかかとをつぶして、スリッパ履きにし、手すりにつかまっていなかったため、5～6段下りたところでつまずき、前方へ転倒。そのまま10段程下へ転落してしまい、頭部やあごを打撲した。自宅で静養し、夕方からの勤務に出掛けたが、途中で冷汗と吐き気、嘔吐があり受診する。検査の結果、脳内に少量の出血が確認された。	69	413	2	50～ 99
2017	10	8～9	パン工房厨房にて、パン生地を平たく伸ばす作業をモルダーという機械を使って行っていた。機械に投入した生地にゴミの付着を確認し取り除こうと手を差し出したところ、機械に右手第3、4、5指を巻き込まれてしまい右手第3、4、5末節骨の骨折、同じく右手第3、4、5指の腹部分を裂傷してしまう。原因としては、不注意で生地投入口から右手を入れてしまった事と、機械に緊急停止装置がなかった事、また安全管理運用マニュアルが当設備になかった事があ	37	165	7	1～9

			げられる。				
2017	10	8～9	トイレにてご利用者の排泄介助を職員2人で行っていた。ひとりが前方より立位を支える介助を行い、被災者が後方よりご利用者の臀部を持ち上げトイレの便座に座っていただく介助を行っていた。その際腰に強い痛みが生じた。	34	921	19	100 ～ 299
2017	10	9～10	介護保険訪問介護サービス利用者宅でトイレの排泄介助の際、手すりに掴まってもらい陰部清拭をしようとしたところ、利用者さんの手が手すりから外れ座りこんでしまった。体重が58kgで力の入らない利用者を持ち上げようとした際に、腰に痛みが走った。ぎっくり腰だろうと思い、安静にしながら痛みを感じながらも腰に負担がかからないよう仕事を続けてみたが、一向に痛みが治まらず逆に痛みが酷くなってきたので、受診をしたら腰椎圧迫骨折の診断を受けた。	70	921	19	—
2017	10	18～19	利用者の自宅にて、立位が不安定で体格のよい利用者をベッドへ移乗している際に、ベッドの方へ行くと思いきや後方にいる介助者の方へ急に倒れてきたため、あわてて支えた際に腰と背中を負傷。	27	921	19	1～9
2017	10	16～17	雨で道が濡れていたところ、利用者を自宅に送迎していた際、利用者宅前を歩いていて転倒し、負傷した。	48	417	2	100 ～ 299
2017	10	11～12	施設浴室内で利用者さんの入浴介助後に、デッキブラシを使用して、中腰姿勢で清掃を行っていた。その後に腰を伸ばした時に負担がかかったのか、電気が走った様になり、痛みが出現した。	44	921	19	50～ 99
2017	10	18～19	保育園の駐車場で車に乗ろうとして暗くて足元が見えず、石の上に左足がのり、バランスをくずして転び、左手首を骨折した。	70	719	2	10～ 29
2017	10	11～12	路上で道路脇の斜面に登ってクサギ取りをしていた。（当事業場で利用者とともに草木染めの作業をしており、クサギはその材料に使っている。）斜面から降りる時に足が滑り道路に左手をついた際左手に激痛が走りうずくまった。当事業場に戻っても痛みが引か	31	711	1	30～ 49

			なかった。				
2017	10	4～5	施設利用者の病院受診からの帰宅道中で利用者が車椅子からずり落ちた。その利用者を支え乗せ直そうと被災職員が介助中、トンネル出口付近の交差点手前で、減速のためのブレーキで後方に転倒し、腰を打ち、第一腰椎を圧迫骨折した。	51	231	90	30～ 49
2017	10	13～ 14	1階・風呂場脱衣場にて入浴介助のためシャワーの温度を確認していた際、利用者の方が背中側から倒れかかってきたためその拍子に右足を捻ってしまい右足甲の疼痛。	59	921	6	10～ 29
2017	10	8～9	会社の2階食堂にて、テーブルの上に乗って蛍光灯を交換しようとしたところ、バランスを崩して床に転倒し、後頭部を打った。	60	371	1	10～ 29
2017	10	11～ 12	デイサービス施設の浴室とホールの間にて、利用者を迎えに行こうとホールに出た時にスリッパが濡れていた事で後方へ転倒した。	49	379	2	10～ 29
2017	10	21～ 22	施設南側（屋外）のゴミ捨て場付近で、ゴミを捨てるためゴミ捨て場に向かい、ゴミを捨てて施設内に戻る途中で、ゴミ捨て場付近のブロックの角に右足のひざ上（ふともも）をぶつけた。屋外に街灯がなかったため、真っ暗な中での作業となった。勤務中であったため、歩行が困難な状況で勤務を続けた。	68	417	3	30～ 49
2017	10	10～ 11	納品先の会社で荷物を運んでいる時にマンホール横の出っ張っていたアスファルトに躓き、左くるぶしを骨折した。	49	417	2	50～ 99
2017	10	18～ 19	施設内、サービス付き高齢者向け住宅で、利用者のオムツ交換のため居室に入ったときに、認知症利用者の機嫌が急に悪くなり突然蹴られ床に尻をぶつけ、腰に痛みを感じた。	71	921	99	10～ 29
2017	10	7～8	園内の倉庫にて、作品展の備品を取り出しているときに、急に強風が吹き扉が突然閉まり、右手の指を挟んでしまい負傷した。	21	419	7	10～ 29
2017	10	10～ 11	お客様が脱衣所に足を踏み入れた際、足を滑らせて倒れそうになったので支えようとした時に、自分も足を滑らせて後ろに転倒した。その時に右足首捻挫、左臀部打撲と右膝内出血をした。右膝は前	21	417	2	30～ 49

			から痛めていたので、さらに悪化し、歩行にも支障をきたすようになった。				
2017	10	12～ 13	事業所の玄関前で稲の脱穀機をバックで移動させている時、後方に柱があることに気付かず脱穀機と柱に挟まれ、左下腹部を強く圧迫し皮下出血した。	37	169	6	1～9
2017	10	16～ 17	延長保育の時間中、倉庫前にいた園児1人が近くにいた友達を噛もうとしていた。それを止めようと畳の所から小走りで向かっている途中で滑って転び、左手を床につき負傷した。	63	417	2	30～ 49
2017	10	10～ 11	事務所駐車場で、4tトラックを止め、荷台に載せた鉄カゴの上部に乗り、荷を直そうと歩いていた時にバランスを崩し、左足に力を入れて踏ん張ったところ、捻った。	58	221	2	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	当社営業所デイサービス施設内で意識不明で横たわっている利用者を救急搬送のため、2名対応で利用者を持ち上げ足の方を抱えて畳の部屋から45cm程の段差を下りて床に左足をつきストレッチャーに移乗しようとしたときに、左足の付け根から足先にかけて違和感を感じ、ストレッチャーを押しながら移動する際に足の痛みが増してきた。その日の夜にはさらに痛みが強くなり、翌朝左足の付け根が腫れてきた。	51	921	19	30～ 49
2017	10	9～ 10	利用者のデイサービスへの送迎中、被災者が運転している車が、信号のない交差点で、右折時、対向車待ちで停車している際、後方より進入して来た車に衝突された。被災者は頸部・腰部を挫傷した。	47	231	17	10～ 29
2017	10	16～ 17	学童のお誕生日会が終わり、そのまま学童と風船バレーをしていたところ足が滑り、尻餅をついたとき左手でカバーしようとして骨折した。	67	416	2	1～9
2017	10	11～ 12	訪問介護の仕事で利用者宅の門の手前で、生活支援の生ゴミを家の外の生ゴミコンポストに捨てに行く途中、台風の影響で雨が降って地面が滑りやすくなっていたため、土とコンクリートの境目で足を	54	417	2	10～ 29

			滑らし左足首を捻って、左前方に倒れて負傷してしまった。				
2017	10	2～3	当社の介護施設「介護付有料老人ホーム」の施設内にて夜勤勤務中、認知症の利用者の排泄介助のため、ベットから起居介助を行うとき、いつもは軽介助で立ち上がり可能であったが、体調不良のためか立ち上がり困難だったため、ベット柵の近くまで全介助で移動介助を行った際に、腰に急激な負担が生じ、腰痛となった。	42	921	19	10～ 29
2017	10	10～ 11	福祉センター特殊浴室において、デイサービス利用者の入浴介助中、個別浴槽から出る利用者の脇に手を差し入れ、職員2人で引き上げた際、右手首に違和感を感じた。その後右手首の腫れ痛みが出てきた。	55	921	19	10～ 29
2017	10	5～6	夜勤中に台所で清拭用のお湯を作りポットを右手に持ち移動しようとした時に、テーブル脇に置いてあった足置きに躓いて転倒し、左肘・左膝を床に強打して骨折した。	54	419	2	10～ 29
2017	10	15～ 16	2階備品倉庫トイレトーパー、ペーパータオル補充中、ベッド柵（L字型）ペーパーを保管する引き出しが開かなかったの思い切り引っ張った。その際隣に折りたたんで置いていた簡易ベッドに立てかけていたベット柵と上に置いていた衣裳ケース（タオルケット等が入ったもの）が左足小指周辺に落ちて下敷きになった。左足に痛みがあった。	39	611	4	30～ 49
2017	10	12～ 13	事務所内にて、認知症のご利用者様がリハビリパンツ内に排便し手も便で汚れていた。職員2名でトイレへ誘導したが、ご利用者様が便座に座らずリビングへ出ようとしたため、職員1名が見守りをしている間にオムツを取りに早足で汚物処理室へ入った際に躓き、加速のついた状態で左手を壁に強くついて手首を骨折した。	58	418	3	100 ～ 299
2017	10	18～ 19	利用者の居室で、利用者を車イスからベッドに移し、臥所した後、利用者の身体がベッドの左に寄っていたため、真ん中に移動しようとして、利用者の両骨盤を持ち上げて左からベッドの中央に移そうとした時、急に腰に激しい痛みが生じ腰が抜けたようになり、足にも力	43	921	19	50～ 99

			が入らなくなって動けなくなってしまった。				
2017	10	18～ 19	警察署に保護されていたご利用者様を迎えに行った時に、警察官から身柄を引き継ぎした際に、ご利用者様から攻撃された。攻撃から身を守るための防御行動とひっかかれた時の対応で、首から腰に掛けて、捻挫の様な痛みと、怪我をした。	56	921	19	10～ 29
2017	10	10～ 11	勤務中（介護業務）、腰に強い痛みを感じ、業務での利用者の介助はもとより階段の昇り降りや歩行にも支障をきたすようになった。腰にしびれを感じようにもなった。	42	921	19	50～ 99
2017	10	16～ 17	ご利用者宅からご利用者宅へ移動するために、駐輪場からバイクに乗車し、出ようとした時、バランスを崩した。その時地面に右足をつこうとしたが、道路から斜めに坂になっており足をつくことが出来ず、そのまま右側に右足を捻りながら転倒し、その足の上にバイクが乗り、また左手も地面について強打した。	56	231	2	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	3階にて利用者さんへのサービス提供中に体勢を崩し、右足に激痛が走った。	46	921	19	30～ 49
2017	10	10～ 11	デイサービスの利用者を送迎車で迎えに行き、玄関前アプローチを上っていた際に右足がつまずいて転倒し、骨折した。	58	413	2	10～ 29
2017	10	10～ 11	居室内にて入居者様を車椅子からベッドに移乗時、入所者様の腰部をもち、左から右側のベッドに移乗しようとした際に腰をひねり、第3腰椎を圧迫骨折した。	60	921	19	50～ 99
2017	10	15～ 16	食堂で、おやつの時間に利用者様の義歯を取りに行こうと急ぎ足になり、誤って転倒した際、体をかばおうとフローアーに手をつき、左手第2指腹側の皮肉がはがれ、裂傷となった。	51	416	2	50～ 99
2017	10	16～ 17	利用者自宅に於いて利用者を車椅子からベッドへと移乗させた。端座位になり、頭をヘルパーの腕で支え、体幹を安定させて上着を脱いでもらおうと肩に手をおいた時、突然後方にそっくり返った。咄嗟に怪我をさせてはいけないと利用者を受け止め様と思ったがバ	76	911	19	100 ～ 299

			ランスを崩しベッドの横にあったサイドテーブルに右手をついた。ねじるようにつき、骨折した。				
2017	10	16～ 17	特別養護老人ホームで2階男性において、男性入居者の排泄介助（オムツ交換）をベッドの高さを調整せず、低いままのベッド上でおこなっていた際、前傾姿勢を保持中に腰部から臀部にかけて激しい痛みを感じた。	34	719	19	50～ 99
2017	10	13～ 14	事務所からヘルパー訪問で利用者宅へ行くために原付で交差点を直進中、左側から左折車が出て来た。自動車との接触を避けるためブレーキをかけつつハンドルを右側へきったところ転倒し、右上腕骨折、打撲、擦過創を受傷した。	38	231	17	50～ 99
2017	10	12～ 13	訪問介護サービスで訪問先から次の訪問先に移動中、駅近くを自転車で走行していた際、道路端に停車していた車の運転席側のドアが突然開いた。このとき、ドアに接触し、被災者は転倒し、打撲負傷した。	34	362	2	10～ 29
2017	10	11～ 12	年中行事の「利用者のための運動会」に支援員として参加する。職員参加の借り物競走に被災者が加わり、利用者さんと一緒に走った。2人一組で、互いに布に巻かれた角材を両手に持ち、2人が向き合う体勢で、互いの角材でボールを挟み込み、ボールを落とさないように往復15m程の目的地点まで運ぶ競争だった。当日も翌日も特に痛みは感じず、少し肩こりを感じた程度で、大したことないと思ったのに、徐々に痛み出し今までにない痛みが治まらなくなった。病院で診てもらったところ、第五胸椎圧迫骨折と診断された。	76	522	19	100 ～ 299
2017	10	12～ 13	施設内の食堂から車イスの利用者を居室に送り届け、ベッドに寝かし、頭部を枕の位置まで移動させた後、帰ろうと身体の向きを変えた途端に腰に激痛を感じ動けなくなった。	49	921	19	30～ 49
2017	10	13～	介護施設4階浴室にて入浴介助中の申請者が利用者（女性87才、要介護2）の左足の指を洗うため中腰になって右手を伸ばす姿勢に	47	921	19	50～

		14	なった時、右ヒザを痛めた。					99
2017	10	8～9	お客様宅で、一人でお客様をベッドから車椅子へ移乗する際にバランスを崩してしまい、お客様とともに転倒した。	39	416	2		30～ 49
2017	10	11～ 12	敷地内の庭を清掃作業していた際に、足を滑らせ横転し、右足のひざ部分を骨折した。	74	417	2		100 ～ 299
2017	10	9～ 10	利用者の自宅へ訪問し、スーパーにて買い物を頼まれたので自転車にて走行中、大きい通りを走ってきた自転車に細い道から自分が出た瞬間、出会い頭に驚き転倒し、右足を負傷した。	62	362	17		10～ 29
2017	10	12～ 13	特別養護老人ホーム4階のサロンで昼食の食事介助後、女性入居者の方をトイレ誘導しようと車イスに移乗させたが、いやがり、あばれた。その際、床に落ちそうになったのでそれを支えようとした時、腰椎に激しい痛みが走り動けなくなった。	41	911	19		30～ 49
2017	10	0～1	老人ホームの2F214号室の入居者様の部屋にて、ベッドに臥床している入居者様に膝の裏を搔いてほしいと頼まれ、搔こうと腰を曲げた時、突然痛みが走り立てなくなった。半年前より腰に違和感があった。	18	921	19		50～ 99
2017	10	15～ 16	ご入居者の居室から介護浴室に忘れ物を取りに行こうと廊下を走っていたところ、床に足が引っかかり、つんのめり転倒した。その際に右手から床についてしまい、右手第5指を骨折した。	54	417	2		30～ 49
2017	10	11～ 12	デイサービスフロア内で、トイレ使用後の利用者様を介助しようと、カウンターから出てトイレ前に移動中に、椅子に座っていた利用者様が坐面を臀部につけた状態で椅子を持ち上げ、その椅子を降ろす際に左下腿に椅子の足が着地し受傷した。	42	379	6		30～ 49
2017	10	13～ 14	トイレ介助時に、利用者の後ろ側に屈んだ状態でオムツを上げようとした時に利用者がふらつき、それを支えるために踏ん張って身体を後ろ側に反らせたところ、腰に負担がかかり腰を負傷する。	46	921	19		100 ～ 299

2017	10	9~10	利用者様の訪問入浴で自室に浴槽を設置していた際、ベット上にいた利用者様が突然床に下り、浴槽越しから指を掴んできた。掴まれた手を解こうとすると、掴んだまま暴れたため反対側へ捻った。 (以前から暴れることがあり、神経内科主治医から薬を処方されている。握力が強く、掴むことが多々あるので、サービス前に薬を服用してもらっていたが効いていなかった様子。)	46	999	19	30~49
2017	10	7~8	通勤途上、就業場所最寄り駅構内で歩いて階段を下りようとしていたときに、階段を踏み外して滑落した。降雨後で階段が濡れており、かつ落ち葉があった。就業場所に到着し、しばらく就労する痛みがひどくなった。	28	413	1	—
2017	10	17~18	利用者様宅から自転車で帰社途中、右折車が出て来たのでブレーキをかけたところ、台風で路面が濡れていたためタイヤが滑り転倒した。左半身に打撲と擦過創を負った。	57	362	17	50~99
2017	10	15~16	台風21号で倒れかかっていた斜面の木が台風22号の影響で倒れ、木の下にある小屋が倒壊しては困るため、脚立に乗り伐採し枝払いをしていたところ、切れた枝が脚立にあたり、脚立ごと1.5m程の高さから落下した。	78	371	1	30~49
2017	10	15~16	デイサービス利用者トイレにて利用者の排泄介助中、座位のため、利用者正面より中腰状態で抱きかかえた時に激痛が起きる。その後、同フロア内のデイサービス室まで誘導し、確認職員に現状を報告する。休憩後、痛み止めを服用し勤務を行う。	62	921	19	100~299
2017	10	11~12	当就労継続支援作業所入口付近にて歩行中に誤って転倒し、左肩を打ち、骨折した。	49	417	2	10~29
2017	10	10~11	利用者様宅にて訪問介護業務を終え自転車にて事業所に戻る途中、信号のない交差点において、北から南進してきた乗用車に衝突、転倒し、負傷したもの。	36	231	17	10~29
2017	10	15~	利用者様宅玄関前の階段で、車イスに乗った利用者様を2人で運ぶために上っていたとき（下部を支えていた）不安定な状態で腰に負	60	911	19	10~

		16	担がかり第4腰椎を圧迫骨折した。					29
2017	10	15～ 16	利用者と散歩に行こうと思い手を繋いで施設内の階段を2階から1階へ下りる途中、右膝がグキッとなった。一瞬動けなくなったが問題なさそうだったので様子を見ることにした。その日の夜にだんだんと痛みがまし、膝を曲げたままの状態に動けなくなった。膝を伸ばそうとすると激痛が走った。	57	921	19		10～ 29
2017	10	16～ 17	業務を終了し帰宅するため2階のロッカーに荷物（私物）を取りに行き、階段を下りる際に最後の2段を踏み外した。右足を捻った状態で転倒して右足の距骨を骨折した。	41	413	1		10～ 29
2017	10	16～ 17	廊下で探し物をした後、作業室に入ろうとして作業室手前にある台車に引っかかった。両手で板状の段ボールを持っていたため足元が見えなかった。咄嗟のことでその時の状況は覚えていない。右足をひねったような痛みがあったが我慢できる程度だったので、作業室に戻り10分程度作業を続けた。帰宅するため上履きのスニーカーを脱いだら違和感があり、右足甲が腫れていた。右足第五中足骨骨折と診断される。	48	611	3		30～ 49
2017	10	11～ 12	外遊びを終えた幼児を屋内へ移動させる際、屋外足洗い場において児を抱え上げて移動させようとしたところ、腰に激痛が走り動けなくなった。	44	921	19		1～9
2017	10	8～9	入所者の食事介助をした後下膳し、食事量を記入しに2階のホールを歩いていたところ、床に水がこぼれていたのに気づかずに転倒した。右膝の所を横に10cm以上の裂傷が出来る出血あり。すぐに圧迫した。	56	417	2		100 ～ 299
2017	10	18～ 19	介護業務中、入居者様の居室から廊下に出た直後、不穏な状態になっていた認知症の別の入居者様から左胸部を背後から一回殴打され、打撲した。	49	911	90		10～ 29
		15～	利用者様居室内で、おやつの声がけのため訪室時、ベット横付近の					10～

2017	10	16	床が利用者様の放尿により濡れており、気付かず足を滑らせ転倒。転倒時に左手をつき骨折した。	58	416	2	29
2017	10	17～ 18	事務所内にて、床に置かれたホワイトボードにしゃがんだ状態で記入中、後方にある電話が鳴ったため、電話に出ようと立ちあがり方向を変えたときに右膝を捻った。	26	921	19	10～ 29
2017	10	16～ 17	療育を行う指導訓練室において、支援（遊びを通じた療育）利用児に髪を多量に引っ張られ、左腕を強打（床に）し、骨折する。5分程度立つことができなかった。床はタイルカーペット、窓は閉めていた。複雑な転倒のしかただったので、左腕をどのように強打したかは本人は自覚がない。強打の後直ぐに左腕に激痛があった。	50	911	2	1～9
2017	10	10～ 11	介護施設内にて利用者を車椅子からトイレへ移乗する介助中に発生。利用者は介助度が高く、移乗する際は被災者を含め2人で介助していた。被災者はトイレ介助をしようと、車椅子からトイレの便器に座らせるため、利用者を立たせ、被災者は中腰になりズボンと紙おむつをひざ下まで降ろし、中腰のまま利用者を正面に向かせようとしたところ、腰を右方向に強く捻ってしまった。	59	921	19	50～ 99
2017	10	16～ 17	児童館において、児童同士のトラブルを回避しようとしたところ、体重86kgの男児が突然当該指導員の右足の上に倒れ込んできて、右足首から甲にかけて負傷した。	70	921	6	10～ 29
2017	10	12～ 13	県営住宅に居住されている利用者様を送り時、玄関まで1mほどの段差を段差解消スロープを使用して押し上げていた時、当日は生憎の雨天で、段差下の屋外で雨に濡れていた段差解消スロープ上で滑り、右階段側に横転する。県営住宅入り口で狭く、スロープを渡すと通路側の中に余裕がなく、横転時に逃げ場がなく受傷に至る。県営住宅は5階建てで、受傷現場は北側入口の1階昇降口。	60	413	2	50～ 99
		16～	車椅子使用の施設利用者を事業所のワンボックスカーで移送中、路地から県道に出ようと発進したところ、右方向より自動車が接近し				

2017	10	17	てきたため、運転手がブレーキを踏んだ途端、利用者の様子を見ようと立ち上がった被災者がバランスを崩して転倒した。	42	231	2	—
2017	10	20～ 21	ホーム内にて利用者さんのオムツの交換をする時、上体を少し上げようと引き上げた時、利用者さんがベットの柵を持ち踏ん張られたため、その際に腰を痛めた。	24	911	19	100～ 299
2017	10	18～ 19	有料老人ホーム2Fにて作業中に入居者様の体調不良のコールがある。その対応に向かうため小走りになったところで床に滑って転倒した。（一瞬めまいがしたとの報告有り）転倒時に後ろに手をつき、手から異常音がなり、そのまま動くことが出来ず、他の職員を呼んで対応。	55	417	2	50～ 99
2017	10	12～ 13	厨房内にて食器を出そうと乾燥機へ向かう際、足を滑らせ転倒した。	69	417	2	50～ 99
2017	10	13～ 14	当事業所（有料老人ホーム）にて、利用者のオムツ交換時に右手人差し指を握られた状態になり、その際、痛みを感じたがそのままオムツを交換した。その後、痛みが強くなった。右手人差し指の関節と靭帯を痛めていると診断された。	56	921	99	10～ 29
2017	10	10～ 11	入所者の居室に介護のため入ったら尿失禁で床が濡れていた。床が濡れていることに気が付かなかったため、足が滑り、尻餅をついた状態で転倒する。	58	417	2	10～ 29
2017	10	12～ 13	1階デイサービスの身障者用トイレにて、利用者（77才女性、要介護4、右半麻ひ、立位に関して動作協力あるが緊張拘束あり）のトイレ介助のため、前方から利用者の両脇に手を入れ車椅子から便座へ移乗する際、便座に浅く座り前のめりになり落ちそうになった。咄嗟に支え、両脇を抱え座りなおそうとしたが、利用者は左手でL字バーを強く握っており、持ち上げた際、右肩・上腕あたりで「ピチッ」と音がし、激痛が走った。	55	611	19	100～ 299
		14～	体育館で利用者の方と一緒にソフトバレーボールをしていて、ボー				10～

2017	10	15	ルをとろうとした際に右足をくじいた。検査したところ右アキレス腱が断裂しており、手術を行った。	51	921	19	29
2017	10	12～ 13	体育館をモップで掃除中に転倒し、左アキレス腱を断裂。	42	417	2	10～ 29
2017	10	8～9	当施設において利用者の居室でオムツ交換のため車椅子からベッドへの移乗時に、被災者は利用者の脇に両腕を差し込み、抱えて移乗させようとした。その際、突然利用者が車椅子を左手で掴んだためバランスを崩し、利用者を落としそうになったため右足に力がかかり右膝を負傷した。	41	911	19	30～ 49
2017	10	14～ 15	キャンプ場にて、利用者さんに向けてレクリエーションを行っている時にガッツポーズをした際、左足首に痛みを感じてうずくまった。左アキレス腱が断裂していた。	38	921	19	10～ 29
2017	10	10～ 11	入浴介助中、バスタオルが少なくなったため、別の場所のリネン庫に取りに行く。リネン庫の中段に置いてあるバスタオルを左手に取り、浴室へ戻ろうと向きを変えた時に左足が滑り転倒した。	42	416	2	50～ 99
2017	10	12～ 13	利用者を自宅に送りに行き、玄関ドアを開けたところ、飼い犬が飛び出してきて左足をかまれた。逃げたときに転倒して右足を骨折した。	41	719	8	30～ 49
2017	10	15～ 16	社用車で直進中に、反対車線の店舗から大型トラックが左折してきており、はみ出て来ないだろうと思ってそのまま走行していたため、こちらの走行車線に出てきたところに衝突してしまった。	32	221	17	1～9
2017	10	16～ 17	事業所で入居者を車イスからベットへ移乗させようとした際、腰を捻り骨折した。	53	921	19	30～ 49
2017	10	17～ 18	会社駐車場で、帰宅のため社用車と自家用車の入れ替え作業後、はずみで1m50cm位下の公道に転落した。体の左側を強打したが、とりあえず帰宅。痛みがひかず、骨折が判明し入院する。	53	417	1	30～ 49
2017	10	12～	厨房にてパイプ椅子に上がり棚の拭き掃除をしている際にバランス	68	371	1	50～

		13	を崩し、コンクリート床に転落した。					99
2017	10	12～ 13	利用者の自宅で利用者のベッドをキャッチアップで45度位起こし、両足をベッドからおろし、利用者の上半身を起こした。そして、ベッドの端に浅めに座ってもらい被災労働者が利用者の両脇から腕を通し利用者の背中に手を回して腰を低くし、前傾姿勢で抱えた時に、痛みが生じた。	70	921	19	1～9	
2017	10	9～ 10	入居者の部屋でバケツの水とモップを使いながら床のふき掃除を終わらせ振り返った時に床が濡れていて滑って転倒する。腹ばいに倒れたまま左腕を動かそうとすると激痛が走り、ぶらぶらとして全く動かない状態だった。右腕で体を支えながらなんとか起き上がりスタッフに大声で助けを呼ぶ。その場で簡単に固定してもらった。レントゲンで骨折と診断。	64	417	2	10～ 29	
2017	10	10～ 11	夜勤明けで帰る際、会社の外階段を使い3階から下りているときに、2.5階から2階へ下りる途中に足を踏みはずし転落して右足首を捻挫した。	60	413	1	30～ 49	
2017	10	18～ 19	障がい者のグループホームの支援を終え、次の支援先へ徒歩で移動中、側溝の溝蓋と溝蓋の間の15cm程の隙間に左足を落とした際、体勢を崩し右足で踏ん張り右足を強打した。	58	417	2	10～ 29	
2017	10	9～ 10	職場内2階より作業を行うため1階へ移動中の階段で足をふみはずし転倒した時に、左膝をつき負傷した。	59	413	1	10～ 29	
2017	10	13～ 14	施設玄関から、駐車場への段差において、倉庫に置いてあるチャイルドシートを取りに行こうとして、前向きに降りたところ、段差の高さが16.5cmあり、着地した左足首に意識していなかったため負担がかかってしまい、左足首を痛めた。	48	419	19	10～ 29	
2017	10	8～9	小学校の体育館で保育園の運動会の準備をしている時、靴下をはいていたため、滑って転び、左手をついてしまった。	55	417	2	10～ 29	
2017	10	11～	園庭で園児と遊具の片付けをする際に園庭のくぼみ部分に足をとら	43	417	2	10～	

		12	れて捻った状態になった。					29
2017	10	12～ 13	調理室の冷却機とスチームコンベクションオーブンを使用後片付けをしている時に、機械（スチームコンベクションオーブン）が止まったので、中を掃除しようと扉を開けたら、近くにいたために中のスチームを顔に浴びてしまい、熱傷した。	48			12	10～ 29
2017	10	17～ 18	厨房内シンク横を通過しようとした際に床にこぼれていた水に足を滑らせ転倒しそうになったため咄嗟に右手をついた。	58	417		2	30～ 49
2017	10	4～5	お客様宅にて訪問介護中、台所の床にこぼれているものを踏んでしまい、確認のためにしゃがんで立ち上がった際にガスコンロにかけてあった沸騰したお湯が入ったヤカンに手が当たり、ヤカンを落とし、熱湯で両足の甲を火傷した。さらに慌ててヤカンを拾おうとして、右手でヤカンに触れてしまい右手手首から手のひらにかけて火傷した。	54	379		11	10～ 29
2017	10	9～ 10	施設2階北側の窓が台風強風により前後に勢いよく動き雨風が室内にふりこみ網戸が廊下に落下していたため、窓の左側に手を入れ手前に戻そうとした時に強風で窓が閉まり左腕を挟んでしまった。	54	419		7	30～ 49
2017	10	10～ 11	建物2Fの食堂を他居室で医療処置施行中に呼ばれたため、走って通過中、カウンター中央のテーブルの端に左大腿部をぶつけた。受傷時、痛みと腫れは無く仕事を続けるが、痛みと腫れが出る。	53	419		3	50～ 99
2017	10	16～ 17	当日は入所者の洗濯物担当で洗濯物を整理する畳部屋から洗濯場へ行く時（畳部屋と洗濯場は10cmの段差がある）、中腰で靴を履く際にバランスを崩し右足を捻り、右足くすり指を骨折する。	63	417		2	50～ 99
2017	10	9～ 10	1才児の保育室の右側付近で、1才児12人に3人の職員でおやつを食べさせていた。おやつ終了後に担当する1才の園児が機嫌が悪くなり激しく泣くため落ちつかせようと抱き上げた。3～4分程抱いたまま、室内を歩き回ると落ちついて泣きやんだため保育室の左側の畳の上に中腰の状態でおろそうとしたところ、腰の骨がずれたような感覚があり痛みが出た。	25	911		19	10～ 29

2017	10	14~ 15	運動会に参加時、マシュマロキャッチ競技中に使用していた粉が床に落下していたため、右足を滑らせた。右側頭部から倒れそうになり、咄嗟に床に右手をついた。その時、右手首に激痛が走り、腫れた。	58	416	2	100 ~ 299
2017	10	15~ 16	帰りの送迎のため、利用者様を車内へ誘導し、中腰姿勢にて、利用者様を座席へ安全に座わらせた後、次の利用者様が車内へ乗り込んで来たために、十分な誘導スペースが無く、中腰姿勢のまま振り返り、利用者様を安全に誘導しようとした際に、腰からお尻にかけて痛みがはしたが、その後そのまま送迎業務を行う。	39	921	19	50~ 99
2017	10	14~ 15	台所のカウンター前において、お膳を下げていく際、床にこぼれた水で足を滑らせ転倒。痛めていた右膝を捻ってしまった。違和感あり、湿布を貼り様子観察。入院しての加療となった。	73	417	2	10~ 29
2017	10	16~ 17	リハビリ介助中に首の痛み手足の痺れが出現し始めたが症状が治まったためしばらく様子を見ていたが、リハビリ介助を終えパソコン入力中にまた同じような症状になり頭痛が酷くあったので血圧を測ると165/110あり、後日再度同じ症状があらわれ、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニアと診断。	43	921	19	100 ~ 299
2017	10	15~ 16	利用者の居室で洗濯物をタンスに収納し、振りむきざまにコンセン トの線に引っ掛かり転倒した。	70	419	2	50~ 99
2017	10	14~ 15	利用者と着席しレクリエーションの一環として五目並べをしていた時、トイレから出て来た別の利用者の後頭部を1回こぶしでおも いっきりなぐられた。	57	921	90	1~9
2017	11	11~ 12	施設の玄関ポーチの電球を交換中、靴に雪がついていたため足が滑って70cm程の脚立から転落した。掴まるようなものもなかったのでお尻から落ちた。立ち上がろうとしたが出来ず、四つ這いで施設内に入り管理者へ報告した。そのまま施設の車で病院へ連れて行ってもらい受診した。	68	371	1	10~ 29

2017	11	18～ 19	キャスター付のデスクチェアを踏み台にして壁掛けカレンダーを取ろうとしたところ、不安定な足場のためバランスを崩して仰向けに転倒し、背面を強く床に打った。	52	379	1	30～ 49
2017	11	6～7	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	64	911	90	30～ 49
2017	11	5～6	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	33	911	90	30～ 49
2017	11	23～ 24	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	19	911	90	30～ 49
2017	11	10～ 11	1歳児の保育室で数名の子どもを保育していた（4、5名）、A児がソファで休息していた所にB児がソファに向かい座ろうとした際、場所の取り合いになりB児がA児の体の上に乗ろうとするのを止めようと、正座の姿勢からB児を抱えようとした為バランスを崩し、左脚を捻ったことで左脚外側が痛み、膝の曲げ伸ばしが出来なくなり受診した。	27	921	19	10～ 29
2017	11	8～9	日勤業務にてユニット内利用者居室前にいたところ、他のスタッフから手伝ってほしいとの依頼があり、他の利用者の居室に向かおうとしていたところ、左足が滑ってしまったことで、左膝が内側に急激に曲がってしまい、左膝を負傷した。	33	417	19	30～ 49
2017	11	15～ 16	事業所建物内の玄関前廊下で、職員が対応していた児童Y氏に対して、「一度活動室に戻って次の予定を確認しよう」と促すと、児童Y氏は職員の前腕を回して自分の方へ引っ張る様子があった。その後、職員に対して両手を振り下ろす様子があり、振り下ろした両手が職員の前腕にぶつかり、数日後、職員から痛いとの報告があり通院した。	69	921	6	10～ 29
2017	11	14～ 15	事業所駐車場で社用車から降車し、事業所入口に向かって歩いていたところ、凍結路面で転倒し、股関節を強打した。一旦事業所内に戻ったが激痛が続いたため、職員に付き添われ整形外科を受診し	54	719	2	10～ 29

			たところ、右大腿骨頸部骨折との診断を受けた。				
2017	11	8~9	事務室に送迎用の携帯電話を取りに行こうと廊下を小走りしたところ、左足が床に躓きとっさに右足で踏ん張ったが踏ん張りきれずに転倒し痛みがあったため即時通院となる。躓いた時に足首が反る形となり体重が乗り負荷がかかったと思われる。	59	417	2	10~ 29
2017	11	7~8	出社時、施設内駐車場に車を止め、施設内に入る途中で道が凍結していた為、滑って転倒し、その際、腰及び脇腹を地面に強打し負傷した。	63	719	2	30~ 49
2017	11	9~10	事業所内で、利用者さんの飲み終わった湯呑みを下げようと台所に運ぶ際に右足首を捻った。そのまま、業務を続けたが、当日午後から痛みがひどくなった。翌日（日）の業務は右足を引きずっていたが休診のため、その翌日（月）に受診となった。受診後、右足首捻挫の診断で、じん帯も切れており装具の使用指示あり、2週間ごとの受診で改善せず、後日にMRIを実施し、右距踵関節骨挫傷で2週間の診断書が出て、休業に入る。	54	417	19	10~ 29
2017	11	14~15	訪問入浴介護の為、利用者様宅へ訪問時、移動入浴車から降り、両手に荷物を持って玄関へ向かう途中、路面が凍結しており、足元が滑り、前のめりに転倒した。右膝を強打し、アゴを擦り剥いた。	64	719	2	50~ 99
2017	11	9~10	デイサービスの利用者様宅へ社用車で向かう途中にて、前日の雪の影響でぬかるんでいた道路にタイヤがはまり、被災者一人で3分程前屈みの状態で押し出そうとしていた際、腰に痛みが出た。タイヤがはまった場所は農道で、被災者は運転席側のドアを開けた状態で自動車の外からハンドルと車体を押し、車を押し出そうとした。	31	231	19	50~ 99
2017	11	8~9	保健福祉センターにて介護予防事業の準備で椅子を並べる為、広場左側の舞台袖から椅子39脚を乗せたポーターを出そうと引っ張り出した際、ポーターごと本人に向かって倒れ背中から腰部を強打した。	43	362	6	100 ~ 299

2017	11	12～ 13	被災者が利用者様と脱衣所から浴室へ誘導する際に、その利用者様から、ホールから脱衣所に通じる出入口のドアを閉めるよう依頼された為、素足で出入口に向かったところ、出入口の手前のコンクリート床で転倒した。その時、体右側から床に転倒した。	50	719	2	50～ 99
2017	11	19～ 20	介護施設内において、利用者を車椅子からベッドに移動する為、相手を抱えて持ち上げ、移動する時に強い痛みが腰に発生した。	58	921	19	10～ 29
2017	11	9～ 10	戸外において、3～5歳児の戸外遊びの保育従事中に危険箇所（犬走りの段差）に上がった児童を注意しようと、身体の向きを変えようとした際に、バランスを崩し、左足首を捻ってしまったものである。	62	921	19	10～ 29
2017	11	10～ 11	職員が浴室で入浴介助業務を行っていた。利用者の体を洗おうと少し屈んだ際に腰に少し違和感を感じたので気を付けていたが、大浴槽から屈んで洗面器でお湯を汲もうとした際に、腰に激痛がはしり動けない状態になった。	33	921	19	10～ 29
2017	11	9～ 10	ご利用者様居室の掃除の際、家具に右足をぶつけ、右足の薬指を骨折した。	57	379	3	50～ 99
2017	11	13～ 14	施設内会議室で健康診断準備のため机等を移動中、紙折り機に右足踝上部を引っ掛け擦り傷が出来た。その後、昼頃より足が着けな い程の痛みと腫れがあった。	45	391	3	50～ 99
2017	11	11～ 12	施設内洗濯室において、小上がりにかかる際に畳に足を滑らせ、右手をつくようにして転倒した。右手に痛みがあり、右手首が腫れてきたため早退し受診した。	59	416	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	特別養護老人ホームで発生した。入居者N様をトイレ後手つなぎ歩 行で移動しようとした際、N様がバランスを崩し、その場に尻餅を ついた。被災職員がN様をかばおうと左側から倒れ、床に腰を打っ た。	60	911	2	100 ～ 299
			午後の日課で創作活動中、特に動きの活発な重度の女性利用者52				

2017	11	15～ 16	才、支援区分6を見守りしながら支援していたところ、作業室にある椅子を倒し始めた。他の利用者が怪我をしないように制止しようとして、利用者の所に駆け寄ったところ躓き転倒し右肩を骨折した。	59	417	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	社用車を運転中、犬が北側から南側へ横断したために、ハンドル操作を誤り、道路右側の電柱に衝突し受傷したものである。	59	231	17	10～ 29
2017	11	17～ 18	デイサービスの送迎を終え、センターへ戻る途中、交差点で右側から出て来た車と接触した。ブレーキを掛けたが間に合わなかった。	28	231	17	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	リネン庫から、バスタオルを取り、浴室に補充に行ったところ、内側から浴室のドアを閉める際に左手指を挟んでしまった。	64	419	7	50～ 99
2017	11	15～ 16	荷積中にボックス台車が転がって来て左足を轢かれてしまった。安全靴を履いていたものの、左足小指を骨折した。何で動いてきたかは不明である。	20	719	90	50～ 99
2017	11	15～ 16	当社、廃棄物等選別場にて廃棄物運搬車のコンテナから廃材を降ろす作業中、コンテナの扉を開けた時に廃材が荷崩れを起こし、その中の角材が落下し左の足首付近に当たり負傷してしまった。	45	911	19	50～ 99
2017	11	19～ 20	客先で荷を降ろそうと荷台に乗り、作業を開始しようとした際、足を滑らせてしまい、被災者の不注意により、荷台から転落し、腰、背中、首を打撲し負傷した。	60	379	19	50～ 99
2017	11	9～ 10	工場の作業現場で、製品を入れたプラスチック箱（550×550×640cm、約2kg）を1段、2段、3段と積み上げ作業をしている時に、突然背中に痛みを感じたので、病院に行き診察してもらった（レントゲン写真）ら、圧迫骨折をしていた。	40	715	11	10～ 29
2017	11	16～ 17	荷降ろし作業中、トラックの前で待機していた際、フォークリフトがトラックの前で一旦停止したが、傾斜地でサイドブレーキが引いていなかった為、動いてしまい、フォークリフトの爪の先端とト	36	911	90	300 ～ 499

			トラックのタイヤに挟まれ、左下腿部を負傷した。				
2017	11	16～ 17	洗浄室で洗い終わったバットと汚いバットを選別している途中、床が濡れていて足を滑らせ転倒した。転倒時に両足を前にし、お尻をつき、その際右手も一緒について右手首を骨折した。全治1ヶ月と診断される。	30	413	1	10～ 29
2017	11	11～ 12	外注先で、4tトラックの荷台で荷卸し中に、荷締めフックから手が外れて荷台から床に尻より落下した。更に機械工場のピットの中に落ち、機械に右側の頭を当て、頭の右先端を裂傷（3cm）し、5針縫う。又、手の指先（両手）に痺れがある。話は正常に出来る。	37	911	19	100～ 299
2017	11	15～ 16	厨房内で排水溝の掃除を始めようと蓋を開けた時、腰を捻挫した。	53	417	2	300～ 499
2017	11	19～ 20	事務仕事をしていた際、一度離席し、再度、着席しようとしたが座り方が浅く、椅子に座れず、床面にでん部（尻部）を強打した。その時は痛みはあったもののそのまま業務した。翌日になっても痛みが引かず病院に行ったところ、打撲と診断された。	58	391	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	被災者は木造建物平屋の解体作業の重機手元・相番作業に従事していた。その日、解体途中のフロアで残材を撤去する為に当該場所に立ち入り作業をしていた際、隣接エリア（同建物）の解体をしていた重機の振動により、天井の仕上材（木下地+ラスモル）が落下し右前腕、右足に当たり被災した。	67	417	2	50～ 99
2017	11	11～ 12	工場で作業中、組み立て後のH型鋼門形（横202cm、縦179.5cm、コ型、重さ400kg）を本溶接するためにクレーンで吊り上げた。その際、少し回ったため手で押さえようと近づき、誤ってH型鋼門形の下に足を入れたため鋼材が安全靴の上に乗ってしまい、挟まれ負傷した。	48	379	3	10～ 29
			作業場で翌日の現場の準備で足場板を運んでいたところ、誤って転				

2017	11	16～ 17	倒して右手をついた際に担いでいた足場板を右手に落としてしまい負傷した。	53	417	2	30～ 49
2017	11	16～ 17	廊下を移動中に、一部が濡れているのに気付かず、足を滑らせてしまい、右足から臀部にかけて床に打ち付けてしまった。	50	921	19	10～ 29
2017	11	12～ 13	当方バイクは交差点で赤信号で停止後、青信号に変わったので交差点に直進で進入した。相手軽四輪は、当方の左側から赤信号の交差点に直進で進入してきて、交差点の真ん中で当方の左側面に衝突した。当方は右側に転倒して怪我をした。相手は事故を起こした交差点の一つ先の交差点の信号を見ていて、手前の交差点の信号は見えていなかったと証言している。一つ先の交差点の信号は右折の青矢印信号だったとのこと、相手は一つ先の信号だけ見ていたので、当方のバイクに気付いたのはぶつかる直前だったとのことである。	57	362	2	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	豚肉の加工場内での作業中、豚肉を押して整えようとして手を下に伸ばした時に右肩甲骨の下の方に鋭い痛みがあった。その後もかばいながら仕事をしていたが、その後、腕が上がらなくなった。	65	911	19	10～ 29
2017	11	6～7	病院の敷地に入ったところを歩いていて、傾斜が急になっているところで左の足首を負傷した。	38	921	4	50～ 99
2017	11	13～ 14	店舗調理場内にて、飲料水を取りに行った時、濡れた床面に足を取られ転倒し、尻餅をついて負傷した。	57	611	4	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	キッチンの洗い場で、後片付けの為に冷板を拭いていたところ、洗い場のカゴの中にペティナイフがある事に気付かず、タオルがナイフに引っ掛かりナイフの刃が上を向いてしまい、そのまま右手親指下の所を刺してしまった。	55	417	19	50～ 99
2017	11	16～ 17	園舎西側階段を下降中、踏み外し、転倒し、右脚を負傷した。	60	413	2	30～ 49

2017	11	13～ 14	訪問介護先（1人暮らし、要介護1）で、掃除・調理の作業をしている時に玄関チャイムが鳴ったので玄関に行った際、上がり框で足を踏み外した。“ボキッ”と音がし、痛みを伴ったため事務所に連絡を入れ病院へ行った。	57	417	3	10～ 29
2017	11	19～ 20	特別養護老人ホーム施設内で利用者を車椅子からベッドへと移乗しようとした際に、利用者の男性の体重が重くしかも片麻痺による傾きと拘縮が強く更に排便した状態であったため不安定な姿勢での移乗をせざるを得ず、移乗を行った時に激しく腰を痛めた。なんとか身動きがとれたため職務を続け夜勤を終えた後に受診した。	32	911	19	100 ～ 299
2017	11	18～ 19	訪問先から自転車で帰社し、事業所内駐輪場に停めようとして左足をついて降りた時、ハンドルがぐらついて慌てて右足を着地した際に、右足腓骨にヒビが入り、受傷した。	44	362	3	30～ 49
2017	11	14～ 15	特養のトイレにて、入居者の排泄介助中、車椅子の側方から前傾姿勢になり左腕で腰部、右腕で臀部を支え持ち上げ、立位してもらった際に、入居者が膝折れしたためそれを支えようとしたところ、負荷がかかり右肩甲骨に激痛、その後右腕全体に痺れと鈍痛の症状が出た。	58	921	19	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	利用者宅にて、洗濯物を干すために家の中の階段を上って2階に行く際、最後の段で躓いて前のめりになり踊場に右肩を下に転倒した。	76	413	2	50～ 99
2017	11	12～ 13	介護サービス中に雨が降ってきたため、ベランダに干してあったまな板を取り込もうとし、距離が近かったため右足はベランダで左足が室内にある状態で取り込もうとしたら、滑ってしまい右足は前へ左足は外側に曲げた状態で転んでしまった。	64	417	2	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	仕事の引き継ぎをしている際に、貧血を起こして倒れ、右肋骨の骨折、および、頭部の腫れ。 ※床、手摺りに身体を打ちつけた。	56	921	90	10～ 29
			訪問介護活動後の報告のため、自転車に乗り事務所へ向かっている途中、交差点を横断していた時、前方の自転車が急停止したため、				

2017	11	17～ 18	それを避けるため、咄嗟にハンドルをきった際、電柱にハンドルを握っていた右手指の付け根、甲部を強くぶつけてしまった。その日は、患部を湿布し自宅療養したが、翌日、痛みも治まらず、腫れてきたので受診した。	55	362	17	50～ 99
2017	11	11～ 12	お客様宅を出て、自転車を停めていた場所へ移動する際、段差に躓き転倒し、左足を地面に強打した。左膝に切り傷・あざ、左足くるぶしに腫れが見られるも2件ケアに行き、腫れが悪化してきた。左足くるぶしの骨折と診断された。	49	417	2	—
2017	11	11～ 12	おやつを乗せたカートから中身を取り出し、該当ユニットの配膳車の上に載せる作業をしていた際、カートからおやつを取り出そうと前かがみになっていたところ、後方から流れてきた配膳車に腰と臀部がぶつかりその衝撃で転倒し、後頭部を打ち首に痛みを感じた。	64	362	6	300 ～ 499
2017	11	10～ 11	ホールで1才児クラスの子ども達とリズム遊び（トンボ）をしている時に、リズムに合わせて走ったり、止まったりしていた時にコーナーを曲がったところ右膝が「ボキッ」と音を立て、痛みが走り足が動かせなくなる。	61	921	19	30～ 49
2017	11	11～ 12	当社営業所デイサービス施設調理室にて利用者の昼食調理中、天ぷら鍋で冷凍のフライを揚げている時、揚げ油が右手人差し指と薬指に跳ねて火傷した。	65	391	11	30～ 49
2017	11	10～ 11	調理の業務後、調理した物を保育室に配膳する際、調理室と保育室を隔てるベビーゲート（高さ約80cm）にぶつかり後方へ転倒したことで負傷した。	48	418	2	10～ 29
2017	11	13～ 14	胃ろうの方をリビングからお部屋に移乗し、車椅子からベッドへ移乗の際にフットレスが開かず、足先が引っ掛かり、一度抱えてベッドにのせる時に腰を捻り、「ギクッ」と音がした。その夜から鈍痛があり、その後歩き出せなくなる。（身長160cm、60kgの女性の対応）	52	911	19	50～ 99

2017	11	5~6	5階フロア廊下で、オムツ交換後、台車にオムツを補充するため取りに行こうと振り返り歩き出した際、ソファの脚に右足を強打した。	43	419	6	~ 299
2017	11	18~ 19	利用者宅より事業所へ帰社途中、交差点を渡り、自転車道を走っていた時、左後方のコインパーキングから出ようとしていた車にぶつかけられ、自転車ごと倒れ、負傷した。	61	231	2	1~9
2017	11	11~ 12	ご入居者様の居室で、ベッドより車椅子へ移乗のため、ご入居者様を抱えたところ、自身の体勢とタイミングが合わず、背中からコキッと音がした。そのまま動くことは出来たが、帰宅後痛みが出てきたが、我慢をして生活していたが、痛みもあったので、病院を受診し、骨折と診断された。	51	921	19	50~ 99
2017	11	19~ 20	当法人施設内2F入居者居室において、入居者（女性、体重約40kg、認知症あり、全介助）の介護業務に従事中、当該入居者を車椅子からベッドに移乗させようとしたところ、不慣れであった為バランスを崩してしまい、転倒しないよう踏ん張った際、右足の膝に負荷が集中してしまい、筋を負傷した。	58	921	19	50~ 99
2017	11	14~ 15	睡眠して子供がうつ伏せで寝ていたため、仰向けにしようと中腰になっていたらビリビリと感じた。今度はおやつの準備をしていて、又ビリビリして動けなくなった。約1時間くらい動けなくなり座っていた。	25	921	19	10~ 29
2017	11	14~ 15	放課後等デイサービスで子どもの相手をしている時に、フロアにおいて、泣き出して外に出ようとドアから離れない子ども（靴を脱いで中に入れられない子ども）を、ドアの通行が出来るよう、又、子どもが場所を移動して落ち着けるよう、子どもを抱き上げ、移動した。その際、姿勢を崩してしまい、腰に大きな負担がかかり、歩行も困難なほどの持続的腰痛が発生するに至った。	50	911	19	1~9
		12~	当社介護付有料老人ホーム施設2階談話室にて利用者の昼食の下膳を手伝っていた時、食器の種別ごとに分けて置く際、忙しくなって				100

2017	11	13	急いで慌ててしまい、体の向きを変えようとして誤って配膳用のワゴンの脚に足を引っ掛け仰向けに床に転倒したものである。	64	362	2	～ 299
2017	11	9～ 10	支援のため就業中、利用者宅の庭で、デイサービスに行く為、車椅子に乗っている利用者を昇降機にて降下させようとした時、下降動作の妨げとなるレバーを外していたところ、車椅子が動き出し車椅子ごと利用者が転落し、下敷きになって、腰部圧迫骨折をした。 (利用者は車椅子の重さを含め80kg以上。)	57	391	4	30～ 49
2017	11	8～9	自宅からお客様宅にバイクで移動中、停車していたタクシーが突然目の前に割り込みをして来たため、避けようとして転倒した。タクシーと接触したが、タクシーはそのまま逃走してしまった。	29	231	17	10～ 29
2017	11	17～ 18	車椅子のお客様Aが、棚から荷物を降ろすためにフロアに背を向けて立っていたお客様Bのいる方向へ速いスピードで自走していた。二人の接触を防ぐために駆け寄り、まず両腕でAの車椅子を持ちブレーキをかけて、その後、右腕を二人の間に入れて人がいると分かるようにBの頭から背中辺りを軽く触れた。左腕は車椅子を持ったままにしていた。この時に身体に強い力が加わり負傷した。	58	921	19	30～ 49
2017	11	11～ 12	厨房において、沸騰したスープカップを入れたホテルパンを、デイサービス用の保温庫に入れる際、とても熱くなっていたホテルパンの横の部分左手人差し指・中指・薬指で触れてしまい火傷をした。	33	715	11	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	入居者様居室にて、ベッドから車椅子へ移乗する際に入居者様の膝が曲がり、腰部を痛めてしまった。支える為、自分の膝をのぼした。ご入居者様は左腕が欠損しており、左足麻痺である。	22	911	19	30～ 49
2017	11	17～ 18	お客様送迎時、お客様のご自宅玄関に段差があり転倒した。気付いた時には顔面を強打しており、詳細は覚えていない。	60	417	2	10～ 29
2017	11	16～	老人ホーム居室内、ベッド上の入所者のオムツ交換をしている時、前傾姿勢をとっていたら、背中からピキッと音がして激痛がした。	35	921	19	50～

		17	痛みで座り込み動けなくなりました。オムツ交換作業は通常と変わらない動作で行っていた。				99
2017	11	13～ 14	利用者宅の浴室内で掃除をしている時に、足を滑らせ転倒し、尻餅をついた。	73	416	2	10～ 29
2017	11	16～ 17	訪問入浴介助サービスにおいて、入浴後の浴槽からベッドへ利用者の移乗介護を行う際に左肩に違和感を覚え、その後、翌朝になり、痛みを感じ、左腕を上げることが出来なくなったので医療機関に受診する。	28	911	19	10～ 29
2017	11	13～ 14	電動自転車で利用者A宅からB宅へ移動中、B宅近くにあるスーパーの駐輪場に自転車を止めようとして、（日頃B宅で仕事をする時によく利用している）駐輪場に入る途中の坂道でバランスを崩して転倒してしまった。	66	362	2	50～ 99
2017	11	11～ 12	ふるえがあり、腰椎が変形しているご利用者様を支えお風呂へ誘導中、何らかの拍子に体勢が崩れ2人共に前傾姿勢になってしまった為、ご利用者様に声かけをして体勢を整えようと後方から体を引き戻した際、介助者の左腰から足にかけて痛みがはしり同部位を負傷した。	34	921	19	10～ 29
2017	11	4～5	当社介護付有料老人ホーム施設内居室にて利用者のオムツ交換の時、ベッド上で交換をしている時入居者が急に足を閉じようとしたため相手の膝が職員の胸に当たってしまい負傷したものである。 （入居者は認知症身長140cm、体重37.1kgの方）	81	911	6	50～ 99
2017	11	11～ 12	居室トイレにて、入居者の排泄介助のためトイレ便座と車椅子との移乗介助中、トイレ内で狭いため、入居者が立位保持出来ずよろけ崩れ落ちそうになったのを左手で支えたところ、体重が左手のみにかかり左肩に激痛がはしった。	49	911	19	30～ 49
2017	11	10～ 11	事業場内利用者用浴室にて、入浴介助を行っていた。浴室から脱衣所にスリッパを履きながら移動したところ、出入り口に敷いていたバスタオルが濡れていたため足を滑らせ転倒した。転倒の際	62	417	2	30～ 49

			に、右手首付近を臀部で踏んでしまい、受傷した。				
2017	11	8～9	2階から1階への階段手すりの拭き掃除をしている時に、途中踊り場1段より左足から踏み外し転倒し左足首靭帯断裂・骨折をした。わずかな段差が見えていなかった為、段差があると認識していなかった。	49	413	2	10～ 29
2017	11	23～ 24	夜間巡回の為、療養室（多床室4人部屋）へ訪問し、ご利用者の排泄介助・巡回を終えてサービスステーションへ戻ろうとした際、ご利用者用のベッドから転落緩和の為に設置していたマットレスに躓き、両手を上に上げた状態で倒れ、右肩を下に打ちつけてしまった。その後、仮眠の時間だったので、横になったが痛みが治まらず、夜勤看護に指示を仰ぎ、勤務終業後受診したところ、骨折していた。	50	417	2	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	利用者と一緒に消防訓練を行った。利用者を抱きかかえて非常口の段差をおりるという訓練時、バランスを崩して利用者を抱きかかえながら倒れた。	38	417	2	30～ 49
2017	11	15～ 16	E棟中央廊下で、気持ちが悪化していた利用者の鞆の紐が首に巻き付き、首が絞めつけられた。気絶寸前になり、他2名の職員に助けられたが、首・肩を負傷した。	36	719	99	500 ～ 999
2017	11	16～ 17	入浴時の脱衣介助時、入居者様に左腕を引っ張られ、肩を痛めた。翌日、就寝準備の為の更衣中、再度、左腕を引っ張られ、肩から背部を痛めた。その後、介助中、左肩をかばう為、背中腰の痛みが出現した。	27	911	19	10～ 29
2017	11	9～ 10	2歳児保育室前の廊下から外に出たところで、子ども達が育てたミニ・キャロットの収穫を活動に取り入れ、記念に写真を撮っていた。（保育士A）視線が合わずに横を向いてしまう子どもがいたので、視線をカメラに向けようと急いで廊下から10cm程の出入口を降りようとした時に、膝に激痛を感じた。	54	921	19	10～ 29

2017	11	13～ 14	居室内でベッド上の利用者（寝たきりで自力の起床は不可能）の排泄介助を行う為、仰向け状態の利用者を横寝状態にした。この際に不自然な体勢となり、背中と腰がつるような感覚とともに痛みが走った。	54	921	19	50～ 99
2017	11	18～ 19	施設内での防災訓練時（水害時の対策として1Fから2Fへ利用者を避難させる訓練）、車椅子に乗った利用者（職員）を階段で1Fから2Fへ避難させる際、職員3名で車椅子を引き上げようと前かがみになったところ、「ボキッ」という音がして腰が痛くなり動けなくなった。	58	921	19	30～ 49
2017	11	15～ 16	特浴室で利用者の入浴前後の着脱と移乗、60kg程の男性利用者をストレッチャーから車椅子へ移乗した際、両手を利用者の脇の下に入れ、ストレッチャーと車椅子の間に立ち、足を大きく広げていた時に腰を捻った。	24	911	19	50～ 99
2017	11	9～ 10	送迎車の清掃をするために施設の玄関を出て車両に向かうところ、玄関から続く足元の点字ブロックに躓き、バランスを崩しよろけて転倒した。その際に花壇に左手をつき負傷した。	66	417	2	50～ 99
2017	11	21～ 22	利用者の居室で、車椅子からベッドに移動した時、ずり落ちそうになったので、持ち上げた時、腰に痛みを感じた。	61	921	19	50～ 99
2017	11	13～ 14	ご利用者様宅の窓の出入口にある踏み台で、片付けのため浴槽を持って出入口から降りようとした時に、浴槽を持っていたため下が見えない状態だったため転倒し、わずかな傷口と内出血が出来た、その傷口からばい菌が入り感染症を引き起こした。	41	371	2	30～ 49
2017	11	10～ 11	利用者様の入浴介助を2人体制で行っていたところ、利用者様のズボンを上げる為、中腰で作業していた際に右の腰がグキッときた。少し前から腰が痛かった。（1人で介助するのが大変な方だったため2人体制だった。）	20	921	19	1～9
			介護利用に同伴し、椅子ごとリフトステップを降ろす際、車後部より右側のリフトステップ側に近寄り立って椅子を受け取るべく待ち				

2017	11	16～ 17	構えていたがカバンを渡されたため、ステップに近付き過ぎた為ステップと地面の間に右側右足第三趾基節骨骨折の負傷を受けたものである。運転手がステッチダウンのスイッチを入れた。	51	231	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	園外学習のスケートを行った際に園児の補助をしていたところ、バランスを崩し転倒した。その際、左手と腰を強打し負傷した。	42	416	2	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	一人暮らしのご利用者宅へ通いサービスのお迎え（送迎業務）に伺った際、2階で過ごされていたご利用者へ乗車のご案内をする為2階へ上がり送り出し介助をし階段を下りている時に、階段の中段付近にて足を踏み外し背中側から階段の段差に転倒し、そのまま階段下まで滑落する。	54	413	1	10～ 29
2017	11	17～ 18	訪問先から事務所に原付バイクにて帰社途中、前方走行車両が道路渋滞により減速・停車していたことに気付かず、減速することなく、車両後部左に追突し、左側面に接触した後、バイクごと転倒した。衝突の際の記憶が不明瞭だが、ノーブレーキでぶつかっている事から、脇見運転が原因かと思われる。警察・救急隊が到着後、救急搬送された。	49	231	17	30～ 49
2017	11	8～9	当法人施設、介護老人保健施設の森内で、階段を上って上のフロアに行こうとしたところ、階段付近の床が濡れており、その為、足を滑らせ、階段に体を強打した。	42	416	2	50～ 99
2017	11	10～ 11	経管栄養のイリゲーター消毒用の大きなバケツにホースから水を入れていたところ、電話が鳴ったので急いで出ようとしてホースに足が引っ掛かり勢いよく転倒し、左膝左手を打った。	64	379	2	100 ～ 299
2017	11	8～9	利用者宅玄関前で、利用者さんが鍵を掛けるのに、邪魔にならないように、一、二歩後ろに下がったところ階段を踏み外し、転倒（左へ）した。	64	413	1	10～ 29
			入居者をソファからベッドに移乗する際に、向かい合って全介助を				100

2017	11	14～ 15	行ったが、入居者様の膝折れがあり、床に落ちそうであったため自分の両膝の間に入居者様の両膝を挟み介助した。その際に右膝を内側に捻って右膝内側を痛めた。	34	921	19	～ 299
2017	11	16～ 17	玄関での転倒事故である。送迎車に装着する児童用のチャイルドシートを室内から運び出す作業をしていた。チャイルドシートを両手で持ち玄関から出ようとした時、玄関外のスロープで躓き、そのまま前方に倒れ込んだ。その際左手を地面に着いたため左手橈骨骨折となった。骨折などしていると思わなかったため、翌日に受診した。	58	417	2	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	施設利用者（体重68kg）の介助作業中、リハビリマシンへ着座させたが、定位置ではなかったため、再度座り直しをさせようと、介助しながら右足を軸に外旋したところ、思った以上に負荷がかかり右股関節部内転筋を痛めたものである。	41	921	19	1～9
2017	11	14～ 15	当社において、休憩を終え2階の持ち場へ行く前に休憩中の業務用PHS指定置き場である4階職員カウンターにPHSを取りに行き、カウンターとラックの間を歩きPHS置き場に右手を伸ばしながら左足を出し取ろうとしたところ、椅子の脚に左足を引っ掛け転倒し、右手をコンセントに接続されたシュレッターのプラグに着き、樹脂部分が折れてコンセントに刺さったまま残っていたプラグの平栓刃に右手が当たり受傷したものである。	27	417	2	50～ 99
2017	11	10～ 11	施設建物の入口玄関ドアにおいて、玄関ドアのサッシを拭いている時に足を捻って転び、立ち上がってサッシを再び拭こうとしたところ、痛みが走りしゃがみ込んでしまい、立ち上がることが出来なくなり、右足首を骨折していた。	50	921	2	30～ 49
2017	11	15～ 16	知的障害者の施設において所属部署の申し送りに参加する為、廊下を走っていたところ上履きのつま先が引っ掛かって転倒してしまった。	60	379	2	50～ 99
		16～	施設内で業務終了後、下駄箱へ靴を取りに歩行していた時、 balan				50～

2017	11	17	スを崩し転倒し、剥離骨折となる怪我を負った。	50	417	2	99
2017	11	11～ 12	施設の正面玄関外で脚立にのり、延長コードの取り付けをしていた際に、バランスを崩し足から地面に落下した。右足に強い痛みがあり歩行不能、病院を受診した。	61	371	1	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	介護保険利用者宅の寝室で、訪問介護サービスをしている時に、利用者がベッドに座って足浴中に床に落ちてしまったので、寝転んでいる状態から助け起こそうとした時に腰に痛みが生じ圧迫骨折を負った。	75	921	19	30～ 49
2017	11	14～ 15	配送先から戻り、トラック（2t車）荷台の荷物搬出作業終了後、荷台から降りる際、後方扉中央部分のヒンジ辺りに右手を掛け、左足を後方バンパーステップに降ろし、右足を地面に着地させ降りるところを、右手がしっかりとヒンジ辺りに掛かっていなかったため、バランスを崩し、地面に滑り落ちた体勢が悪かったため、右手首を複雑骨折した。	64	221	1	50～ 99
2017	11	8～9	ショートステイ入所者様の居室にて、荷物をベッド上に並べデジタルカメラ撮影をする時、並べてあった書籍が落下しそうになりそれを受け止めようとしてベッドの柵に左胸の下を強打してしまった。痛みはあったが、痛み止めを服用し3日間出勤したが、痛みが増し、後日外科へ受診し、第10番肋骨骨折と診断された。	63	921	3	30～ 49
2017	11	14～ 15	法人の敷地内の地域交流センターにて、長机を片付ける作業をしていたところ、長机のレバーを引いて天板を寝かせようとしたつもりが、不注意でレバーを引ききれておらず、長机が倒れてきて、足を負傷したものである。すぐに強い痛みが出て当日に受診した。	42	379	6	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	介護職員利用者の入浴後の整容を担当していた。入浴誘導介助を行っていた介護職員（被災者）の声がしたので確認すると、フロアで被災者が利用者と二人で座り込んでいる姿を発見する。被災者を抱え起こそうとすると、強い痛みの訴えがあり、受診をすると第	77	921	2	30～ 49

			二腰椎圧迫骨折と診断され入院となる。				
2017	11	15～ 16	訪問介護利用者宅に向かう途中に、マンションを歩いてすぐのエレベーターが開いていたので、乗ろうと走ったところ転倒し右膝を負傷した。	67	417	2	30～ 49
2017	11	11～ 12	利用者様の居室清掃で床にこびり付いた汚れを取る為に両手で雑巾がけをしていたところ、左手人差し指の先が床に引っ掛かり、「パキ」というような音がした。その時は突き指のような感じだった。後日病院へ行ったところ骨折と診断された。	56	921	19	10～ 29
2017	11	5～6	自宅から移動中、路上にて転倒した。前方に向かって転倒しており、右足首、両膝、腰、右肩、両手首、右頬に強い衝撃を感じた。むかつきなども感じた為、すぐに職場へ連絡をし、自宅へ戻る。早朝であった為、擦過傷の部位の消毒と、痛みを感じる部位に湿布を貼付し様子を見る。翌日にかかりつけ医、翌々日に脳外科、整形外科を受診する。日毎に身体のアちこちに痛みを感じるようになる。右頬を強打したせいか、頭が重く、時々、目まいを起こしたり、気分が悪く、起きることが出来ない日もある。肩も上げると痛みがあり、重い物を持つことが出来ない。日が経つにつれ、少しずつ治ってくるであろうと診断され、湿布と鎮静剤を処方される。	46	417	2	10～ 29
2017	11	12～ 13	利用者のトイレ介助、ベッド介助、風呂介助等を中腰の体勢でしていて風呂介助が終わった時、腰に痛みを感じたがそのまま作業を続けていた。帰宅後に左足に激痛が走り、後日病院へ診察に行き、その後腰椎間板ヘルニアと診断された。	39	921	19	30～ 49
2017	11	10～ 11	利用者宅より事業所に戻る際（もう1名のヘルパーと自転車で）に後方よりロードバイクが走っており、労働者が少し右に寄った際に後方から接触され転倒した。（ロードバイクはそのまま逃走）整形外科へ受診し、右足外果骨折と診断される。。	44	231	17	100 ～ 299
			病棟内で、保護室内入院患者を入浴後保護室に戻ってもらう際、当				

2017	11	10～ 11	該患者が暴れた。制止した際にその患者が被災者の右足背に尻もちをついて倒れた。誘導はナース2名で対応していた。右足背には患者の坐骨がぶつかった。（当院は、精神科の病院である。）	41	911	19	～ 499	300
2017	11	13～ 14	厨房のシンクで、熱湯をポットに注ぎ、ポットの蓋を閉めるために少し持ち上げてずらそうとした際、ポットが引っくり返り熱湯が自分にかかった。	32	911	11	～ 299	100
2017	11	12～ 13	利用者宅マンションから出ようとした際、前方から荷物を載せた台車が入って来た。道を譲ったところ、スロープの段差を踏み外し、転落した。痛みが引かなかったためその日のうちに病院へ行った。	55	417	2	50～ 99	
2017	11	8～9	入居者居室内にて、63歳男性（身長165cm、体重45.1kg）をベッドより起きて頂こうと入居者の肩下に手を入れ力を入れ、上体を起こそうとした際腰がギクツとなった。その後は仕事を続けるも左足に激痛があり歩くことも辛くなる。	61	911	19	～ 299	100
2017	11	8～9	入居者様の居室内で、床に座り込んでいる入居者様を後から抱え立ち上がり介助をした時、一人で介助したため、腰部に衝撃があり、めまいがし左耳が反響して聞こえた。	34	921	19	10～ 29	
2017	11	6～7	施設内の厨房を開錠するために階段を駆け上がったところ、ドア付近に置かれていた食品パレットに躓き、転倒した。	68	379	2	50～ 99	
2017	11	10～ 11	ご利用者（女性）が水分補給をする為、車椅子への移乗介助を行った際に腰に痛みが出た。当日はそのまま勤務を行い、翌日は自宅療養していたが、痛みがひどく、後日病院を受診した。	51	911	19	～ 299	100
2017	11	10～ 11	利用者を1階特別浴室にて入浴業務中、ストレッチャーと本体との間に右手指を挟み負傷したものである。	50	363	7	50～ 99	
2017	11	8～9	講習受講のため、大学へ出張中、受講会場に入室する際、引き戸サッシの段差に左足を打ち、躓いて転倒し、左第5中足骨を骨折したものである。当日は、痛みがあったが最後まで受講し、自宅で	40	417	2	30～	

			湿布を貼り様子を見ていた。翌日に腫れがひどくなってきたため受診したものである。				49
2017	11	0～1	キッチンで食洗機内の食器を棚に片付けている時、背後から利用者に声を掛けられ立ち上がった時、膝を負傷した。	57	911	19	50～ 99
2017	11	19～ 20	夕食後に利用者を居室誘導時、右側に車椅子を置き左側のベッドに移乗の際、左側に腰を捻った際に痛めた。	42	611	19	10～ 29
2017	11	18～ 19	訪問の仕事を終え、会社に帰る途中対向車のヘッドライトがまぶしく前が見えなくなり、自転車が歩道と車道の縁石に衝突し左側に転倒し、左側肋骨を骨折した。	54	231	17	30～ 49
2017	11	15～ 16	入居者の方の個室に訪問すると転倒していた。転倒された方の離床介助のため起こそうとするが相手方の体の強張りがあり、腰に痛みを感じた。次の日痛みがひどくなった。	40	719	19	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	機械浴室で、入浴終了後、車椅子に移乗しようと抱え上げた時、腰に電気が走ったような痛みを感じた。後、一日仕事をそのまま続け、帰路についた。翌日、夜勤の為、ゆっくり寝ていたが、起き上がるのもつらく、受診した。	26	921	19	50～ 99
2017	11	11～ 12	訪問先施設内の入居者の居室にて、利用者をベッドから車椅子へ移乗した時に、車椅子の座面にずれ落ち防止の為に置いている三角クッションが落下した為に利用者がずれ落ちそうになり、抱え直し、持ち上げた際、急激に腰に力がかかり激痛が生じた。	53	921	19	30～ 49
2017	11	15～ 16	転倒した入居者を車椅子に移乗後、部屋のベッドに座っていただくために前から抱え、入居者が前屈みの腰を折った状態で立たれ、入居者には、両腕を持ってもらい、入居者の頭部が、労働者の胸に当たっている状態で、看護部と共に入居者をベッドに移乗した。その際、入居者の頭部が労働者の胸に当たった状態で負荷と回転がかかった。	42	911	6	30～ 49
		14～	業務の為、自転車で走行中に坂道の途中で左に曲がろうとした際に				

2017	11	15	転倒し、左第3、4中足骨骨折をした。	33	362	17	1~9
2017	11	9~10	車通勤で出勤し、車を駐車した後施設の建物に入ろうと歩き出した際、不注意により車止めに躓き転倒した。顔面より転倒し右手を地面について着地した。痛みと腫れが出てきた為、病院を受診した。	59	418	2	100~299
2017	11	14~15	当苑、玄関前駐車場において、送迎車輛を駐車しようとした際、ソフト操作を誤り、外灯・フェンス・縁石をなぎ倒し、フェンスを突き破り、停車した。当日は、外傷がなかったため、そのまま帰宅したが、翌日、痛みが出てきた。	68	231	3	50~99
2017	11	13~14	布団に寝ていた利用者さんを介助者2名で移乗しようとして、足側を持って、利用者さんの体を抱え上げようとした時、腰に負担をかけてしまい負傷した。	43	921	19	30~49
2017	11	8~9	第1回訪問先の業務を終え、自転車で次の訪問先に向かう途中、交差点を左折した時に左方向から来た自転車を避けようとしてバランスを崩し転倒した。転倒した際に左腕と左肩を強打し、脱臼・骨にひびが入った。相手自転車とは接触していない。	70	362	2	1~9
2017	11	6~7	当施設にて、男性利用者を起床介助中、利用者が左手を肩に掛けていて、本人は膝屈み状態であって、左手を右首から右肩へ、右手は左脇から上へ抱え起こす時に左腰を負傷したものである。	57	921	19	50~99
2017	11	14~15	施設内リビングにて、車椅子に乗った男性利用者が落ち着きがなく見守り中、他の利用者から話しかけられて、目を離れた間に車椅子ごと転倒しそうになった為、体で防ごうとして車椅子の下敷きになり負傷したものである。	26	379	7	30~49
2017	11	10~11	厨房作業場で電動ネギカッターでネギカット中、ネギの挿入口に左手第3指を規定よりも奥に入れ過ぎ、中指先端を斜めに約1cm程切断する。	46	165	8	30~49
			自宅から自転車で出勤し、会社到着。指定番場所に駐輪後、徒歩				

2017	11	8~9	で介護利用者マンション玄関に少し小走りで道路を移動中に、足がもつれ転倒し、右手、右膝を道路についた。	65	921	2	10~ 29
2017	11	17~ 18	フロアを掃除中に、道具を取りに行こうとして、小走りした時に、右足をひねる。右足甲外側に痛みを感じ、様子を見ていたが、痛みが激しくなり、家族に付き添ってもらって受診をする。廊下内約1.8mバリアフリー。廊下面も濡れてはいなかった。災害時、ナースシューズを履いていた。	39	418	19	30~ 49
2017	11	14~ 15	被災者は、事業所内デイサービス脱衣所で、利用者の入浴介助業務に従事していた。利用者を風呂から上げ、長椅子に寝かせ衣服を着替えさせた後、同僚と二人（同僚が上半身・被災者が下半身を抱える）で、車椅子に移動させる際、座らせる瞬間腰部に負荷が掛かり激痛で動けなくなり負傷したものである。	55	921	19	10~ 29
2017	11	10~ 11	特別養護老人ホーム本館3館食堂において利用者に提供するお茶を準備している時に、ポットに入っていた湯（約100℃）を茶番の入ったやかんに移す際、ポットの重さで手を滑らせ、左膝から足先にかけて5?入っていた湯のほぼ全部をかぶった。すぐに流水で5分程度冷やしたが痛みが治まらず当日受診した。	69	715	11	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	施設内2階居室前廊下で施設児童と園内清掃をしている時、濡れて滑り易くなった廊下で雑巾掛けをしている児童とぶつかりそうになり、バランスを崩し転倒する。その際、左手を支えにし骨折した。	74	921	2	30~ 49
2017	11	9~ 10	梅畑の斜面で脚立（2m）に乗っての剪定作業中に、地面に落下した。	45	371	1	10~ 29
2017	11	11~ 12	駅近くの道路の左側を自転車で走行中、左折しようとスピードを落とした際に、後方から来た自転車が避けきれず、右後ろに接触し、転倒、左膝をついた。	63	362	17	50~ 99
			朝の始業時間に遅れ仕事が詰まっていたために、急いで衛生材料等				

2017	11	8～9	を載せたカートを押して居室から医務室に向かっていたところ、渡り廊下でイルミネーションのコードにカートの車輪が突っ掛かりカートと一緒に前方に転倒して、右手を強く床についてしまった。右手の薬指が折れ曲がり激しい痛みを感じて、すぐに病院を受診した。	51	417	2	50～ 99
2017	11	17～ 18	養護老人ホーム2階食堂の奥側で夕食の下膳及び片付け作業中に、食器等運搬用ワゴン車のキャスターに躓いて転倒し、右骨盤周辺を強打した。作業を中断し、早退するが、病院がすでに受付終了となっているため、翌朝、整形外科を受診した。結果、右大腿骨骨折と診断された。	67	362	2	100 ～ 299
2017	11	16～ 17	施設のお風呂へ小5女兒を入れようとしていた時、小6女兒が現れ自分が先に入りたいからと無理やり脱衣場から出されそうになった。話をするが聞き入れず、髪を引っ張る等の暴力をされ、首がむち打ちのようになり痛めた。	23	911	90	10～ 29
2017	11	11～ 12	施設の厨房にて食材のロースハムを包丁で切る為、ハムの入っていたビニール袋を開けようと思い左手で袋を持って包丁で袋の左から右へ切った時に、誤って人指し指の先を切り落としてしまった。切った後血が止まらなかったため、当施設の看護師に応急処置をしてもらった。日曜日なので病院が休みである事と人員が少ない事もあり、そのまま仕事を続けた。	46	364	8	50～ 99
2017	11	9～ 10	訪問先で作業をしている間に腰が痛み受診後腰椎圧迫骨折と診断される。訪問先利用者は立位がとれない寝たきり状態で排泄、更衣、シーツ交換を行う作業。	70	911	19	50～ 99
2017	11	17～ 18	車で直進中、脇道から右折進行しようとした相手車両と衝突した。 ※業務（会議出席）のため事業所の車両にて走行中	63	231	6	100 ～ 299
			事業所内のホールで、壁の掲示物をクリスマス用に替えるため、ベッドに上がり作業していた。張り替えが終わりベッドから降り				

2017	11	10～ 11	<p>ようとしたところ、ベッドのサイドレールに掛けてあった布団でサイドレールがあることに気付かず、そこを跨ぐように降りてしまい尾てい骨を強打した。あまりの痛さに病院を受診したところ、尾骨骨折と診断された。</p>	59	391	3	1～9
2017	11	6～7	<p>居室にて起床介助中、トイレ誘導のため声をかけ、被災者は、起床すぐで歩行不安定なことを想定し体を支えようと手を添えようとした際、利用者に幻視があり、「フロアにお母さんがいる」と被災者の手を振り払おうと手を振り上げたため、被災者は後ろに下がり、その時足が滑り尻もちをついてしまった。</p>	54	921	19	30～ 49
2017	11	11～ 12	<p>訪問入浴介護サービスにて、お客様宅駐車場で準備作業中、排水のモーターを持ち上げ、右手を持ったまま台から下に降ろそうとした際に、手首が引っ張られた感じで違和感があり負傷した。その後痛みが出て来て病院へ受診した。（右手首炎症）</p>	39	359	19	1～9
2017	11	9～ 10	<p>デイサービス利用者の朝の送迎時に、県営住宅の1階に住んでいる利用者が車椅子を利用しており、1階でも階段がある場所でそのままでは階段を下りることができないため、スロープを階段部分にかけ車椅子で下ろすためにスロープを利用者家族と2人で持ち上げた時に、腰と左肋を痛めた。スロープは縦3m、重さ24.4kgの鉄製の物を使用していた。</p>	36	921	19	10～ 29
2017	11	2～3	<p>老人ホームの夜勤巡回中、車椅子常用の入居者が、ベッドからずり落ち、ベッドを背にした状態で床に座り込んでおり興奮状態だったため、急いで床からベッドの上まで移乗させようと試みた際、腰に痛みと違和感を感じた。このまま1人での移乗は難しいと思い2階職員へ応援要請を行い、2階の職員が入居者を抱きかかえる介助を行うと同時に受傷者が車椅子を差し込む介助を行い、この時は腰への負担はなかった。入居者は日勤帯は2人で介助対応する体格の良い人で、夜勤1人勤務の際は他階職員の応援要請をすべきところ、急いで対応しようと1人で試みたので腰への受傷となった。</p>	53	911	19	50～ 99

2017	11	8～9	園内において、レントゲン撮影のために部屋を出て、ドアの鍵を閉めようと後ろ向きになったところ、園生にいきなり背中を2回突き飛ばされ、負傷した。	46	911	6	30～ 49
2017	11	15～ 16	畑において、かずらの根を引き抜いていたところ、急に根が抜けたため仰向けに転倒し腰を強打した、元々腰痛持ちであり痛みを保有していた。このためすぐには受診しなかったが、段々痛みが強くなってきた。	64	712	2	1～9
2017	11	11～ 12	配食サービスの弁当を就労利用者と一緒に配達していた。その配達先のお宅から配達を終えて車に戻る時に、玄関先の段が2段あるのに気が付かず、躓いて足首を捻って負傷した。	34	413	19	30～ 49
2017	11	18～ 19	ヘルパーの仕事を終了し、会社の車に乗る時、暗かったので早く帰りたくて走っていて、転倒した。	60	417	2	10～ 29
2017	11	16～ 17	交差点で、職場の用事で軽トラックを運転中、赤信号のため停車していた際、後方から後継車に追突された。軽トラックはバンパーがへこみ、衝突した衝撃で、軽トラックの天井に頭を強く打ち、頭や首に痛みを感じたので、病院を受診した。	51	221	17	30～ 49
2017	11	15～ 16	施設内で利用者のレクリエーション（書道）終了後、洗濯室で筆を洗う作業中に、床に溢していた水に足をとられて転倒し、その際に右足第5中足骨を負傷した。	65	417	2	30～ 49
2017	11	10～ 11	病院の訪問介護ステーションにて勤務中、訪問介護先より電動自転車に乗って事務所に戻る途中、後方の車を気にして自転車を車道左側へ寄せたところ、雨で濡れた路面に滑って自転車ごと転倒し、負傷した。	56	362	2	10～ 29
2017	11	9～ 10	利用者を車に乗せた後、左手を車の外に出し、ドア上部に手を出した状態でスライドドアに背を向け右手で閉めた際、左手首を挟んだ。	67	231	7	1～9
			現場は駐車場で4tトラックのボディーから50cm四方のマットを抱え				10～

2017	11	8～9	て移動する時に、下の方（足元）を注意していなかった為見えずに駐車場の車止めに、右足を引っ掛けて転んだ。	49	417	2	29
2017	11	17～18	施設用のトイレ付近において、壁に掛けているホワイトボードに記入している時、後ろから施設利用者に押され、柱の角で顔面を強打し転倒し、口、首、顔、足を負傷した。	57	419	6	10～29
2017	11	10～11	施設内浴室で入浴介助の際、利用者様が浴槽で立位した時に浴槽の滑り止めマットがずれた事で、利用者様が転倒しそうになり、それを防ぐため、被災者が利用者様の体を支えたところ、重みに耐え切れず、被災者の左脇腹を浴槽の縁で強打した。	60	921	19	10～29
2017	11	9～10	利用者様を車椅子からベッドへ移乗中に、腰を痛めてしまった。	58	921	19	100～299
2017	11	17～18	厨房内にて、夕方の30分間、毎日、排水溝の掃除をするのが業務になっている。当日も、遅出者が排水溝の蓋を取り掃除をしていたところ、本人（日勤者）の不注意により蓋があいている排水溝の穴（横37cm×幅37cm×深さ45cm）に右足を入れてしまい、姿勢が崩れ倒れてしまった。毎日の業務になっているため、排水溝の中のカゴ網を取って掃除をしている時は蓋をあけたままにしているが、調理師全員がその状況は認識できている。本人（日勤者）は無意識のうちに排水溝近くを歩いてしまい、足を踏み入れてしまった。	23	921	19	50～99
2017	11	11～12	1病棟食堂で昼食準備中に、利用者が興奮状態で食堂に入室し、他の利用者を叩き寝そべる等興奮が続いた。タイムアウトをする為に、職員3名で1病棟本館個室へ入室させた。先に職員2名が退室し、続いて被災職員も退出しようとしたが、利用者が外に出ようとしたため、再度個室へ入った。その際、利用者が被災職員のサロン（エプロン）を両手で掴んだため、その反動で足が取られ前のめりになり、利用者に覆い被さる形で前方に倒れ、壁に頭を打った。	41	911	2	100～299
			厨房内盛り付け台の前で、盛り付け作業中、台の上の皿を取る為40				

2017	11	11~ 12	食用配膳車側から盛り付け台へ移動する際、他職員の左足先に躓き転倒した。他職員は60食用配膳車側を向き盛り付け台を背にしていた。盛り付け台と配膳車の間は狭かった為、他職員に躓き転倒し左膝から落ちた為、左半月板が割れた。	58	417	2	100 ~ 299
2017	11	16~ 17	0才児の保育室で保育中、子どもを避けて進もうとした時に、バランスを崩し、右膝をドンと床についた直後、激痛がはしり歩行困難となった。	39	417	19	30~ 49
2017	11	10~ 11	利用者を車椅子からベッドに移乗させるため、利用者の腰及び膝下に両腕を入れて抱きかかえた時、腰部の違和感を自覚した。介助後に激しい腰痛を感じたため、事業場内静養室にて安静を保ち経過観察を行うも症状は改善せず、臥床のまま動けず、救急搬送された。	28	921	19	10~ 29
2017	11	18~ 19	施設ユニット内において介護業務従事中、利用者の安否確認を行いながら他職員と業務内容について振り返りながら会話した後、正面を向き直った際に床に足が引っ掛かりもつれた状態で左膝から床面に転倒し、膝蓋骨を骨折したものである。	52	417	2	100 ~ 299
2017	11	9~ 10	通所介護顧客の送迎業務中に交差点右折で進入した際、横断歩道横断中の歩行者がいることに気付き、ブレーキを掛けた。同乗していた同行職員は補助席に座っていた為、座席から身体が飛び出し左手で身体を支えようとしたことにより受傷する。	69	231	3	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	入浴介助が済み更衣の準備をしようとして脱衣所へ行こうとした際、右足は滑り止めマットの上に乗っていたが、左足が滑り止めに乗っておらず、前方へ滑ってしまい尻もちをつき左手をついてしまった。	60	416	2	10~ 29
2017	11	10~ 11	短期入所利用者様を迎えに行き部屋より階段にスロープ板の準備を行い利用者様の乗車した車椅子を部屋から公用車への移動中、スロープを車椅子後進の状態で、後から支えながら下って踊り場まで降ろした車椅子を止める為に右足を一段下の階段に足を置き突っ張った際に「バキッ」と音がした。	58	921	19	30~ 49

2017	11	12~ 13	<p>当事業場園舎内階段にて、園児の給食が終わり食器を2階の教室から1階の給食室へ運ぶ作業をしていた。食器の入ったトレーを両手で持った状態で階段を下りていた時に、階段の最後の段差で踏み外し、バランスを崩して右足を捻ってしまった。その時に痛みはあったが歩けないほどではなかったので様子を見ることにした。翌朝痛みが治まらず、腫れもあったので、病院を受診した。</p>	40	413	1	10~ 29
2017	11	8~9	<p>利用者様が起きて来られず、様子見に訪室すると「車椅子に乗せて下さい」と言われた為、排泄処理後、同僚介護職員を呼び二人介助にて車椅子移乗を行う。移乗前、車椅子が患側側に置かれていたので、健側側に移動していいか本人に伺ってみるが、普段より自立移乗で馴染んでおり、「そこでいいです」と強い口調で主張された為、その位置での移乗となる。利用者様を抱き上げた際、健側側の手で柵を強く握り、声かけしても放そうとされず引き合いになった際に首をひねり、当日は帰宅しても何の痛みもなかったが、翌日、首から肩にかけ痛みがあり、翌々日には痛みが強くなり、病院を受診した。</p>	58	911	19	10~ 29
2017	11	10~ 11	<p>公用車を運転して移動中、十字路を通過しようとした際、左方向から直進した乗用車に左ドア部分に横から追突されてしまった。車両が横転し、右手の平に切り傷、右手首、首、肩、腰に打撲を負った。</p>	39	231	17	10~ 29
2017	12	8~9	<p>通勤途中、敷地内の駐車場から施設へ歩行中に、タイヤショベルの除雪が入った後の滑りやすい路面で足をとられ、転倒して左手をついた際に左手首を痛めた。受傷時は軽度の捻挫だと思っていたが、その後、痛みが増強したため病院に行き検査をした結果、靭帯損傷と診断を受けた。</p>	44	719	2	300 ~ 499
2017	12	5~6	<p>当社施設のベランダにて、干してあったまな板を取ろうとしていた。居間のドアを開けて右足を出した瞬間、ベランダが滑りやすくなっていたため転倒し、その際とっさに右手をついたため右手首</p>	72	719	2	30~ 49

			を骨折した。				
2017	12	16~17	要介護高齢者の利用者宅へホームヘルパーとして介護支援業務を行うため、利用者から依頼された買物を終えて利用者宅の玄関前に着いた時に、車から荷物をおろすため運転席から外に出たところ、凍っていた地面で滑り転倒した。その際に左上腕骨近位部を骨折した。	67	719	2	10~ 29
2017	12	15~16	厨房にて、夕食の調理の際、調理用使い捨てゴム（ニトリル）手袋を付け、まな板の上で食材のピーマンを切っている時、作業を早く終わらせようと半分に切ったピーマンを重ねて左手で押さえ、右手に包丁を持ち切っていたが、食材の水分が残っていた為、左手が滑り包丁で左手親指第一関節部分（手の甲側）を3.0cm弱切り出血した。	42	364	8	1~9
2017	12	11~12	法人施設内に於いて、入所者への入浴ケア用の浴室にあるステンレス製の排水溝蓋上を移動した際に足を滑らせてしまい後方へ転倒し、床面に後頭部・臀部・左上肢を強打し、負傷に至った。（発生時は入浴ケアを提供している時間帯であるため、浴室床面は濡れている状態であった。）	52	416	2	100 ~ 299
2017	12	8~9	朝の利用者様送迎時に、利用者様が乗車したあと、スタッフが着席する前に車が発車し、顔面を座席に強打した。	41	231	3	1~9
2017	12	11~12	当社内の拭き取りスペースにおいて、お客様の車両を洗車後の拭き取り作業中に、社屋2階の窓枠から落下したと思われる氷のような塊が頭部に当たり負傷した。	47	418	1	10~ 29
2017	12	8~9	デイサービス送迎車準備のために外を歩いていたところ凍結した路面で滑って転倒した。腕に強い痛みがあり、その場から動けなかった為、駆けつけた職員が救急車を要請し、病院へ搬送された。	59	719	2	10~ 29
2017	12	3~4	起床時の体位交換を行うため居室に訪室し、体位交換を行う際、入所者と職員との体格差があるため、ベッド上にあがったの体位交換	50	379	1	50~

			を行い、業務終了後、次の業務に移ろうとベッドから降りる際に布団に足を滑らせ床に右足から転落した。				99
2017	12	15~16	利用者様宅でホームヘルパーとして訪問介護をしていた。業務終了後、当法人の事務所へ移動するため地下鉄（利用者様宅より徒歩40分）に向かって歩いていた。歩いている途中、利用者様宅を出発して3~5分後、凍結し氷になった歩道の上に新雪が少し積もっていたため滑って転倒してしまった。	31	719	2	30~ 49
2017	12	20~21	利用者様の排泄介助のため居室を訪室した際、ベッド柵をはずした（上に引き抜いた）時に勢い余って後方に倒れそうになったため、体勢を戻すため前方に身体を動かした際に持っていたベッド柵を左足にぶつけて受傷した。	44	391	6	50~ 99
2017	12	12~13	温泉湯用タンクローリーにて温泉湯を施設のタンクに補充したあと、タンクローリーのタンク上部のふたを閉めるためタンク上部に昇った。降りる際に、梯子の一番目をつかんだ右手が滑って、左手で支えた際に右肩を車体部に強打し負傷した。	67	221	3	10~ 29
2017	12	6~7	事業所の外壁に出ている給湯器の煙突に雪がかぶっていた為、脚立に登り雪を落とそうとした際に、足を滑らせ落下し脚立に肋骨を強打した。	52	415	1	10~ 29
2017	12	14~15	介護老人保健施設内のデイケアの浴室で入浴介助を行っているときに、午前中から入浴業務を行っており、体重75kgの男性をかかえたりした際に腰に違和感があったが業務を続け、午後も入浴介助を行った。狭い場所で利用者の靴下を履かせようと、利用者の足を持ち上げ、少し前かがみになった際に腰部に激痛が走り立てなくなった。	36	921	19	100 ~ 299
2017	12	10~11	デイサービス利用者を出入り口から2階に誘導していた。右手で杖歩行している利用者の左腕と自分の右腕で腕組みをしながら支え誘導していたところ、利用者がバランスを崩し右側に倒れそうになった。咄嗟に支えようとして左側に引き寄せたところ、バランスを	46	921	2	100 ~

			崩し、利用者ごと左側に横転し、利用者が職員の上に覆いかぶさった状態で左半身を床にぶつけた（特に左肩・左足首）。すぐに他の職員が駆けつけ、所属長に報告後、病院に搬送された。				299
2017	12	16~17	仕事終了後、自家用車を停めている職場の駐車場で、滑って転倒し負傷した。	29	719	2	100 ~ 299
2017	12	17~18	事業場と同一建物1階に所在する有料老人ホームで、ベッドで横たわる入居者の体位交換を行う際、入居者の体を両手で抱え上げようとしたところ、右肩に激痛が出現し、その後も痛みが持続した。	57	911	19	10~ 29
2017	12	7~8	事業所敷地内の除雪作業をしていた際、地面が雪のため、本人の不注意により、滑って転倒し負傷した。	36	719	2	10~ 29
2017	12	6~7	敷地内駐車場に車を止め、就業場所までの通路を歩行中、通路が積雪のため滑り、手をついたところ、右手を骨折した。	66	719	2	30~ 49
2017	12	8~9	通所利用者を迎えに行き、利用者宅玄関前で福祉車輛（ワンボックスカー）のバックハッチを開け、車内の車イスを荷台スペースに積み込んだあと、バックハッチから降りようと、バンパーのステップに片足をかけたところ、足を滑らせ後方へ転落し、左手首を玄関前石段にぶつけ負傷した。	58	231	2	100 ~ 299
2017	12	16~17	園児を送迎バスから降ろす際、地面が凍結していたため、足が滑り転倒した。乳児を抱えていたため、背中から地面に落ち、背中を強打し負傷した。	55	719	2	10~ 29
2017	12	10~11	当法人老人ホームでの会議を終え、敷地内に駐車していた車へ急いで歩いていた時、除雪したばかりの凍っていた路面で足を滑らせ転倒した。転倒した際に持っていた荷物を庇おうと右手をついたところ、右手に違和感と痛み、また、右手首が動かなかったため、整形外科を受診し、右手首骨折と診断された。	55	719	2	100 ~ 299
			午後からの勤務のため、職員駐車場に到着後、車を駐車し、10cm程				

2017	12	13~14	の積雪・圧雪の中、保育園に向かって歩き出した。保育園入口の10m程手前で足を滑らせ、バランスをくずしその拍子に左手を、凍っていた路面に打ちつけた。静かに立ち上り、保育園に到着したが、左側手首に強い痛みがあるとの申し出があったので、整形外科を受診したところ、左手首の骨折との診断を受けた。	69	417	2	30~ 49
2017	12	15~16	介護サービス利用者宅に到着し、利用者宅玄関に向かう途中、灯油配送車が見えたため、自車を移動しようと戻ろうとした際、地面がぬかるんでいたことから足を滑らせ転倒しお尻を強打した。その際、腰に痛みを感じたが、汚れた着衣を交換し、当日もサービス提供を行った。その後、腰に痛みがあるものの、所有していた痛み止めを服用しながら約1週間、サービス提供業務を行っていたが、朝、起き上がることが困難な状態となり、翌日病院を受診し、圧迫骨折と診断され入院した。	66	719	2	300 ~ 499
2017	12	19~20	病院敷地内の職員通用口を出た所で、残業を終え帰宅する際、凍結していた路面で足を滑らせ尻もちをつくように転倒した。	31	719	2	100 ~ 299
2017	12	16~17	当社デイサービス利用者（1名）を当社送迎車で送迎中、対向車線を走行した車が、凍結した路面でスリップして、対向車線を走行していた当社車両に突っ込んで来た。被災者は避けようとしたが、避けきれずに相手車両が当社車両の運転席ドアにぶつかり、負傷した。	35	719	17	10~ 29
2017	12	12~13	お昼寝の前に友達とケンカをして、部屋をとび出した園児を追いかけ、つかまえた時に方向転換され、滑って転び、手をつき転んだ。次の日から1週間休みだったので様子を見ていたが、痛み、腫れ、内出血がひかないため、後日に受診した。	56	921	19	30~ 49
2017	12	8~9	被災者が勤務先に出勤し、敷地内にある駐車場に車をとめ、そのまま歩いて事業所の建物に向かう途中で、前日から降り続いていた雪で路面が凍結していて、そこで足を滑らせ、後方に尻もちをつく形	54	719	2	50~

			で転んだ。その際に右手を地面に出したが、右手だけで全体重を支えるような形になり、右手首を痛めてしまった。				99
2017	12	8~9	お客様宅に迎えに行った際、路面凍結のため滑って転倒し、右側に倒れ、右前腕が下敷きになる形となり、骨折した。	32	417	2	30~ 49
2017	12	11~12	利用者宅へ向かう為私有車にて運転中、道路上で右折するため停車したが、後続の大型トラックの前方不注意により追突された。首から肩にかけて痛みが強く、病院へ救急搬送され治療を受けた。	37	221	17	30~ 49
2017	12	12~13	当社施設内に於いて、疥癬に感染しているとわからずに受け入れた利用者に、介護や湿布を貼る処置などの看護行為をしていた際、直接接触したことにより発疹と強いかゆみの症状が出た為、病院を受診したところ、疥癬感染が確認されたものである。	58	911	90	10~ 29
2017	12	16~17	施設外の小屋にガソリンタンクを取りに行き、階段を上ったところ、足を滑らせ階段の2段目で転倒し、階段の奥側に足だけが行き、体が下に落ちてしまった。	38	413	2	10~ 29
2017	12	19~20	住宅型有料老人のホームに於いて、2階から1階へ移動の為階段を下りている時、11段の階段を4段下りたところで足を踏み外し、階段下の踊り場に置いてある車椅子防止策にぶつかりそうになったので左へ回避しようとして転倒し、床に強打し左でん部、左わき腹を負傷してしまった。（階段の幅は約2m80cmのコの字型、落下防止の為2階から1階の階段の約半分、1階から地下階段の幅半分強を塞ぐように置いてあり、高さは1m弱である。）	70	413	1	50~ 99
2017	12	12~13	生活介護事業所の玄関にて、利用者に声掛け中に玄関と廊下の段差を踏み外し、右足首に受傷した。	61	417	1	10~ 29
2017	12	19~20	ホールで排泄介助（オムツ替え）のため、車椅子に乗ったお客様をベッドまで移動させたが、ギャッジアップ（上げ下げ）できないベッドに無理に移乗させたため、その時の体勢で左足に負担がかかり、左足に痛みを感じた。	35	611	19	10~ 29

2017	12	18~19	ケアハウス厨房内で、生ゴミを移動しようと横に歩いたとき、排水口の所ですまずき横向きに転倒した。転倒の際、左手で衝撃を受け止めたため、左手首が腫れて痛みが出た。	67	417	2	10~ 29
2017	12	15~16	事業所の入居者用居室内において、被災者は入居者を後ろから抱えて、ポータブルトイレに座らせようとした。作業中、入居者が急に後ろに倒れてきたので、入居者を支えながら尻餅をつくように転倒し、腰と両肘を強く打ち負傷したものである。	55	911	2	10~ 29
2017	12	13~14	2階事務所から1階に下りる際、階段を下り、最後の2段目を踏み外し転倒し、左足を強打し、左かかとを骨折してしまった。	33	413	1	30~ 49
2017	12	12~13	施設裏の屋外職員通路をゴミを持ってゴミ置場まで移動中、前から来た職員とすれ違う際、バランスを崩し転倒して負傷した。	39	417	2	10~ 29
2017	12	9~10	前日から当日の朝にかけ、血便があり、デイサービス朝の送迎後も腹痛があったため、急いでお手洗いに向かったが、お手洗いの前で預かった利用者宅の鍵を持っていることに気付き、先に事務所に戻そうと向きを変えた時に左足に重心がかかりひねってしまった。	55	417	19	50~ 99
2017	12	17~18	施設内居室に夕食を運び終わり、居室から廊下へ出て右へ歩き出したところ、居室出口廊下右側にインフルエンザ罹患対応のためのアルコール用品が入っていた箱に右足ですまずき、そのまま転倒し、右ひざを骨折した。	59	611	2	50~ 99
2017	12	14~15	利用者の午後の娯楽でボール蹴りゲームを行い、椅子から立ち上がりながら右足でボールを蹴ろうとして、足が滑り尻餅と同時に右手を着いたことにより、右橈骨遠位端を骨折した。	62	379	2	50~ 99
2017	12	16~17	サービス付き高齢者向け住宅で入居者の介護を行う際、入居者の居室入室時、フットレスト（足置き）が上がった状態の車椅子の脇を通る際にフットレスト（プラスチック）の端部に右下腿部（脛）が軽く当たったため、ズボンをめくりあげ確認したところ、すねの部分が15cmほど剥離し、皮がずれた状態で出血していた。	51	362	3	30~ 49

2017	12	10~11	デイサービス送迎車のバッテリーの不具合で確認のため、バッテリー上部の荷物箱を無理やり外そうとしたところ、箱とバッテリー部分のすき間に指をはさみ負傷した。その後、痛みはあったものの業務を行っていたが痛みが酷くなり、後日に受診したところ、壊死していることが判明したため切断をした。	63	231	7	30~ 49
2017	12	9~10	当施設内廃棄物置場にて、グループホームの廃棄物をコンテナ内へ捨て、コンテナから地面に降りる際に足を滑らせバランスを崩したまま着地し左足を負傷した。	32	419	1	100 ~ 299
2017	12	16~17	利用者様宅裏において、デイサービスより帰宅した利用者様を玄関より車椅子にて居室まで移動する介助の際に、敷物のカーペットにつまずいて転んでしまい、第12胸椎を圧迫骨折した。	70	416	2	10~ 29
2017	12	17~18	社内において、仕事が終わる2階にあるロッカーに荷物を取りに行き、帰ろうと階段（高さ約15cm）を降りていた所、踏みはずしてしまい後ろ向きに倒れ、全体重が左足にかかり足をひねり負傷した。	43	413	2	10~ 29
2017	12	15~16	2階Aユニット12号室内トイレ前に於いて、利用者の後方に回りズボンを下す介助を行った後、腰を支えながら便座に座ってもらおうとした時、腰の中央部に激痛が走り、その姿勢のまま動けなくなった。	45	921	19	50~ 99
2017	12	11~12	施設内居室および浴室にて利用者の入浴介助をしていた際、利用者に移乗させようと抱え上げた時に腰に痛みを感じた。その後、首や背中を曲げると痛みを感じるようになった。その日以降も痛みを感じながら勤務していたが、後日朝、起き上がろうとすると激痛がはしり、受診した。	20	921	19	10~ 29
2017	12	11~12	床に置いた袋からタオルを取り出し、踏み台代わりの介護用椅子に上り、3連結の棚にタオルを補充整理した後、踏み台から降りてタオルを取り出し、同様に補充する作業を繰り返し行っていた（通常10分程度の作業）。作業の後半に、タオルを棚に収納し椅子の座面から後ろ向きで左足を降ろし、床に着地しようとした際、まっす	63	371	2	100 ~

			ぐに足裏が床に着地しなかったため、左足がねじれバランスを崩し、身体を支えようと右手をついたが、支えきれず右側に転倒した。（床面の部材はスベスベしているが、特に滑りやすい状態ではなかった。持病なし。）				299
2017	12	12~13	事業所の駐車場にて、送迎車の車内そうじをしていた時、車から降りる際に、水で濡れていた長靴がすべり、頭をかばおうとして左手をつき、痛めた。	73	231	1	50~ 99
2017	12	14~15	施設の医務室で、治療用ベッド上の壁にあったクリスマス飾りを片付けるため、踏み台からベッドに乗り作業をしていた。ベッドから踏み台へ移動した時に、踏み台が破損し転倒し、気が付いたら左手首が曲がっていた。	59	371	1	50~ 99
2017	12	11~12	多床室にてリネン交換中に、シーツを交換した後に包布に布団を入れていたところ、体勢を崩してベッドフレームに右脇を強打し、その勢いで右肩を打った。何故体勢を崩したかははっきりせず、その場に他の職員は誰もいなかった。しばらくしてから痛みがあり、他の職員に伝えると早退するように促されるが、大丈夫だろうと考え、湿布を貼り業務を続け、翌日に受診し休業に入った。	52	921	2	100 ~ 299
2017	12	7~8	当施設内にて離床介護時、50kg位の利用者をトランスにてベットから車イスへ移動する際、持ち上げたところ変に腰を捻った為、瞬間、違和感と痛みを感じ経過観察をしていたが我慢できなくなり病院に行き、第5腰椎分離すべり症と診断された。	44	921	19	30~ 49
2017	12	16~17	訪問介護サービスにて、調理中に冷蔵庫より食品をだし、流しの所へ持っていき、置こうとした時にテーブルのイスに右足の小指をぶつけた。キッチンとテーブルの間が1m程度で、イスがテーブルより少しキッチン側へ出ていた。	52	391	3	100 ~ 299
2017	12	13~14	特別養護老人ホーム2FBユニットにて、入居者を2人介助で車イスからベッドへ移動時、入所者後方より介助の際、左足に力がかかり痛みが出現した。	65	921	19	30~ 49

2017	12	9~10	多目的ルームにて本人がお盆の上にコップを置き、風呂場へ運ぶ際、床で足を滑らせて転倒し、右手関節・臀部を強打した。看護師も確認し、右前腺の内出血が確認できたので病院を受診し、右手首骨折と分かった。	64	417	2	30~ 49
2017	12	16~17	小学校校庭において外遊び中、うんていで遊んでいた児童に呼ばれ、うんていに向かって走ったところ、足がもつれて転倒し、右上腕部（右肩）をうんていのハシゴ部分にぶつけた。	57	417	2	1~9
2017	12	17~18	終業後、介護主任の寮にて、シフトの打ち合わせを行ったあと電車に乗る為、寮の階段を下りた際、足を踏み外し右手を負傷し、隣接する施設建物の前で蹲っていた所、通りかかった職員に声をかけられ病院を受診した。	52	413	1	50~ 99
2017	12	7~8	出勤して事業場内のエレベーターに乗ろうとして、エレベーターに近づいた際に前方にバランスを崩し、エレベーター脇の壁に頭を打ち当て、その反動で後方にバランスを崩して倒れてしまった。	57	418	3	100 ~ 299
2017	12	14~15	被災労働者が勤める通所介護事業所から利用者を自宅に送迎して事業所に戻るとき、坂のカーブを通過しようとしたところ、アクセル・ハンドル・ブレーキ操作のミスにより、坂の路肩に乗り上げたため、車体が横転した。	28	231	17	10~ 29
2017	12	10~11	2階居室に清掃に入る際、掃除機のコードに足を引っ掛け左側に転倒した。左足（股関節）に痛みがあり、屈曲伸展ができなくなった。	59	379	2	50~ 99
2017	12	9~10	事業所前の駐車スペースで、介護車両の取り扱い研修中、車椅子スロープを片付け収納作業中、誤って手が滑り、地面に落下して左足つま先部に圧迫接触した。	68	411	2	10~ 29
2017	12	16~17	事業所にて、2階の戸締まりをする際、雨戸とガラスサッシの間に左手人差し指を挟んでしまった。雨戸を強く引いたためかなりの衝撃があり、出血と腫れを伴い1階に降り、生活相談員に報告し、	52	418	7	10~ 29

			そのまま整形外科を受診した。				
2017	12	15~16	デイサービスの送迎をするために車両をとりに駐車場に行った時、足がもつれて車の脇で転倒した。	59	417	2	100 ~ 299
2017	12	18~19	夕食の時間になったので、部屋で横になっている利用者の上体をかかえて起こし、車椅子に移乗したところ、腰が痛くなった。	32	911	19	50~ 99
2017	12	11~12	当社営業所デイサービス施設フロアにて提供する食事を配膳準備棚に運んで並べて厨房に戻ろうとしたときに、テーブルに座っている利用者の車イスのタイヤに足が引っ掛かり転倒し骨盤を骨折した。	65	362	2	30~ 49
2017	12	17~18	夕方、デイサービスの送迎でご利用者を自宅に送り届けたのち、施設に戻る経路上のコンビニでトイレを借りようと立ち寄った際、車から降りて店内に向かって歩いている途中で車止めの縁石に躓き、前のめりに転倒した。	42	391	2	100 ~ 299
2017	12	9~10	朝、援助に向かおうと会社事務所前に車を置いて、階段下の抜け道を通る際、本来なら頭を低くして屈んで行くべきところを、何故かそのまま直立で歩き、コンクリート階段の下部に激突し、はずみで後方へ転倒し、後頭部を打ち暫く動けずにいた。ようやく起き上がった時に左足の付け根に激痛が走り、すぐには立ち上がることが出来なかった。その後、何とか立ち上がり痛みを耐えながら利用者宅へ行き援助をした。その後、会社へ連絡し救急車にて病院へ搬送された。	75	413	3	50~ 99
2017	12	14~15	利用者居室にて、利用者の脱衣介助中に、被災者の左手第2指が利用者の衣服に絡まった状態で、急に利用者が衣服を強く引っ張り、指に横方向に力が加わったため、第一関節付近を痛めた。	52	921	19	100 ~ 299
2017	12	14~15	事業所において年末の大掃除のため、調理場の水道を掃除していたところ、水道の金具後ろと壁の隙間に右手小指を挟んでしまい負傷したものである。	43	391	7	10~ 29

2017	12	17~18	利用者宅にて訪問介護中、利用者の姿勢を直そうとした際に足元の荷物が妨げとなったため、荷物をどかそうとして手を伸ばした時に右手親指付け根から手首の間を利用者宅の飼い犬に深く噛まれ、受傷したものである。	68	719	7	30~ 49
2017	12	13~14	女性利用者の居宅にて入浴介助中に、上・下肢ともに不随である為、体を抱えて浴槽から浴室内のシャワーチェアへ移乗介助を行っているが、当日、抱えた後、転ばないように強く右足を踏ん張ったとき、右膝の外側に強い痛みを伴う怪我を負った。	44	921	19	1~9
2017	12	12~13	薬局建物の入口で、次の場所へ移動しようとしたときに、その建物の屋外花壇ブロックの端に足をとられて転倒した。とっさに左手を前に出して受け身をとろうとしたが、左肘に無理な姿勢で負荷がかかってしまい、左肘関節脱臼を受傷した。	44	418	2	1~9
2017	12	10~11	職員が出入りする通路に3台の車イスが畳んで置いてあり、車イスを跨いで通ってしまい、右足を車イスのタイヤに引っ掛けて、左ひざで着地をしてしまった。	53	362	2	100 ~ 299
2017	12	9~10	顧客のサービス業務を終え、一旦事務所に戻るべく、北側歩道を自転車で走行中、北から南に向かって狭い道路を運行していた加害者の車が道路に書かれた「止まれ」の標示と、一旦停止の標示板を無視して左折するべく突っ込んできたため、被災者はブレーキを掛け左にハンドルを切ったが避けられず、自転車から放り出され転倒し、胸部を強打し、負傷した。	59	231	17	50~ 99
2017	12	14~15	サービスを終え移動の為に、電動自転車に乗る際に自転車が先行し体がついていけず、受け身を取る際に右手を道路につき右手首を骨折した。	62	362	2	50~ 99
2017	12	9~10	厨房内で調理作業中、片手でボウルを持ちながら移動した際、足が滑り転倒した。	49	417	2	100 ~ 299
							300

2017	12	9~10	2階から1階へ下りる階段で足を踏み外し、右足を踏んばった時に痛み、被災した。	39	413	19	~ 499
2017	12	15~16	保育園ホールにて、お昼寝時間が終了し、子どもたちを起こすために靴をぬいでゴザの上を歩こうとしていた。フローリング部分に立ち、ゴザのふちをまたごうとした時に滑り、バランスを崩してそのまま転倒した。以前にケガをした部位であり、まだ動きが十分でなかった右足首に痛みが走り、その後は足をひきずるように歩いた。	36	911	2	30~ 49
2017	12	11~12	朝食の服薬介助時にソファに座っている入居者に対し、しゃがんで水を渡そうとしたところ拳で頭を5、6発殴られ、靴をはいた足で左足を5、6発蹴られた。	54	911	90	30~ 49
2017	12	16~17	車椅子に乗っていた利用者がずり落ちそうになっていたため姿勢を元に戻そうと、背後から手を回し引き上げようとしたところ、左胸・脇腹に激痛が走り、その日は我慢したが、翌日に痛みがひどくなり受診した。	63	921	19	10~ 29
2017	12	14~15	児童館の学童クラブ室で、児童に連絡帳を提出するように何度も催促した。しかし、それでも出そうとしないので、こちらでランドセルから出すことを声かけし、被災者が連絡帳を取り出そうとする、それを制止しようと本児が向かってきた。向かってきた本児を止めようと右手を出したところ、偶発的に右手親指が本児の腕に引っ掛かってしまい、負傷した。	52	921	19	10~ 29
2017	12	14~15	特別養護老人ホームで入浴介助業務中に、浴室前の廊下で待機中の利用者を浴室に誘導する為に廊下に出た時、廊下が濡れていて足を滑らせた。両膝を強打し内出血し、右手をついて右手のひらに擦過傷ができたため受診した。	46	416	2	100 ~ 299
			施設浴場脱衣所で、入浴が終わった利用者の更衣介助中、車いすに座った利用者によりハビリパンツをはかせるため車いすに座った利用				100

2017	12	14~15	者の左足側でしゃがんだ姿勢をとっていた時、突然、利用者が被災者の右耳付近を手で強打したことにより、受傷した。利用者は認知症を患っている方で、理由は不明である。	48	921	6	~ 299
2017	12	8~9	モーニングケアが終わり、1階の一般浴室に消毒液（ジアノック）を入れる際に、浴室入口（廊下側）の扉に左足の指先を強く殴打した。マスクをしていて、足元の視界が見えづらい状況であった。夜勤ヘルパー業務終了間際に発生した事故であり、痛みが強い為、タクシーにて休日診療可能な病院へ行き、救急外来を受診し、レントゲン検査の結果、左足薬指基節骨骨折であった。	52	418	3	30~ 49
2017	12	18~19	施設内の2階フロアで、夕食後の服薬時の声掛け中、耳が聞こえにくい利用者の為、左耳に近寄り薬の事を声掛けした際、いきなり利用者の左側の頭が自分の目、鼻を直撃した。頭突きされたようになり、直後に左側の鼻から出血した。左目はコンタクトを装着していた為、充血、腫れ、涙が止まらなかった。	52	911	6	10~ 29
2017	12	16~17	利用者を自宅玄関迄送迎後、玄関扉を閉めそのままの体勢にて後退した際、段差から落ち壁に左半身を強打した。直後から左腕が上からなくなり、事業所へ連絡し迎えに来た所属長と共に病院を受診した。	62	413	1	50~ 99
2017	12	18~19	入居者の居室にて、入居者をリビングへ連れて行くために、ベッドから車椅子へ移乗しようとしたところ、利用者が突然のけぞったため、腰に負荷がかかり、激痛を感じた。直後は腰の痛みのため動けなくなってしまった。	53	911	19	50~ 99
2017	12	15~16	被災者は、被災当日、介護入浴サービスの業務の為、計6件の利用者宅を訪問し、浴槽に入った利用者に対し、側面から膝立ちの体勢で、洗体を行った。業務開始前には異常はなかったが、業務を続けるうちに左膝に違和感・痛みを覚えるようになり、業務終了時にはそれらがひどくなり、大きく腫れ曲がらなくなった。作業中に左膝に菌が入ったのではないかとの医師の見解を得た。	18	719	90	10~ 29

2017	12	10~11	ホーム室内で、経管栄養をする為、ベッド上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	921	19	50~ 99
2017	12	9~10	デイルームにて利用者を車椅子からクッションチェアへ移動させようと利用者の後方から腋窩に手を入れた所、利用者の振り返った後頭部が左側頭部から前頭部にかけて当たったため、頸部を右に捻り負傷したものである。	51	921	6	100 ~ 299
2017	12	10~11	訪問介護を終え利用者宅からバイクに乗って移動中、坂道にて対向車が、停まっている車を避けるため車線を越えてきたので、それを避けようとしたところ転倒した。医療機関を受診し、左肘骨折と診断された。	62	231	17	50~ 99
2017	12	10~11	入浴介助の際、利用者の衣服を脱がそうと脇の下を前からかかえて立たせたが、利用者の足が崩れ倒れそうになったので持ち上げて支えた。その時に腰に痛みが走った。他の職員が利用者のおしりを後から足で支え、なんとか介助した。	53	911	19	100 ~ 299
2017	12	10~11	利用者宅においてヘルパーが通常出入りしている窓から外へ出ようとしたところ膝をひねって着地してしまった。利用者が車椅子利用の為玄関の施錠ができず、いつも居室の窓から出入りしており、高低差があるため注意して出入りしていた。整形外科受診の結果、右膝内側側副靭帯損傷、半月板断裂の可能性との診断を受けた。	42	921	19	30~ 49
2017	12	12~13	利用者の買い物代行業務のため、スーパーに行こうとした時にT字路を右折した際、左側から直進してきた軽自動車と接触事故をおこした。本人は事故当時の記憶を失っている為、詳細は不明である。	68	231	17	30~ 49
2017	12	6~7	施設居室内で、車イスに座っていた利用者の体が傾いていた為、正常に戻そうとして、右手で支えたところ、車イスのアームレストに手が挟まってしまい、右手小指を骨折した。	56	391	7	100 ~ 299

2017	12	14~15	事業場内の施設利用者の居室にて利用者が失禁したベットのマットカバーを洗濯し、乾いたのでマットカバーを付ける作業をしていた。マットが硬くてカバーがなかなか入らず、やっと入れることができたが、その後、背中痛みが続いていた。当初は大した事はないと思っていたが、あまりに痛みが続くので受診したところ、背骨の圧迫骨折と診断された。	72	391	19	30~ 49
2017	12	13~14	訪問介護サービス中に利用者宅内にて転倒し、右足の小指を骨折した。	57	413	1	300 ~ 499
2017	12	9~10	入居者の点眼を行うため居室へ向かおうと4階から3階に下りていた時に足を踏み外し落下し、左膝、右手・腕・肩、アゴを踊り場の床にぶつけた。	25	413	1	50~ 99
2017	12	7~8	特養施設の居室で、臥床中の利用者の離床介助に入った。利用者は、立位困難で半介助の為、利用者にベッドから起き上がってもらい前方より介助に入り、腰をかがめて利用者の体を支えたところ、右腰に異常を感じた。痛みが走ったが、そのまま業務を続けた。午後になり入浴介助等の業務をしていたが、痛みが増してきたので翌日受診したところ腰椎捻挫で全治3週間の診断を受けた。	49	921	19	100 ~ 299
2017	12	13~14	0歳児保育室にて午睡中に、担当している乳児（身長約70cm、体重約9kg）が大きな声で泣いたので、他の児が起きてしまわないように抱っこをして部屋を出ようとした。その時、床面（フローリング）に置いてあったボール（15cm程度、ビニール製）に右足がつかずいて転びそうになったため、とっさに児を落とさないよう2~3歩踏み出して不自然に右足を前方へ突っ張らせた。その際、右のお尻から膝の後ろまで激痛が走り、受診したところ肉離れとの診断を受けた。※ボールは、日課のおもちゃ拭きをした後、乾かすために床に置いてある状態だった。	58	921	19	50~ 99
			右半身麻痺で立位困難な利用者のトイレ介助の時、排尿後、便座に				

2017	12	11~12	座っている状態から利用者に左手で手すりにつかまってもらい、後ろ両脇を両手で支え、声かけをし、全身を伸ばし、立位状態にかかえあげたとき、右肩甲骨下に激痛があり負傷した。	55	921	19	50~ 99
2017	12	11~12	施設内にて、体の不自由な利用者のベッドから車椅子などの移乗を3回連続で行った。寝ている利用者の足を抱えて持ち上げる際に前かがみでの作業となり、腰に過度な負担がかかってしまい、3回目に腰痛と左足の痺れが発生した。市販の湿布とコルセット、痛み止めの服用でしばらく様子を見たが痛み、痺れが引かず、後日病院を受診した。	53	921	19	10~ 29
2017	12	5~6	当日は夜勤のシフトに入っており、小規模多機能型介護部門の事務所でデスクワークをしていた。朝、利用者の方が起きてきたので、介助しようと慌てて席を立ったところ、体勢を崩しよろめいた。体を支えようと右足を踏み込んだ際、右足首で挫いたものである。	25	921	19	300 ~ 499
2017	12	16~17	右半身不随の入所者の部屋清掃後、ベッド移乗の際、下肢を右下より左上（ベッド上）に移動させる際、中腰になり抱え上げた時ブチッと鈍い音がして直後に臀部に痛みが生じたが痛みを堪え、後の業務を継続し、翌日以降も痛みを堪え業務を続けた。しかし、痛みが治まらず、後日病院で処方された痛み止めを使用し勤務を続けたが、その後の検査で緊急入院となった。	61	921	19	50~ 99
2017	12	11~12	園内の拭き掃除のため、ままごと台の上に登って棚の上を拭いていたところ、台が倒れて一緒に倒れ、台に横腹と腰を打ちつけ負傷したものである。	32	371	2	50~ 99
2017	12	14~15	入居者のシーツ交換後、シーツを持って廊下を歩行中、シーツに足が引っ掛かりつまずいて転倒し右膝を強く打った。	57	417	2	100 ~ 299
			施設の2階へ行こうとして階段を急いで駆け上がっていたところ、				30~

2017	12	10~11	最上段の角に右足が引っかかって前方に転倒し、左ひざを強打して負傷した。	46	413	2	49
2017	12	12~13	訪問サービス中、買い物代行でドラッグストアに行き、入口のマットにつまずき、滑って転倒し、大腿骨頸部を骨折した。	52	417	2	10~ 29
2017	12	8~9	利用者宅の居室にて清拭用の洗面器を両手で持って移動中、床の段差にひっかかり、前向きで転倒した。周りにつかまる様な物もなく、洗面器を離さない様にひざから前かがみに転倒した。元々、居室は段差が多く注意して歩行していたが、洗面器を持っていた為、不注意な状態にあった。	64	417	2	30~ 49
2017	12	16~17	機械浴室内で、洗濯のため外されていた間仕切り用のカーテンを再度カーテンレール（高さ2m5cm）に掛けるため、座面が回転する丸イス（高さ42cm）に乗って一人で作業を行っていたところ、バランスを崩し丸イスからコンクリート製の床に転落し、左手首を骨折した。	64	391	1	100 ~ 299
2017	12	14~15	入浴脱衣所にて、入浴後に衣類を着せようとしたとき、利用者より顔面を殴られた。	38	911	90	50~ 99
2017	12	15~16	終業後、施設を出て建物の北側にある職員駐車場に徒歩で移動中、降雪中であったために途中にあったコンクリート製の階段の1段目で足を滑らせて後方に転倒し、腰を強打した。	76	719	2	30~ 49
2017	12	11~12	当社地下機械室において、施設棟風呂用機械に消毒剤を入れようとして補充作業中、消毒薬の次亜塩素酸と塩素薬剤を誤り、化学反応によりガスが発生した。被災者はその発生ガスを吸い、喉と目に痛みを感じた。	58	514	12	30~ 49
2017	12	20~21	当施設で介護職員として勤務中に、入居者が床に座っており、車椅子に移乗させようとしたとき、車椅子のサイドの金属部と入居者の体に挟まれ、左手中指を負傷した。	45	362	7	50~ 99
			保育園勤務終了後に施錠を確認して園舎に戻る際、慌てていて足元				

2017	12	19~20	をよく見ていなかったため、保育園の庭のテラスの段差で躓いて転倒した。その際、めすき板の隙間に左手小指がちょうど挟まり、小指側に体重がかかる状態で手の甲が不自然に曲がり、小指つけ根が折れ曲がった。	52	417	2	10~ 29
2017	12	14~15	利用者に立位動作をとってもらうため、職員が利用者の左後ろ側に立ち、前かがみになって、右手を利用者の右脇に、左手を腰の辺りに添えて立ち上げる介助をしたときに、腰の辺りに強い痛みを感じた。休憩したが痛みが治まらず、他職員に公用車で自宅に送ってもらった。	56	921	19	50~ 99
2017	12	9~10	ホールで、利用者に朝のお茶を提供しているとき、椅子に掛けていた利用者の杖があることに気づかず足を引っ掛け、そのまま転倒した。	61	379	2	10~ 29
2017	12	15~16	厨房内で大掃除中、厨房内高所の壁を拭き掃除していたときに、足元が滑ってバランスを崩し、高さ86cmの調理台から床に落下した。その際に片足で着地したため、その衝撃により骨折した。	56	999	1	10~ 29
2017	12	14~15	当社1階機械浴室にて、座浴介助業務として利用者を車椅子から座浴椅子へ移乗させた際、腰に激痛がはしり負傷した。しばらく様子をみていたが痛みが続き、帰宅後には立位が困難となった。	51	921	19	30~ 49
2017	12	10~11	居宅内の清掃作業中、窓拭きをしようとして高さ70cmの机にのって作業をした。窓拭きが終了したため、後ろ向きで机に手をつき、左足から下りようとしたところ、捻った状態で下り、そのまま倒れこんだ。その後、左足が痛く、歩けなくなった。	63	371	3	100 ~ 299
2017	12	15~16	2F脱衣室において、車椅子からシャワーチェアに移乗させるため、利用者の正面から両腕を両脇下へ入れ、車椅子から体を持ち上げたところ、まだシャワーチェアへ移乗できていないところで利用者が座ろうとしたため、転倒しないように、いつも以上に踏ん張りシャワーチェアに移乗したところ、右膝を捻った。数秒動けずにいたが、痛みもすぐ治まったため勤務を継続した。	50	921	19	10~ 29

2017	12	8~9	朝一番の訪問先に別のヘルパーと同行するために、コンビニ駐車場で待ち合わせをした際、バイクを押して歩行中、車止めに躓きバイクと一緒に転倒し、左肩を強打し骨折した。	63	419	2	50~ 99
2017	12	16~17	施設玄関前にて、帰りの送迎準備中、利用者を車に乗車介助していたところ、車内から外に出る際に足を躓き、後ろ向きにコンクリートの地面に転落し、仙骨を骨折した。	29	231	1	30~ 49
2017	12	20~21	3階ホールエレベーター前にて、転倒しかけたお年寄りを抱えた際、左足を捻り負傷した。徐々に痛みが増し受診したところ、左足の第5指付け根上（中足骨）を骨折していた。	38	921	19	100 ~ 299
2017	12	11~12	施設1F居室内にてエアコンのそうじ中、脚立（高さ1m）から足を踏みはずし転落し、左足小指を負傷した。	43	371	1	10~ 29
2017	12	17~18	利用者宅でのベッドメイクの際、ベッドのヘッドボード側に立ち、ベッドのフットボード側にかたまった電気毛布をたぐり寄せようとしたところ、左脹脛から「ペキッ」という音がした。	53	921	19	100 ~ 299
2017	12	16~17	会社付近の道路において、利用者の徒歩送迎を終えて帰社するとき、U字溝の蓋の継ぎ目の穴に躓き転倒した。その際、体を道路に強く打ち、唇・あご・右膝に出血・血豆・あざが生じた。当日は打撲だけで治ると考えていたが、日が経つにつれて右脇腹の痛みも感じたため受診した。	62	418	2	100 ~ 299
2017	12	9~10	当日行事（クリスマス会）の準備のため、施設2階にある厨房で食器の用意中に、左足が作業台に引っ掛かり、食器を持ったまま転倒した。その際、左に身体を捻って転倒したため、左の腰と腿辺りを強く打ち、大腿骨を骨折した。	60	417	2	30~ 49
2017	12	16~17	利用者居室内で、夜勤勤務に入る前に、利用者の入床準備のため新聞パット等の準備中、椅子が3つ置いてあったため邪魔にならないよう移動させていたとき、椅子の脚が右足甲にぶつかり、右第2中足骨骨折を負った。	64	391	3	10~ 29

2017	12	16~17	浴室掃除のとき、床洗浄中に足元が滑り転倒した。転倒時に左手で支えたため、左手首を骨折した。	66	416	2	50~ 99
2017	12	21~22	保育終了後、研修のあと急いでいたため、園の門を出て駐車場まで急ぎ足で歩いていたところ、バランスを崩して顔から地面にそのまま倒れて強打した。そのときに手を地面につき、親指を裂傷した。	37	417	2	50~ 99
2017	12	9~10	店内レジ付近にて、訪問介護利用者の買い物代行支援中、レジを済ませた買い物カゴを台に運んでいたところ、横から来た年配男性の押す買い物カートに左足を引っ掛けられ、左足がひざまづくように転倒し、その際に左足膝部分を強打した。なお、相手は、被災者がうずくまっている間にいなくなった。	69	362	2	50~ 99
2017	12	18~19	当社営業所内ガレージにデイサービスの送迎車両を車庫入れするため、車両の左側後方に立って、バックの誘導をしていたとき、足元の車止めのコンクリートに気づかず、足を引っ掛け転倒し、コンクリートで右大腿部を強打し負傷した。	64	418	2	30~ 49
2017	12	17~18	利用者を車椅子からベッドに移乗し、枕の位置まで移動させた際に左ふくらはぎに激痛が生じた。	51	911	19	10~ 29
2017	12	17~18	利用者の買い物のケアで自転車にて移動中、角をゆっくりと左折したところ、前方から勢いよく来た自転車と接触した。こちらはスピードを出していないので止まることはできたが、バランスを崩して倒れ、咄嗟に左手をついた。	76	362	17	10~ 29
2017	12	14~15	浴室で利用者を湯船へ誘導中、履き物を脱ぎ、段差で滑りかけたので右足で踏んばった。その際体重がのり、一瞬痛みがあったが、その後は痛みを感じず、そのままにした。後から痛みが出て、足を引きずるようになったため、通院しながら勤務していたが、歩けなくなった。	48	416	19	100 ~ 299
2017	12	13~14	利用者宅で圧力鍋を使って筑前煮を作っていて、出来上がり、蒸気を抜いて蓋を開けようとしたときに爆発し、両内腿を火傷した。	46	379	11	10~ 29

2017	12	13~14	デイサービスセンターの2階で、餅つきが終了し、お湯の入った石臼を台車にのせようとした。石臼を持ち上げたところで、石臼の足台を他の職員が先に台車にのせたため、その上に石臼をのせようと運んだ際、腰部がギクツとなり、痛みを感じて動けなくなった。	63	391	19	100 ~ 299
2017	12	10~11	利用者宅を訪問しようとして自転車で移動中、道路で左側から自転車に衝突され負傷した。	47	231	17	30~ 49
2017	12	9~10	利用者を迎えに行き、住宅出口の階段にスロープを設置して車椅子に乗った利用者を降ろしていたとき、1/3ほど降りたところで左足から「ブチ」と音がして痛みがはしった。	74	611	19	100 ~ 299
2017	12	15~16	業務にてバイクで移動中、交差点において、トラックと衝突し負傷した。	48	231	17	50~ 99
2017	12	20~21	夜勤の際、正月の準備のため、3階フロアにて丸椅子の上に立ち、一人で装飾の紙などを壁に貼っていたところ、上ばかりを向いていたため体がふらついた。咄嗟にしゃがんだが椅子から落ち、床に尻もちをつき、その際に右足を捻った。	71	379	1	10~ 29
2017	12	11~12	施設内玄関ホールで調理の準備中に、掃除中の濡れた床の上で足を滑らせ転倒し、右肩を強く打ちつけた。	61	417	2	10~ 29
2017	12	15~16	客宅で風呂場の掃除をしていたとき、二つ折りのスノコを設置するときに、手を挟んで出血し、骨折した。	54	379	7	30~ 49
2017	12	11~12	足場材を倉庫で整理中、積み方が悪かったためフォークリフトを降りて積み込みを確認中、足場が崩れて下半身を負傷（骨折）した。	65	231	17	100 ~ 299
2017	12	11~12	自転車で就業場所から利用者宅へ訪問中、不注意で側溝にはまり、フェンスで顔面を強打し、左膝を打撲した。	48	362	17	30~ 49
2017	12	10~11	入浴介助中に、入居者を湯船から中腰姿勢で抱きかかえた際、腰部に激痛がはしった。痛みが治まらなかったため受診し、その後はコルセットを装着し、腰をかばいながら業務を行っていた。2ヶ	26	719	19	30~

			月後、入居者居室内にて車椅子からベットへ移乗介助するため、入居者を抱きかかえた際に腰部に激痛がはしった。				49
2017	12	16~17	5階居室で利用者への用事を済ませて、ホーム事務所や食堂がある3階の居室へ戻る階段のあと2~3段のところで躓き、3階の踊り場へ顔から突っ込むような形で転倒した。	70	413	2	10~ 29
2017	12	17~18	お客様の車椅子を押す補助をしたあと、道路（坂道）へ後ろ向きに転倒し、尻もちをついた。	72	362	2	50~ 99
2017	12	12~13	発生当日は事業所内の駐車場で誘導係として勤務していた。勤務時間が終わって交代するとき、駐車場内のロープに足を引っ掛け転倒した。退勤後に病院を受診したところ、左橈骨遠位端骨折との診断を受けた。	62	379	2	—
2017	12	1~2	グループホームの泊まり勤務に入り、深夜の見回りをするため、灯りを点ける際に転倒し、激痛がはしり動けなくなった。理事長にすぐ連絡し、病院に連れて行ってもらったところ、圧迫骨折と診断され、入院することになった。	74	416	2	30~ 49
2017	12	7~8	配膳車を食堂に運搬する途中、職員が前方より急いで来るのが見えたので、配膳車を止めようと左腕を出したところ、鉄柱と配膳車の隙間に腕が挟まり、骨折した。	68	362	7	100 ~ 299
2017	12	19~20	残業後、帰宅するため更衣室へ向かおうと医事課内を歩いていたところ、机の配置上、配線されたコードが出ている場所があり、足がコードに引っかかって転倒し、右大腿骨頸部を骨折した。	51	351	2	100 ~ 299
2017	12	9~10	利用者宅に迎えに行き、出掛ける用意を済ませ、玄関までの廊下で利用者を後ろから支えていた被災者は、ドシンと尻もちをつき座り込んでしまった。利用者の左足が玄関マットで横滑りし、頭の方から倒れそうになったので、被災者が利用者の腰の辺りを持ったと同時に、体重が被災者の方にかかり、抱えた反動でそうなったものである。30分程動けなかったが、車で施設まで送り業務を終えた	65	911	19	30~ 49

			のち、痛みが出てきた。				
2017	12	12~13	利用者宅にてモニタリングを終え、退室の際、居間の窓から外へ出るスロープとの間にある溝に右足首が挟まり、抜けない状態で後ろ向きにスロープ側へ転倒し、右膝下より強い痛みと痺れが生じ、歩行困難となった。	47	417	2	30~ 49
2017	12	10~11	訪問看護ステーションの相談室で、年末の大掃除中に、洗濯したカーテンを取り付けるため、脚立から窓枠に移ろうとした際、バランスを崩して転落した。その際、腰を強く打ち、第一腰椎圧迫骨折を負った。	61	371	1	1000 ~ 9999
2017	12	18~19	送迎の添乗をしていたとき、左後方の座席に座っていた。運転手がバックした際、車の後方がマンションの壁（階段）にぶつかり、車体が大きく揺れ、首が後屈する姿勢となった。	22	231	3	30~ 49
2017	12	17~18	高齢者専用住宅内の食堂にて配膳業務中、利用者が突然、被災者の体（肩付近）に掴みかかろうとしたため、その手を制止しようと手の平を利用者に向け防御したところ、左第3指に利用者のおぶしが当たり、負傷した。	56	921	99	10~ 29
2017	12	8~9	出勤後、作業棟事務所に1人にいるとき、窓枠についているブラインドの片方が外れていることに気づき、コマ付きの椅子に乗り、そのブラインド全体を外そうとしたところ、椅子が動き、バランスを崩して腰から落下した。	61	371	1	30~ 49
2017	12	14~15	訪問介護サービスで買い物の援助のため、原付バイクで東から西に直進し、交差点に進入したところ、南から北に直進してきた自転車とバイク左側が接触して転倒し、両足・首・腰を負傷した。	46	231	17	100 ~ 299
2017	12	13~14	栄養課下処理室にて、業務終了の片づけ中、一緒に業務をしていた調理師がその場を離れて戻ってきたとき、被災者の姿が見えず、「痛い」という声が聞こえた。その声の方へ向うと、シンクと調理器具の間の床面に被災者が座っており（足を前に投げだした形）、近寄ると左側の頬を手で覆いながら「滑って転んだ」と話	63	417	2	500 ~ 999

			し、床に滑ったような跡があり、鼻血がついていた。なお、事故発生当時、床は水で濡れていた。				
2017	12	15~16	館内で勤務場所に向かう途中、階段で最後の2段を踏み外して左足を挫いた。	43	413	3	50~ 99
2017	12	11~12	小学校の体育館で行われた学童クラブのスポーツイベント行事にて、男性スタッフで行われたプログラム リレー競争で、バトンを受け取った後、1歩目で右足を痛め、2歩目が出ず転倒した。	51	921	2	50~ 99
2017	12	16~17	当事業所駐車場で、デイサービス利用者を自宅まで送るため、送迎車に誘導しているとき、バランスを崩して転倒した。その際に足を捻り、左足首と足の小指を骨折した。	73	417	2	10~ 29
2017	12	14~15	利用者宅を訪問時、二人体制のため団地横で待ち合わせて、サービス提供責任者の車に向かう途中、車道と歩道の段差に左足を置いたときに右足が引っかかり、転倒して右肩を強打し、右足の膝・右頬に傷を負った（肩腱板断裂）。	71	417	2	10~ 29
2017	12	17~18	施設厨房から外にあるゴミ置場へゴミを出しに行く際、階段を踏み外して転倒した。厨房内で濡れた長靴を履いていたので、底が滑り易かった。	57	413	1	30~ 49
2017	12	15~16	児童の忘れ物を届けるため、先に帰りかけた児童を追いかけた際、校内の廊下の段差で躓き転倒した。夜になっても左手の痛みがひかないので、病院を受診したところ、左手親指の付け根を骨折していた。	64	417	2	1~9
2017	12	21~22	勤務先事業所内2階汚物処理室で、職員ユニホーム用の熱湯消毒バケツのお湯を捨てたとき、床が濡れていたことに気づかず、次の行動をとろうとした際に滑って転倒し、汚物処理室の壁の角で腰部を強打した。	23	416	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	介護老人保健施設において、入所者の入浴着脱介助のため、居室から脱衣場への廊下を被災労働者が一人で歩いて移動していた際、脱	58	417	2	100 ~

			衣場前の廊下が濡れていたことに気づかず、滑って転倒し、右足を痛めた。				299
2017	12	6~7	就業先の調理場内の裏口から外に出て、待機している車へ配達用の食事を搬入するため、両手で食事を持ち、グレーチングの上に防音対策のために敷いているゴム製のマットの上を歩いているとき、右足が前方へ滑り、左足膝を地面へ打ち、激しい痛みが発生した。	31	417	2	30~ 49
2017	12	11~12	高齢者福祉施設において、高齢利用者をトイレにて排泄援助後、トイレ内手洗い場付近で他職員に呼ばれ、振り返り歩こうとした際に足元が滑って転倒した。転倒の際に、右手を反射的につき、右手首の負傷に至った。当時、トイレ内は清掃直後であり、床が乾ききっていない状況であった。	57	416	2	100 ~ 299
2017	12	5~6	勤務地に自転車で出勤途中、施設内の駐車場に乗り入れたところ、死角に駐車してあった車を発見して慌ててブレーキを掛けたが、左横に転倒し、左側に止めてあった車に左肩を強打した。	74	239	2	30~ 49
2017	12	16~17	児童施設内で、利用者の男子小学2年生（水頭症を伴う二分脊椎症、身体障害3級、身長120cm、体重30kg程度）に突然抱きつかれた際、当該児童ごと後ろにひっくり返りそうになったため抱き止めようとしたとき、左手親指が後ろに反り返って負傷した。	62	921	6	10~ 29
2017	12	6~7	居室において、利用者をベッド上から車椅子に移乗する際、利用者の急な緊張により、腰に負担がかかってしまい、腰を痛めてしまった。	21	921	19	100 ~ 299
2017	12	17~18	駐輪場の一番奥に置いていたバイクに乗って帰ろうとしたとき、右隣に止めていたバイクに引っ掛かり、バイクごと左側に転倒し、左足首を強打した。	59	231	2	100 ~ 299
2017	12	19~20	入浴介助後、掃除をするため風呂場に入ろうとしたとき、脱衣所と風呂場がバリアフリーのため、脱衣所に水が広がっており、滑って床に左膝を強打し、痛みのため20分程動くことができなかった。	54	416	2	30~ 49

2017	12	13~14	デイサービス（定員18人程度）で、毎日高齢者の移乗等を繰り返 し、腰に負担がかかったため発病したと思われる。	54	911	19	30~ 49
2017	12	12~13	訪問を終えてバイクで介護センターへ戻る道中、交差点内で右折し ようとした際、前方より進行してくる車に気づき、ブレーキをかけ たところ車輪が滑り、バイクとともに右側へ転倒し、右手骨骨折、 右胸腹部を打撲した。	54	231	17	300 ~ 499
2017	12	12~13	派遣先において、乳児棟2階のトイレにて、園児のトイレを済ま せ、抱き上げて0才児クラスに戻ろうとしたところ、床にあったお まるを蹴るような形で右足をぶつけた。	45	379	3	30~ 49
2017	12	15~16	職場敷地内にて、通いの利用者を送るため、車を建物玄関近くまで 移動させたあと下車する際に、急いで施設に戻るため一気に右足、 左足の順に着地し、後方（進路方向）へと体を反転させながら立ち 上がり、歩行しようとしたところ、左足が不安定な状態で体重をか けてしまい、左足をアスファルトで躓いた。	51	417	3	50~ 99
2017	12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の 方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張っ たとき、左足脛に激痛がはした。	42	911	19	50~ 99
2017	12	10~11	利用者居室内にて、利用者（男性60kg）が転倒しており、片麻痺 のある方で手足に力が入らず、全介助にて行ったため腰痛を発症し た。	50	719	19	10~ 29
2017	12	16~17	障害者福祉サービス事業所にて、利用者の送迎を終え、車を洗車す るため車庫に出入りした際、出るときにシャッターに右肩を打ちつ け、右肩腱板断裂した。	73	419	3	30~ 49
			多目的室にて、入浴前後の男子利用者の管理中、ソファに並んで大 人しく座っていた2人の利用者のうち、1人がソファから滑り落ちる ように姿勢が低くなった瞬間、もう1人が急変し襲いかかるという 問題行動に被災者が気づき、2人の間に近づいた。その際、頭をめ がけて掴みかかる手を払いのけながら、姿勢が低い利用者に立ち上				30~

2017	12	15~16	るよう、声かけしていたところ、立ち上がる際にバランスを崩し、被災者を押すように倒れかかったため、被災者は背中から転倒し腰を打ちつけ、しばらく動けなかった。歩くことはできるが、立ち上りや咳で腰に響き、痛みのために腰に力が入らず、押す・引く・荷物を持ち上げるなどの動作ができない状態になった。	62	719	2	49
2017	12	15~16	施設内の4F共同トイレで清掃していたところ、床が濡れていたためかホースに躓き、バランスを崩して床に転倒し、右肩を強打した。	63	417	2	50~ 99
2017	12	16~17	医務室内の作業テーブル前で、書類の整理を終えて右側に移動しようとしたところ、テーブルの脚（対5脚）に躓き、カルテワゴンの手すりに右手が当たり、床に転倒し、右手首を負傷した。	62	391	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	訪問先にて、台所に掃除機をかけて欲しいとの依頼あり、2階へ上る階段の途中に置いてある掃除機を取りに行った。やや薄暗い中、右手で掃除機を持って下に下りるとき、最後の段を下りる際に左足の甲を下にして崩れ落ちる状態になった。倒れるときにグチャッと音がし、痛みが強くて立ち上がれない状態になった。	61	413	1	30~ 49
2017	12	16~17	ユニット内にて棚の整理作業中、画鋲が落ちたのに気づかず左足で踏み、痛さでとび上がり、右足に負担がかかり、膝を痛めた。	67	521	19	50~ 99
2017	12	10~11	浴室にて立位困難である利用者の入浴後、入浴介助車椅子より本人使用の車椅子への移乗時、転倒防止のため支えて介助中に、腰を捻り負傷した。翌日より疼痛がひどくなり、歩行困難な状態となった。	46	911	19	10~ 29
2017	12	17~18	当日は事業所に駐車し、事業所から訪問先へは自転車で移動していた。訪問先で終業後、帰宅するために自動車を置いている事業所まで自転車で移動していた際、段差によろけて転倒し、右手・右手首を骨折した。	67	417	17	100 ~ 299
2017	12	16~17	施設内フロアの清掃中、ベランダ側からの窓拭き掃除が終了後、室内に戻ろうとフロアに入ったとき、入口付近にあったテレビのコー	70	417	2	10~ 29

			ドに足が引っ掛かり、左膝を床に強打した。				
2017	12	16~17	当社施設内のリハビリ機器を設置している場所で、洗濯物を干そうとしていたとき、リハビリ機器の固定具部分に足を引っ掛け転倒した。その際に右手を床につき、右手首部分を骨折した。	68	391	2	10~ 29
2017	12	13~14	金融機関での小口現金の入出金業務のため、車両での外出から戻り、当園の送迎用駐車場（当園敷地から直線距離で50~60mに位置する駐車場）に車両を駐車した際、保育園に廃品回収のトラックが来ているのが見え、それが年内最後の回収だったことと、他に廃品回収の段取りを把握している者がいなかったため、急いで保育園へ向かって走ったところ、途中で左膝から「パキッ」という音が鳴って負傷した。	65	921	19	10~ 29
2017	12	13~14	当社営業所デイサービス施設フロアにて、使用した折りたたみ式簡易ベッドを片づけるときに、前傾姿勢になり足元をよく見ず、誤ってベッドの鉄のフレームで左くるぶし辺りをぶつけて負傷した。	54	911	3	10~ 29
2017	12	11~12	施設内で入居者のオムツ交換をしている際、前傾姿勢になったときに腰に痛みを感じたが、仕事を続け、腰の痛みで動けなくなり、救急搬送され入院となった。	65	921	19	10~ 29
2017	12	9~10	訪問介護支援のため利用者宅を訪問し、利用者を車椅子に乗せようとしたところ、腰に痛みがはしった。	63	921	19	30~ 49
2017	12	12~13	作業所2階事務所にて昼食時間中、利用者が机にあった湯飲みを突然払い落とした。床にこぼれたお茶等を片づけるよう他の職員が利用者に指導したところ、指示通りに従ったが、雑巾を洗うため本人がトイレに向かったとき、突然利用者が本人を突き飛ばし、本人の右脇腹が洗面台に強打され負傷した。	46	921	90	10~ 29
2017	12	18~19	施設1階で、利用者が居室で座り込んでいたとの報告があり、スタッフ2人で居室へ向かい、1人は車椅子を支え、本人が利用者を車椅子へ移乗させたときに負傷した。	53	921	19	30~ 49

2017	12	9~10	出勤時、職員出入口（敷地内）から入った所の段差で、靴を履き替える前に段差で躓き、足を痛めた。	43	416	2	100 ～ 299
2017	12	9~10	デイケア利用者を自宅へ迎えに行った際、利用者の体のふらつきがひどかったので、玄関先の階段（4段、段差15～20cm）を降りる際に対面の位置に立ち、利用者に手を添えて後ろ向きに下りていたところ、利用者の手に持っていた杖が被災者の右足親指上にのったことで、利用者がふらつき、手に持っていた杖に体重（約53.9kg）がかかったため、右足親指を痛めた。	47	921	6	100 ～ 299
2017	12	16~17	事業所に隣接する公園で、子ども達とボール当て鬼ごっこをしていたとき、被災者がボールを取りに走っていたところ、後ろから子どもに背中を押されて転倒した。その際に右肩などを強打し、押されたときに首も捻ってしまった。	59	921	2	10～ 29
2017	12	15~16	学童保育所の室内で、子ども達とゲームのみかん運びをしているとき、走って滑り、転んで手をついた。その際、後ろに転んで左手を強くついたため、左手首を負傷した。	62	418	2	1～9
2017	12	15~16	施設内トイレにおいて、車椅子を使用し、全身麻痺に近い利用者のトイレ介助を職員2名（本人含む）で行っていた。30代の男性職員が紙オムツを交換し、被災者は、洋式便器の横から無理な姿勢で介助を行い、利用者の体を全身の力をふりしぼって抱きかかえ、その動作を2～3回行っていた際、左の背中に激痛があり負傷した。	63	921	19	50～ 99
2017	12	11~12	デイサービスで入浴介助中、利用者を浴槽に入れようとして抱きかかえていたところ、腰から「ビリッ」と音がして痛みを感じた。痛みが続いていたが、当日は所定労働時間の仕事をして帰宅し、夕方になると立てないくらいの激痛となり、救急車を要請して病院に搬送され、そのまま入院となった。	35	921	19	1～9
2017	12	10~11	利用者が病院を受診するときの帯同のため、事業所出入口付近の下駄箱に靴を取りに行った際、足場の段差でバランスを崩し、左足小	59	417	2	10～

			指に体重が乗り転倒して被災した。				29
2017	12	14~15	1F相談室で施設行事の準備を行っているとき、床に置いてある24kg程の荷物を持ち上げた際、腰に激痛がはしり動けなくなった。時間の経過とともに右腰の痛みが増し、右下肢の痛みと痺れが発生した。	49	611	19	30~ 49
2017	12	11~12	施設厨房内で切り込み作業中、南瓜を切っているとき、包丁で左手人差し指を切ってしまった。	45	364	8	30~ 49
2017	12	13~14	環境保全教育研究所で、野外療育（門松作り）を行うため、竹を切る作業が終わり、作業台をかわして中に移動しようとしたところ、足元にあった竹の切り端を踏んで横転し、横転した際に右足首に自分の体重がかかり、捻って脱臼骨折した。	51	417	2	30~ 49
2017	12	20~21	徘徊している女性利用者があり、廊下をうろうろしていたが、確認したときには男性居室に入っていて、寝ているベッドに近づこうとしていたため、慌てて利用者の所に走って駆け寄ろうとしたとき、廊下で足を躓いて転び、右手をついた。	45	417	2	50~ 99
2017	12	11~12	勤務先グループホーム内、利用者居室の入口で対応中、利用者が引き戸を閉めたのに気づかず、左手を挟まれて出血した。	57	419	7	10~ 29
2017	12	9~10	訪問介護利用者宅で、生活援助の仕事をしようと駐車場に車を止め玄関の方へ歩いていく際、側溝があり、その側溝の段差に躓き前のめりに倒れ込み、右手をついたが止めきれず、右手首を骨折し、右の額と頬を打撲した。	61	418	2	100 ~ 299
2017	12	0~1	介護ヘルパーとして、訪問介護をするため利用者宅を訪問した際、訪問してすぐ「早く、早く」と声がして、部屋のドアを開けると利用者が転倒して座り込んでおり、トイレに行きたいので起こしてくれと言われ、起こすためにバスタオルをお尻の後ろに置き、腰かけさせるためにズボンを持って抱え上げたところ、腰からポキッと音がして激痛がはしり、骨折した。	65	921	19	30~ 49

2017	12	16~17	デイサービスセンターの職員が利用者を自宅に送る際、利用者が自宅の玄関前で、突然腰折れ状態となった。その際、寄り添っていた被災者が咄嗟に利用者の尻の下に滑り込んだところ、利用者が正座状態となった被災者の膝の上に座り込んでしまった。被災者は利用者を立ち上がらせようとして、利用者の臀部を抱え上げたとき、無理な姿勢であったためか、急に被災者の腰に激痛がはしった。	48	921	19	10~ 29
2017	12	11~12	作業所の大掃除中、職員1名、利用者4~5人で作業所内後方の床の汚れを拭き、モップを掛けたあと、干してあったゴザを片づけようとした際、床が濡れていたため滑り、後ろ向きに転倒した。その際に頭を打ちそうになったため、右手を捻じって手をつき、右腕を負傷した。	58	416	2	1~9
2017	12	16~17	保育園2階事務所にて書類作成中、保護者からの急を要する用件で、階段にて1階保育室へ下りる途中、階段を踏み外し、階下コンクリート床に左足をついた際に、左足首を骨折した。	35	413	3	10~ 29
2017	12	9~10	個室トイレにて排泄介助中、利用者のズボンを上げようと中腰になったとき、膝折れして転倒しかけたのを咄嗟に支えたところ、腰に痛みがはしり動けなくなった。	31	921	19	100 ~ 299
2017	12	9~10	作業場の入口にて、職員が利用者の到着を見守っていたところ、利用者（精神障害者、障害程度B2）が職員の前で止まり、パニック状態で職員の右顔面、目の付近を平手で殴った。職員が利用者のパニックを抑えようと右手で利用者の左手を押さえたが、利用者は職員の右手の人差し指をつかみ持ち上げた。その際、左手人差し指が捻じれた形となり、骨折した。	57	921	19	10~ 29
2017	12	15~16	学児施設の廊下にて、見守り中の子供を後ろから抱えようとしたとき、子供の足が絡まり、後ろ向きに転倒し、動けなくなった。	59	719	2	1~9
2017	12	10~11	施設内C棟東側非常口にて、ゴミ捨て作業中、階段を下降しているとき、不注意で階段数を間違えたため、左手首を骨折する怪我を	60	413	1	50~

			負った。					99
2017	12	17~18	利用者宅にて家事援助中、居間の卓上にある湯呑を洗おうと取りにいった際、台所と居間の段差（30cm程）に足が躓いてしまい、卓上の急須（熱湯）に触れた反動で急須がひっくり返り、右脇と右上腕（内側）周囲に熱湯をかぶり、火傷を負った。	66	417	2		300 ~ 499
2017	12	10~11	施設利用者を介護職員2人で施設内浴場にて入浴介助を行っている際、入浴チェアから車椅子に移乗するため、利用者を抱えたとき、腰にグッキと負担がかかり、激しい痛みを襲われた。しばらく勤務し続けたところ、立ち居振る舞いも苦痛になるくらいに悪化し、第2腰椎圧迫骨折で約4週間の安静加療となった。	66	921	19		10~ 29
2017	12	23~24	介護事業所にて夜勤中、利用者をベッドから移乗する際、足元を滑らせ転倒し、左肩や左腕を床に打ちつけ負傷した。	76	419	2		30~ 49
2017	12	7~8	清掃用具（モップ）を片づけるため2階に上がる途中に、段差に躓き右足をぶつけた。	49	413	2		10~ 29
2017	12	11~12	利用者居室にて、利用者をベッドより車椅子へ移乗する際に、利用者が右側へバランスを崩したので、転倒を防ぐために左腕で支えたときに被災した。	49	921	19		10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html